

戸田市市民意識調査報告書

令和7年度実施（第15回）

令和8年3月

戸 田 市

目次

I. 調査の概要	1
1. 調査の背景	1
2. 調査設計	1
3. 回収状況	1
4. 調査の内容	1
5. 報告書の見方	2
6. 標本誤差	2
7. 地区区分	3
II. 調査結果の分析	4
1. 回答者の属性	4
2. 定住意向について	17
3. 結婚・出産について	24
4. 子育てについて	33
5. 健康づくりについて	39
6. 高齢化等の福祉について	45
7. 生活環境等について	54
8. 地域コミュニティについて	82
9. 生涯学習やスポーツについて	92
10. 市政への参加について	109
11. SDGs の取組について	111
12. 戸田市の取組について	115
III. 自由意見	132
参考資料（調査票）	170

I. 調査の概要

1. 調査の背景

この調査は、市民生活及び市政に関する市民の意見や要望を把握し、戸田市のより良いまちづくりを推進していくための基礎資料とすることを目的に、昭和 50 年より4年ごとに実施してきましたが、総合振興計画の進捗管理と合わせるため、前回調査から2年ごとに実施しています。

これまで、定点調査として継続的に調査を実施することにより、市民意識の経年変化を捉えその時代に合った市政運営に生かしてきました。

厳しさを増す財政状況や変化の激しい社会情勢の中で、より一層多様化する市民ニーズを適確に把握し、効率的かつ効果的な市政運営を展開するためには、基礎調査としての本調査の位置づけはより重要なものとなります。

2. 調査設計

- ① 調査対象地域：戸田市全域
- ② 調査対象：令和7年4月1日現在において、市内に在住する満 18 歳以上の市民
- ③ 標 本 数：3,000 人（男女各 1,500 人）
- ④ 抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出
- ⑤ 調査方法：郵送による配布・回収及び Web による回答
- ⑥ 調査期間：令和7年5月1日（木）～令和7年5月30日（金）

3. 回収状況

- ① 配 布 数：3,000 人
- ② 有効回答数：1,204 人（郵送回答：712 人 Web 回答：492 人）
- ③ 回 収 率：40.1%

4. 調査の内容

- | | | |
|---------|-----------|------------|
| ①回答者の属性 | ②定住意向 | ③結婚・出産 |
| ④子育て | ⑤健康づくり | ⑥高齢化等の福祉 |
| ⑦生活環境 | ⑧地域コミュニティ | ⑨生涯学習やスポーツ |
| ⑩市政への参加 | ⑪SDGs の取組 | ⑫戸田市の取組 |

5. 報告書の見方

- ① 集計表の回答比率は小数第2位を四捨五入し、第1位まで表示しています。
従って合計が100.0%にならない場合があります。また、複数回答（選択肢からいくつでも選ぶ形式）の質問では回答比率が100.0%を超える場合があります。
- ② 本文図表及び集計表のnは回答者数を表しています。設問ごとに回答者数（n）を基数として比率を算出しています。
- ③ 本文図表においては、回答選択肢の表示は適宜語句を簡略化している場合があります。

6. 標本誤差

この調査は無作為抽出法により行ったものであるため、標本抽出にともなう標本誤差を数学的に計算することが可能です。以下に、信頼水準95%の場合の誤差算出式と早見表を掲載します。

$$\text{標本誤差} = 1.96 \sqrt{(N-n) / (N-1) \times P(1-P) / n}$$

N=母集団の数（戸田市の18歳以上人口119,654人、令和7年4月1日現在の住民基本台帳人口）

n=各設問の回答数 P=各回答の回答比率

回答比率 (%) 回答数(人)	10 (または90)	20 (または80)	30 (または70)	40 (または60)	50
1,204	±1.69	±2.25	±2.58	±2.75	±2.81
1,000	±1.85	±2.47	±2.83	±3.02	±3.08
500	±2.62	±3.49	±4.00	±4.27	±4.36
300	±3.38	±4.50	±5.16	±5.52	±5.63
200	±4.14	±5.52	±6.32	±6.76	±6.89
100	±5.85	±7.80	±8.94	±9.55	±9.75

〈この表の見方〉

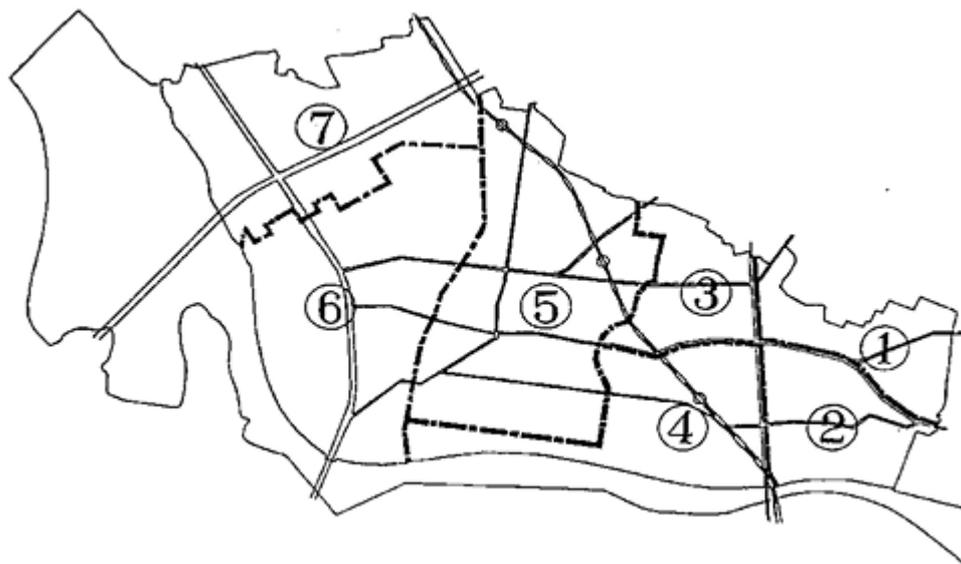
・例えば、問3で「戸田市に住んでいる理由」について、「ここで育ったから」と回答した方が21.9%（n=1,204）の場合、上表で値の近い「20（または80）」の欄の「1,204」の行をみると、標本誤差は±2.25%となります。したがって、本市の18歳以上の全市民に同じ質問をした場合、標本誤差を考慮すると、21.9%±2.25%（19.65%～24.15%）の人が「ここで育ったから」と回答する確率（信頼水準）が95%である、と見ることができます。

7. 地区区分

市内を次の7つの地区に区分して調査、集計、分析を行いました。

1. 下戸田1地区（喜沢1・2丁目、中町1丁目、下戸田1・2丁目）
2. 下戸田2地区（喜沢南1・2丁目、中町2丁目、下前1・2丁目、川岸1・2丁目）
3. 上戸田1地区（上戸田1～5丁目、大字上戸田）
4. 上戸田2地区（川岸3丁目、本町1～5丁目、南町、戸田公園）
5. 新曽地区（大字新曽、新曽南1～4丁目、氷川町1～3丁目、大字下笹目）
6. 笹目地区（笹目南町、笹目北町、早瀬1・2丁目、笹目1～8丁目）
7. 美女木地区（美女木1～8丁目、美女木東1・2丁目、美女木北1～3丁目）

注：戸田市オープンデータ・統計では、大字下笹目は笹目地区に入っていますが、他計画との整合のため、新曽地区に入れています。



Ⅱ. 調査結果の分析

1. 回答者の属性

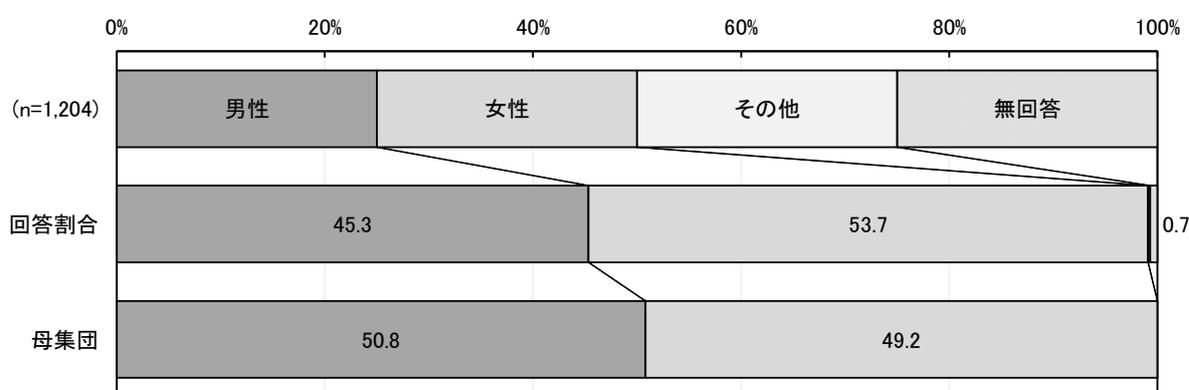
問1 あなた自身の状況について教えてください（○はそれぞれ1つだけ）

(1) 性別

調査対象母集団(令和7年4月1日現在の18歳以上の人口)の性別構成比は、男性が50.8%、女性が49.2%と、女性の割合が低くなっています。

今回の調査回答者1,204人の性別構成比では、男性が45.3%、女性が53.7%、その他が0.7%となり、女性の割合が高くなっています。

図表1 性別（全体）

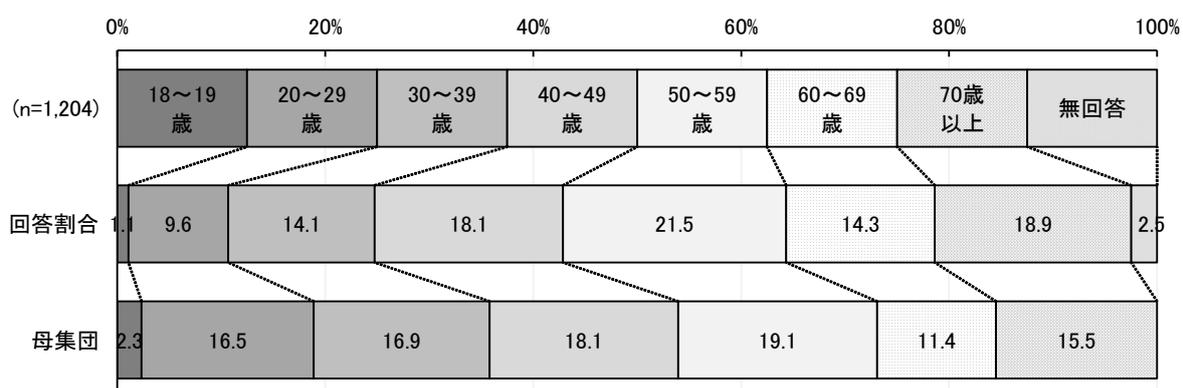


(2) 年齢

回答者の年齢構成では、50歳代が21.5%で最も高く、次いで70歳以上が18.9%、40歳代が18.1%となっています。

調査対象母集団の年齢構成では、50歳代が19.1%で最も高く、次いで40歳代が18.1%、30歳代が16.9%となっています。50歳代以上では母集団の割合よりも回答割合が高く、10歳代から30歳代では低くなっています。

図表2 年齢（全体）



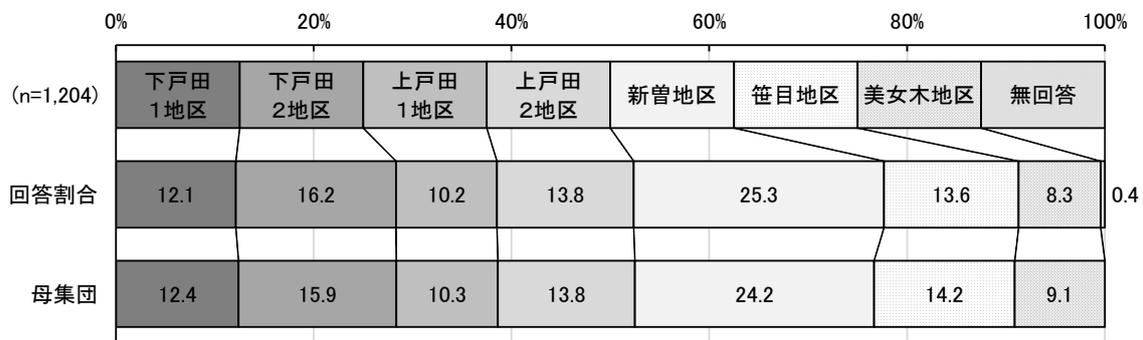
(3) 居住地区

居住地区別では、新曽地区が25.3%で最も高く、次いで下戸田2地区が16.2%、上戸田2地区が13.8%となっています。美女木地区が8.3%で最も低くなっています。

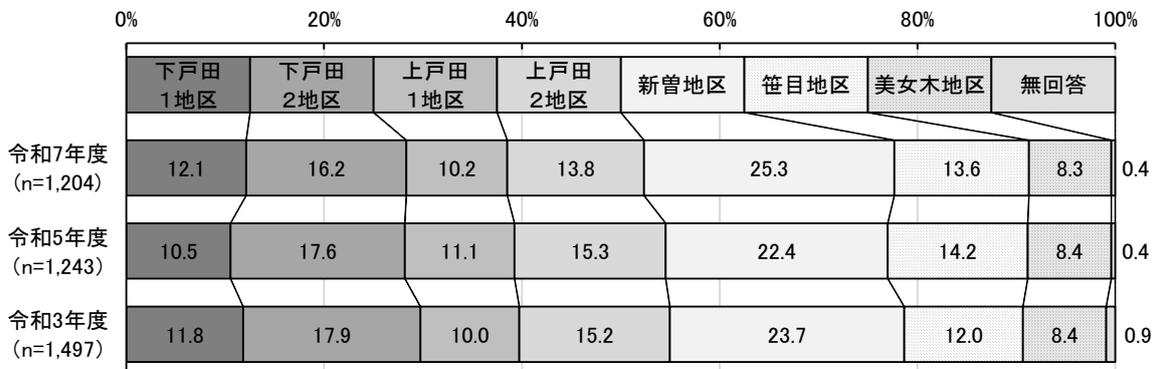
母集団の地区別構成比では、新曽地区が24.2%、下戸田2地区が15.9%、笹目地区が14.2%、上戸田2地区が13.8%、下戸田1地区が12.4%、上戸田1地区が10.3%となっており、地区別の割合と回答割合に大きな乖離はありません。

居住地区別年齢構成比では、下戸田1地区や2地区、笹目地区では70歳以上の割合が高く、下戸田1地区や上戸田2地区、新曽地区では20歳代が10%以上あり、上戸田1地区では30歳代で高くなっています。各地区ともに50歳代の割合は比較的高くなっています。

図表3 居住地区（全体）



図表4 居住地区（全体）



図表5 居住地区別年齢構成表（全体）

		18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答
全体(1,204)		1.1	9.6	14.1	18.1	21.5	14.3	18.9	2.5
居住地区別	下戸田1地区(146)	0.7	11.0	10.3	19.2	19.9	16.4	21.2	1.4
	下戸田2地区(195)	2.1	5.6	13.8	16.4	20.5	14.4	22.6	4.6
	上戸田1地区(123)	0.0	9.8	22.8	18.7	22.0	10.6	15.4	0.8
	上戸田2地区(166)	1.2	11.4	10.8	16.9	24.1	15.7	18.1	1.8
	新曽地区(305)	1.0	12.5	17.7	20.7	19.7	13.1	13.4	2.0
	笹目地区(164)	1.2	7.3	9.1	16.5	23.8	15.2	23.2	3.7
	美女木地区(100)	1.0	7.0	12.0	16.0	24.0	16.0	22.0	2.0

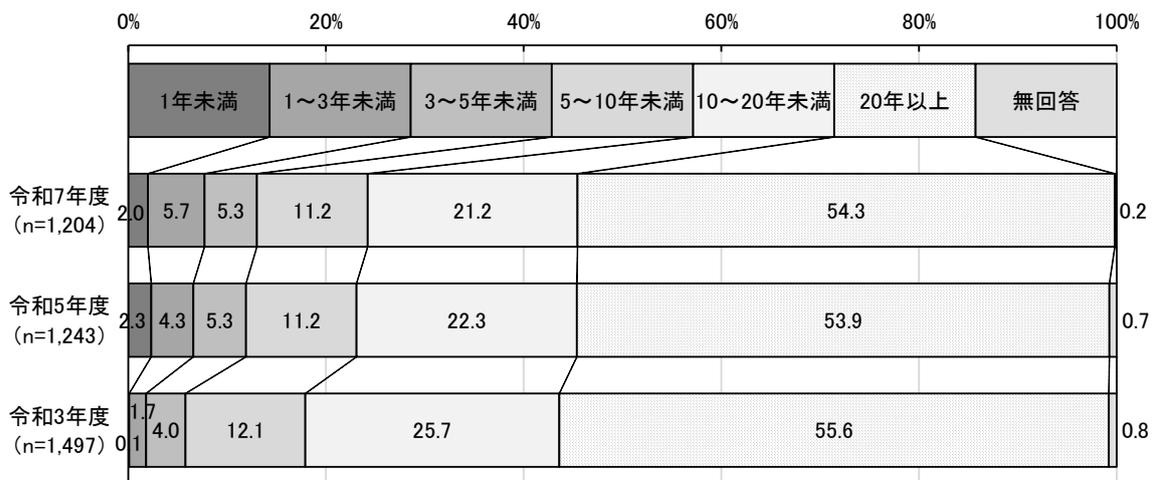
(4) 居住期間

居住期間では、「20年以上」が54.3%と半数以上を占めています。次いで「10～20年未満」が21.2%、「5～10年未満」が11.2%となっており、居住期間が長い人の割合が高くなっています。

これまでの推移をみると、居住期間5年未満の人の割合がやや増加傾向にあります。

地区別では、笹目地区や下戸田1地区で「20年以上」住んでいるとの割合が高く、上戸田地区や新曽地区では5年未満の割合が比較的高くなっています。

図表6 居住期間（全体）



図表7 居住期間（全体・居住地区別）

		1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～20年未満	20年以上	無回答
全体(1,204)		2.0	5.7	5.3	11.2	21.2	54.3	0.2
居住地区別	下戸田1地区(146)	1.4	4.8	2.7	10.3	19.2	61.6	0.0
	下戸田2地区(195)	0.5	4.1	4.1	13.3	21.5	55.9	0.5
	上戸田1地区(123)	3.3	7.3	8.9	10.6	25.2	44.7	0.0
	上戸田2地区(166)	2.4	7.2	5.4	11.4	16.9	56.0	0.6
	新曽地区(305)	2.3	8.5	7.2	11.8	26.6	43.6	0.0
	笹目地区(164)	1.2	1.8	3.7	11.0	13.4	68.9	0.0
	美女木地区(100)	4.0	4.0	4.0	8.0	23.0	57.0	0.0

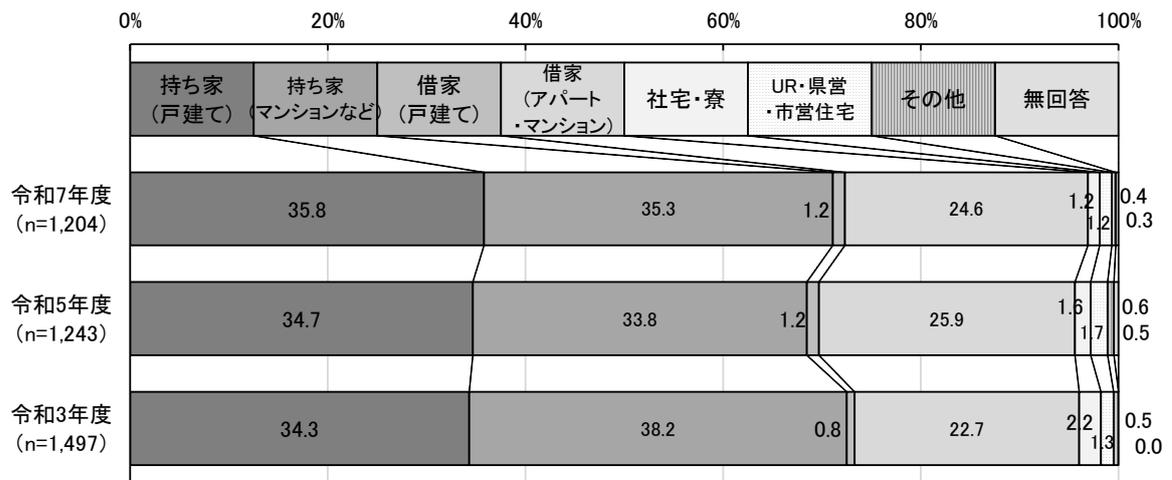
(5) 住宅の種類

住宅の種類では、「持ち家（戸建て）」が35.8%で最も高く、やや増加傾向にあります。次いで「持ち家（マンションなど）」が35.3%、「借家（アパート・マンション）」が24.6%となっています。

戸建てやマンションなどを合わせた「持ち家」の割合が71.1%となっています。

地区別では、下戸田1地区や笹目地区、美女木地区では「持ち家（戸建て）」の割合が高く、下戸田2地区や上戸田2地区では「持ち家（マンションなど）」の割合が高くなっています。

図表8 住宅の種類（全体）



図表9 住宅の種類（全体・居住地区別）

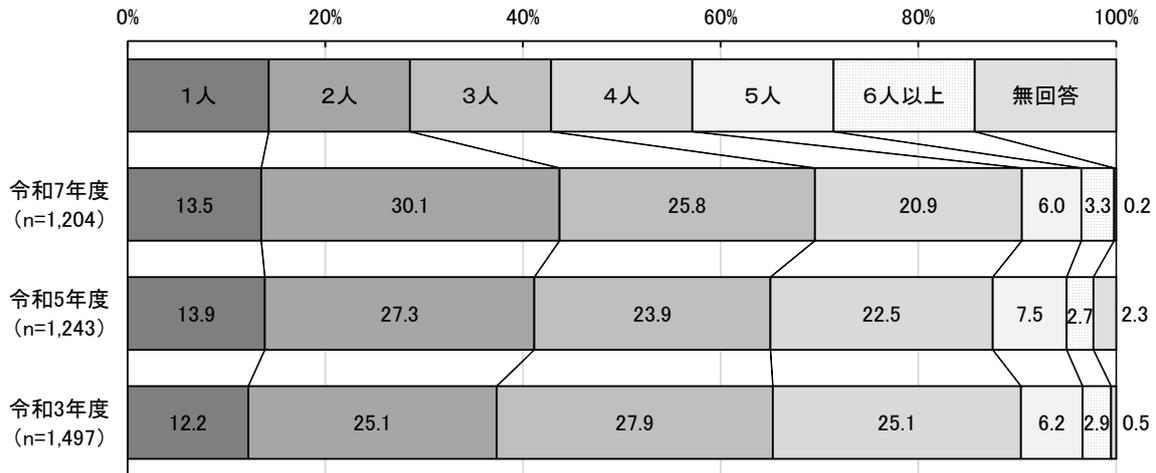
		持ち家(戸建て)	持ち家(マンションなど)	借家(戸建て)	借家(アパート・マンション)	社宅・寮	UR・県営・市営住宅	その他	無回答
全体(1,204)		35.8	35.3	1.2	24.6	1.2	1.2	0.4	0.3
居住地区別	下戸田1地区(146)	54.8	17.1	1.4	26.0	0.0	0.0	0.7	0.0
	下戸田2地区(195)	19.0	57.4	1.5	16.4	0.0	5.6	0.0	0.0
	上戸田1地区(123)	28.5	35.8	0.0	35.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	上戸田2地区(166)	23.5	45.2	1.2	28.3	1.8	0.0	0.0	0.0
	新曽地区(305)	27.9	38.4	0.0	31.1	2.3	0.0	0.3	0.0
	笹目地区(164)	59.1	15.2	3.7	15.9	1.2	2.4	1.2	1.2
	美女木地区(100)	57.0	25.0	1.0	13.0	2.0	0.0	1.0	1.0

(6) 同居家族の人数

同居する家族の人数では、「2人」が30.1%で最も高く、次いで「3人」が25.8%、「4人」が20.9%となっています。また、「1人」は13.5%となっています。

これまでの推移をみると、「2人」の割合が増加しています。

図表 10 同居家族の人数（全体）

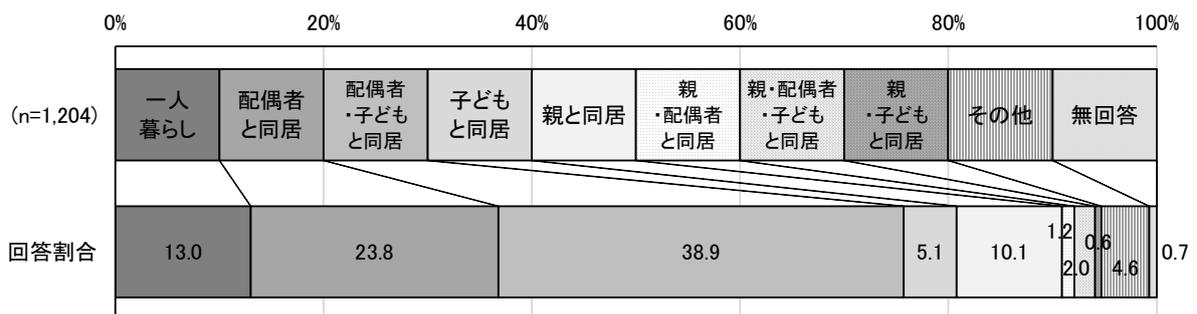


(7) 同居している家族構成

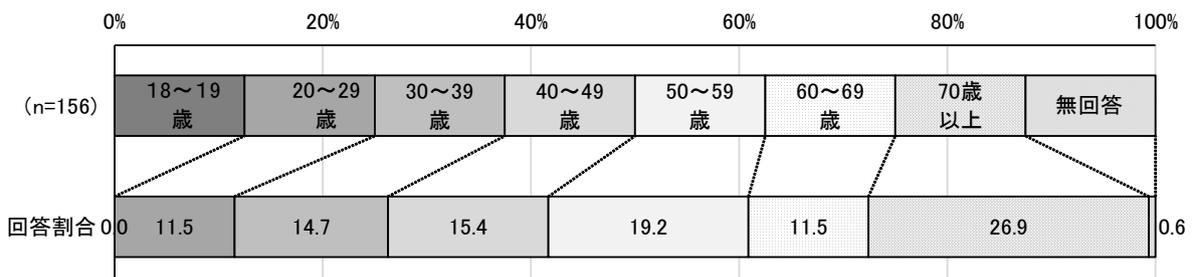
同居している家族構成では、「配偶者・子どもと同居」が38.9%で最も高く、次いで「配偶者と同居」が23.8%、「一人暮らし」が13.0%となっています。

「一人暮らし」と回答した人のうち、4人に1人（26.9%）は70歳以上となっています。

図表 11 同居している家族構成（全体）



図表 12 一人暮らしの年齢階層別割合

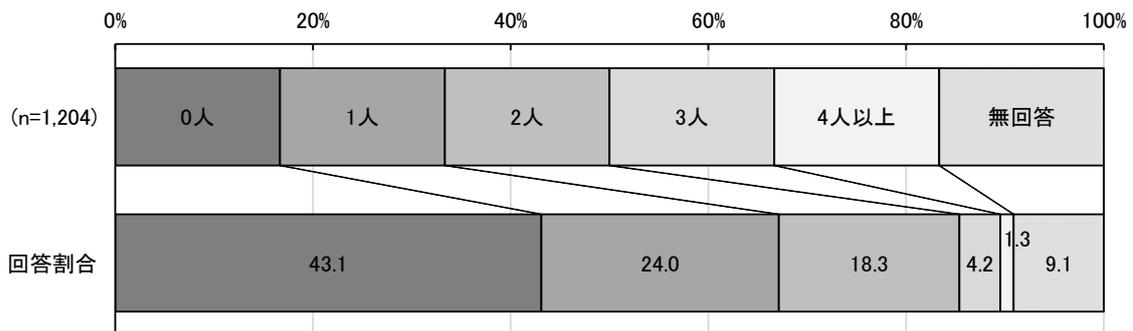


(8) 同居している子どもの人数と年齢

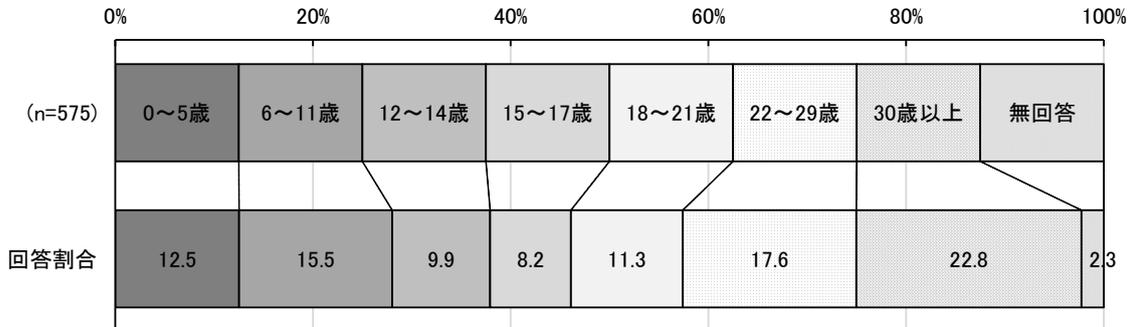
同居する子どもの人数では、「0人」が43.1%と最も高く、次いで「1人」が24.0%、「2人」が18.3%となっています。

上の子の年齢（子どもが1人の場合を含む）では、「30歳以上」が22.8%で最も高く、次いで「22～29歳」が17.6%、「6～11歳」が15.5%となっており、下の子の年齢では「0～5歳」が21.6%で最も高く、次いで「30歳以上」が19.3%、「6～11歳」が15.8%となっています。

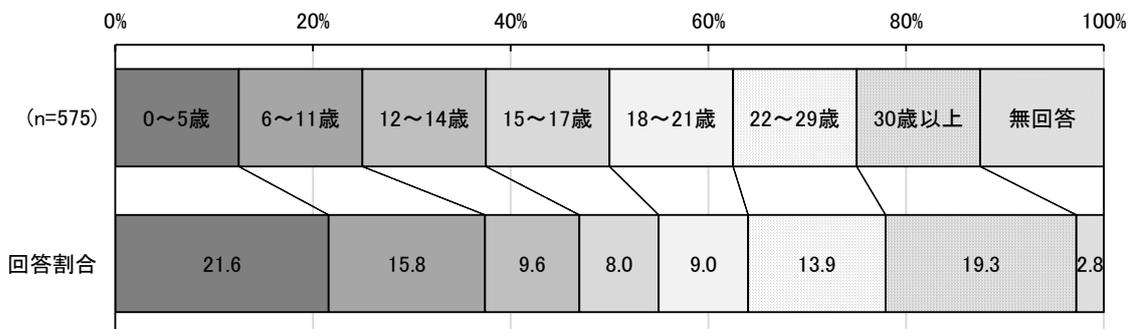
図表 13 同居している子どもの人数



図表 14 上の子の年齢



図表 15 下の子の年齢



※下の子の年齢には、子どもが1人と回答した場合の、上の子の年齢も含まれています。

図表 16 同居している子どもの人数と子どもの年齢

		上の子の年齢							
		0～5 歳	6～11 歳	12～14 歳	15～17 歳	18～21 歳	22～29 歳	30 歳以上	無回答
	全体(575)	12.5	15.5	9.9	8.2	11.3	17.6	22.8	2.3
子どもの数	1人(289)	16.6	10.4	7.6	6.2	9.0	17.3	30.4	2.4
	2人(220)	10.0	20.9	11.8	11.4	11.8	19.1	12.7	2.3
	3人(50)	2.0	24.0	18.0	4.0	18.0	12.0	20.0	2.0
	4人以上(16)	6.3	6.3	0.0	12.5	25.0	18.8	31.3	0.0

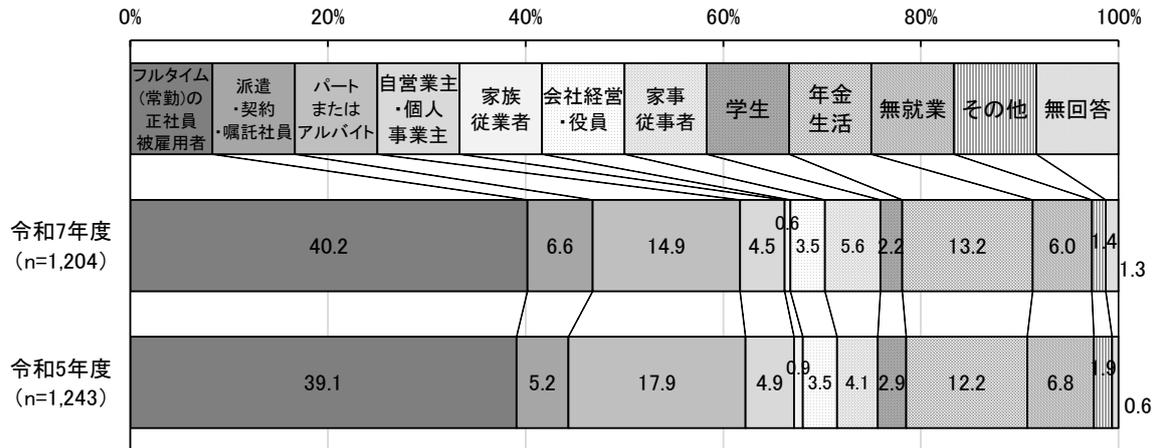
		下の子の年齢							
		0～5 歳	6～11 歳	12～14 歳	15～17 歳	18～21 歳	22～29 歳	30 歳以上	無回答
	全体(575)	21.6	15.8	9.6	8.0	9.0	13.9	19.3	2.8
子どもの数	1人(289)	—	—	—	—	—	—	—	—
	2人(220)	25.5	20.5	11.4	10.5	10.5	10.0	9.1	2.7
	3人(50)	32.0	20.0	12.0	8.0	2.0	14.0	6.0	6.0
	4人以上(16)	25.0	37.5	12.5	6.3	12.5	6.3	0.0	0.0

(9) 仕事の状況

仕事の状況では、「フルタイム（常勤）の正社員被雇用者」が40.2%で最も高く、次いで「パートまたはアルバイト」が14.9%、「年金生活者」が13.2%となっています。

「フルタイム（常勤）の正社員被雇用者」から「会社経営・役員」までの就労中の割合は70.3%でした。

図表 17 仕事の状況（全体）



性別では、男性の「フルタイム（常勤）の正社員被雇用者」が54.2%に対し、女性は28.5%であり、女性の「パートまたはアルバイト」が22.1%と男性の3倍以上となっています。

年齢階層別では、20歳代から50歳代で「フルタイム（常勤）の正社員被雇用者」が50%以上となっていますが、60歳代になると約20%に低下し、「派遣・契約・嘱託社員」や「年金生活」が増加します。

居住地区別では、下戸田2地区や笹目地区で「フルタイム（常勤）の正社員被雇用者」の割合がやや低く、笹目地区や美女木地区では「パートまたはアルバイト」や「年金生活」の割合がやや高くなっています。

図表 18 仕事の状況（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		フルタイム（常勤）の正社員被雇用者	派遣・契約・嘱託社員	パートまたはアルバイト	自営業主・個人事業主	家族従業者	会社経営・役員	家事従事者	学生	年金生活	無就業	その他	無回答
	全体(1,204)	40.2	6.6	14.9	4.5	0.6	3.5	5.6	2.2	13.2	6.0	1.4	1.3
性別	男性(546)	54.2	7.1	6.6	6.0	0.2	4.8	0.0	2.6	11.7	4.2	1.8	0.7
	女性(646)	28.5	6.2	22.1	2.9	0.9	2.3	10.5	2.0	14.2	7.4	1.1	1.7
	その他(3)	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
年齢別	18～19歳(13)	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	92.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳(115)	60.0	7.0	8.7	3.5	0.0	0.9	0.9	12.2	0.0	5.2	1.7	0.0
	30～39歳(170)	68.2	3.5	11.8	4.1	0.6	1.2	2.9	0.0	0.6	5.9	1.2	0.0
	40～49歳(218)	55.0	6.4	18.3	5.0	0.0	2.3	6.9	0.0	0.0	2.3	1.8	1.8
	50～59歳(259)	51.4	5.0	17.4	4.6	0.8	5.8	9.3	0.4	0.4	5.0	0.0	0.0
	60～69歳(172)	19.2	15.1	18.6	7.0	1.2	7.6	7.0	0.0	18.0	6.4	0.0	0.0
	70歳以上(227)	2.6	4.8	11.0	3.5	0.9	2.2	4.4	0.0	52.9	10.6	3.5	3.5
居住地区別	下戸田1地区(146)	41.1	8.2	15.1	5.5	0.0	2.1	4.1	1.4	16.4	3.4	1.4	1.4
	下戸田2地区(195)	35.9	6.2	10.8	5.1	1.5	3.1	6.7	3.6	13.8	7.2	3.6	2.6
	上戸田1地区(123)	44.7	8.9	14.6	3.3	1.6	2.4	4.1	2.4	8.1	6.5	3.3	0.0
	上戸田2地区(166)	42.2	5.4	9.6	4.2	0.6	6.0	8.4	2.4	13.3	6.0	0.6	1.2
	新曽地区(305)	43.6	8.2	16.7	4.9	0.3	3.3	4.9	2.3	8.9	6.2	0.7	0.0
	笹目地区(164)	34.8	3.7	18.3	3.0	0.0	4.9	6.1	1.2	17.7	7.3	0.6	2.4
	美女木地区(100)	37.0	4.0	21.0	5.0	0.0	2.0	5.0	2.0	18.0	4.0	0.0	2.0

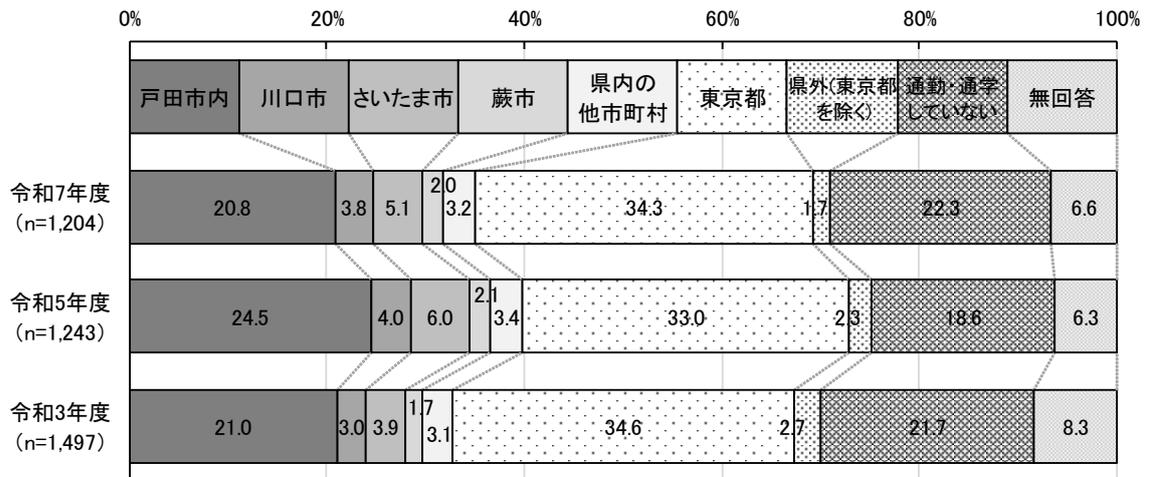
(10) 通勤・通学地

通勤・通学している人の通勤・通学地としては、「東京都」が34.3%で最も高く、次いで「通勤・通学していない」が22.3%、「戸田市内」が20.8%となっています。

近隣市（川口市、さいたま市、蕨市）の合計が10.9%となっています。

これまでの推移をみると、「通勤・通学していない」人の割合の変化の関係もありますが、「東京都」との割合は令和5年度に比べやや増加しているのに対し、「戸田市内」との割合は減少しています。ただ、令和3年度と比較するとあまり変化は見られません。

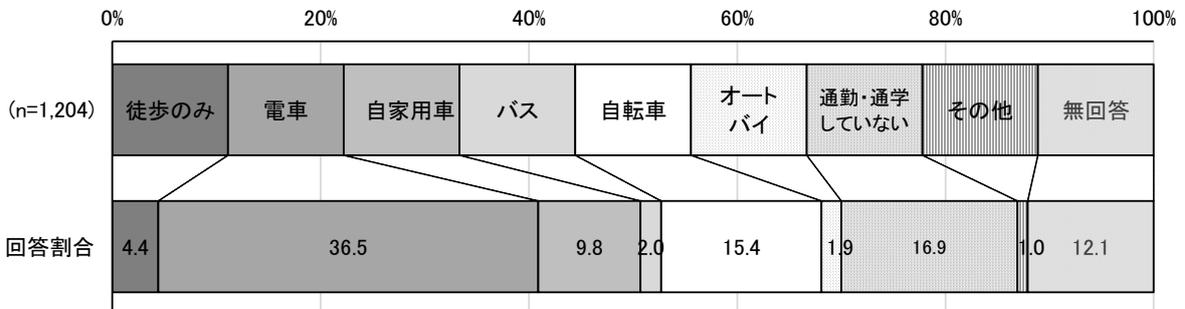
図表 19 通勤・通学地（全体）



(11) 通勤・通学の交通手段

主な通勤・通学手段としては、「電車」が36.5%で最も高く、次いで「自転車」が15.4%、「自家用車」が9.8%となっています。

図表 20 通勤・通学の交通手段（全体）



居住地区別では、笹目地区や美女木地区で「電車」の割合が低く、「自家用車」や「オートバイ」「自転車」の割合が高くなっています。

通勤・通学地別では、戸田市内では「徒歩」が17.5%と高く、さいたま市、県内の他市町村、東京都、県外（東京都を除く）地域では「電車」の割合が高くなっています。

また、戸田市内や蕨市内で「自転車」、川口市で「自家用車」や「バス」「オートバイ」の割合が高くなっています。

図表 21 通勤・通学の交通手段（全体・居住地区別・通勤通学地別）

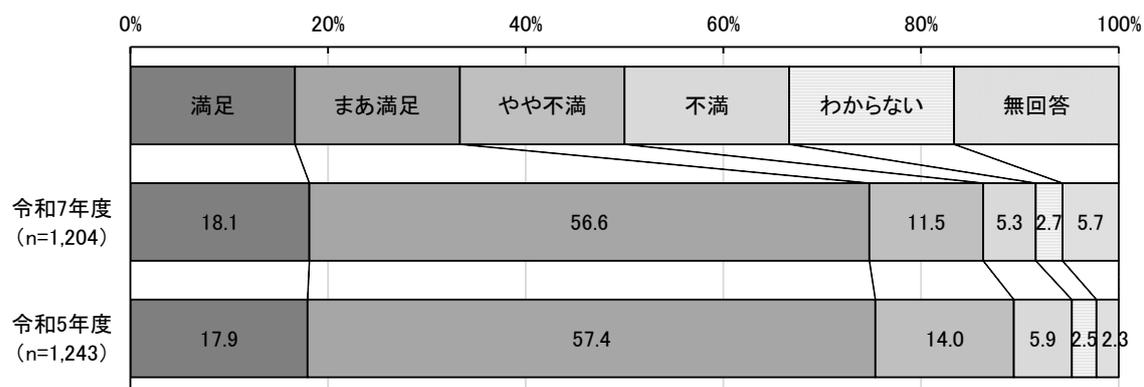
		徒歩のみ	電車	自家用車	バス	自転車	オートバイ	通勤・通学していない	その他	無回答
全体(1,204)		4.4	36.5	9.8	2.0	15.4	1.9	16.9	1.0	12.1
居住地区別	下戸田1地区(146)	6.2	39.0	5.5	2.1	14.4	1.4	15.1	0.7	15.8
	下戸田2地区(195)	2.6	36.4	9.2	3.1	12.3	1.0	20.0	1.0	14.4
	上戸田1地区(123)	0.8	46.3	9.8	1.6	14.6	0.0	16.3	1.6	8.9
	上戸田2地区(166)	4.8	48.8	5.4	0.6	8.4	1.2	18.7	0.0	12.0
	新曽地区(305)	4.6	40.0	8.9	1.3	17.4	1.3	15.7	0.7	10.2
	笹目地区(164)	8.5	15.2	15.9	4.3	21.3	6.7	17.1	2.4	8.5
	美女木地区(100)	2.0	25.0	18.0	1.0	20.0	2.0	14.0	1.0	17.0
通勤・通学地別	戸田市内(251)	17.5	2.8	15.1	3.2	47.8	2.8	5.2	2.0	3.6
	川口市(46)	0.0	8.7	43.5	10.9	17.4	13.0	0.0	2.2	4.3
	さいたま市(61)	0.0	45.9	19.7	0.0	18.0	6.6	0.0	0.0	9.8
	蕨市(24)	4.2	4.2	20.8	8.3	62.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	県内の他市町村(39)	0.0	48.7	28.2	2.6	0.0	5.1	0.0	2.6	12.8
	東京都(413)	0.5	87.4	2.7	1.0	1.9	0.7	0.2	1.0	4.6
	県外(東京都を除く)(21)	4.8	66.7	23.8	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0
	通勤・通学していない(269)	1.9	1.1	4.5	0.7	4.8	0.4	69.5	0.0	17.1

(12) 生活満足度

生活に対する満足度では、「満足」が18.1%、「まあ満足」が56.6%あり、合わせると74.7%の人が満足と回答しており、前回調査と大きな変化は見られませんでした。

「やや不満」と「不満」を合わせると16.8%で、前回調査よりやや減少しています。

図表 22 生活満足度（全体）



性別では生活の満足度に大きな差はなく、「満足」と「まあ満足」を合わせると、ともに70%以上となっています。

年齢別では、「満足」の割合は20歳代が27.8%で最も高く、次いで30歳代で20.6%となっています。一方で、60歳代が最も低く13.4%、次いで70歳以上の13.7%となっています。

30歳代までは、「満足」と「まあ満足」を合わせると80%以上と高くなっています。また、70歳以上では60%台と、年齢が上がると満足度は低くなる傾向があります。

居住地区別では、上戸田1地区、上戸田2地区では、「満足」と「まあ満足」を合わせると80%以上と高く、一方で、「不満」「やや不満」を合わせると、下戸田1地区が21.9%と最も高く、美女木地区が21.0%となっています。

図表 23 生活満足度（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		満足	まあ満足	やや不満	不満	わからない	無回答
全体(1,204)		18.1	56.6	11.5	5.3	2.7	5.7
性別	男性(546)	17.0	56.4	11.5	5.5	3.1	6.4
	女性(646)	19.2	57.1	11.3	5.0	2.5	5.0
	その他(3)	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0
年齢別	18～19歳(13)	15.4	69.2	7.7	0.0	7.7	0.0
	20～29歳(115)	27.8	54.8	8.7	6.1	1.7	0.9
	30～39歳(170)	20.6	60.0	12.4	3.5	1.8	1.8
	40～49歳(218)	19.7	56.4	10.6	6.9	1.8	4.6
	50～59歳(259)	18.5	59.8	8.9	3.5	1.9	7.3
	60～69歳(172)	13.4	58.7	10.5	7.0	3.5	7.0
	70歳以上(227)	13.7	51.1	15.9	5.7	4.4	9.3
居住地区別	下戸田1地区(146)	16.4	52.1	13.0	8.9	4.1	5.5
	下戸田2地区(195)	21.0	52.8	13.3	5.1	2.6	5.1
	上戸田1地区(123)	19.5	64.2	4.9	3.3	3.3	4.9
	上戸田2地区(166)	19.9	63.9	8.4	2.4	0.0	5.4
	新曽地区(305)	19.7	55.1	14.8	4.9	2.3	3.3
	笹目地区(164)	15.9	54.9	9.1	5.5	4.3	10.4
	美女木地区(100)	10.0	57.0	13.0	8.0	4.0	8.0

2. 定住意向について

(1) 戸田市に移転したきっかけ

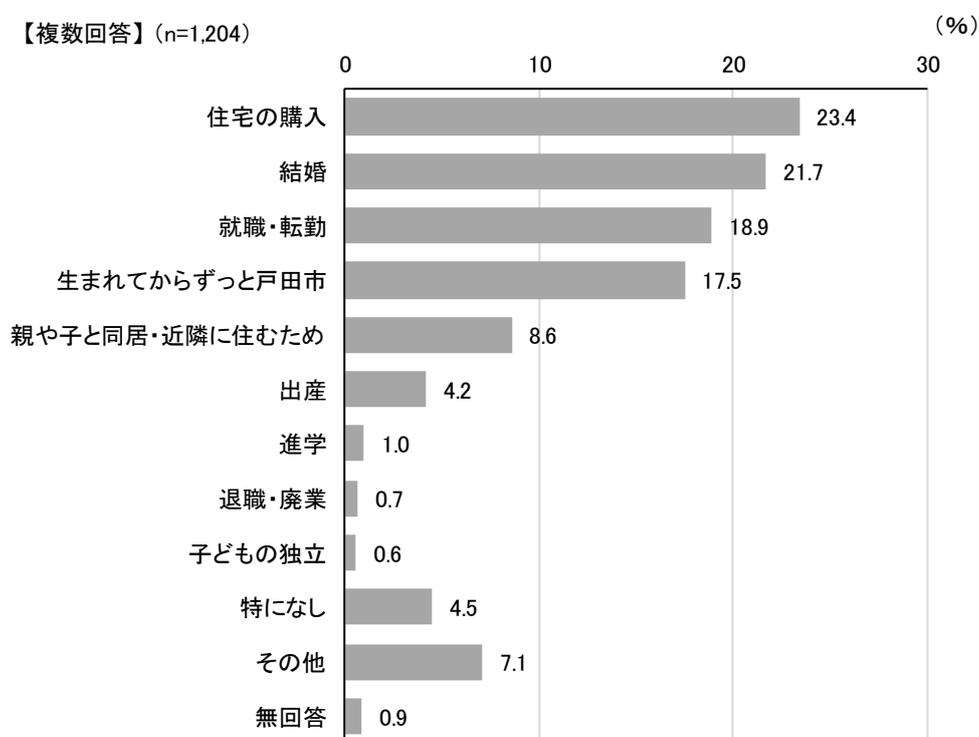
問2 あなたが直前に住んでいた市区町村から移転したきっかけは何ですか。
あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

【全体の回答傾向】

戸田市に移転したきっかけとしては、「住宅の購入」が23.4%で最も高く、次いで「結婚」が21.7%、「転職・転勤」が18.9%となっています。

「生まれてからずっと戸田市」の人が17.5%となっています。

図表 24 戸田市に移転したきっかけ (全体)



【属性別の回答傾向】

性別では、男性は「住宅の購入」が 26.9%で最も高く、次いで「就職・転勤」が 22.9%、女性では「結婚」が 24.9%、次いで「住宅の購入」が 20.6%となっています。

年齢別では、「就職・転勤」は 20 歳代から 40 歳代で高く、「結婚」は 30 歳代から 50 歳代、「出産」は 40 歳代で高くなっています。「住宅の購入」は 40 歳代から年齢が上がると高くなる傾向にあります。

居住地区別では、笹目地区や美女木地区では「生まれてからずっと戸田市」との割合が高くなっています。「就職・転勤」は上戸田 1 地区が 25.2%で最も高く、「住宅の購入」は下戸田 2 地区が 30.8%で最も高く、次いで美女木地区が 30.0%となっています。

図表 25 戸田市に移転したきっかけ（全体・性別・年齢別・居住地区別）

	戸田市 生まれてからずっと	進学	就職・ 転勤	結婚	出産	子ども の独立	退職・ 廃業	親や子 と同居・ 近隣 に住む ため	住宅の 購入	特になし	その他	無回答	
全体(1,204)	17.5	1.0	18.9	21.7	4.2	0.6	0.7	8.6	23.4	4.5	7.1	0.9	
性別	男性(546)	17.2	0.9	22.9	17.9	3.1	0.5	1.5	8.2	26.9	4.8	5.7	1.1
	女性(646)	18.0	1.1	15.5	24.9	5.3	0.6	0.2	8.7	20.6	4.0	8.4	0.6
	その他(3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
年齢別	18～19歳(13)	69.2	7.7	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0
	20～29歳(115)	33.0	2.6	24.3	15.7	1.7	0.9	0.0	10.4	3.5	7.0	8.7	0.0
	30～39歳(170)	17.6	1.8	25.9	27.1	7.6	0.0	0.0	7.6	14.1	4.1	5.9	0.6
	40～49歳(218)	12.8	0.9	23.4	25.2	11.0	0.0	1.4	5.0	22.5	2.8	6.4	0.5
	50～59歳(259)	17.4	1.2	15.8	22.8	2.7	0.4	0.0	9.3	25.1	3.5	6.6	0.4
	60～69歳(172)	19.8	0.0	15.7	19.2	0.6	0.6	1.2	11.0	32.6	3.5	6.4	0.0
	70歳以上(227)	10.6	0.0	14.1	18.5	0.9	1.8	1.3	9.7	33.5	7.9	8.8	2.2
居住地区別	下戸田1地区(146)	17.1	0.7	18.5	17.1	3.4	1.4	0.7	13.7	25.3	6.2	5.5	0.7
	下戸田2地区(195)	15.4	1.5	18.5	20.5	3.6	1.0	1.5	6.2	30.8	3.6	4.6	0.5
	上戸田1地区(123)	13.0	1.6	25.2	21.1	6.5	0.8	0.8	4.1	17.1	4.1	8.9	3.3
	上戸田2地区(166)	14.5	1.8	17.5	25.3	3.0	0.0	0.0	9.6	22.3	6.0	9.0	0.6
	新曽地区(305)	15.7	0.7	18.7	23.0	5.6	0.3	0.7	10.2	22.6	3.9	7.9	0.7
	笹目地区(164)	27.4	0.6	17.7	22.6	2.4	0.0	0.6	4.9	16.5	6.1	5.5	0.6
	美女木地区(100)	22.0	0.0	17.0	20.0	5.0	1.0	1.0	11.0	30.0	1.0	7.0	0.0

(2) 戸田市に住んでいる理由

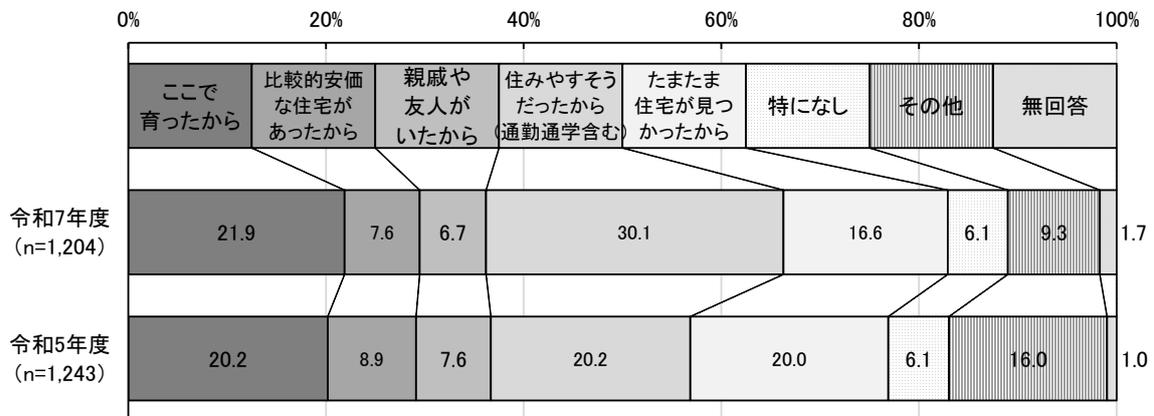
問3 あなたが戸田市に住んでいる理由を教えてください。(〇は1つ)

【全体の回答傾向】

戸田市に住んでいる理由としては、「住みやすそうだったから(通勤通学含む)」が30.1%と最も高く、次いで「ここで育ったから」が21.9%となっています。

前回調査に比べて、「住みやすそうだったから(通勤通学含む)」との割合が大きく増加しています。

図表26 戸田市に住んでいる理由(全体)



【属性別の回答傾向】

性別では、男女ともに「住みやすそうだったから（通勤通学含む）」の割合が最も高く、次いで「ここで育ったから」が高くなっています。

年齢別では、10歳代と20歳代では「ここで育ったから」の割合が最も高く、30歳代から60歳代では「住みやすそうだったから（通勤通学含む）」が最も高く、70歳以上では「たまたま住宅が見つかったから」が30.0%で最も高くなっています。

居住地区別では、下戸田1地区と笹目地区、美女木地区では「ここで育ったから」、下戸田2地区、上戸田1・2地区、新曽地区では「住みやすそうだったから（通勤通学含む）」の割合が最も高くなっています。

図表 27 戸田市に住んでいる理由（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		ここで育ったから	比較的安価な住宅があったから	親戚や友人がいたから	住みやすそうだったから (通勤通学含む)	たまたま住宅が見つかったから	特になし	その他	無回答
	全体(1,204)	21.9	7.6	6.7	30.1	16.6	6.1	9.3	1.7
性別	男性(546)	22.7	7.3	6.2	32.4	17.6	5.7	7.0	1.1
	女性(646)	21.4	8.0	7.1	28.3	15.6	6.2	11.3	2.0
	その他(3)	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
年齢別	18～19歳(13)	69.2	7.7	0.0	7.7	0.0	7.7	7.7	0.0
	20～29歳(115)	46.1	6.1	6.1	23.5	6.1	5.2	7.0	0.0
	30～39歳(170)	23.5	11.2	8.2	38.2	5.9	2.4	8.2	2.4
	40～49歳(218)	14.7	9.2	6.0	39.0	13.8	3.7	11.0	2.8
	50～59歳(259)	20.5	8.1	5.4	36.3	15.1	5.8	8.5	0.4
	60～69歳(172)	22.7	8.7	7.0	24.4	20.9	7.0	9.3	0.0
	70歳以上(227)	15.0	4.0	8.8	17.2	30.0	10.1	11.9	3.1
居住地区別	下戸田1地区(146)	25.3	7.5	10.3	23.3	21.9	6.2	4.8	0.7
	下戸田2地区(195)	19.5	9.2	6.2	31.8	21.5	3.6	7.2	1.0
	上戸田1地区(123)	17.9	8.9	6.5	37.4	12.2	5.7	8.9	2.4
	上戸田2地区(166)	18.7	4.2	7.2	35.5	18.7	4.8	9.6	1.2
	新曽地区(305)	17.7	7.9	4.9	41.0	11.8	3.9	11.5	1.3
	笹目地区(164)	31.1	3.7	7.3	16.5	11.0	12.8	14.0	3.7
	美女木地区(100)	29.0	15.0	7.0	8.0	26.0	9.0	6.0	0.0

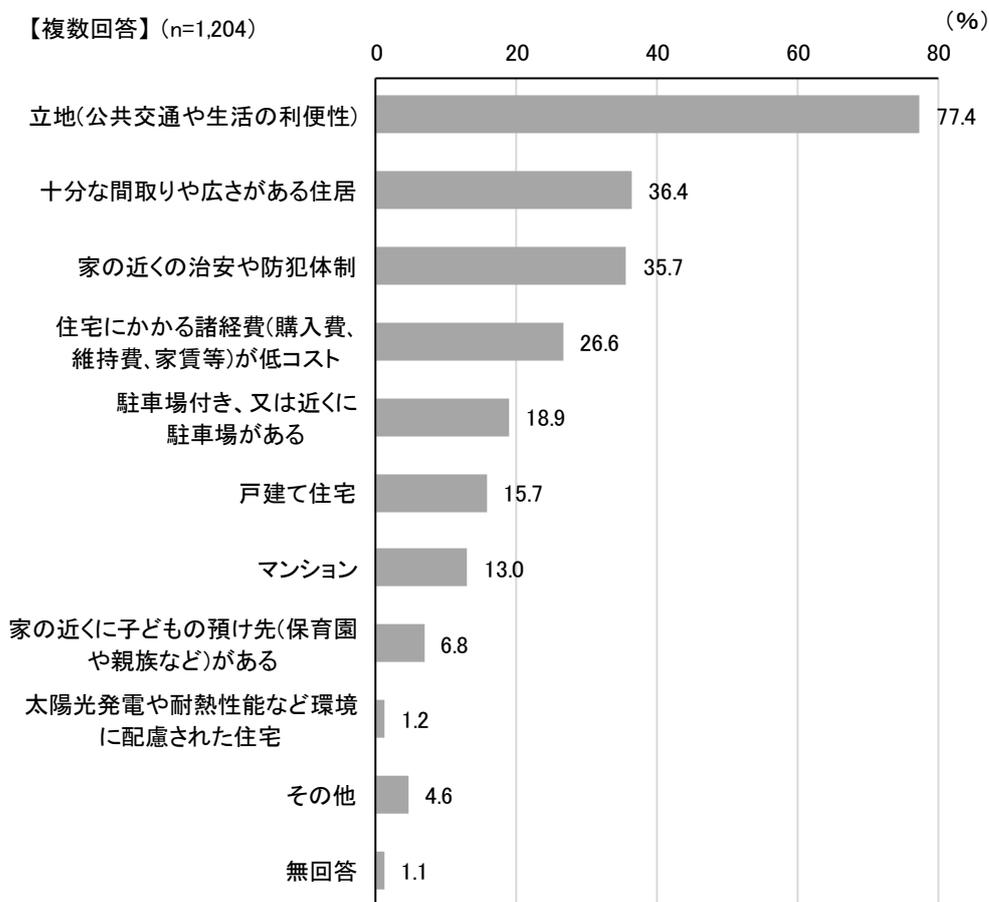
(3) 住まい選びで重要なこと

問4 あなたが住まいや住まい選びで重要としていることを教えてください。
(〇は3つまで)

【全体の回答傾向】

住まい選びで重要と考えることでは、「立地(公共交通や生活の利便性)」が77.4%で圧倒的に高く、次いで「十分な間取りや広さがある住居」が36.4%、「家の近くの治安や防犯体制」が35.7%となっています。

図表28 住まい選びで重要なこと(全体)



(4) 戸田市に住み続けたいか

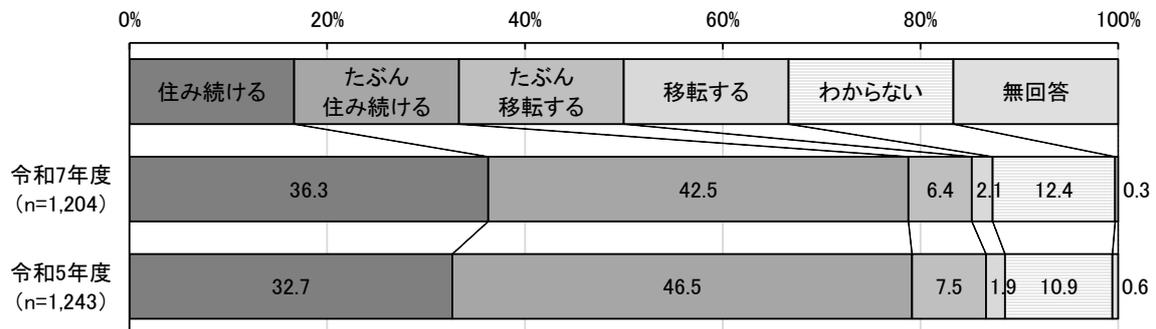
問5 あなたは、戸田市にこれからも住み続けますか。(〇は1つ)

【全体の回答傾向】

戸田市に住み続けたいかとの質問では、「住み続ける」が36.3%、「たぶん住み続ける」が42.5%で、合わせると78.8%の人が住み続けると回答しています。

前回調査に比べ、住み続けたいとの割合全体では大きな変化は見られませんでした。しかし、「住み続ける」との割合がやや増加しています。

図表 29 戸田市に住み続けたいか（全体）



【属性別の回答傾向】

性別では大きな差はなく、「住み続ける」と「たぶん住み続ける」を合わせると、8割弱の人が住み続けると回答しています。

年齢別では、20歳代で「住み続ける」が9.6%と極端に低く、「たぶん移転する」と「移転する」を合わせると33.0%の人が移転すると回答しています。

居住地区別では、どの地区も「住み続ける」と「たぶん住み続ける」を合わせると70%を超えています。一方で、上戸田1・2地区や美女木地区で「たぶん移転する」との割合がやや高くなっています。

図表 30 戸田市に住み続けたいか（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		住み続ける	たぶん 住み続ける	たぶん 移転する	移転する	わからない	無回答
全体(1,204)		36.3	42.5	6.4	2.1	12.4	0.3
性別	男性(546)	34.6	43.4	7.3	2.7	11.7	0.2
	女性(646)	38.1	41.8	5.6	1.5	12.7	0.3
	その他(3)	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0
年齢別	18～19歳(13)	15.4	30.8	15.4	7.7	30.8	0.0
	20～29歳(115)	9.6	39.1	25.2	7.8	18.3	0.0
	30～39歳(170)	28.8	45.3	7.6	2.4	15.3	0.6
	40～49歳(218)	34.9	46.3	4.6	2.8	11.5	0.0
	50～59歳(259)	30.5	49.0	5.8	1.2	13.5	0.0
	60～69歳(172)	39.0	46.5	2.3	0.6	11.6	0.0
	70歳以上(227)	63.4	28.6	1.3	0.0	6.2	0.4
居住地区別	下戸田1地区(146)	38.4	43.2	4.8	3.4	10.3	0.0
	下戸田2地区(195)	36.4	41.5	6.2	2.1	13.3	0.5
	上戸田1地区(123)	28.5	45.5	10.6	2.4	12.2	0.8
	上戸田2地区(166)	31.3	47.0	10.2	1.8	9.0	0.6
	新曽地区(305)	33.1	44.3	4.6	3.0	15.1	0.0
	笹目地区(164)	46.3	39.0	2.4	0.6	11.6	0.0
	美女木地区(100)	43.0	35.0	10.0	0.0	12.0	0.0

3. 結婚・出産について

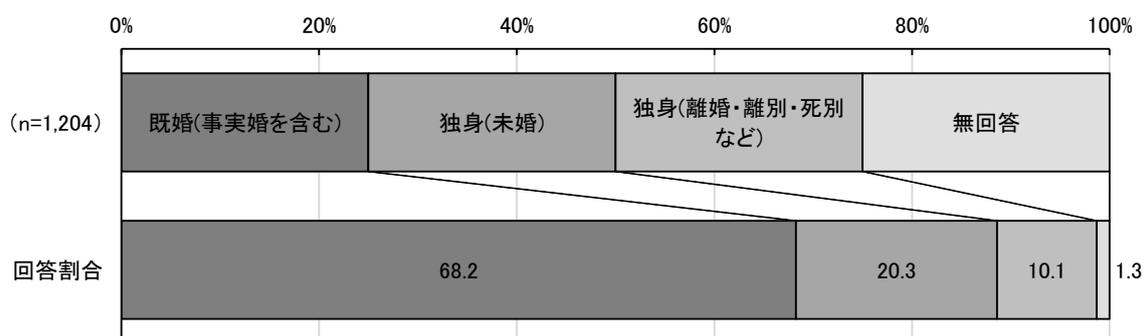
(1) 婚姻の状況

問6 あなたは、現在、結婚していますか。(〇は1つ)

【全体の回答傾向】

結婚しているかの質問では、68.2%の人が「既婚(事実婚を含む)」と回答しており、20.3%の人が「独身(未婚)」と回答しています。

図表 31 婚姻の状況(全体)



【属性別の回答傾向】

性別では、女性で「独身(離婚・離別・死別など)」の割合が男性よりも高くなっています。

年齢別では、20歳代で73.9%、30歳代でも29.4%の人が「独身(未婚)」と回答しています。また、70歳以上になると「独身(離婚・離別・死別など)」の割合が大きく増加します。

図表 32 婚姻の状況(全体・性別・年齢別)

		既婚 (事実婚を含む)	独身(未婚)	独身(離婚・離別・死別など)	無回答
全体(1,204)		68.2	20.3	10.1	1.3
性別	男性(546)	69.2	22.2	7.3	1.3
	女性(646)	67.6	18.6	12.4	1.4
	その他(3)	0.0	100.0	0.0	0.0
年齢別	18~19歳(13)	0.0	92.3	7.7	0.0
	20~29歳(115)	23.5	73.9	2.6	0.0
	30~39歳(170)	67.6	29.4	2.9	0.0
	40~49歳(218)	80.7	13.8	5.0	0.5
	50~59歳(259)	76.4	15.8	7.7	0.0
	60~69歳(172)	79.7	10.5	9.3	0.6
	70歳以上(227)	63.4	4.0	26.9	5.7

(2) 結婚の希望

問7 今後の結婚に関する希望を教えてください。(〇は1つ)

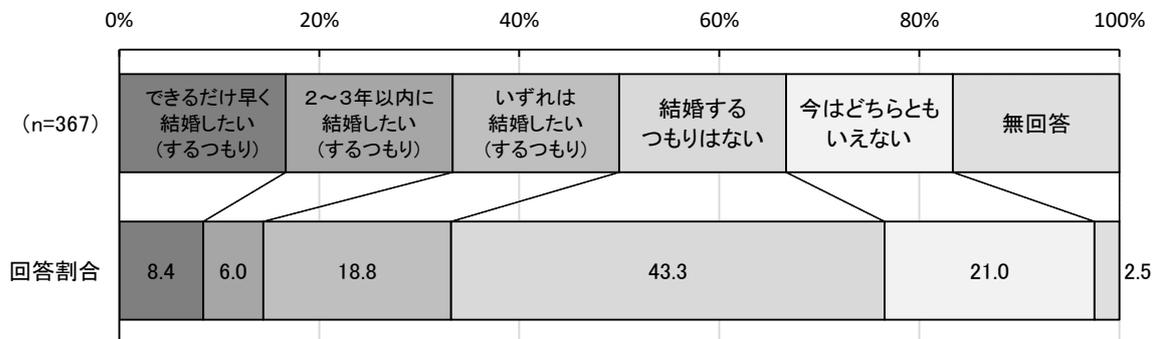
※問6で「2. 独身(未婚)」「3. 独身(離婚・離別・死別など)」と回答した方のみ

【全体の回答傾向】

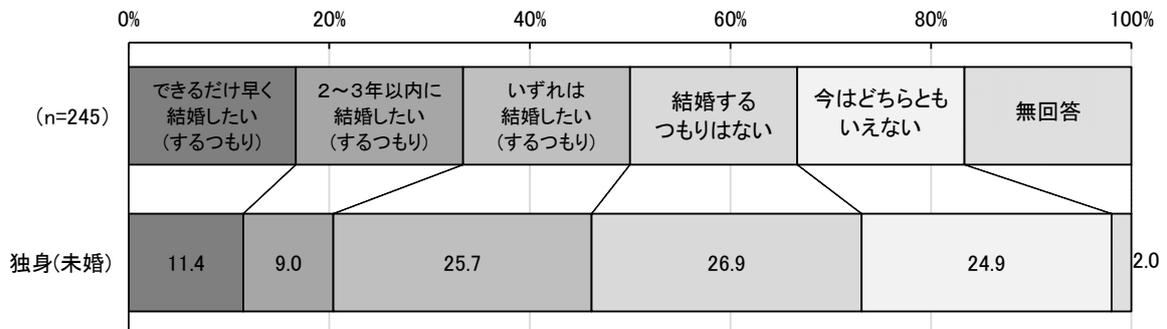
「独身(未婚)」または「独身(離婚・離別・死別など)」と回答した人の内、43.3%の人が「結婚するつもりはない」と回答しています。

「独身(未婚)」と回答した人でも、「結婚するつもりはない」が26.9%で最も高く、次いで「いずれは結婚したい(するつもり)」が25.7%となっており、「できるだけ早く結婚したい」「2～3年以内に結婚したい」を合わせると46.1%となっています。

図表 33 結婚の希望(全体)



図表 34 結婚の希望(独身未婚者)



【属性別の回答傾向】

「独身（未婚）」または「独身（離婚・離別・死別など）」と回答した人について、「できるだけ早く結婚したい」「2～3年以内に結婚したい」「いずれは結婚したい」を合わせると、20歳代で70.4%、30歳代で45.5%、40歳代で34.1%となっています。

「独身（未婚）」と回答した人のうち、40歳代までの人の回答を見ると、「できるだけ早く結婚したい」「2～3年以内に結婚したい」「いずれは結婚したい」を合わせると、20歳代で71.7%、30歳代で42.0%、40歳代で43.3%となっています。

図表 35 結婚の希望 [独身（未婚）または独身（離婚・離別・死別など）とした人]
(全体・性別・年齢別)

		できるだけ早く結婚したい (するつもり)	2～3年以内に結婚したい (するつもり)	いずれは結婚したい (するつもり)	結婚するつもりはない	今はどちらともいえない	無回答
性別	全体(367)	8.4	6.0	18.8	43.3	21.0	2.5
	男性(161)	9.3	7.5	23.0	39.1	19.3	1.9
	女性(200)	8.0	5.0	15.5	46.5	22.0	3.0
	その他(3)	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0
年齢別	18～19歳(13)	23.1	0.0	61.5	7.7	7.7	0.0
	20～29歳(88)	15.9	12.5	42.0	12.5	17.0	0.0
	30～39歳(55)	9.1	18.2	18.2	20.0	32.7	1.8
	40～49歳(41)	12.2	2.4	19.5	41.5	22.0	2.4
	50～59歳(61)	6.6	0.0	9.8	42.6	39.3	1.6
	60～69歳(34)	0.0	0.0	0.0	76.5	20.6	2.9
	70歳以上(70)	0.0	0.0	0.0	88.6	4.3	7.1

図表 36 結婚の希望 [独身（未婚）と回答した人] (全体・年齢別)

		できるだけ早く結婚したい (するつもり)	2～3年以内に結婚したい (するつもり)	いずれは結婚したい (するつもり)	結婚するつもりはない	今はどちらともいえない	無回答
全体(177)		13.6	12.4	33.3	17.5	22.0	1.1
年齢別	18～19歳(12)	25.0	0.0	58.3	8.3	8.3	0.0
	20～29歳(85)	15.3	12.9	43.5	10.6	17.6	0.0
	30～39歳(50)	6.0	20.0	16.0	22.0	34.0	2.0
	40～49歳(30)	16.7	3.3	23.3	33.3	20.0	3.3

(3) 結婚していない理由

問8 結婚していない理由を教えてください。(〇は1つ)

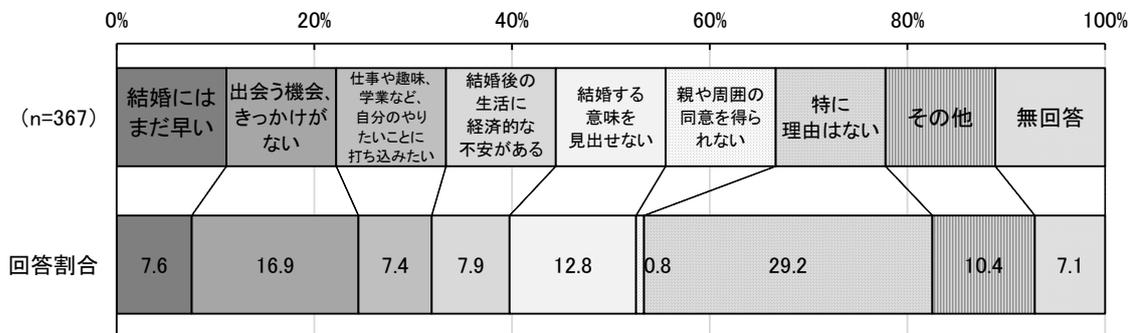
※問6で「2. 独身(未婚)」「3. 独身(離婚・離別・死別など)」と回答した方のみ

【全体の回答傾向】

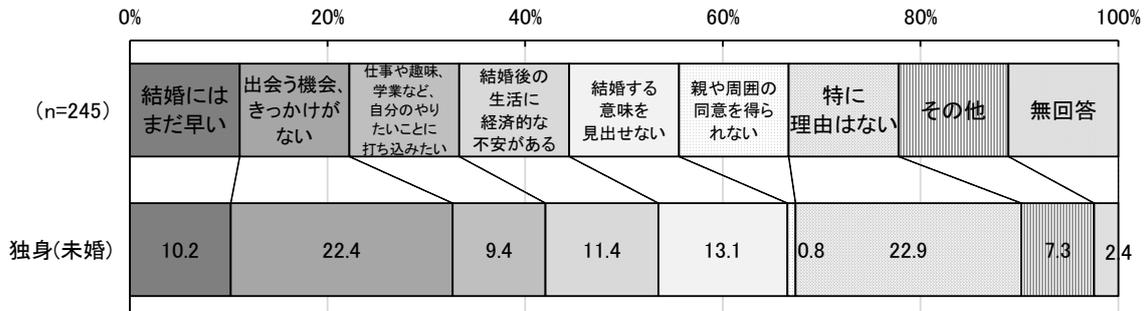
結婚していない理由としては、「特に理由はない」が29.2%で最も高く、次いで「出会う機会、きっかけがない」が16.9%、「結婚する意味を見出せない」が12.8%となっています。

「独身(未婚)」と回答した人でも、「特に理由はない」が22.9%で最も高く、次いで「出会う機会、きっかけがない」が22.4%、「結婚する意味を見出せない」が13.1%となっています。

図表 37 結婚していない理由(全体)



図表 38 結婚していない理由(独身未婚者)



【属性別の回答傾向】

性別では、男女ともに「特に理由はない」との割合が最も高く、男性では「出会う機会、きっかけがない」が20.5%、女性では「結婚する意味を見出せない」が16.5%と続いています。

年齢別では、20歳代では「出会う機会、きっかけがない」が25.0%で最も高く、次いで「結婚にはまだ早い」が21.6%となっています。

30歳代では「結婚する意味を見出せない」が27.3%と最も高く、次いで「出会う機会、きっかけがない」が25.5%となっています。

40歳代では「結婚する意味を見出せない」と「特に理由はない」が22.0%で最も高くなっています。

図表 39 結婚していない理由（全体・性別・年齢別）

		結婚にはまだ早い	出会う機会、きっかけがない	仕事や趣味、学業など、自分のやりたいことに打ち込みたい	結婚後の生活に経済的な不安がある	結婚する意味を見出せない	親や周囲の同意を得られない	特に理由はない	その他	無回答
	全体(367)	7.6	16.9	7.4	7.9	12.8	0.8	29.2	10.4	7.1
性別	男性(161)	7.5	20.5	6.2	13.7	8.1	0.0	31.1	8.1	5.0
	女性(200)	8.0	14.0	8.5	3.5	16.5	1.5	27.5	12.0	8.5
	その他(3)	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0
年齢別	18～19歳(13)	46.2	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0	23.1	7.7	0.0
	20～29歳(88)	21.6	25.0	13.6	10.2	9.1	0.0	12.5	6.8	1.1
	30～39歳(55)	3.6	25.5	9.1	10.9	27.3	1.8	14.5	3.6	3.6
	40～49歳(41)	2.4	19.5	9.8	12.2	22.0	0.0	22.0	12.2	0.0
	50～59歳(61)	0.0	19.7	3.3	11.5	8.2	3.3	42.6	4.9	6.6
	60～69歳(34)	0.0	2.9	2.9	2.9	8.8	0.0	58.8	20.6	2.9
	70歳以上(70)	0.0	2.9	2.9	1.4	8.6	0.0	41.4	20.0	22.9

(4) 子どもが欲しいか

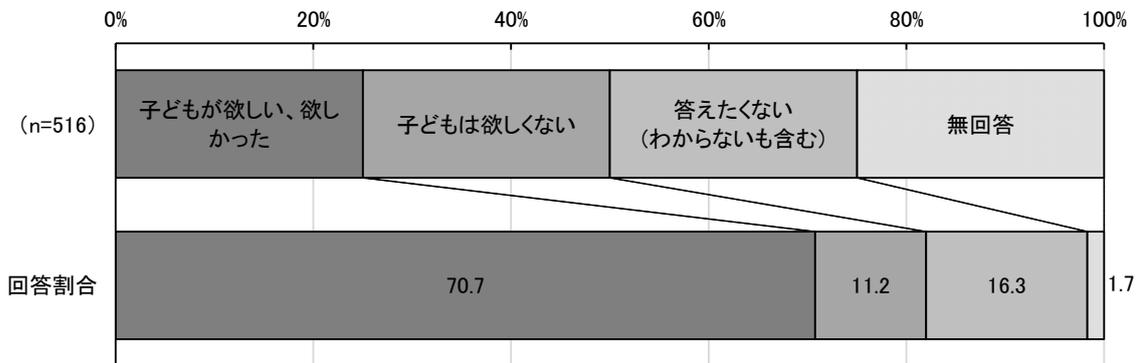
問9 あなたは子どもが欲しいと考えていますか。また、欲しいと考えていましたか。
(〇は1つ)

問1(2)年齢で「18歳～49歳」と回答された方

【全体の回答傾向】

18歳から49歳と回答した人のうち、70.7%の人が「子どもが欲しい、欲しかった」と回答しています。

図表40 子どもが欲しいか（全体）



【属性別の回答傾向】

性別では、女性は男性に比べて「子どもが欲しい、欲しかった」と回答した割合が高くなっています。

年齢階層別では、「子どもが欲しい、欲しかった」と回答した割合が18～19歳よりも20歳代の方が低くなるものの、その後は年代が上がるにつれて割合が高くなっています。

図表41 子どもが欲しいか（全体・性別・年齢別）

		子どもが欲しい、 欲しかった	子どもは欲しくない	答えたくない (わからないも含む)	無回答
	全体(516)	70.7	11.2	16.3	1.7
性別	男性(224)	68.3	11.2	19.2	1.3
	女性(289)	73.4	11.1	13.5	2.1
	その他(2)	0.0	50.0	50.0	0.0
年齢別	18～19歳(13)	76.9	0.0	23.1	0.0
	20～29歳(115)	63.5	13.0	23.5	0.0
	30～39歳(170)	69.4	12.4	17.1	1.2
	40～49歳(218)	75.2	10.1	11.5	3.2

(5) 理想的な子どもの人数

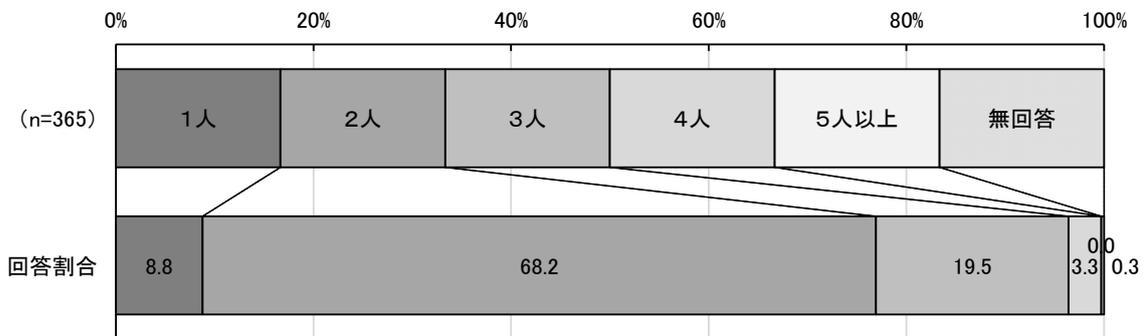
問 10 あなたにとって、理想的な子どもの人数を教えてください。
 (現在いる子どもの人数を含む) (〇は1つ)
 ※問 9 で「1. 子どもが欲しい、欲しかった」と回答した方のみ

問 1(2)年齢で「18歳～49歳」と回答された方

【全体の回答傾向】

「子どもが欲しい、欲しかった」と回答した人に対する、理想的な子どもの数に対する質問では、「2人」が68.2%と最も高く、次いで「3人」が19.5%となっています。

図表 42 理想的な子どもの人数 (全体)



【属性別の回答傾向】

性別では、女性は男性に比べて「2人」と回答した割合が高くなっています。一方で、「1人」、「3人」と回答した割合は、男性が高くなっています。

年齢別では10歳代では「1人」の回答はなく、「2人」と回答した割合が高くなっています。また、20歳代に比べ30歳代、40歳代で「3人」と回答した割合が高くなっています。

図表 43 理想的な子どもの人数 (全体・性別・年齢別)

		1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
性別	全体(365)	8.8	68.2	19.5	3.3	0.0	0.3
	男性(153)	13.1	62.1	22.2	2.6	0.0	0.0
	女性(212)	5.7	72.6	17.5	3.8	0.0	0.5
	その他(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	18～19歳(10)	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳(73)	9.6	76.7	11.0	2.7	0.0	0.0
	30～39歳(118)	9.3	63.6	22.9	4.2	0.0	0.0
	40～49歳(164)	8.5	67.1	20.7	3.0	0.0	0.6

(6) 子どもが欲しくない理由

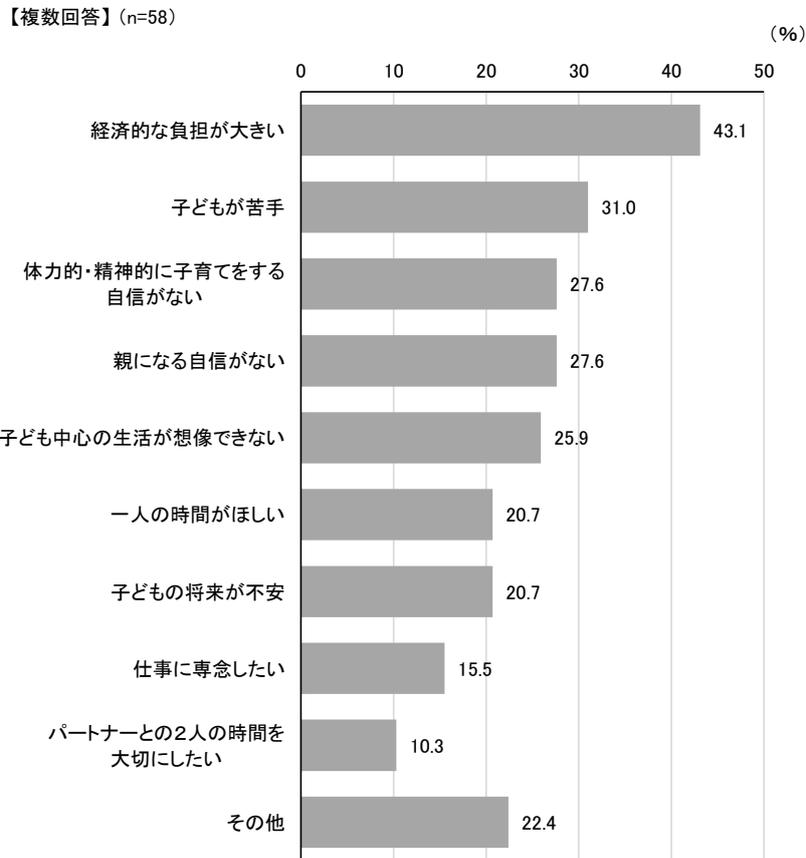
問 11 子どもが欲しくない理由を教えてください。(〇は3つまで)
※問9で「2. 子どもは欲しくない」と回答した方のみ

問 1(2)年齢で「18歳～49歳」と回答された方

【全体の回答傾向】

「子どもは欲しくない」と回答した人の理由としては、「経済的な負担が大きい」が最も高く43.1%、次いで「子どもが苦手」が31.0%、「体力的・精神的に子育てをする自信がない」と「親になる自信がない」がともに27.6%となっています。

図表 44 子どもが欲しくない理由（全体）



【属性別の回答傾向】

性別では、男性は「経済的な負担が大きい」が56.0%と半数を超え、次いで「子どもが苦手」が32.0%となっています。

女性では「子ども中心の生活が想像できない」が37.5%で最も高く、次いで「経済的な負担が大きい」と「体力的・精神的に子育てをする自信がない」が34.4%となっています。

年齢別では、「経済的な負担が大きい」との割合が最も高く、20歳代では53.3%と半数を超え、次いで「子どもが苦手」と「親になる自信がない」が40.0%となっています。また、30歳代では「経済的な負担が大きい」が38.1%と最も高く、次いで「子どもが苦手」や「子ども中心の生活が想像できない」の割合が高くなっています。

図表 45 子どもが欲しくない理由（全体・性別・年齢別）

		経済的な負担が大きい	子どもが苦手	パートナーとの2人の時間を大切にしたい	体力的・精神的に子育てをする自信がない	親になる自信がない	子ども中心の生活が想像できない	一人の時間がほしい	仕事に専念したい	子どもの将来が不安	その他	無回答
	全体(58)	43.1	31.0	10.3	27.6	27.6	25.9	20.7	15.5	20.7	22.4	0.0
性別	男性(25)	56.0	32.0	16.0	20.0	28.0	12.0	20.0	8.0	24.0	28.0	0.0
	女性(32)	34.4	28.1	6.3	34.4	28.1	37.5	21.9	18.8	18.8	18.8	0.0
	その他(1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	18～19歳(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳(15)	53.3	40.0	20.0	33.3	40.0	33.3	26.7	13.3	20.0	20.0	0.0
	30～39歳(21)	38.1	28.6	9.5	23.8	19.0	28.6	19.0	23.8	19.0	14.3	0.0
	40～49歳(22)	40.9	27.3	4.5	27.3	27.3	18.2	18.2	9.1	22.7	31.8	0.0

4. 子育てについて

(1) 子育てのしやすさ

問 12 あなたは、戸田市は子育てしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

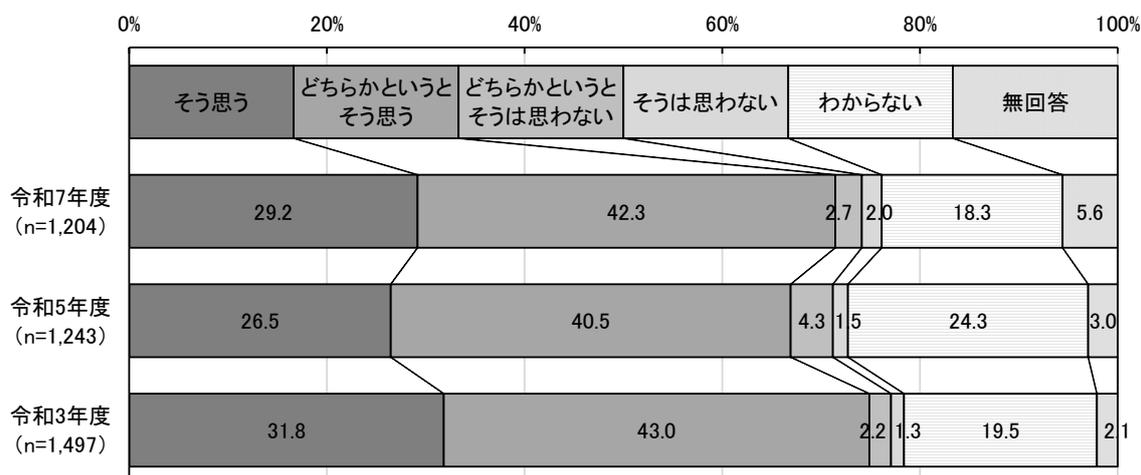
【全体の回答傾向】

戸田市は子育てがしやすいまちかとの質問では、「そう思う」が29.2%、「どちらかというそう思う」が42.3%となっており、合わせると71.5%の人が「子育てがしやすい」と回答しています。

令和5年度調査よりも肯定的な意見が増え、70%を超えましたが、令和3年度調査よりはやや低くなっています。

「どちらかというそうは思わない」と「そうは思わない」を合わせると4.7%でした。

図表 46 子育てのしやすさ (全体)



【属性別の回答傾向】

性別では、「そう思う」と「どちらかというそう思う」を合わせると、男女ともに70%を超えています。

年齢別では、10歳代で「そう思う」の割合が高く、30歳代や40歳代で「そう思う」や「どちらかというそう思う」の割合がやや高く、70歳以上ではやや低くなっています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかというそう思う」を合わせると、新曽地区で75.1%と最も高く、次いで下戸田2地区で73.3%、上戸田1地区72.3%となっています。一方で下戸田1地区では65.7%と最も低く、次いで美女木地区では66.0%となっています。

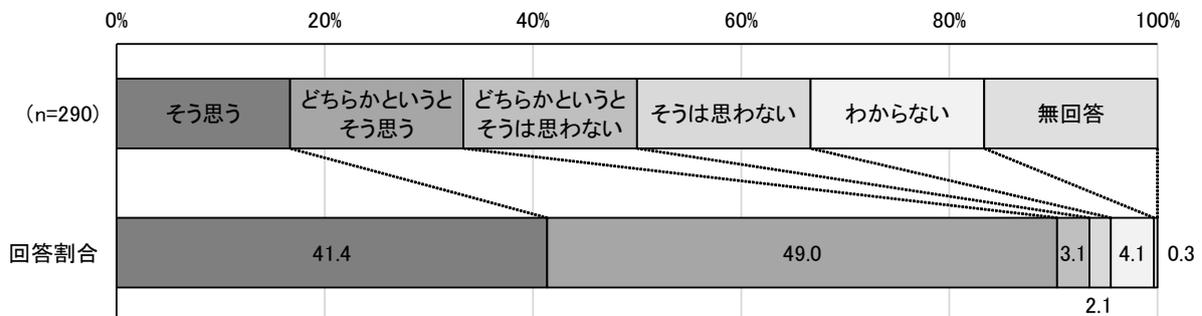
図表 47 子育てのしやすさ（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		そう思う	どちらかという とそう 思う	どちらか という とそう は思わない	そうは思わ ない	わからない	無回答
全体(1,204)		29.2	42.3	2.7	2.0	18.3	5.6
性別	男性(546)	27.3	43.8	3.8	2.2	18.9	4.0
	女性(646)	31.0	41.2	1.7	1.5	17.8	6.8
	その他(3)	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0
年齢別	18～19歳(13)	46.2	30.8	7.7	0.0	15.4	0.0
	20～29歳(115)	29.6	41.7	3.5	1.7	23.5	0.0
	30～39歳(170)	32.9	47.1	4.1	1.2	14.7	0.0
	40～49歳(218)	32.1	46.8	1.4	3.2	15.1	1.4
	50～59歳(259)	28.2	47.5	2.7	2.3	18.1	1.2
	60～69歳(172)	27.9	44.8	3.5	1.2	18.6	4.1
	70歳以上(227)	25.1	29.5	1.8	1.3	20.3	22.0
居住地区別	下戸田1地区(146)	21.9	43.8	2.7	2.1	24.0	5.5
	下戸田2地区(195)	35.9	37.4	2.6	2.1	15.9	6.2
	上戸田1地区(123)	27.6	44.7	4.1	0.0	18.7	4.9
	上戸田2地区(166)	30.7	41.0	1.8	2.4	18.7	5.4
	新曽地区(305)	28.5	46.6	2.3	1.6	17.0	3.9
	笹目地区(164)	31.7	39.0	3.0	3.0	14.6	8.5
	美女木地区(100)	24.0	42.0	3.0	3.0	22.0	6.0

【現役の子育て世代の回答傾向】

「子育てのしやすさ」を、現役の子育て世代（一番下の子の年齢が15歳以下）に聞いたところ、「そう思う」が41.4%、「どちらかというと思う」が49.0%となっており、合わせると90.4%の人が「子育てがしやすい」と回答しています。

図表 48 子育てのしやすさ（末子年齢が15歳以下の層）



(2) 子育てに関する満足度

問 13 あなたは、戸田市に住んでいて、子育てに関する以下のことに、どの程度満足していますか。(項目ごとに〇は1つ)

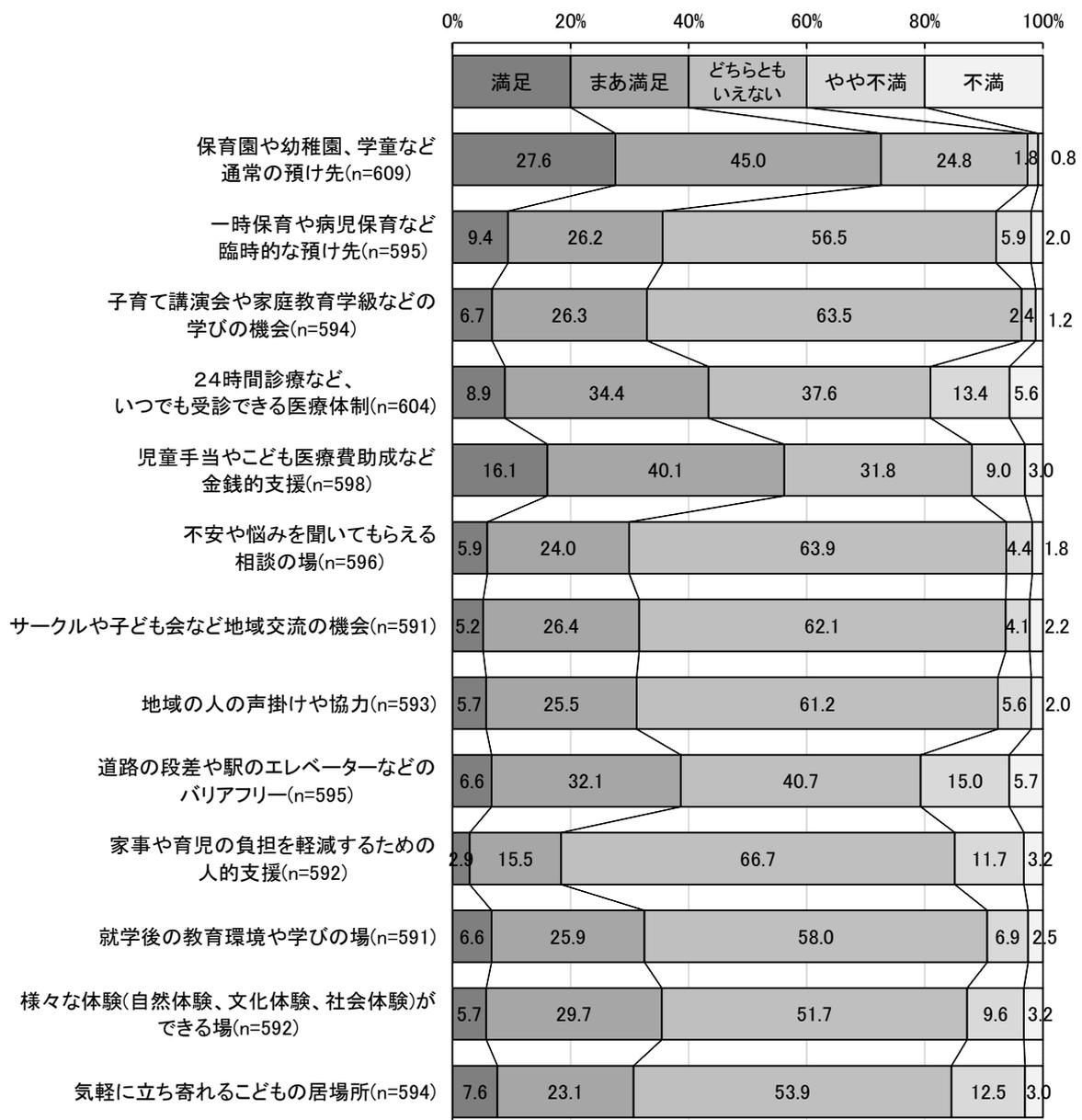
※お子さんがいらっしゃる方は、問 14 へお進みください。

【全体の回答傾向】(回答者のみの割合)

子育てについて、「満足」と「まあ満足」を合わせた割合が最も高いのは、「保育園や幼稚園、学童など通常の預け先」が72.6%、次いで「児童手当や子ども医療費助成など金銭的支援」が56.2%と肯定的な意見が半数を超えています。

全体的に「どちらともいえない」との割合が高く、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が最も高いのは「道路の段差や駅のエレベーターなどのバリアフリー」が20.7%、次いで「24時間診療など、いつでも受診できる医療体制」が19.0%となっています。

図表 49 子育てに関する満足度 (全体)

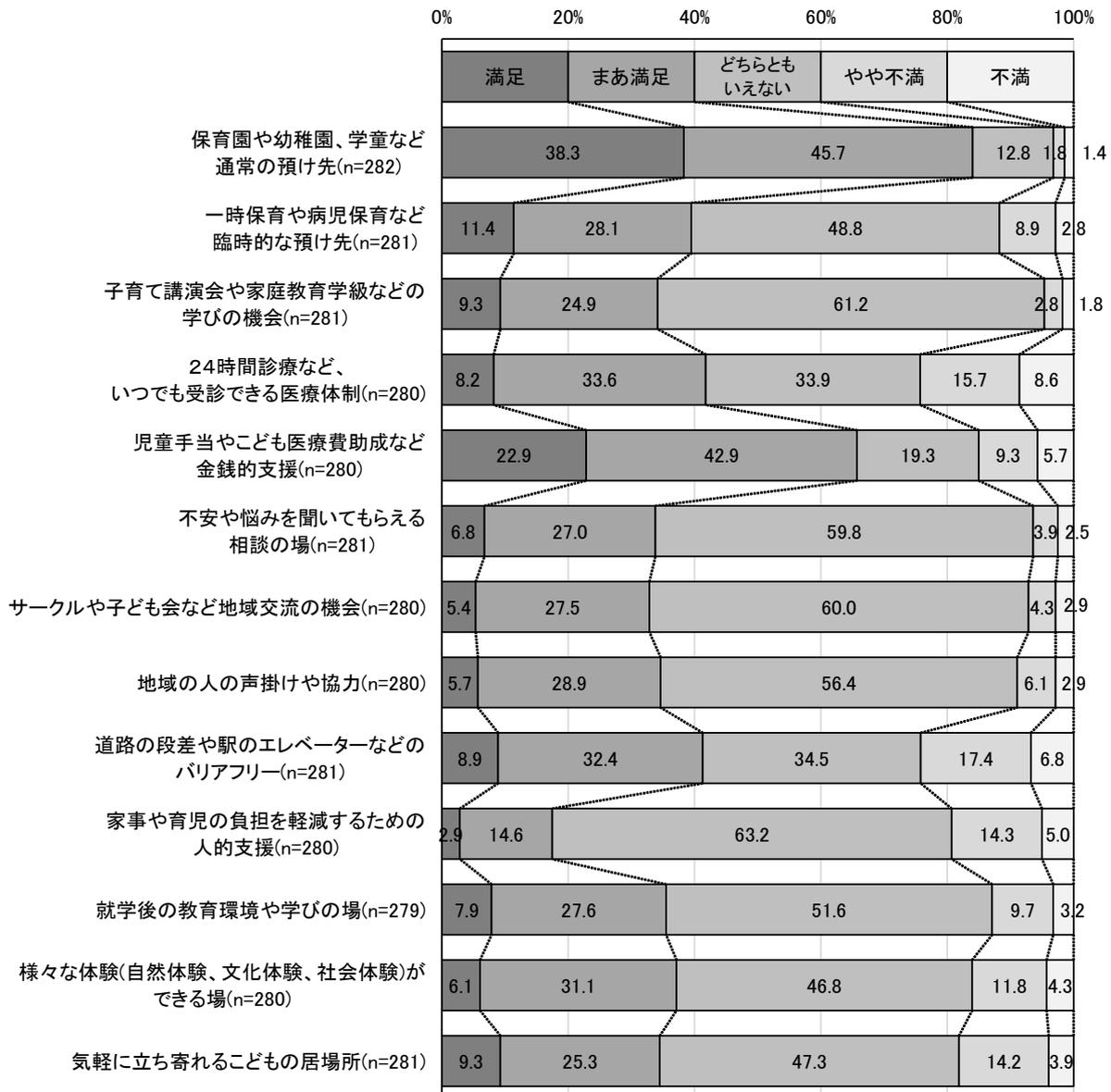


【現役の子育て世代の回答傾向】

「子育てに関する満足度」を、現役の子育て世代（一番下の子の年齢が15歳以下）に聞いたところ、「満足」と「まあ満足」を合わせた割合が最も高いのは、「保育園や幼稚園、学童など通常の預け先」が84.0%、次いで「児童手当やこども医療費助成など金銭的支援」が65.8%となっています。

全体的に「どちらともいえない」との割合が高く、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は「24時間診療など、いつでも受診できる医療体制」が24.3%と最も高く、次いで「道路の段差や駅のエレベーターなどのバリアフリー」が24.2%となっています。

図表 50 子育てに関する満足度（末子年齢が15歳以下の層）



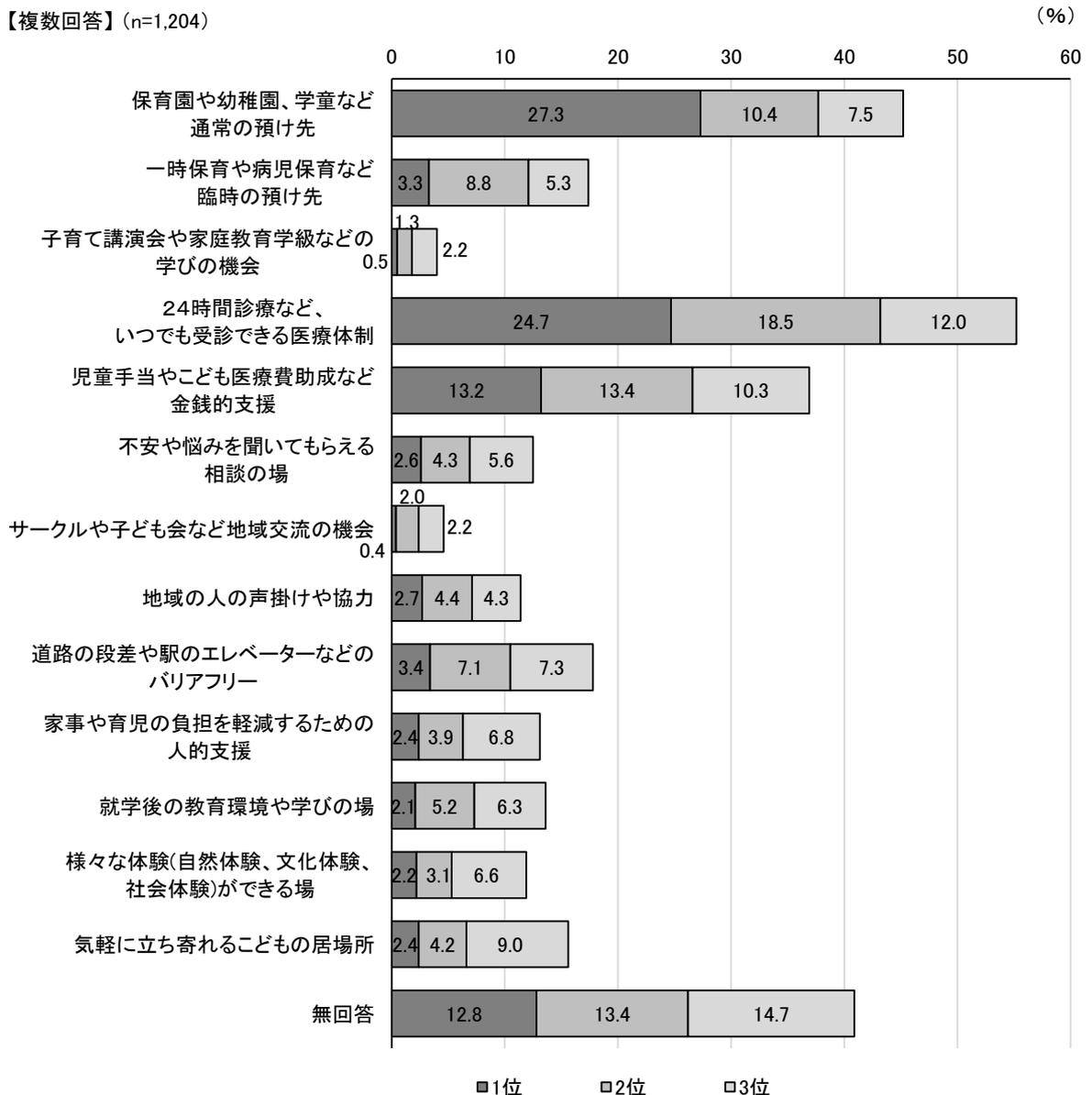
(3) 子育てに重要と考えるもの

問 14 設問 13 の項目で、あなたが重要だと考える項目を順位付けしてください。
 ※項目(1)～(13)の番号を記入してください。

【全体の回答傾向】

子育てに重要と考えるものについて、第1位から第3位までの合計では「24時間診療など、いつでも受診できる医療体制」が55.2%と最も高くなっています。次いで「保育園や幼稚園、学童など通常の預け先」が45.2%、「児童手当やこども医療費助成など金銭的支援」が36.9%となっており、この3項目が他の項目よりも高くなっています。

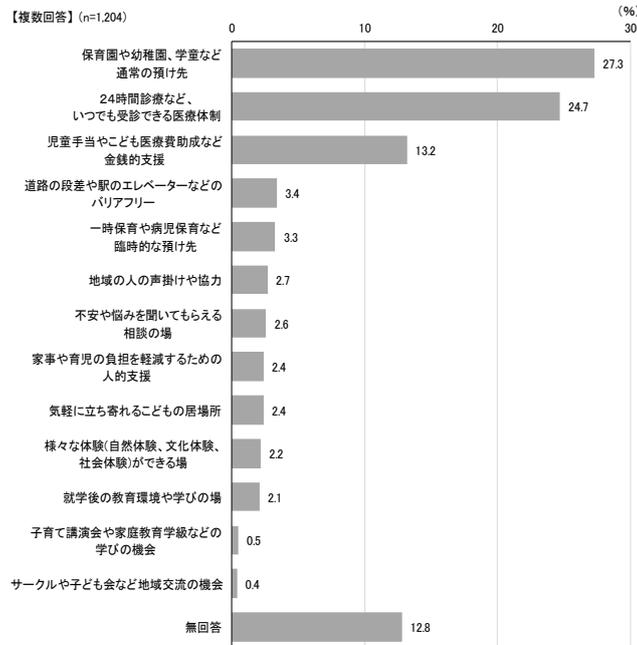
図表 51 子育てに重要と考えるもの（全体）



重要度が1位となった項目は、「保育園や幼稚園、学童など通常の預け先」が27.3%で最も高く、また、「24時間診療など、いつでも受診できる医療体制」は第1位から第3位まで全て上位であったことから、合計では最も重要な項目となっています。

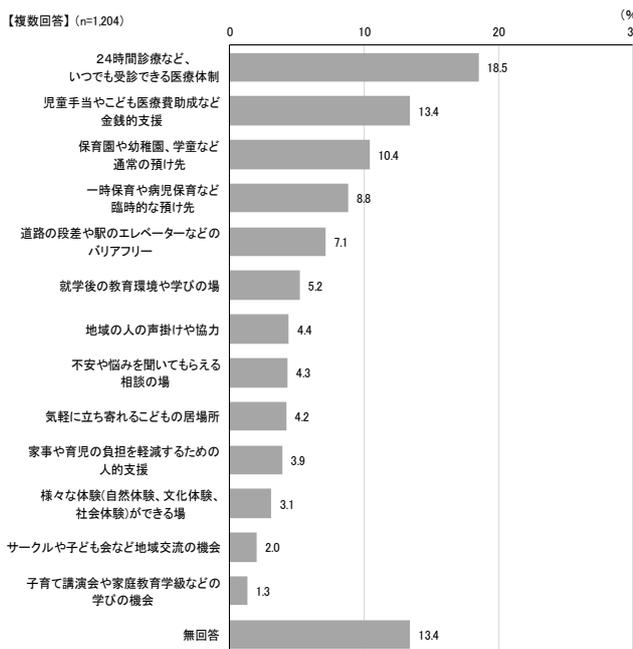
【重要1位】

図表 52 子育てに重要と考えるもの1位



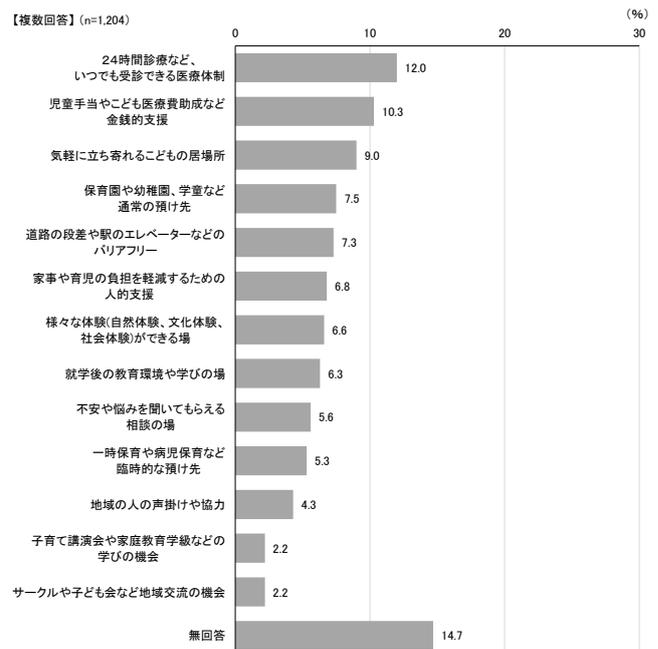
【重要第2位】

図表 53 子育てに重要と考えるもの2位



【重要第3位】

図表 54 子育てに重要と考えるもの3位



5. 健康づくりについて

(1) 健康のために留意していること

問 15 あなたは、健康のために、留意していることはありますか。
あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

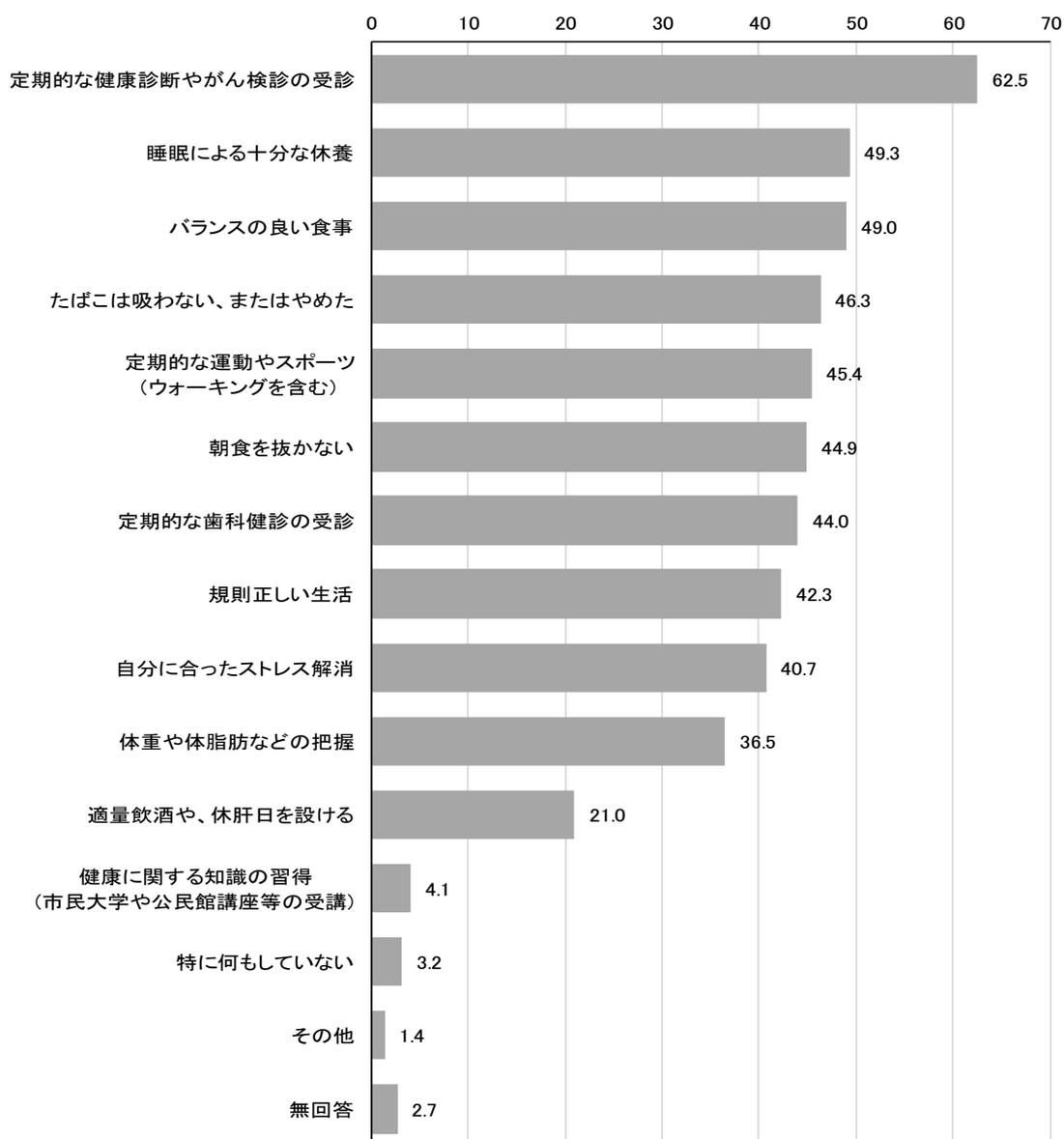
【全体の回答傾向】

健康のために留意していることでは、「定期的な健康診断やがん検診の受診」が62.5%で最も高く、次いで「睡眠による十分な休養」が49.3%、「バランスの良い食事」が49.0%となっています。

図表 55 健康のために留意していること（全体）

【複数回答】(n=1,204)

(%)



【属性別の回答傾向】

性別では、男女ともに「定期的な健康診断やがん検診の受診」が60%以上で最も高く、次いで男性では「たばこは吸わない、またはやめた」が49.8%、女性では「バランスの良い食事」が54.6%となっています。

年齢別では、20歳代では「睡眠による十分な休養」や「自分にあったストレス解消」、40歳代では「定期的な健康診断やがん検診の受診」や「睡眠による十分な休養」、50歳代以上では全体的に高い傾向を示しています。

居住地区別では、全ての地区で「定期的な健康診断やがん検診の受診」が最も高くなっています。上戸田2地区では「バランスの良い食事」や「定期的な運動やスポーツ（ウォーキングを含む）」も高くなっています。

図表 56 健康のために留意していること（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		定期的な健康診断やがん検診の受診	定期的な歯科健診の受診	バランスの良い食事	朝食を抜かない	定期的な運動やスポーツ（ウォーキングを含む）	体重や体脂肪などの把握	睡眠による十分な休養	自分に合ったストレス解消	規則正しい生活	適量飲酒や、休肝日を設ける	たばこは吸わない、またはやめた	健康に関する知識の習得 （市民大学や公民館講座等の受講）	特に何もしていない	その他	無回答
	全体(1,204)	62.5	44.0	49.0	44.9	45.4	36.5	49.3	40.7	42.3	21.0	46.3	4.1	3.2	1.4	2.7
性別	男性(546)	63.0	39.6	42.5	41.9	49.6	37.9	45.1	39.7	38.8	24.4	49.8	4.0	4.4	1.5	3.1
	女性(646)	62.7	48.3	54.6	47.4	42.3	35.8	53.3	41.6	45.0	18.3	44.1	4.2	2.2	1.4	2.2
	その他(3)	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	66.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
年齢別	18～19歳(13)	0.0	30.8	53.8	46.2	46.2	7.7	61.5	61.5	53.8	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳(115)	42.6	33.0	41.7	40.0	40.0	27.8	59.1	49.6	40.9	28.7	44.3	3.5	7.0	1.7	0.0
	30～39歳(170)	55.9	40.0	49.4	40.0	41.8	38.8	50.6	45.3	35.3	24.1	44.1	1.8	4.7	0.0	0.0
	40～49歳(218)	69.3	45.9	43.1	37.2	43.1	33.0	50.5	39.9	37.2	19.3	47.2	1.4	2.8	1.8	0.5
	50～59歳(259)	67.2	48.3	47.5	42.5	46.3	40.2	47.9	47.9	43.6	23.6	44.8	3.5	3.1	0.0	1.9
	60～69歳(172)	70.3	47.7	50.0	50.6	42.4	42.4	47.1	33.1	45.3	20.9	51.7	4.1	1.7	2.3	3.5
	70歳以上(227)	64.3	44.5	59.5	56.8	54.2	36.6	44.5	30.8	46.7	14.5	47.6	9.3	2.2	2.6	8.4
居住地区別	下戸田1地区(146)	61.0	43.2	45.9	50.7	39.0	30.8	45.2	39.0	41.8	15.1	44.5	3.4	4.1	2.1	2.1
	下戸田2地区(195)	57.9	32.8	48.7	40.5	43.6	36.4	50.8	39.5	38.5	20.0	48.2	5.6	2.1	4.1	3.6
	上戸田1地区(123)	59.3	42.3	44.7	42.3	46.3	36.6	43.9	39.0	32.5	20.3	43.9	4.9	4.9	1.6	0.0
	上戸田2地区(166)	66.9	46.4	57.2	44.0	57.2	47.0	55.4	47.0	53.0	29.5	49.4	6.0	2.4	0.6	3.0
	新曽地区(305)	64.9	48.5	53.4	47.5	47.2	37.0	52.5	43.6	45.2	23.9	49.2	3.9	3.3	0.7	1.6
	笹目地区(164)	63.4	46.3	45.1	44.5	39.6	32.3	42.7	33.5	39.6	15.2	46.3	2.4	3.0	0.0	6.1
	美女木地区(100)	64.0	48.0	40.0	44.0	42.0	35.0	52.0	41.0	42.0	19.0	36.0	1.0	4.0	0.0	2.0

(2) 健康のために今後取り組みたいこと

問 16 あなたは、健康のために、今後取り組みたいと思っていることはありますか。
 あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

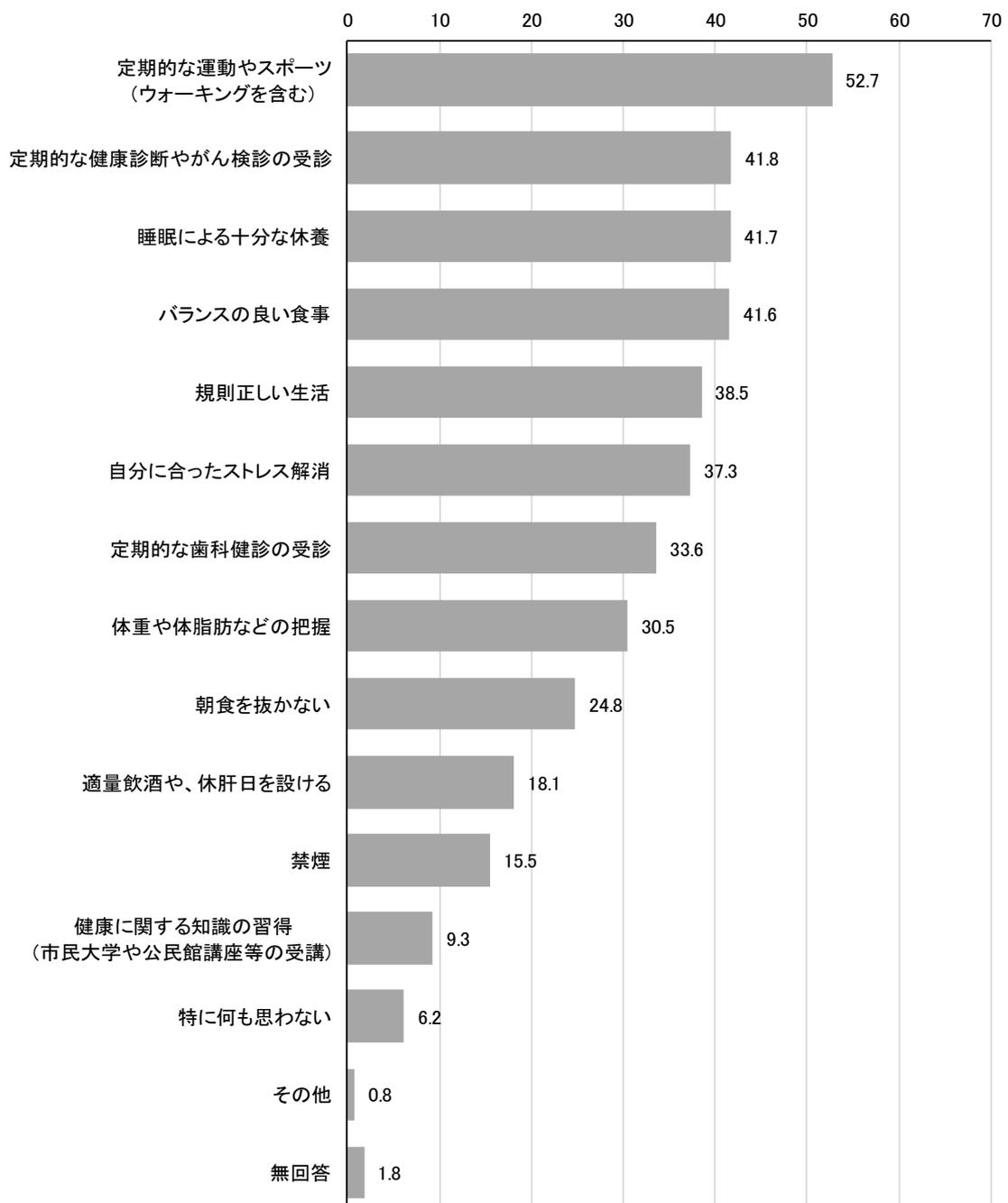
【全体の回答傾向】

健康のために今後取り組みたいこととしては、「定期的な運動やスポーツ（ウォーキングを含む）」が最も高く 52.7%、次いで「定期的な健康診断やがん検診の受診」や「睡眠による十分な休養」「バランスの良い食事」が 41% 台となっています。

図表 57 健康のために今後取り組みたいこと（全体）

【複数回答】(n=1,204)

(%)



【属性別の回答傾向】

性別では、男女ともに「定期的な運動やスポーツ（ウォーキングを含む）」が最も高く 50% 以上となっており、次いで男性では「定期的な健康診断やがん検診の受診」、女性では「バランスの良い食事」や「睡眠による十分な休養」となっていますが、全体的に女性の方が高い割合を示しています。

年齢別では、20 歳代は「バランスの良い食事」が最も高くなっています。また、30 歳代から 60 歳代では、「定期的な運動やスポーツ（ウォーキングを含む）」割合が最も高く、特に、30 歳代は、60%を超えています。

居住地区別では、全ての地区で「定期的な運動やスポーツ（ウォーキングを含む）」が最も高く、50%以上となっています。

図表 58 健康のために今後取り組みたいこと（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		定期的な健康診断やがん検診の受診	定期的な歯科健診の受診	バランスの良い食事	朝食を抜かない	定期的な運動やスポーツ（ウォーキングを含む）	体重や体脂肪などの把握	睡眠による十分な休養	自分に合ったストレス解消	規則正しい生活	適量飲酒や、休肝日を設ける	禁煙	健康に関する知識の習得（市民大学や公民館講座等の受講）	特に何も思わない	その他	無回答
	全体(1,204)	41.8	33.6	41.6	24.8	52.7	30.5	41.7	37.3	38.5	18.1	15.5	9.3	6.2	0.8	1.8
性別	男性(546)	39.4	27.5	35.5	22.0	51.3	28.0	36.6	30.6	33.7	22.3	19.0	8.8	7.5	0.9	2.6
	女性(646)	44.0	38.9	46.6	27.1	54.0	32.8	46.0	43.0	42.4	14.6	12.7	9.6	5.3	0.8	1.2
	その他(3)	66.7	66.7	100.0	33.3	100.0	33.3	100.0	100.0	100.0	33.3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
年齢別	18～19歳(13)	15.4	15.4	38.5	23.1	53.8	23.1	46.2	38.5	46.2	0.0	7.7	7.7	7.7	0.0	7.7
	20～29歳(115)	39.1	30.4	47.0	20.9	46.1	20.0	32.2	23.5	36.5	13.0	13.0	8.7	8.7	0.0	0.0
	30～39歳(170)	32.9	32.4	35.9	18.2	61.8	28.2	39.4	37.1	32.9	14.7	10.6	7.6	6.5	0.0	0.6
	40～49歳(218)	40.4	33.5	42.7	17.9	58.3	32.1	39.9	41.3	37.2	20.6	13.8	7.3	4.6	0.5	1.4
	50～59歳(259)	40.5	34.7	36.3	22.4	51.0	33.2	39.8	40.9	34.4	23.6	18.9	9.3	6.9	0.8	1.5
	60～69歳(172)	48.8	37.2	43.6	31.4	56.4	35.5	49.4	43.0	44.2	22.1	22.1	12.2	6.4	1.2	1.2
	70歳以上(227)	48.9	34.8	46.3	35.7	45.8	29.1	44.9	32.6	43.6	12.8	14.5	11.9	5.3	2.2	4.8
居住地区別	下戸田1地区(146)	38.4	37.7	45.2	25.3	52.1	24.7	37.0	34.9	33.6	15.8	16.4	8.2	6.8	1.4	0.7
	下戸田2地区(195)	45.6	31.8	38.5	23.1	51.3	34.4	45.1	36.4	39.0	19.5	13.8	8.7	3.1	2.1	0.5
	上戸田1地区(123)	41.5	35.8	35.0	23.6	55.3	24.4	35.0	35.8	35.8	19.5	18.7	10.6	8.1	0.0	0.8
	上戸田2地区(166)	40.4	33.7	47.0	19.3	53.6	34.3	37.3	31.3	39.8	17.5	17.5	7.2	7.2	2.4	3.0
	新曽地区(305)	40.3	33.4	45.9	29.2	54.4	32.8	47.9	40.3	43.9	21.0	13.4	12.8	4.9	0.0	1.6
	笹目地区(164)	42.1	30.5	36.6	25.0	51.2	27.4	37.8	38.4	35.4	11.6	18.3	7.3	6.7	0.0	3.0
	美女木地区(100)	45.0	34.0	39.0	25.0	51.0	32.0	47.0	45.0	35.0	20.0	13.0	7.0	11.0	0.0	2.0

(3) 過去1年間のスポーツ・レクリエーション活動の機会

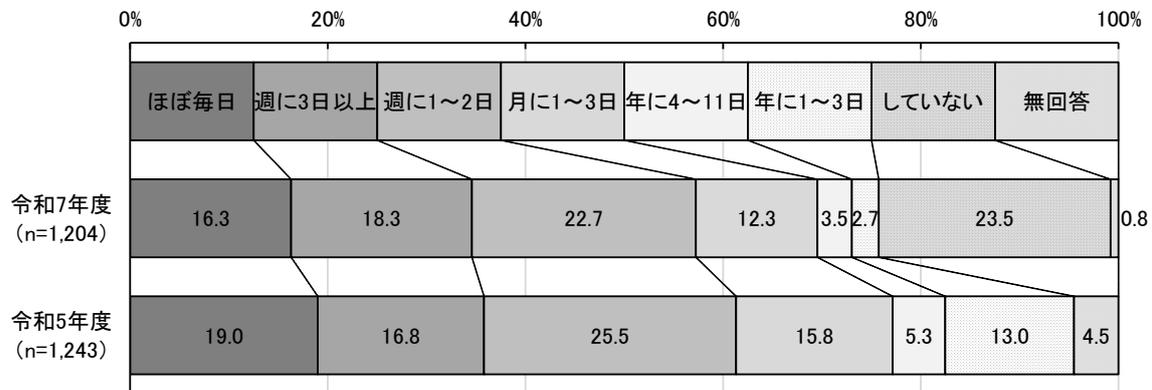
問 17 あなたは、過去1年間にスポーツ・レクリエーション活動（学校の授業や職業として行ったものを除く）をする機会がどのくらいありましたか。（散歩やウォーキング、軽い体操、子供との体を使った遊び、通勤や家事などの日常生活の中で意識的に体を動かすことなども含みます。）（〇は1つ）

【全体の回答傾向】

過去1年間のスポーツ・レクリエーション活動の機会では、「していない」が23.5%で最も高く、次いで「週に1～2日」が22.7%、「週に3日以上」が18.3%となっています。

令和5年度調査では「していない」の選択肢がなく、単純比較できませんが、「週に3日以上」との割合は増加しています。

図表 59 過去1年間のスポーツ・レクリエーション活動の機会（全体）



※令和5年度の選択肢に「していない」はない

【属性別の回答傾向】

性別では、男性は「週に1～2日」が最も高く24.4%、次いで「していない」が21.1%となっています。女性では「していない」が最も高く25.7%、次いで「週に1～2日」が21.2%となっています。男性に比べ女性は「ほぼ毎日」や「週に3日以上」が高く活動機会が多くなっています。

年齢別では、70歳以上を除き、「していない」の割合は年齢の上昇とともに高くなっています。

また、10歳代では「週に3日以上」や「週に1～2日」、20歳代では「月に1～3日」、30歳代及び40歳代では「週に1～2回」、70歳以上では「週に3日以上」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

居住地区別では、上戸田2地区で「週に3日以上」が最も高く22.9%、下戸田2地区と上戸田1地区は「週に1～2日」が最も高く、それぞれ25.6%、29.3%となっています。その他の地区では「していない」が最も高く、笹目地区では28.7%となっています。

図表 60 過去1年間のスポーツ・レクリエーション活動の機会
(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		ほぼ毎日	週に3日以上	週に1～2日	月に1～3日	年に4～11日	年に1～3日	していない	無回答
性別	全体(1,204)	16.3	18.3	22.7	12.3	3.5	2.7	23.5	0.8
	男性(546)	13.7	17.2	24.4	14.8	5.1	3.1	21.1	0.5
	女性(646)	17.8	19.5	21.2	10.4	2.2	2.2	25.7	1.1
	その他(3)	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
年齢別	18～19歳(13)	15.4	23.1	23.1	15.4	7.7	0.0	15.4	0.0
	20～29歳(115)	14.8	15.7	18.3	21.7	5.2	4.3	20.0	0.0
	30～39歳(170)	13.5	16.5	25.9	13.5	3.5	4.7	22.4	0.0
	40～49歳(218)	13.3	17.4	24.3	14.7	4.6	2.3	23.4	0.0
	50～59歳(259)	15.8	14.7	24.3	12.4	4.2	3.5	25.1	0.0
	60～69歳(172)	17.4	16.9	21.5	9.3	3.5	2.3	29.1	0.0
	70歳以上(227)	19.8	27.3	21.1	6.2	0.9	0.4	20.3	4.0
居住地区別	下戸田1地区(146)	19.2	17.1	16.4	17.1	4.1	2.7	22.6	0.7
	下戸田2地区(195)	13.8	19.0	25.6	12.3	3.1	1.5	24.6	0.0
	上戸田1地区(123)	13.8	15.4	29.3	11.4	4.9	4.9	18.7	1.6
	上戸田2地区(166)	15.7	22.9	22.3	12.0	1.8	2.4	21.1	1.8
	新曽地区(305)	18.4	16.7	22.6	12.8	3.6	2.6	23.0	0.3
	笹目地区(164)	15.2	19.5	20.1	10.4	2.4	1.8	28.7	1.8
	美女木地区(100)	15.0	16.0	24.0	9.0	6.0	4.0	26.0	0.0

6. 高齢化等の福祉について

(1) 高齢者にとって過ごしやすいまちか

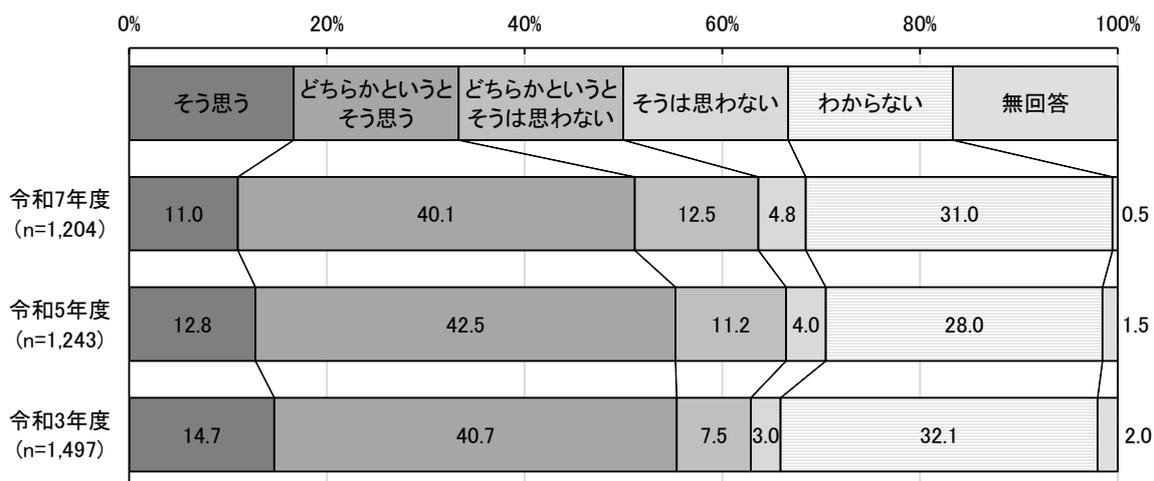
問 18 あなたは、市内に住んでいる高齢者または高齢者のいる世帯にとって、戸田市は過ごしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

【全体の回答傾向】

高齢者にとって過ごしやすいまちかとの質問では、「そう思う」が11.0%、「どちらかというと思う」が40.1%となっており、合わせると51.1%の人が「高齢者にとって過ごしやすい」と回答しています。

「そう思う」と「どちらかというと思う」の割合は、前回調査より低下しています。一方で「どちらかというと思うは思わない」と「そうは思わない」の割合は、増加傾向にあります。

図表 61 高齢者にとって過ごしやすいまちか（全体）



【属性別の回答傾向】

性別では、男女で大きな差は見られません。

年齢別では、「どちらかというそうは思わない」と「そうは思わない」を合わせた割合は、年齢の上昇とともに高くなる傾向があります。一方で、「そう思う」と「どちらかというそう思う」を合わせた割合では、10歳代が61.6%と最も高く、次いで、70歳以上が58.6%と高くなっています。

居住地区別では、あまり大きな差はありません。下戸田2地区や上戸田1地区は、「そう思う」と「どちらかというそう思う」を合わせた割合が比較的高く、美女木地区や上戸田2地区は低くなっています。

図表 62 高齢者にとって過ごしやすいまちか（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという は思わない	そうは思わ ない	わからない	無回答
性別	全体(1,204)	11.0	40.1	12.5	4.8	31.0	0.5
	男性(546)	9.9	43.0	13.4	3.5	30.0	0.2
	女性(646)	11.9	38.1	11.8	5.6	31.9	0.8
	その他(3)	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
年齢別	18～19歳(13)	30.8	30.8	0.0	7.7	30.8	0.0
	20～29歳(115)	13.0	38.3	7.8	0.9	40.0	0.0
	30～39歳(170)	6.5	40.6	9.4	2.4	41.2	0.0
	40～49歳(218)	6.4	46.8	15.6	1.8	28.9	0.5
	50～59歳(259)	8.5	40.9	9.7	7.3	33.6	0.0
	60～69歳(172)	7.6	38.4	15.7	6.4	30.8	1.2
	70歳以上(227)	21.6	37.0	15.4	6.6	18.5	0.9
居住地区別	下戸田1地区(146)	11.0	38.4	12.3	6.2	31.5	0.7
	下戸田2地区(195)	12.8	43.6	10.3	5.1	28.2	0.0
	上戸田1地区(123)	11.4	43.1	10.6	1.6	33.3	0.0
	上戸田2地区(166)	9.0	37.3	15.1	4.2	33.1	1.2
	新曽地区(305)	10.2	40.7	12.8	4.3	31.8	0.3
	笹目地区(164)	13.4	37.2	15.2	6.7	26.2	1.2
	美女木地区(100)	8.0	41.0	11.0	6.0	34.0	0.0

(2) 認知症の正しい知識や理解の促進に取り組んでいるまちか

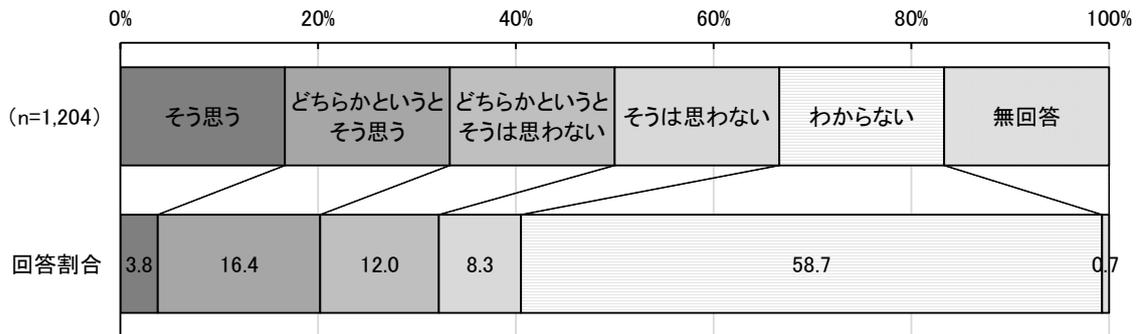
問 19 あなたは、戸田市が認知症の正しい知識や理解の促進に取り組んでいるまちだと思いますか。(〇は1つ)

【全体の回答傾向】

認知症に対する戸田市の取組状況については「わからない」が58.7%と半数を超えています。

「そう思う」と「どちらかというそう思う」を合わせると20.2%に対し、「どちらかというそうは思わない」と「そうは思わない」も20.3%とおおむね同率となっています。

図表 63 認知症の正しい知識や理解の促進に取り組んでいるまちか（全体）



【属性別の回答傾向】

性別では、男女で大きな差は見られません。

年齢別では、30歳代から50歳代では「どちらかというとは思わない」と「そうは思わない」を合わせた割合が高い一方で、60歳代は同率、70歳以上では「そう思う」と「どちらかというと思う」の割合が高くなっています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた割合が最も高いのは笹目地区で29.3%、次いで下田2地区が23.1%となっており、最も低いのが上戸田1地区の13.8%、次いで上戸田2地区の16.2%となっています。

図表 64 認知症の正しい知識や理解の促進に取り組んでいるまちか
(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		そう思う	どちらかというと思う	どちらかというとは思わない	そうは思わない	わからない	無回答
	全体(1,204)	3.8	16.4	12.0	8.3	58.7	0.7
性別	男性(546)	3.3	16.5	12.6	8.4	58.8	0.4
	女性(646)	4.2	16.6	11.3	8.0	58.8	1.1
	その他(3)	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
年齢別	18～19歳(13)	0.0	38.5	0.0	7.7	53.8	0.0
	20～29歳(115)	7.0	9.6	5.2	10.4	67.8	0.0
	30～39歳(170)	1.2	11.8	10.6	7.6	68.8	0.0
	40～49歳(218)	1.8	14.2	15.6	8.3	59.2	0.9
	50～59歳(259)	4.6	13.5	12.4	8.9	60.6	0.0
	60～69歳(172)	2.3	19.2	15.1	6.4	56.4	0.6
	70歳以上(227)	6.6	26.0	10.6	8.8	45.4	2.6
居住地区別	下戸田1地区(146)	2.1	20.5	9.6	8.2	58.9	0.7
	下戸田2地区(195)	3.1	20.0	11.3	9.2	55.9	0.5
	上戸田1地区(123)	4.9	8.9	13.0	4.1	69.1	0.0
	上戸田2地区(166)	4.2	12.0	12.7	9.0	60.2	1.8
	新嘗地区(305)	3.3	14.8	13.4	8.9	59.0	0.7
	笹目地区(164)	5.5	23.8	13.4	7.9	48.8	0.6
	美女木地区(100)	5.0	12.0	9.0	9.0	64.0	1.0

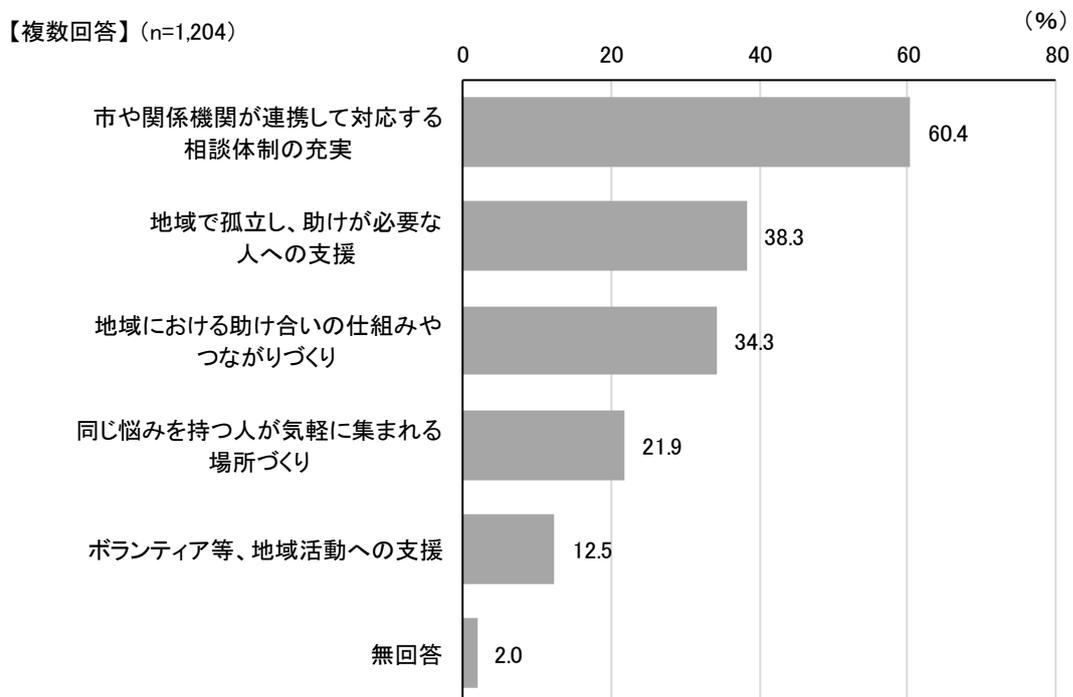
(3) 地域福祉の推進に必要な取組

問 20 福祉の困りごとを抱える市民が支援へとつながり、地域で安心して暮らしていける社会（地域福祉）の推進のためには、どの取り組みが大切だと思いますか。
（〇は2つまで）

【全体の回答傾向】

地域福祉に必要な取組としては、「市や関係機関が連携して対応する相談体制の充実」が60.4%で最も高く、次いで「地域で孤立し、助けが必要な人への支援」が38.3%となっています。

図表 65 地域福祉の推進に必要な取組（全体）



【属性別の回答傾向】

性別では、男女ともに「市や関係機関が連携して対応する相談体制の充実」の割合が最も高くなっています。男性に比べて女性は、「地域で孤立し、助けが必要な人への支援」や「同じ悩みを持つ人が気軽に集まれる場所づくり」がやや高くなっています。

年齢別でも「市や関係機関が連携して対応する相談体制の充実」の割合が最も高く、次いで20歳代から50歳代では「地域で孤立し、助けが必要な人への支援」、60歳代や70歳以上では「地域における助け合いの仕組みやつながりづくり」が高くなっています。

居住地区別でも「市や関係機関が連携して対応する相談体制の充実」の割合が最も高く、次いで下戸田1・2地区や上戸田1地区、笹目地区、美女木地区では「地域で孤立し、助けが必要な人への支援」、上戸田2地区では「地域における助け合いの仕組みやつながりづくり」が高くなっています。

上戸田1地区では「地域における助け合いの仕組みやつながりづくり」の割合がやや低くなっています。

図表 66 地域福祉の推進に必要な取組（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		市や関係機関が連携して対応する相談体制の充実	地域における助け合いの仕組みやつながりづくり	ボランティア等、地域活動への支援	地域で孤立し、助けが必要な人への支援	同じ悩みを持つ人が気軽に集まれる場所づくり	無回答
性別	全体(1,204)	60.4	34.3	12.5	38.3	21.9	2.0
	男性(546)	61.5	34.6	13.0	35.2	19.6	1.8
	女性(646)	59.9	34.1	11.9	40.9	23.8	2.0
	その他(3)	33.3	33.3	0.0	66.7	33.3	0.0
年齢別	18～19歳(13)	92.3	46.2	7.7	7.7	15.4	0.0
	20～29歳(115)	50.4	33.0	12.2	44.3	20.9	0.9
	30～39歳(170)	64.1	37.6	8.8	38.8	20.6	0.6
	40～49歳(218)	56.0	33.0	13.8	34.9	28.9	0.9
	50～59歳(259)	60.2	28.2	16.6	47.1	20.8	0.8
	60～69歳(172)	69.2	39.5	8.7	35.5	16.9	1.2
	70歳以上(227)	60.8	37.0	13.2	31.7	21.1	5.7
居住地区別	下戸田1地区(146)	65.1	31.5	13.7	38.4	15.8	1.4
	下戸田2地区(195)	51.8	36.9	13.3	43.1	25.6	2.6
	上戸田1地区(123)	62.6	26.0	12.2	45.5	18.7	2.4
	上戸田2地区(166)	57.8	41.0	9.6	36.1	22.9	1.2
	新曽地区(305)	63.9	34.8	13.1	34.8	23.6	2.0
	笹目地区(164)	56.1	33.5	13.4	38.4	23.2	3.0
	美女木地区(100)	68.0	33.0	10.0	34.0	19.0	1.0

※回答は2つまでのため、合計は100%にならない。

(4) 高齢者に関する満足度

問 21 あなたは、戸田市に住んでいて、高齢者に関する以下のことに、どの程度満足していますか。(項目ごとに〇は1つ)

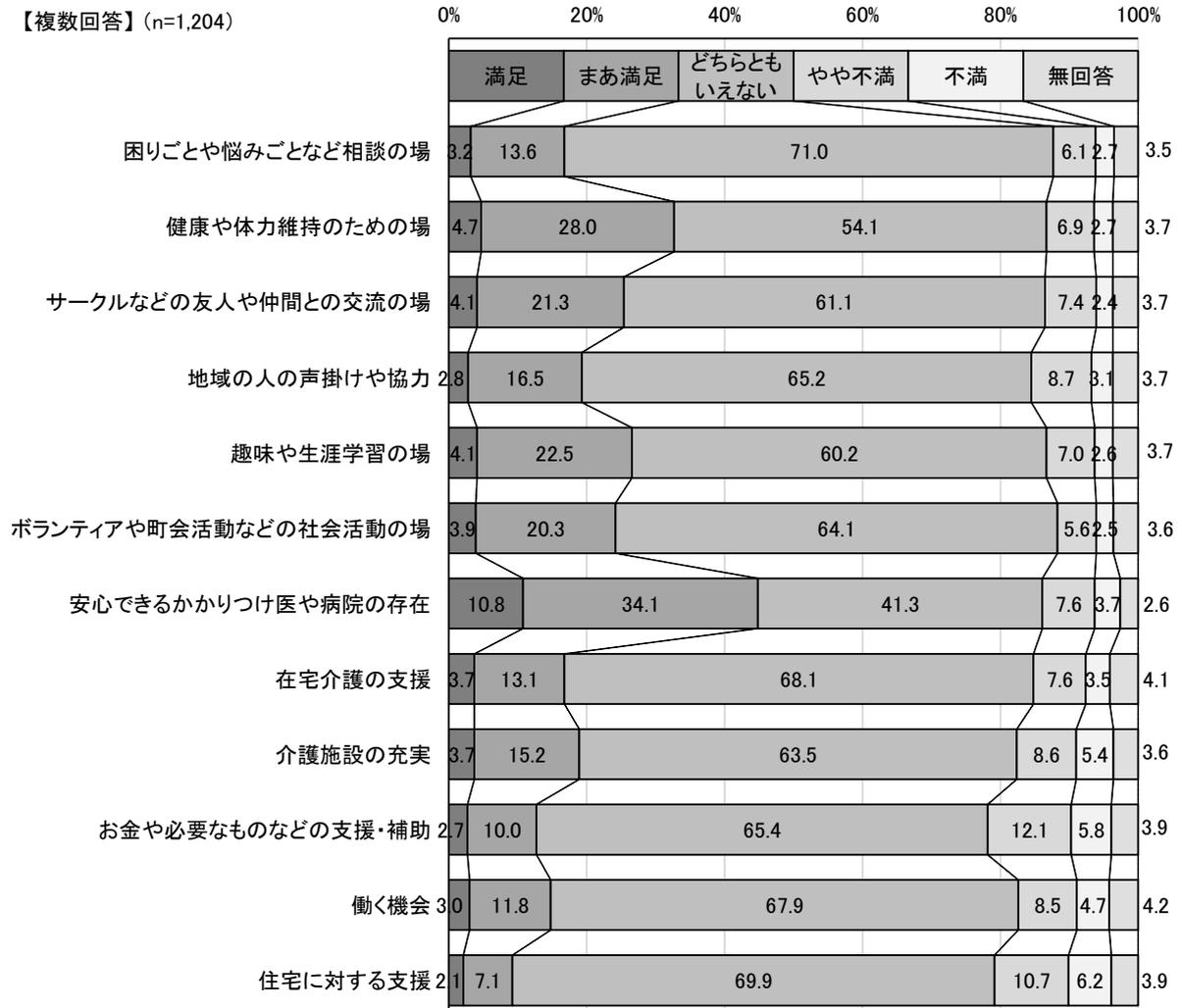
※あなたが高齢者でない場合は、身近な方をイメージしてお答えください。

【全体の回答傾向】

高齢者に関する満足度では、「満足」と「まあ満足」を合わせると、「安心できるかかりつけ医や病院の存在」が44.9%で最も高く、次いで「健康や体力維持のための場」が32.7%となっています。

「やや不満」と「不満」を合わせると、「お金や必要なものなどの支援・補助」が17.9%で最も高く、次いで「住宅に対する支援」が16.9%となっています。

図表 67 高齢者に関する満足度（全体）

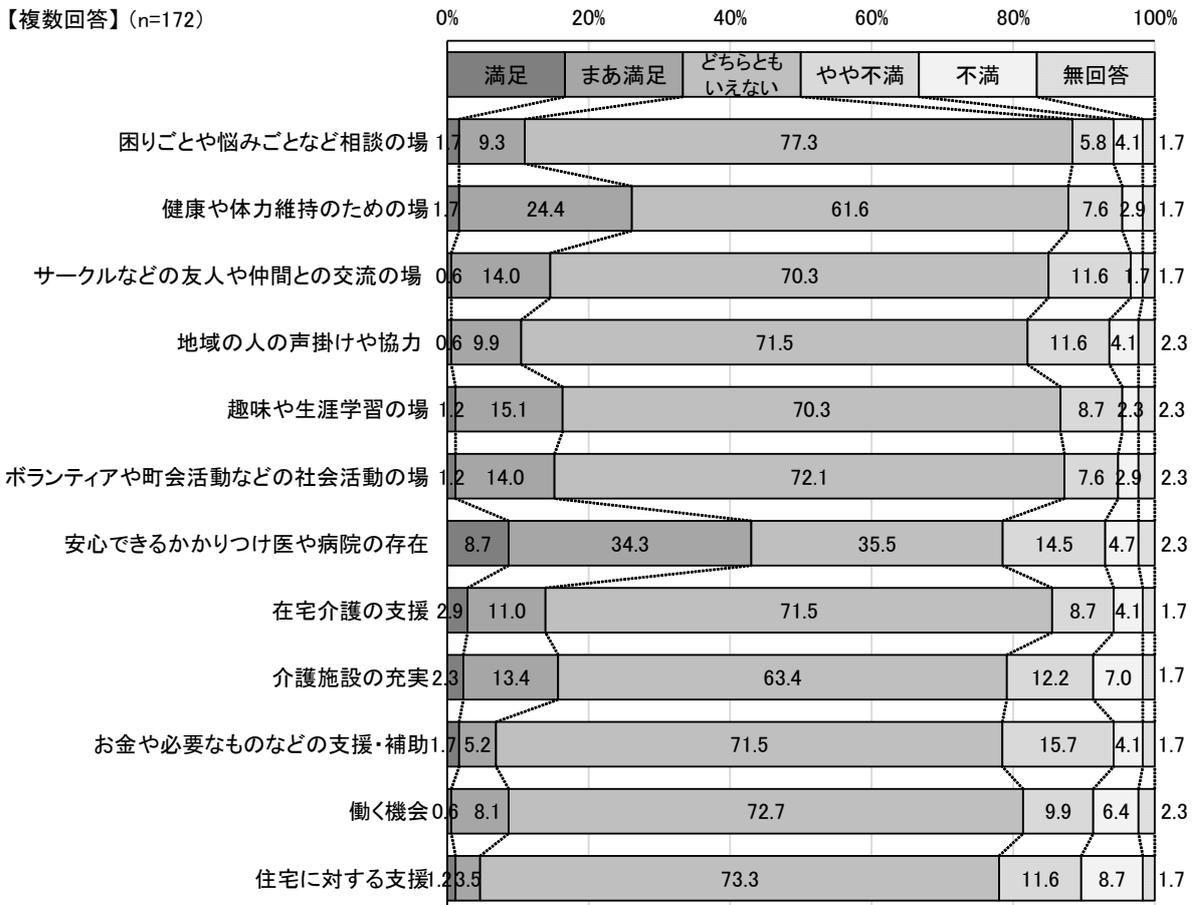


【60～69歳の満足度】

60～69歳の満足度では、「満足」と「まあ満足」を合わせると、「安心できるかかりつけ医や病院の存在」が43.0%で最も高く、次いで「健康や体力維持のための場」が26.1%となっています。

「やや不満」と「不満」を合わせると、「住宅に対する支援」が20.3%で最も高く、次いで「お金や必要なものなどの支援・補助」が19.8%、「安心できるかかりつけ医や病院の存在」と「介護施設の充実」が19.2%となっています。

図表 68 高齢者に関する満足度（60～69歳）

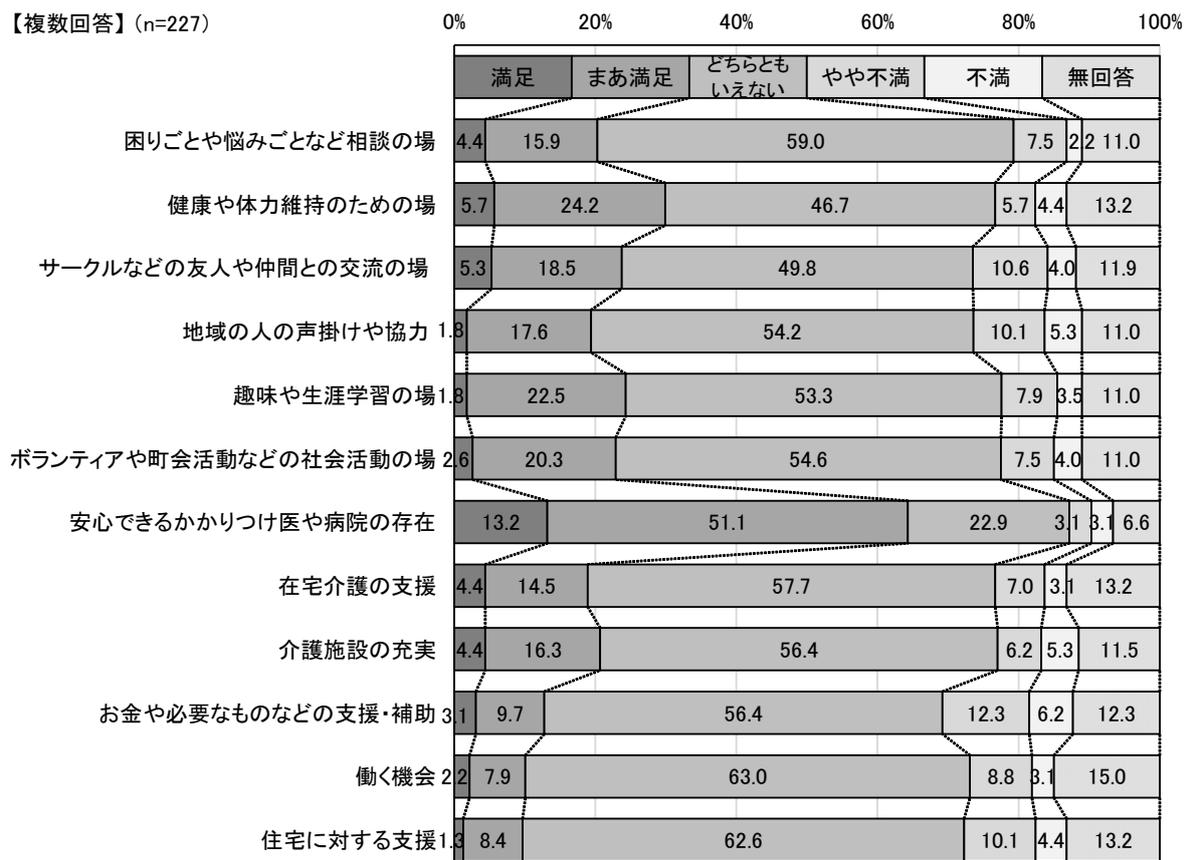


【70歳以上の満足度】

70歳以上の満足度では、「満足」と「まあ満足」を合わせると、「安心できるかかりつけ医や病院の存在」が64.3%で最も高く、次いで「健康や体力維持のための場」が29.9%となっています。

一方「やや不満」と「不満」を合わせると、「お金や必要なものなどの支援・補助」が18.5%、次いで「地域の人の声掛けや協力」が15.4%となっています。

図表 69 高齢者に関する満足度（70歳以上）



7. 生活環境等について

(1) 地域の生活環境

問 22 あなたは、住んでいる地域の生活環境等について、どのように感じていますか。
(項目ごとに〇は1つ)

《本設問の集計方法とグラフの見方》

- 地域の生活環境について、保健・衛生・福祉、安全、利便、快適の4分野 34 項目とそれらを総合した満足度からなる計 35 項目にわたって、「非常に良い」から「非常に悪い」までの5段階で評価を求めました。
- 評価の結果をわかりやすく示すために、「非常に良い・やや良い・普通・やや悪い・非常に悪い」の回答数に、それぞれ「+2・+1・0・-1・-2」点を与え、その合計を全回答数（「わからない」「無回答」を除く）で除して評価点としました。
- したがって本設問の場合、プラスになるほど肯定的な評価、マイナスになるほど否定的な評価とみることができます。

【全体の回答傾向】

- 35 項目のうちプラスの評価点となったものは 23 項目あり、評価点が高い順に「ごみの回収」、「日用品・食料品等の買い物の便利さ」、「通勤・通学の便利さ」、「日当たりや風通しの良さ」となっています。
- 一方、マイナスの評価点となったものは 12 項目で、評価点の低い順に「安全な自転車走行空間の確保」、「川の水のきれいさ」、「道路の安全性」、「防犯対策の充実」となっています。

①保健・衛生・福祉

- 8 項目中、プラス評価・マイナス評価がそれぞれ4項目となっています。「ごみの回収」は評価点が+0.80 と全体でも最も高く、「医療機関への通院のしやすさ」も高い評価となっています。一方、「騒音・振動（工場・車等）」が低い評価となっています。

②安全

- 11 項目中、4 項目がプラス評価となっています。「個人生活の秘密が守られること」、「豊かな心を育む青少年の育成」などはプラス評価となっている一方で、「安全な自転車走行空間の確保」の評価が-0.53 と全体で最も低く、「道路の安全性」や「防犯対策の充実」も全体で低い評価となっています。

③利便

- 6 項目すべてプラス評価になっています。特に「日用品・食料品等の買い物の便利さ」が+0.77 と 35 項目の中で 2 番目に高く、「通勤・通学の便利さ」も+0.65 と全体で 3 番目に高い評価となっています。

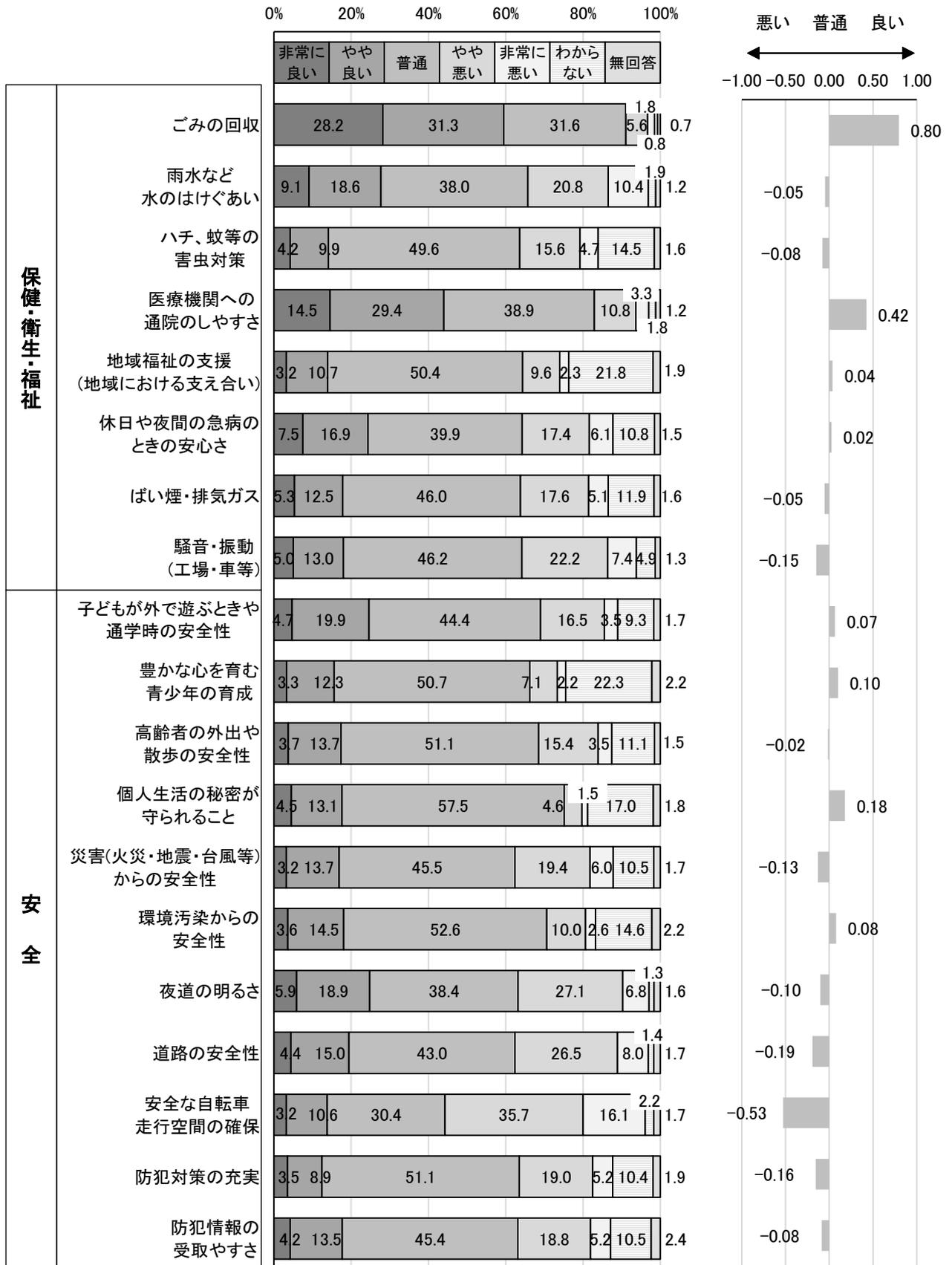
④快適

- 9項目のうち、「川の水のきれいさ」の-0.43を除き、プラス評価となっています。「日当たりや風通しの良さ」は、+ 0.56 と全体でも4番目に高い評価となっています。

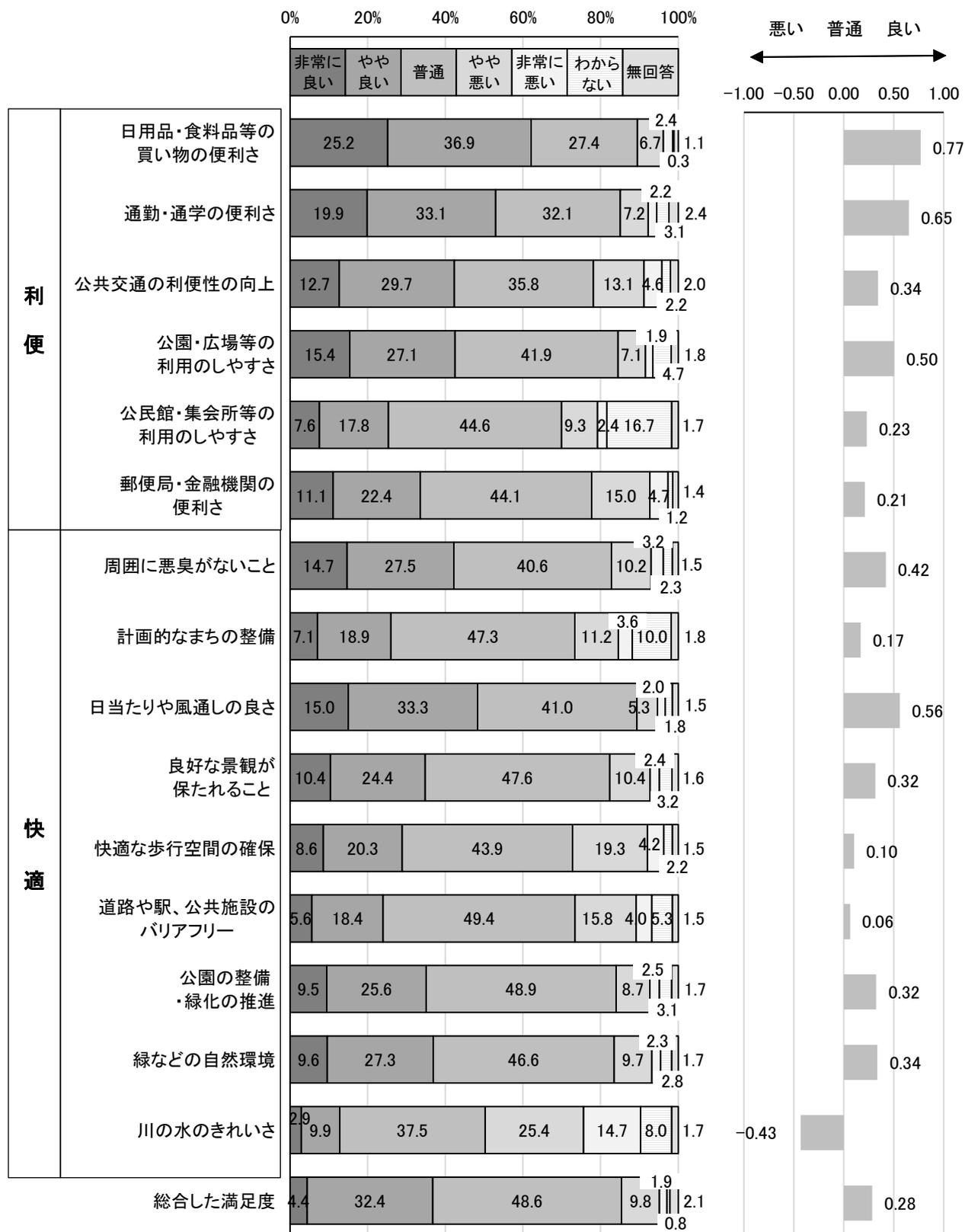
⑤総合

- ①～④を総合した満足度は+0.28で、地域の生活環境については、全体的に良いと感じている評価となっています。

図表 70-1 地域の生活環境（全体）



図表 70-2 地域の生活環境（全体） つづき

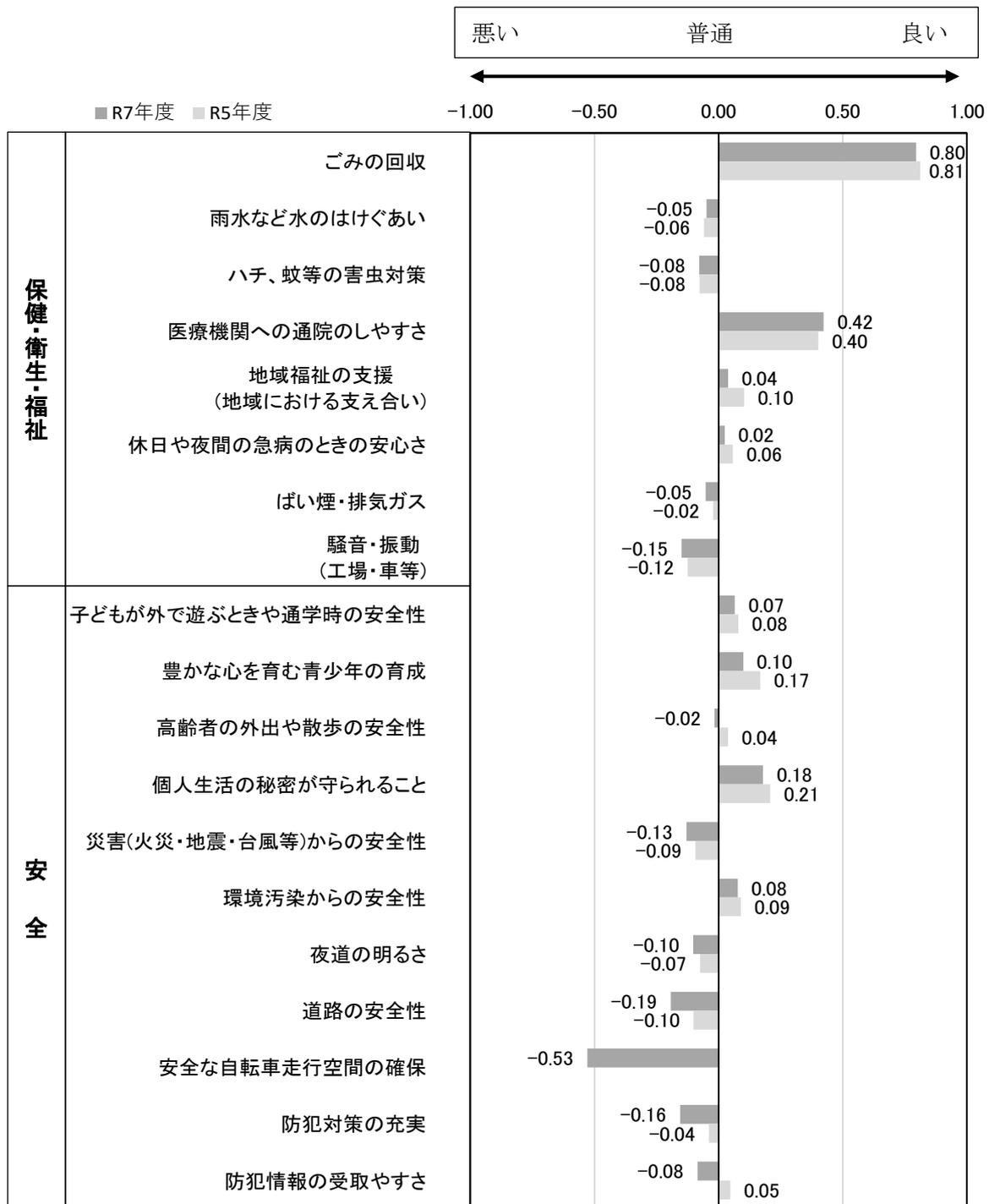


【令和5年度調査との比較】

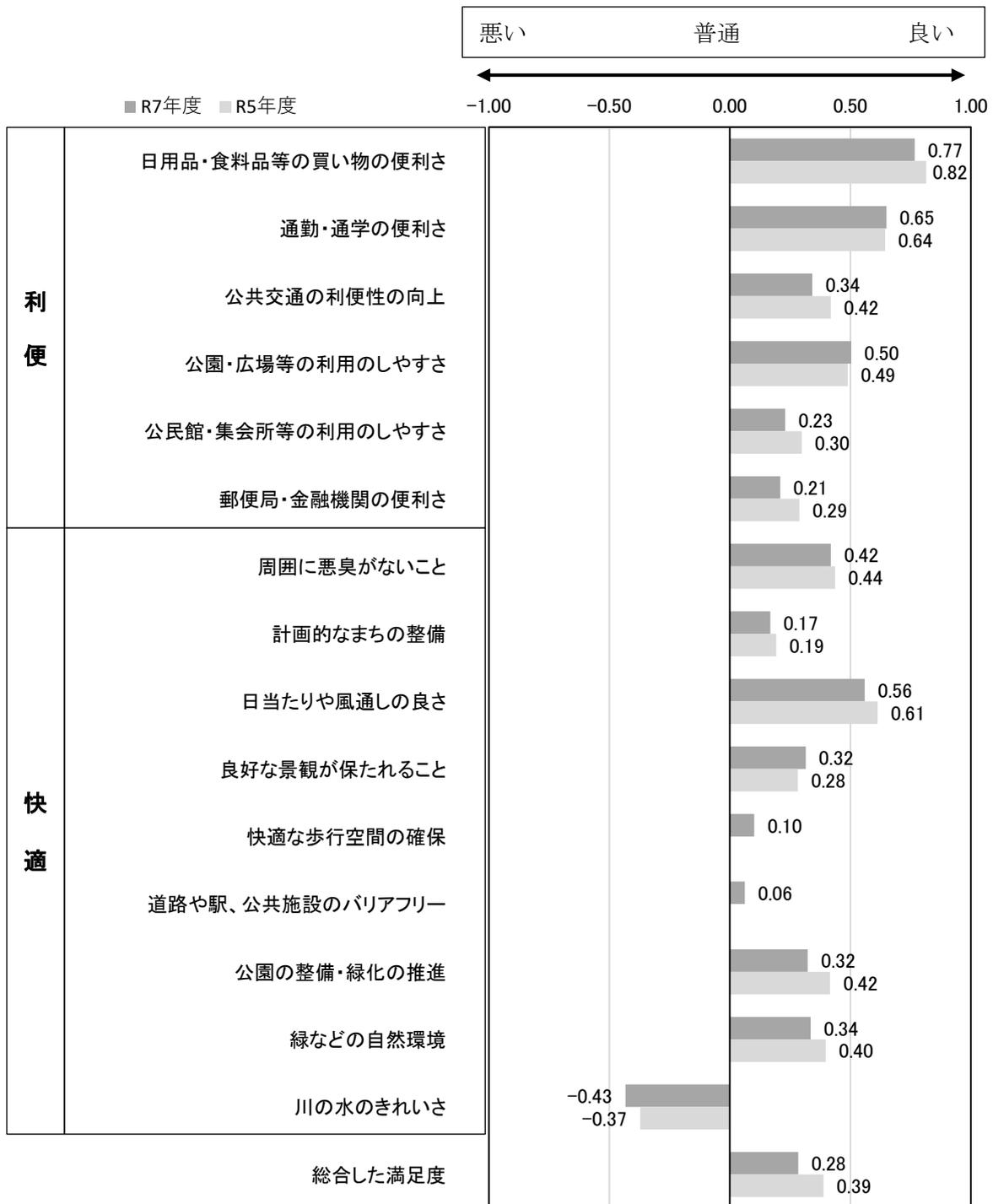
総合した満足度では、前回比マイナス0.11ポイントとやや悪化しています。前回調査と比較可能な個別の31項目の内、改善した項目が5項目に対し、悪化した項目が25項目となりました。プラスからマイナスに転じた項目は「高齢者の外出や散歩の安全性」(0.04→-0.02)、「防犯情報の受取やすさ」(0.05→-0.08)の2項目となっています。

令和7年度から追加した項目は「安全な自転車走行空間の確保」、「快適な歩行空間の確保」、「道路や駅、公共施設のバリアフリー」となります。

図表 71-1 地域の生活環境（令和5年度調査との比較）



図表 71-2 地域の生活環境（令和5年度調査との比較） つづき



【属性別の回答傾向】

性別では、男女ともに評価点がマイナスの項目は、「川の水のきれいさ」や「安全な自転車走行空間の確保」「騒音・振動（工場・車等）」のほか、「防犯対策の充実」や「道路の安全性」など9項目となっています。また、35項目の内27項目は、女性に比べて、男性の評価が高くなっています。

年齢別では、総合した満足度は、70歳以上を除き、若年層ほど評価が高く、項目別に見ても比較的若年層の評価が高く、「高齢者の外出や散歩の安全性」や「防犯情報の受取やすさ」のほか、「快適な歩行空間の確保」や「道路や駅、公共施設のバリアフリー」など、年齢が上がると評価点がマイナスに転じる項目もあります。

居住地区別では、総合した満足度で最も評価が高いのは「上戸田2地区」で0.38、次いで「下戸田2地区」が0.34、「上戸田1地区」が0.33で、最も低いのは「美女木地区」で0.03となっています。また、「夜道の明るさ」は下戸田1地区のみプラスとなる一方、「快適な歩行空間の確保」は、同地区が唯一のマイナスとなっています。全体の回答傾向では、利便の6項目すべてがプラス評価となっていますが、居住地区別に見ると、「笹目地区」、「美女木地区」ともに「公共交通の利便性の向上」と「郵便局・金融機関の便利さ」はマイナスになっています。

居住期間別では、総合した満足度で最も評価が高いのは「5～10年未満」で0.43、次いで「5年未満」が0.41、「10年～20年未満」が0.31、「20年以上」が0.21と最も低くなっています。全ての居住期間でマイナスとなる項目は、35項目の内、「ハチ、蚊（カ）等の害虫対策」、「騒音・振動（工場・車等）」、「災害（火災・地震・台風等）からの安全性」、「道路の安全性」、「安全な自転車走行空間の確保」、「川の水のきれいさ」の6項目となります。

図表 72-1 地域の生活環境（全体・性別・年齢別・居住地区別・居住期間別）

		保健・衛生・福祉								安全										
		ごみの回収	雨水など水のはけぐあい	ハチ、蚊（力）等の害虫対策	医療機関への通院のしやすさ	地域福祉の支援（地域における支え合い）	休日や夜間の急病のときの安心さ	ばい煙・排気ガス	騒音・振動（工場・車等）	子どもが外で遊ぶときや通学時の安全性	豊かな心を育む青少年の育成	高齢者の外出や散歩の安全性	個人情報の秘密が守られること	災害（火災・地震・台風等）からの安全性	環境汚染からの安全性	夜道の明るさ	道路の安全性	安全な自転車走行空間の確保	防犯対策の充実	防犯情報の受取やすさ
	全体(1,204)	0.80	-0.05	-0.08	0.42	0.04	0.02	-0.05	-0.15	0.07	0.10	-0.02	0.18	-0.13	0.08	-0.10	-0.19	-0.53	-0.16	-0.08
性別	男性(546)	0.80	0.06	-0.02	0.50	0.00	0.12	0.00	-0.10	0.08	0.08	-0.01	0.23	-0.10	0.13	0.00	-0.15	-0.42	-0.12	-0.05
	女性(646)	0.79	-0.14	-0.12	0.37	0.08	-0.05	-0.10	-0.19	0.04	0.12	-0.02	0.14	-0.16	0.03	-0.20	-0.24	-0.62	-0.18	-0.12
	その他(3)	-0.33	-0.33	-0.33	-0.33	-0.67	-0.67	-0.67	-0.67	0.67	-0.67	-0.67	-0.67	-0.67	-0.67	0.00	0.00	0.00	-0.67	-0.67
年齢別	18～19 歳(13)	0.77	-0.23	-0.17	0.77	0.50	0.38	0.17	-0.15	0.38	0.42	0.38	0.83	0.08	0.42	-0.08	0.00	-0.54	0.31	0.23
	20～29 歳(115)	0.99	0.26	0.04	0.79	0.26	0.20	0.12	-0.05	0.32	0.29	0.34	0.56	0.20	0.37	0.23	0.20	-0.15	0.08	0.13
	30～39 歳(170)	0.71	-0.18	-0.22	0.48	0.12	-0.08	-0.11	-0.18	-0.06	0.14	0.08	0.27	-0.15	0.05	-0.04	-0.10	-0.39	-0.03	0.05
	40～49 歳(218)	0.75	-0.23	-0.19	0.45	0.07	-0.06	-0.04	-0.18	0.02	0.16	0.02	0.18	-0.17	0.02	-0.10	-0.23	-0.54	-0.17	0.01
	50～59 歳(259)	0.64	-0.21	-0.14	0.32	-0.07	0.00	-0.22	-0.23	-0.07	-0.07	-0.17	0.01	-0.31	-0.03	-0.36	-0.40	-0.64	-0.34	-0.13
	60～69 歳(172)	0.73	-0.07	0.01	0.35	-0.14	-0.08	-0.06	-0.17	0.08	-0.01	-0.14	0.08	-0.11	0.07	-0.09	-0.27	-0.67	-0.25	-0.26
	70 歳以上(227)	1.02	0.35	0.15	0.35	0.07	0.21	0.10	-0.01	0.23	0.17	-0.07	0.16	-0.06	0.12	-0.01	-0.11	-0.56	-0.08	-0.21
居住地区別	下戸田1地区(146)	0.70	0.21	-0.08	0.53	-0.05	0.05	-0.04	-0.14	0.12	0.03	0.01	0.17	-0.07	0.10	0.08	-0.14	-0.51	-0.25	-0.06
	下戸田2地区(195)	0.92	0.03	0.04	0.46	0.13	0.11	-0.05	-0.13	0.10	0.24	0.09	0.25	-0.09	0.10	-0.05	-0.11	-0.45	-0.02	0.05
	上戸田1地区(123)	0.79	-0.34	-0.10	0.74	0.08	0.14	0.08	0.04	0.15	0.14	0.00	0.18	-0.22	0.15	-0.24	-0.25	-0.55	-0.15	-0.03
	上戸田2地区(166)	0.81	-0.09	-0.05	0.67	0.05	0.11	-0.13	-0.11	0.09	0.15	-0.04	0.16	-0.21	0.03	-0.02	-0.24	-0.67	-0.20	-0.14
	新曽地区(305)	0.76	-0.29	-0.16	0.40	0.06	0.02	0.04	-0.15	0.02	0.05	0.01	0.21	-0.13	0.12	-0.13	-0.22	-0.53	-0.12	-0.11
	笹目地区(164)	0.81	0.20	-0.04	0.23	0.06	0.04	-0.04	-0.16	0.12	0.03	-0.09	0.09	-0.08	0.10	-0.10	-0.09	-0.37	-0.21	-0.05
	美女木地区(100)	0.69	0.13	-0.13	-0.24	-0.19	-0.47	-0.40	-0.47	-0.18	0.04	-0.25	0.12	-0.13	-0.18	-0.37	-0.37	-0.68	-0.26	-0.31
居住期間別	5 年未満(157)	0.81	-0.01	-0.05	0.70	0.22	0.19	0.03	-0.09	0.15	0.29	0.24	0.37	-0.07	0.14	0.06	-0.03	-0.22	0.02	0.06
	5～10 年未満(135)	0.76	-0.07	-0.15	0.34	-0.01	-0.12	-0.03	-0.14	0.01	0.17	0.01	0.20	-0.27	0.05	-0.18	-0.22	-0.58	-0.17	-0.11
	10～20 年未満(255)	0.85	-0.31	-0.19	0.45	0.13	0.00	-0.10	-0.18	0.00	0.05	-0.03	0.15	-0.17	0.00	-0.21	-0.25	-0.52	-0.15	0.06
	20 年以上(654)	0.78	0.05	-0.03	0.36	-0.03	0.03	-0.06	-0.15	0.08	0.06	-0.07	0.14	-0.10	0.09	-0.09	-0.21	-0.60	-0.20	-0.18

図表 72-2 地域の生活環境（全体・性別・年齢別・居住地区別・居住期間別）つづき

		利便						快適									総合
		日用品・食料品等の買い物の利便さ	通勤・通学の利便さ	公共交通の利便性の向上	公園・広場等の利用のしやすさ	公民館・集会所等の利用のしやすさ	郵便局・金融機関の利便さ	周囲に悪臭がないこと	計画的なまちの整備	日当たりや風通しの良さ	良好な景観が保たれること	快適な歩行空間の確保	道路や駅、公共施設のバリアフリー	公園の整備・緑化の推進	緑などの自然環境	川の水のきれいさ	上記を総合して、どの程度満足していますか
	全体(1,204)	0.77	0.65	0.34	0.50	0.23	0.21	0.42	0.17	0.56	0.32	0.10	0.06	0.32	0.34	-0.43	0.28
性別	男性(546)	0.78	0.70	0.38	0.56	0.21	0.19	0.42	0.15	0.53	0.27	0.12	0.09	0.36	0.36	-0.39	0.31
	女性(646)	0.77	0.62	0.32	0.46	0.25	0.23	0.43	0.19	0.60	0.36	0.09	0.04	0.30	0.32	-0.47	0.27
	その他(3)	-0.67	0.00	0.00	-0.67	-0.67	-0.33	-0.67	-0.67	-0.67	-0.67	-0.33	-0.33	0.33	0.00	-0.33	-0.67
年齢別	18～19歳(13)	1.08	1.15	0.54	0.62	0.42	0.54	0.58	0.46	0.92	0.46	0.31	0.31	0.62	0.38	-0.46	0.62
	20～29歳(115)	1.17	0.99	0.78	0.90	0.44	0.56	0.69	0.53	0.91	0.67	0.54	0.45	0.64	0.53	-0.37	0.55
	30～39歳(170)	0.93	0.80	0.47	0.77	0.35	0.28	0.51	0.28	0.60	0.41	0.20	0.23	0.49	0.53	-0.45	0.44
	40～49歳(218)	0.90	0.78	0.46	0.50	0.25	0.21	0.37	0.20	0.63	0.38	0.17	0.05	0.35	0.36	-0.49	0.34
	50～59歳(259)	0.74	0.59	0.22	0.43	0.13	0.11	0.25	-0.03	0.43	0.19	-0.04	-0.06	0.25	0.33	-0.46	0.21
	60～69歳(172)	0.62	0.48	0.17	0.30	0.12	0.02	0.37	0.00	0.49	0.17	-0.02	-0.04	0.21	0.20	-0.37	0.14
	70歳以上(227)	0.47	0.37	0.14	0.33	0.18	0.21	0.54	0.25	0.48	0.28	-0.01	-0.04	0.19	0.19	-0.39	0.16
居住地区別	下戸田1地区(146)	0.85	0.61	0.40	0.40	0.13	0.33	0.49	0.19	0.47	0.24	-0.10	-0.01	0.30	0.34	-0.43	0.27
	下戸田2地区(195)	0.89	0.74	0.51	0.58	0.33	0.34	0.47	0.27	0.60	0.32	0.22	0.17	0.49	0.37	-0.34	0.34
	上戸田1地区(123)	0.88	0.79	0.43	0.68	0.34	0.27	0.63	0.21	0.60	0.39	0.18	0.00	0.43	0.43	-0.39	0.33
	上戸田2地区(166)	1.05	0.94	0.70	0.63	0.37	0.39	0.53	0.16	0.53	0.35	0.06	0.08	0.32	0.30	-0.51	0.38
	新曽地区(305)	0.86	0.77	0.38	0.45	0.19	0.13	0.33	0.18	0.57	0.30	0.06	0.06	0.24	0.24	-0.49	0.30
	笹目地区(164)	0.19	0.20	-0.06	0.40	0.18	-0.02	0.31	0.15	0.63	0.39	0.19	0.11	0.31	0.45	-0.42	0.21
	美女木地区(100)	0.47	0.24	-0.22	0.39	0.04	-0.01	0.21	-0.09	0.46	0.16	0.11	-0.10	0.20	0.29	-0.39	0.03
居住期間別	5年未満(157)	0.98	0.81	0.49	0.82	0.40	0.25	0.46	0.32	0.69	0.50	0.36	0.16	0.53	0.53	-0.35	0.41
	5～10年未満(135)	0.94	0.88	0.49	0.67	0.27	0.13	0.37	0.21	0.63	0.33	0.13	0.04	0.41	0.40	-0.40	0.43
	10～20年未満(255)	0.94	0.81	0.48	0.53	0.26	0.25	0.34	0.15	0.58	0.31	0.15	0.14	0.34	0.35	-0.45	0.31
	20年以上(654)	0.61	0.50	0.22	0.38	0.17	0.20	0.45	0.13	0.51	0.27	0.01	0.01	0.25	0.27	-0.45	0.21

【令和5年度調査との属性別比較】

総合した満足度を属性別に前回と比較すると、全ての属性でマイナス傾向にあります。

性別では、男女ともに評価がマイナスの項目は、「防犯情報の受け取りやすさ」や「防犯対策の充実」、「公園の整備・緑化の推進」のほか、「道路の安全性」や「郵便局・金融機関の便利さ」など19項目となっています。

年齢別では、総合した満足度は70歳以上を除く全ての年代で悪化しています。

全年齢層で評価が改善した項目はなく、「防犯対策の充実」や「防犯情報の受取やすさ」「郵便局・金融機関の便利さ」では、全ての年代でマイナスとなっています。

居住地区別では、総合した満足度で唯一評価が改善したのは「笹目地区」で0.01となっています。その他の地区は全てマイナス評価となっており、「下戸田1地区」と「上戸田2地区」が-0.04、最も低いのは「上戸田1地区」で-0.22となっています。

上戸田1地区は32項目の内29項目がマイナスで、安全・利便・快適のすべての項目がマイナスとなっています。

居住期間別では、総合した満足度で最も評価が高いのは「5年未満」で-0.03、次いで「5～10年未満」が-0.05、「20年以上」が-0.07、「10～20年未満」が-0.27と最も低くなっています。

全ての居住期間でマイナスとなる項目は32項目の内、「防犯情報の受取やすさ」、「公民館・集会所等の利用のしやすさ」、「郵便局・金融機関の便利さ」、「川の水のきれいさ」の4つとなります。

図表 73-1 地域の生活環境（全体・性別・年齢別・居住地区別・居住期間別）前回比

		保健・衛生・福祉								安全										
		ごみの回収	雨水など水のはけぐあい	ハチ、蚊（力）等の害虫対策	医療機関への通院のしやすさ	地域福祉の支援（地域における支え合い）	休日や夜間の急病のときの安心さ	ばい煙・排気ガス	騒音・振動（工場・車等）	子どもが外で遊ぶときや通学時の安全性	豊かな心を育む青少年の育成	高齢者の外出や散歩の安全性	個人情報の秘密が守られること	災害（火災・地震・台風等）からの安全性	環境汚染からの安全性	夜道の明るさ	道路の安全性	安全な自転車走行空間の確保	防犯対策の充実	防犯情報の受取やすさ
	全体(1,204)	-0.01	0.01	0.00	0.02	-0.06	-0.04	-0.03	-0.03	-0.01	-0.07	-0.06	-0.03	-0.04	-0.01	-0.03	-0.09	-	-0.12	-0.13
性別	男性(546)	0.02	0.07	0.00	0.06	-0.12	0.00	-0.03	-0.01	0.01	-0.08	-0.06	0.00	-0.01	-0.01	-0.01	-0.06	-	-0.12	-0.11
	女性(646)	-0.04	-0.04	-0.01	-0.01	-0.02	-0.07	-0.04	-0.04	-0.05	-0.06	-0.05	-0.06	-0.06	-0.02	-0.05	-0.14	-	-0.12	-0.15
	その他(3)	-1.33	-1.33	-0.33	-0.83	-0.17	-0.17	-0.67	-0.67	0.67	-0.67	-0.67	-0.67	-0.67	-0.67	0.00	0.00	-	-0.67	-0.67
年齢別	18～19 歳(13)	-0.18	-0.66	-0.43	-0.09	-0.29	0.28	-0.22	-0.30	0.08	-0.11	0.02	0.10	-0.22	-0.14	-0.03	-0.33	-	-0.09	-0.24
	20～29 歳(115)	0.11	0.12	0.01	0.21	-0.02	0.08	-0.09	-0.07	0.02	-0.18	-0.08	0.06	0.10	0.05	0.15	-0.01	-	-0.14	-0.18
	30～39 歳(170)	-0.16	-0.10	-0.11	-0.05	-0.12	-0.21	-0.09	-0.02	-0.16	-0.04	-0.08	0.01	-0.03	-0.08	0.01	0.04	-	-0.01	-0.02
	40～49 歳(218)	-0.08	-0.07	-0.16	0.03	-0.06	-0.22	0.00	-0.02	-0.06	-0.02	-0.07	-0.09	-0.11	-0.04	-0.08	-0.15	-	-0.16	-0.24
	50～59 歳(259)	-0.08	0.04	0.00	0.00	-0.02	0.05	-0.13	0.00	-0.05	-0.17	-0.07	-0.07	-0.12	-0.04	-0.22	-0.18	-	-0.21	-0.07
	60～69 歳(172)	0.08	0.04	0.16	0.05	-0.16	0.01	0.07	0.02	0.12	-0.03	-0.03	0.01	0.05	0.04	0.18	-0.09	-	-0.07	-0.13
	70 歳以上(227)	0.05	0.12	0.21	0.01	0.00	0.10	0.08	-0.04	0.09	0.02	-0.02	0.00	0.01	0.02	-0.04	-0.05	-	-0.05	-0.10
居住地区別	下戸田1地区(146)	-0.02	0.12	0.10	0.15	-0.19	0.02	-0.16	-0.22	0.00	-0.12	-0.04	0.03	-0.02	-0.02	0.12	-0.08	-	-0.19	-0.05
	下戸田2地区(195)	0.07	0.01	0.09	0.04	0.06	0.03	0.11	0.20	0.07	0.01	0.14	0.02	0.04	0.03	-0.01	0.05	-	0.06	0.01
	上戸田1地区(123)	-0.07	-0.14	0.07	0.11	-0.17	0.04	-0.12	-0.08	-0.09	-0.09	-0.25	-0.11	-0.26	-0.10	-0.16	-0.26	-	-0.22	-0.26
	上戸田2地区(166)	0.02	-0.02	-0.08	0.03	-0.05	-0.02	-0.23	-0.13	0.08	0.04	-0.03	-0.07	0.02	-0.04	0.00	-0.15	-	-0.26	-0.18
	新曽地区(305)	-0.05	-0.02	-0.10	-0.03	-0.07	-0.08	-0.04	-0.07	-0.14	-0.18	-0.13	0.00	-0.08	-0.05	-0.03	-0.19	-	-0.11	-0.21
	笹目地区(164)	0.01	0.12	0.04	0.08	0.06	0.03	0.10	0.03	0.10	-0.02	-0.03	-0.10	0.05	0.05	0.03	0.14	-	-0.02	0.03
	美女木地区(100)	-0.16	-0.04	0.00	-0.25	-0.24	-0.30	0.03	0.05	-0.11	-0.07	-0.17	-0.02	-0.05	0.09	-0.22	-0.19	-	-0.16	-0.29
居住期間別	5 年未満(157)	0.10	-0.12	0.13	0.36	0.08	0.26	0.11	0.05	0.06	0.02	0.08	0.07	0.06	0.09	0.12	0.01	-	0.09	-0.02
	5～10 年未満(135)	-0.09	-0.03	-0.16	-0.09	-0.17	-0.26	-0.07	-0.06	-0.05	0.00	-0.10	-0.04	-0.12	-0.04	-0.09	-0.03	-	-0.16	-0.22
	10～20 年未満(255)	-0.08	-0.20	-0.14	-0.07	-0.05	-0.15	-0.11	-0.01	-0.14	-0.19	-0.15	-0.15	-0.15	-0.08	-0.17	-0.17	-	-0.19	-0.12
	20 年以上(654)	0.00	0.13	0.06	0.00	-0.08	0.00	-0.03	-0.05	0.03	-0.05	-0.04	-0.01	0.01	0.00	0.00	-0.10	-	-0.12	-0.14

図表 73-2 地域の生活環境（全体・性別・年齢別・居住地区別・居住期間別）前回比つづき

		利便						快適								総合	
		日用品・食料品等の買い物の利便さ	通勤・通学の利便さ	公共交通の利便性の向上	公園・広場等の利用のしやすさ	公民館・集会所等の利用のしやすさ	郵便局・金融機関の利便さ	周囲に悪臭がないこと	計画的なまちの整備	日当たりや風通しの良さ	良好な景観が保たれること	快適な歩行空間の確保	道路や駅、公共施設のバリアフリー	公園の整備・緑化の推進	緑などの自然環境	川の水のきれいさ	上記を総合して、どの程度満足していますか
	全体(1,204)	-0.05	0.01	-0.08	0.01	-0.07	-0.08	-0.02	-0.02	-0.05	0.04	-	-	-0.10	-0.06	-0.06	-0.11
性別	男性(546)	0.00	0.12	0.01	0.12	-0.02	-0.06	-0.07	-0.02	-0.03	0.01	-	-	-0.02	-0.01	-0.04	-0.10
	女性(646)	-0.08	-0.08	-0.14	-0.07	-0.09	-0.09	0.03	-0.03	-0.08	0.05	-	-	-0.16	-0.11	-0.09	-0.11
	その他(3)	-1.67	-0.50	-0.50	-1.17	-1.17	-0.33	-1.17	-0.67	-0.67	-0.67	-	-	0.33	0.50	-0.33	-1.17
年齢別	18～19歳(13)	-0.21	-0.04	-0.31	-0.38	-0.11	-0.18	-0.17	-0.34	0.07	-0.25	-	-	-0.10	-0.09	0.04	-0.24
	20～29歳(115)	0.01	0.13	0.13	0.31	-0.01	-0.04	0.01	-0.10	0.05	0.07	-	-	-0.12	-0.12	0.05	-0.06
	30～39歳(170)	-0.01	0.05	-0.07	0.13	-0.04	-0.07	0.10	-0.06	-0.27	-0.17	-	-	-0.03	0.02	-0.17	-0.10
	40～49歳(218)	-0.01	0.06	-0.13	-0.18	-0.10	-0.07	-0.04	0.00	-0.03	0.01	-	-	-0.16	-0.18	-0.11	-0.19
	50～59歳(259)	-0.08	-0.04	-0.11	0.02	-0.14	-0.07	-0.18	-0.13	-0.12	0.04	-	-	-0.03	0.05	-0.10	-0.11
	60～69歳(172)	0.00	0.03	-0.11	0.13	0.02	-0.11	0.03	0.04	0.14	0.13	-	-	0.03	0.03	0.10	-0.08
	70歳以上(227)	-0.10	-0.08	-0.04	-0.06	-0.09	-0.11	0.09	0.15	-0.03	0.16	-	-	-0.18	-0.15	-0.04	0.00
居住地区別	下戸田1地区(146)	-0.03	-0.05	-0.12	-0.09	-0.17	-0.20	0.08	-0.01	-0.05	0.02	-	-	-0.08	0.03	0.07	-0.04
	下戸田2地区(195)	-0.04	-0.05	0.00	0.04	0.03	0.10	0.04	0.17	-0.07	0.18	-	-	0.10	-0.02	0.06	-0.10
	上戸田1地区(123)	-0.21	-0.12	-0.19	-0.03	-0.19	-0.23	-0.08	-0.08	-0.11	-0.03	-	-	-0.17	-0.18	-0.21	-0.22
	上戸田2地区(166)	0.26	0.11	0.17	0.22	0.06	0.06	0.06	-0.02	-0.01	0.02	-	-	-0.07	-0.05	-0.02	-0.04
	新曽地区(305)	-0.14	0.01	-0.16	-0.02	-0.15	-0.12	-0.16	-0.15	-0.13	-0.08	-	-	-0.15	-0.13	-0.17	-0.17
	笹目地区(164)	-0.08	0.01	-0.01	-0.03	0.05	-0.08	-0.02	0.06	0.19	0.20	-	-	-0.08	0.07	-0.01	0.01
	美女木地区(100)	-0.09	0.16	-0.30	0.00	-0.12	-0.20	0.15	-0.11	-0.16	-0.05	-	-	-0.20	-0.10	-0.17	-0.20
居住期間別	5年未満(157)	0.07	0.21	0.13	0.18	-0.04	-0.05	0.05	0.05	0.02	0.01	-	-	0.10	0.12	-0.02	-0.03
	5～10年未満(135)	0.11	0.19	-0.09	0.03	-0.14	-0.12	-0.06	-0.12	-0.23	-0.17	-	-	-0.17	-0.14	-0.11	-0.05
	10～20年未満(255)	0.02	0.01	-0.12	-0.06	-0.09	-0.08	-0.16	-0.14	-0.13	-0.10	-	-	-0.18	-0.14	-0.05	-0.27
	20年以上(654)	-0.14	-0.08	-0.11	-0.01	-0.05	-0.08	0.02	0.03	-0.01	0.13	-	-	-0.08	-0.05	-0.05	-0.07

(2) 公共施設の利用状況

問 23 あなたは、以下の施設を利用していますか。利用していない場合は、理由を教えてください。(施設ごとに〇は1つ)

【全体の回答傾向】

利用状況が高い施設は、「戸田公園駅前行政センター」が52.2%で最も高く、次いで「彩湖・道満グリーンパーク(スポーツ施設を除く)」が35.0%、「図書館(分館・分室・配本所含む)」が34.1%、「上戸田地域交流センター(あいパル)」が25.7%となっています。

一方、利用している割合が3%未満の施設は、「西部福祉センター(美笹公民館)」、「ボランティア・市民活動支援センター(TOMATO)」、「教育センター」、「芦原小学校生涯学習施設」、「サッカー場」、「野球場(ソフトボール場含む)」です。

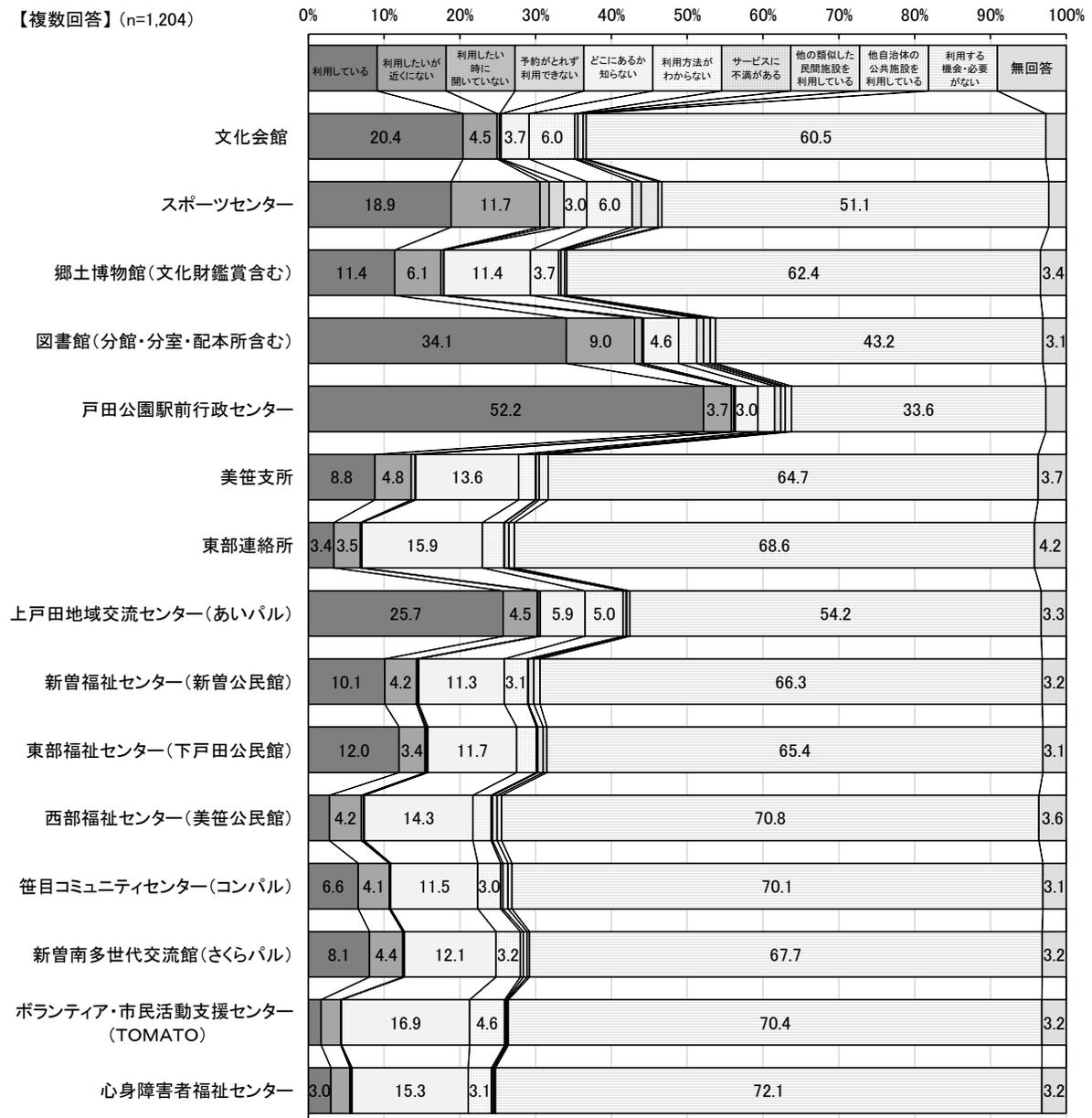
【令和5年度調査との比較】

令和5年度調査と比較して、「利用している」と回答した割合が最も増加した施設は「戸田公園駅前行政センター」3.9ポイントで、次いで「文化会館」3.7ポイントとなります。

一方で、「利用していない」と回答した割合が最も増加した施設は、「心身障害者福祉センター」1.7ポイント、次いで「図書館(分館・分室・配本所含む)」1.3ポイント、「ボランティア・市民活動支援センター(TOMATO)」、「福祉保健センター」0.7ポイントとなります。

図表 74-1 公共施設の利用状況（全体）

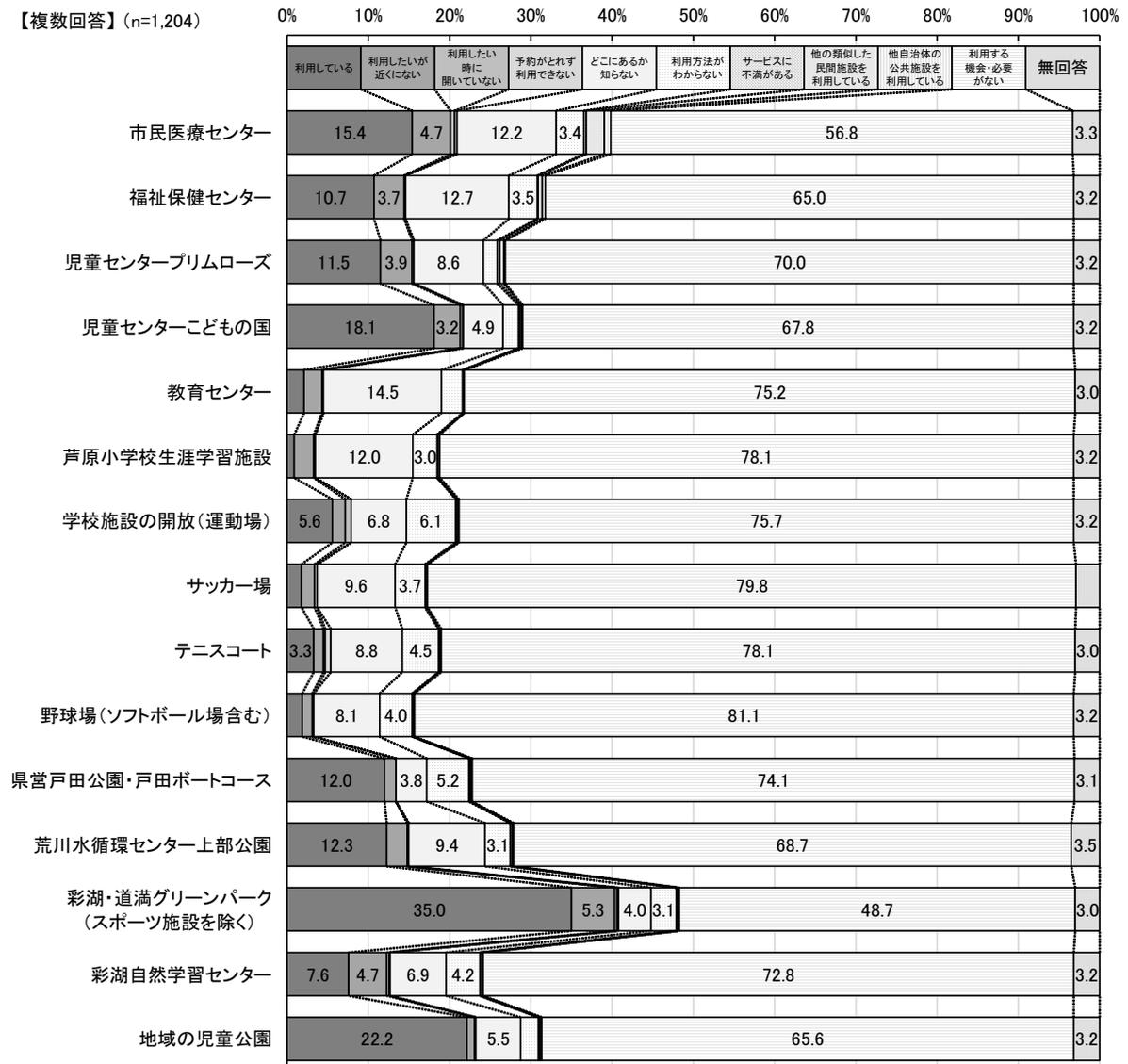
【複数回答】(n=1,204)



(注) 3%未満は非表示

図表 74-2 公共施設の利用状況（全体）つづき

【複数回答】(n=1,204)



(注) 3%未満は非表示

図表 75-1 公共施設の利用状況（前回比）

	利用している			利用していない			利用する機会 ・必要がない			無回答		
	R7	R5	差	R7	R5	差	R7	R5	差	R7	R5	差
文化会館	20.4	16.7	3.7	16.2	17.3	-1.1	60.5	61.6	-1.1	2.7	4.4	-1.7
スポーツセンター	18.9	19.0	-0.1	27.8	28.2	-0.4	51.1	48.7	2.4	2.3	4.1	-1.8
郷土博物館 (文化財鑑賞含む)	11.4	11.8	-0.4	22.7	22.4	0.3	62.4	61.2	1.2	3.4	4.6	-1.2
図書館 (分館・分室・配本所含む)	34.1	36.8	-2.7	19.7	18.4	1.3	43.2	39.9	3.3	3.1	4.9	-1.8
戸田公園駅前行政センター	52.2	48.3	3.9	11.6	13.4	-1.8	33.6	34.4	-0.8	2.7	3.9	-1.2
美笹支所	8.8	9.0	-0.2	22.9	23.7	-0.8	64.7	62.5	2.2	3.7	4.8	-1.1
東部連絡所	3.4	3.1	0.3	23.8	25.3	-1.5	68.6	65.6	3.0	4.2	6.1	-1.9
上戸田地域交流センター (あいパル)	25.7	25.5	0.2	16.7	17.1	-0.4	54.2	52.5	1.7	3.3	4.8	-1.5
新曽福祉センター (新曽公民館)	10.1	8.4	1.7	20.5	20.1	0.4	66.3	66.2	0.1	3.2	5.2	-2.0
東部福祉センター (下戸田公民館)	12.0	11.3	0.7	19.5	19.7	-0.2	65.4	64.0	1.4	3.1	5.0	-1.9
西部福祉センター (美笹公民館)	2.8	4.1	-1.3	22.7	22.3	0.4	70.8	68.3	2.5	3.6	5.3	-1.7
笹目コミュニティセンター (コンパル)	6.6	6.4	0.2	20.3	21.4	-1.1	70.1	67.3	2.8	3.1	5.0	-1.9
新曽南多世代交流館 (さくらパル)	8.1	6.5	1.6	21.1	21.7	-0.6	67.7	66.5	1.2	3.2	5.3	-2.1
ボランティア・市民活動支 援センター(TOMATO)	1.7	1.9	-0.2	24.7	24.0	0.7	70.4	68.6	1.8	3.2	5.6	-2.4
心身障害者福祉センター	3.0	3.6	-0.6	21.7	20.0	1.7	72.1	71.2	0.9	3.2	5.1	-1.9

(注) 表中の「利用していない」は「利用したいが近くにない」、「利用したい時に開いていない」、「予約がとれず利用できない」、「どこにあるか知らない」、「利用方法がわからない」、「サービスに不満がある」、「他の類似した民間施設を利用している」及び「他自治体の公共施設を利用している」の合計

図表 75-2 公共施設の利用状況（前回比）つづき

	利用している			利用していない			利用する機会 ・必要がない			無回答		
	R7	R5	差	R7	R5	差	R7	R5	差	R7	R5	差
市民医療センター	15.4	14.8	0.6	24.4	24.6	-0.2	56.8	55.6	1.2	3.3	5.0	-1.7
福祉保健センター	10.7	10.8	-0.1	21.1	20.4	0.7	65.0	63.5	1.5	3.2	5.3	-2.1
児童センタープリムローズ	11.5	11.3	0.2	15.4	16.1	-0.7	70.0	67.0	3.0	3.2	5.6	-2.4
児童センターこどもの国	18.1	18.8	-0.7	10.9	10.5	0.4	67.8	65.3	2.5	3.2	5.4	-2.2
教育センター	2.1	1.7	0.4	19.7	19.9	-0.2	75.2	72.6	2.6	3.0	5.8	-2.8
芦原小学校生涯学習施設	0.9	1.0	-0.1	17.9	17.6	0.3	78.1	75.5	2.6	3.2	5.8	-2.6
学校施設の開放(運動場)	5.6	6.4	-0.8	15.6	15.2	0.4	75.7	72.7	3.0	3.2	5.6	-2.4
サッカー場	1.8	2.2	-0.4	15.5	16.0	-0.5	79.8	76.5	3.3	2.9	5.3	-2.4
テニスコート	3.3	2.7	0.6	15.7	16.9	-1.2	78.1	74.7	3.4	3.0	5.6	-2.6
野球場 (ソフトボール場含む)	1.9	3.1	-1.2	13.8	14.3	-0.5	81.1	76.9	4.2	3.2	5.7	-2.5
県営戸田公園・戸田ポート コース	12.0	11.8	0.2	10.8	11.8	-1.0	74.1	70.4	3.7	3.1	6.0	-2.9
荒川水循環センター上部 公園	12.3	13.6	-1.3	15.6	15.8	-0.2	68.7	65.1	3.6	3.5	5.5	-2.0
彩湖・道満グリーンパーク (スポーツ施設を除く)	35.0	34.8	0.2	13.3	15.8	-2.5	48.7	43.9	4.8	3.0	5.5	-2.5
彩湖自然学習センター	7.6	9.4	-1.8	16.6	16.8	-0.2	72.8	67.9	4.9	3.2	5.9	-2.7
地域の児童公園	22.2	22.5	-0.3	9.2	10.8	-1.6	65.6	60.9	4.7	3.2	5.8	-2.6

【属性別の回答傾向】（利用している）

性別では、男女ともに「戸田公園駅前行政センター」が50%以上で最も高く、次いで、男性では「彩湖・道満グリーンパーク（スポーツ施設を除く）」が39.4%、女性では「図書館（分館・分室・配本所含む）」が37.3%となっています。

年齢別では、10歳代では「彩湖・道満グリーンパーク（スポーツ施設を除く）」が38.5%と最も高くなっています。20歳代以上は、「戸田公園駅前行政センター」が最も高く、それ以外では、40歳代で「彩湖・道満グリーンパーク（スポーツ施設を除く）」が50.9%と高くなっています。「図書館（分館・分室・配本所含む）」が20歳代で31.3%、50歳代で34.4%、60歳代で29.1%、70歳以上で28.6%、30歳代では「彩湖・道満グリーンパーク（スポーツ施設を除く）」の47.1%や「児童センターこどもの国」の42.4%が高くなっています。

居住地区別では、「戸田公園駅前行政センター」は上戸田2地区で88.6%、下戸田2地区で72.3%と高くなっています。また、「彩湖・道満グリーンパーク（スポーツ施設を除く）」、「美笹支所」、「市民医療センター」は笹目地区や美女木地区で高くなっています。

図表 76-1 公共施設の利用状況（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		文化会館	スポーツセンター	郷土博物館（文化財鑑賞含む）	図書館（分館・分室・配本所含む）	戸田公園駅前行政センター	美笹支所	東部連絡所	（あいパル） 上戸田地域交流センター	新曽福祉センター（新曽公民館） （下戸田公民館）	東部福祉センター	西部福祉センター（美笹公民館）	（コンパル） 笹目コミュニティセンター	新管南多世代交流館 （さくらパル）	ボランティア・市民活動支援センター（TOMATO）	心身障害者福祉センター
	全体(1,204)	20.4	18.9	11.4	34.1	52.2	8.8	3.4	25.7	10.1	12.0	2.8	6.6	8.1	1.7	3.0
性別	男性(546)	20.3	20.9	12.5	30.2	51.1	8.1	2.4	24.2	9.5	10.4	2.4	6.6	6.8	1.6	3.3
	女性(646)	20.6	17.2	10.7	37.3	53.7	9.6	4.3	27.4	10.8	13.2	3.3	6.7	9.1	1.9	2.6
	その他(3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	18～19歳(13)	7.7	7.7	0.0	30.8	30.8	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳(115)	12.2	13.9	7.0	31.3	47.8	3.5	1.7	17.4	6.1	4.3	1.7	2.6	4.3	1.7	1.7
	30～39歳(170)	15.3	21.8	12.9	36.5	56.5	4.1	0.6	32.9	8.2	8.2	0.0	5.9	10.0	0.0	0.6
	40～49歳(218)	23.9	28.9	15.6	41.3	56.4	9.2	1.4	35.3	11.5	11.9	2.8	5.5	9.6	0.5	3.2
	50～59歳(259)	19.3	19.3	9.3	34.4	59.1	10.0	3.5	23.2	8.1	12.7	3.1	8.1	5.4	1.9	3.5
	60～69歳(172)	25.0	15.7	11.6	29.1	54.7	12.8	5.8	19.8	10.5	10.5	1.7	7.6	8.7	2.9	2.9
	70歳以上(227)	24.2	11.0	11.5	28.6	40.1	10.6	6.2	24.7	16.3	18.5	6.6	8.8	10.1	3.5	4.0
居住地区別	下戸田1地区(146)	15.1	12.3	6.8	23.3	41.1	0.0	6.8	22.6	4.1	26.0	0.0	4.1	2.7	2.7	2.7
	下戸田2地区(195)	20.5	15.4	10.8	35.9	72.3	0.0	12.8	39.0	5.6	35.4	0.5	1.5	6.7	1.5	6.7
	上戸田1地区(123)	27.6	23.6	8.1	35.0	45.5	0.0	0.0	40.7	2.4	4.1	0.8	1.6	4.9	0.8	1.6
	上戸田2地区(166)	26.5	18.7	10.8	39.8	88.6	0.0	0.6	41.6	7.2	10.2	0.6	1.8	16.3	1.8	6.0
	新曽地区(305)	21.6	24.9	15.4	42.0	49.2	2.3	0.7	20.7	23.6	3.0	1.6	5.2	10.8	1.6	1.3
	笹目地区(164)	18.3	18.9	14.0	29.9	29.3	33.5	1.8	8.5	8.5	2.4	7.9	25.6	7.9	2.4	1.2
	美女木地区(100)	10.0	12.0	8.0	19.0	23.0	43.0	0.0	4.0	4.0	1.0	13.0	7.0	1.0	1.0	1.0

図表 76-2 公共施設の利用状況（全体・性別・年齢別・居住地区別） つづき

		市民医療センター	福祉保健センター	児童センター・プリムローズ	児童センター・こどもの国	教育センター	芦原小学校生涯学習施設	学校施設の開放（運動場）	サッカー場	テニスコート	野球場（ソフトボール場含む）	県営戸田公園・戸田ポートコース	荒川水循環センター・上部公園	彩湖・道満グリーンパーク （スボーツ施設を除く）	彩湖自然学習センター	地域の児童公園
	全体(1,204)	15.4	10.7	11.5	18.1	2.1	0.9	5.6	1.8	3.3	1.9	12.0	12.3	35.0	7.6	22.2
性別	男性(546)	16.1	8.2	9.9	17.4	1.5	1.3	6.6	2.0	3.3	2.2	14.1	12.6	39.4	10.3	21.6
	女性(646)	15.0	13.0	13.0	19.0	2.6	0.6	4.8	1.7	3.1	1.7	10.5	12.2	31.9	5.4	23.1
	その他(3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	18～19歳(13)	15.4	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0	0.0	7.7	15.4	38.5	7.7	7.7
	20～29歳(115)	7.0	7.8	4.3	7.8	1.7	1.7	2.6	3.5	6.1	3.5	9.6	7.0	27.8	7.0	17.4
	30～39歳(170)	13.5	21.8	27.6	42.4	1.8	0.0	4.1	1.8	1.8	1.8	14.7	18.8	47.1	7.6	37.1
	40～49歳(218)	20.6	15.1	23.9	35.8	3.7	2.3	14.2	3.7	3.2	2.8	14.2	24.3	50.9	14.2	35.3
	50～59歳(259)	19.3	6.2	5.8	11.2	1.5	0.8	2.3	1.2	2.7	1.5	11.6	6.6	32.8	5.8	15.8
	60～69歳(172)	10.5	6.4	6.4	8.7	1.7	0.0	3.5	0.6	4.7	2.3	13.4	8.1	28.5	7.0	18.0
	70歳以上(227)	15.0	9.7	3.1	5.3	2.2	0.9	4.8	0.9	2.6	0.9	9.3	8.4	22.9	4.8	13.7
居住地区別	下戸田1地区(146)	4.8	8.2	5.5	13.7	0.0	0.0	3.4	1.4	2.7	2.1	9.6	6.2	24.0	4.8	19.2
	下戸田2地区(195)	10.3	10.8	6.2	23.6	2.6	0.0	3.6	1.5	2.1	2.1	14.4	7.7	31.8	6.2	22.1
	上戸田1地区(123)	4.9	9.8	7.3	18.7	2.4	0.0	4.1	0.8	1.6	1.6	11.4	9.8	27.6	4.1	23.6
	上戸田2地区(166)	4.2	6.6	9.0	28.3	0.6	0.6	7.2	2.4	3.0	2.4	25.9	11.4	25.9	8.4	20.5
	新曽地区(305)	14.1	14.4	16.4	17.4	1.3	2.6	7.2	2.0	4.6	1.0	10.5	13.4	38.0	7.9	23.6
	笹目地区(164)	38.4	12.8	18.9	12.2	5.5	1.2	7.3	1.8	4.3	3.0	7.3	20.7	48.8	12.2	22.6
	美女木地区(100)	39.0	8.0	13.0	8.0	3.0	0.0	4.0	3.0	4.0	2.0	2.0	18.0	51.0	9.0	23.0

(3) 駅周辺のにぎわいや魅力

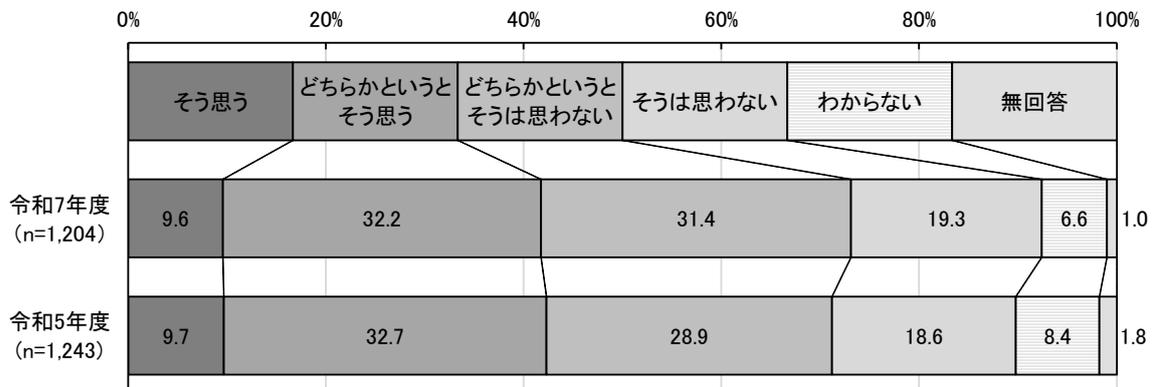
問 24 あなたは、市内の駅周辺について、にぎわいや魅力がありますか。(〇は1つ)

【全体の回答傾向】

駅周辺のにぎわいや魅力があるかについては、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせると41.8%で、前回調査をやや下回るものの大きな変化は見られません。

一方、「どちらかというとは思わない」と「そうは思わない」を合わせると50.7%で、前回調査を上回り50%以上となっています。

図表 77 駅周辺のにぎわいや魅力（全体）



【属性別の回答傾向】

性別では、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせると女性が45.9%と高く、男性では「どちらかというとは思わない」と「そうは思わない」を合わせると56.6%と高くなっています。

年齢別では、50歳代以降で「どちらかというとは思わない」と「そうは思わない」の割合が高まる傾向にあります。20歳代と30歳代では「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせると60%以上となっています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた割合は、下戸田1地区、上戸田1地区、上戸田2地区で45%を超えています。

一方で、「そう思わない」と「どちらかというと思わない」を合わせた割合は、上戸田1地区、上戸田2地区、笹目地区、美女木地区で50%を超えています。

図表 78 駅周辺のにぎわいや魅力（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		そう思う	どちらかというと思う	どちらかというとは思わない	そうは思わない	わからない	無回答
性別	全体(1,204)	9.6	32.2	31.4	19.3	6.6	1.0
	男性(546)	7.3	30.2	34.1	22.5	5.7	0.2
	女性(646)	11.5	34.4	29.3	16.1	7.1	1.7
	その他(3)	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
年齢別	18～19歳(13)	23.1	15.4	23.1	30.8	7.7	0.0
	20～29歳(115)	18.3	48.7	19.1	11.3	2.6	0.0
	30～39歳(170)	14.7	50.0	22.4	10.6	2.4	0.0
	40～49歳(218)	9.2	39.0	32.1	17.0	2.3	0.5
	50～59歳(259)	7.7	24.3	39.8	22.0	5.8	0.4
	60～69歳(172)	5.2	23.3	38.4	24.4	8.7	0.0
	70歳以上(227)	6.6	22.5	29.1	23.3	14.5	4.0
居住地区別	下戸田1地区(146)	8.9	37.7	24.7	17.8	9.6	1.4
	下戸田2地区(195)	12.3	32.3	27.2	22.1	6.2	0.0
	上戸田1地区(123)	7.3	40.7	31.7	18.7	1.6	0.0
	上戸田2地区(166)	14.5	31.3	34.3	15.7	3.6	0.6
	新曽地区(305)	9.2	35.1	31.8	17.7	5.9	0.3
	笹目地区(164)	7.9	26.2	36.6	18.9	6.1	4.3
	美女木地区(100)	4.0	16.0	36.0	28.0	15.0	1.0

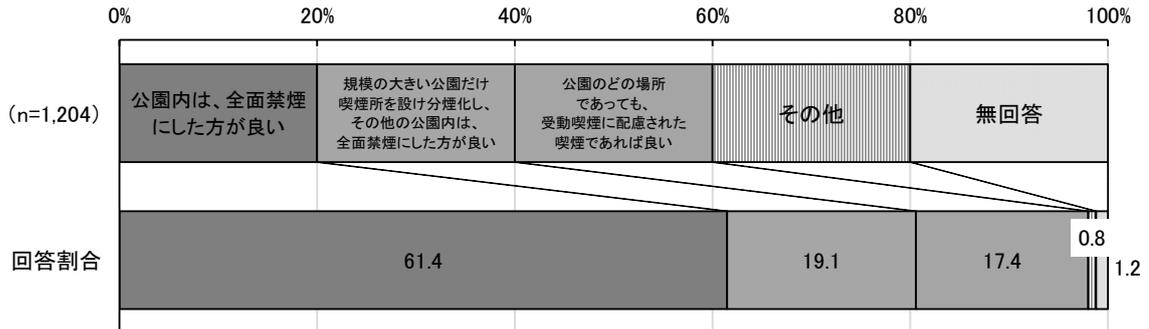
(4) 公園での喫煙

問 25 あなたは、公園内での喫煙についてどう思いますか。(〇は1つ)

【全体の回答傾向】

公園内の喫煙に関しては、61.4%の人が「公園内は、全面禁煙にした方が良い」と回答しています。

図表 79 公園での喫煙（全体）



【属性別の回答傾向】

性別では、「公園内は、全面禁煙にした方が良い」の割合は女性が高い一方、「規模の大きい公園だけ喫煙所を設け分煙化」や「受動喫煙に配慮された喫煙であれば良い」は男性が高くなっています。

年齢別では、30歳代から50歳代は、他の年代と比較すると「規模の大きい公園だけ喫煙所を設け分煙化」の割合が高く、10歳代や60歳代以上では「公園内は、全面禁煙にした方が良い」の割合が高くなっています。

居住地区別では、上戸田2地区で「公園内は、全面禁煙にした方が良い」の割合が最も高く、下戸田2地区では「規模の大きい公園だけ喫煙所を設け分煙化」、笹目地区や美女木地区では「受動喫煙に配慮された喫煙であれば良い」の割合が比較的高くなっています。

図表 80 公園での喫煙（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		公園内は、全面禁煙にした方が良い	規模の大きい公園だけ喫煙所を設け分煙化し、その他の公園内は、全面禁煙にした方が良い	公園のどの場所であっても、受動喫煙に配慮された喫煙であれば良い	その他	無回答
	全体(1,204)	61.4	19.1	17.4	0.8	1.2
性別	男性(546)	56.4	22.7	19.8	0.9	0.2
	女性(646)	65.3	16.4	15.3	0.8	2.2
	その他(3)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	18～19歳(13)	84.6	15.4	0.0	0.0	0.0
	20～29歳(115)	60.9	19.1	19.1	0.9	0.0
	30～39歳(170)	54.1	25.3	19.4	1.2	0.0
	40～49歳(218)	61.9	20.6	17.0	0.0	0.5
	50～59歳(259)	56.8	22.4	19.3	1.2	0.4
	60～69歳(172)	67.4	14.0	17.4	0.6	0.6
	70歳以上(227)	65.6	14.1	14.5	0.9	4.8
居住地区別	下戸田1地区(146)	65.1	17.1	15.8	1.4	0.7
	下戸田2地区(195)	54.9	27.7	16.4	1.0	0.0
	上戸田1地区(123)	59.3	18.7	18.7	1.6	1.6
	上戸田2地区(166)	72.9	11.4	13.9	0.6	1.2
	新曽地区(305)	63.0	19.7	16.4	0.3	0.7
	笹目地区(164)	56.7	18.9	20.7	0.0	3.7
	美女木地区(100)	56.0	16.0	24.0	2.0	2.0

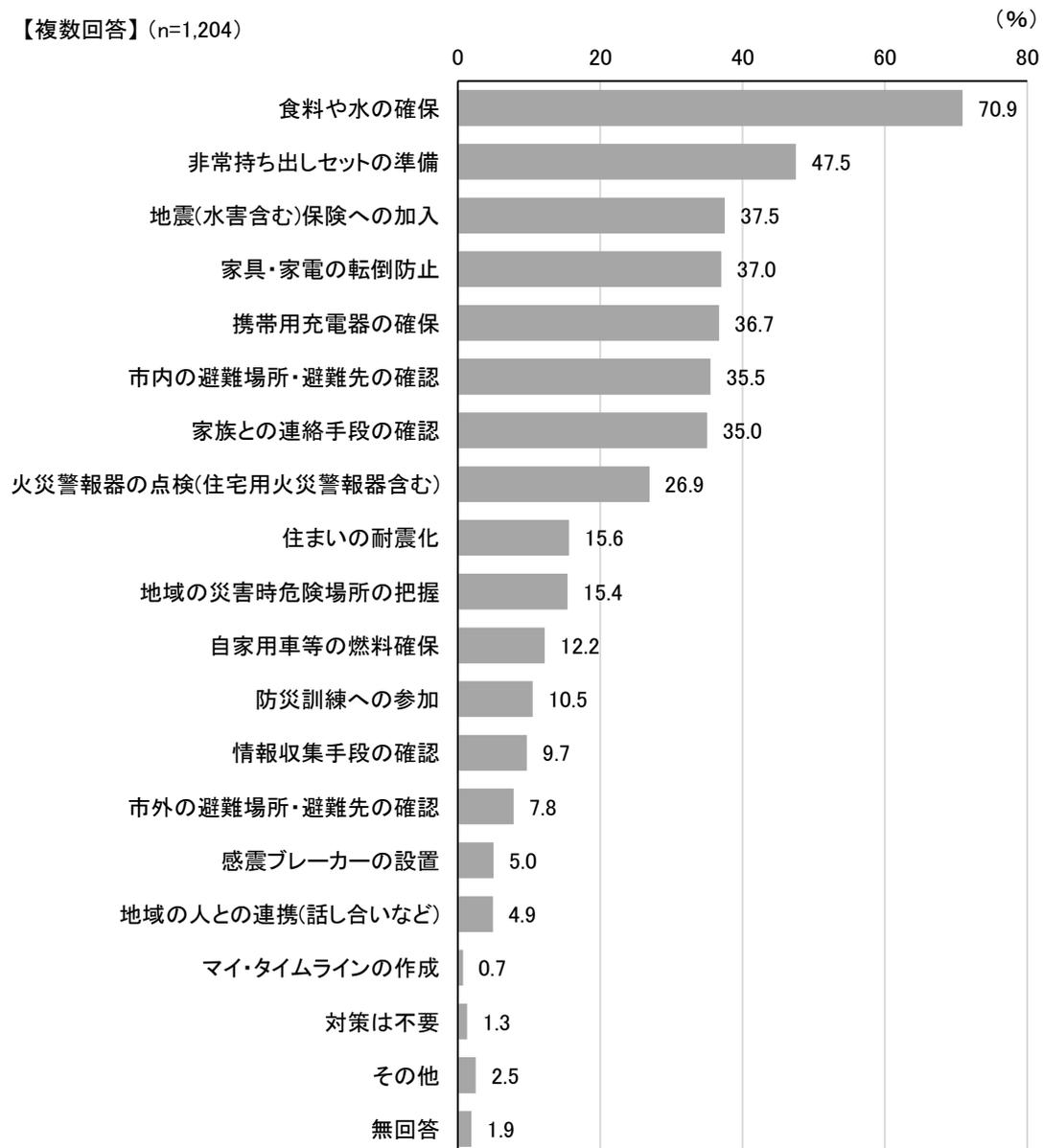
(5) 家庭での災害対策

問 26 あなたは、家庭でどのような災害対策をとっていますか。
あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

【全体の回答傾向】

家庭での災害対策では、「食料や水の確保」が70.9%と最も高く、次いで「非常持ち出しセットの準備」が47.5%、「地震(水害含む)保険への加入」が37.5%となっています。

図表 81 家庭での災害対策（全体）



【属性別の回答傾向】

性別では、「食料や水の確保」の割合は女性がやや高くなっています。

年齢別では、全ての年代で「食料や水の確保」の割合が最も高くなっています。「家具・家電の転倒防止」や「地震（水害含む）保険への加入」では10歳代と20歳代の割合が比較的低く、年齢が上がると割合は高くなっています。

居住地区別では、上戸田1地区で「食料や水の確保」や「家具・家電の転倒防止」「家族との連絡手段の確認」「地域の災害時危険場所の把握」が他の地区に比べ低くなっています。

「防災訓練への参加」は、下戸田1地区や上戸田1地区、新曽地区の割合が低くなっています。

災害対策を実施している項目数は平均で4.1個でした。「対策は不要」と回答した1.3%と、いずれも〇を付けなかった1.9%を除いた96.8%が、何らかの対策を講じていました。

図表 82-1 家庭での災害対策（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		食料や水の確保	非常持ち出しセットの準備	家具・家電の転倒防止	家族との連絡手段の確認	地震（水害含む）保険への加入	防災訓練への参加	地域の人との連携（話し合いなど）	自家用車等の燃料確保	感震ブレイカーの設置	火災警報器の点検 （住宅用火災警報器含む）
	全体(1,204)	70.9	47.5	37.0	35.0	37.5	10.5	4.9	12.2	5.0	26.9
性別	男性(546)	66.8	46.9	39.0	35.7	40.1	11.9	6.2	14.1	4.8	27.3
	女性(646)	74.8	48.3	35.4	34.8	35.6	9.4	3.9	10.7	5.3	26.9
	その他(3)	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	18～19歳(13)	84.6	38.5	23.1	30.8	15.4	0.0	0.0	15.4	23.1	7.7
	20～29歳(115)	73.0	46.1	22.6	34.8	19.1	7.0	3.5	4.3	4.3	18.3
	30～39歳(170)	67.6	51.2	34.1	26.5	31.8	6.5	3.5	8.2	1.8	20.0
	40～49歳(218)	71.1	47.7	33.9	37.2	38.1	6.0	3.7	11.5	3.2	21.1
	50～59歳(259)	72.6	46.7	43.2	37.5	43.6	10.8	3.5	15.8	4.2	32.8
	60～69歳(172)	69.2	48.8	37.8	39.0	45.9	11.0	5.8	18.6	8.7	27.9
	70歳以上(227)	70.0	46.3	41.0	32.2	39.6	19.8	9.7	11.0	5.7	36.1
居住地区別	下戸田1地区(146)	71.9	42.5	35.6	37.0	35.6	6.8	2.1	14.4	3.4	16.4
	下戸田2地区(195)	72.8	46.7	42.1	42.1	41.0	13.8	5.1	12.8	5.1	36.4
	上戸田1地区(123)	58.5	49.6	26.0	27.6	35.0	8.9	4.9	9.8	2.4	28.5
	上戸田2地区(166)	71.1	48.8	40.4	33.7	36.7	12.0	6.6	11.4	6.0	27.7
	新曽地区(305)	73.1	51.5	38.7	34.4	35.7	9.5	3.3	9.8	6.9	27.9
	笹目地区(164)	69.5	47.0	35.4	36.6	36.0	10.4	8.5	14.6	4.9	20.7
	美女木地区(100)	77.0	41.0	35.0	30.0	46.0	12.0	5.0	16.0	3.0	27.0

図表 82-2 家庭での災害対策（全体・性別・年齢別・居住地区別）つづき

		地域の災害時危険場所の把握	住まいの耐震化	市内の避難場所・避難先の確認	市外の避難場所・避難先の確認	情報収集手段の確認	マイ・タイムラインの作成	携帯用充電器の確保	対策は不要	その他	無回答
全体(1,204)		15.4	15.6	35.5	7.8	9.7	0.7	36.7	1.3	2.5	1.9
性別	男性(546)	15.6	15.8	36.6	7.1	10.8	0.9	39.0	2.0	1.8	2.2
	女性(646)	15.2	15.6	34.8	8.4	9.0	0.5	35.3	0.6	2.9	1.7
	その他(3)	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	18～19歳(13)	7.7	15.4	38.5	0.0	7.7	0.0	30.8	7.7	0.0	0.0
	20～29歳(115)	11.3	17.4	31.3	7.0	13.0	0.9	34.8	2.6	2.6	0.9
	30～39歳(170)	11.2	15.3	27.1	4.7	9.4	0.6	42.9	0.6	3.5	0.0
	40～49歳(218)	12.4	11.0	28.4	7.8	10.1	1.4	39.0	2.8	1.8	1.4
	50～59歳(259)	16.6	15.1	35.1	6.9	8.9	0.8	40.5	1.2	1.9	1.5
	60～69歳(172)	18.6	14.5	42.4	8.7	11.0	0.0	35.5	1.2	2.9	1.2
	70歳以上(227)	20.3	20.3	44.5	9.3	8.4	0.4	29.5	0.0	3.1	5.7
居住地区別	下戸田1地区(146)	13.7	17.1	28.1	8.2	11.6	0.0	29.5	2.1	2.7	1.4
	下戸田2地区(195)	16.9	15.9	39.5	9.7	9.7	0.5	36.4	0.5	3.1	3.1
	上戸田1地区(123)	9.8	13.8	28.5	5.7	7.3	2.4	38.2	1.6	3.3	2.4
	上戸田2地区(166)	13.9	13.3	29.5	3.0	8.4	0.6	42.8	1.8	1.2	0.6
	新曽地区(305)	15.7	17.0	36.7	8.9	10.5	1.0	36.1	1.0	3.3	1.3
	笹目地区(164)	18.9	15.9	40.2	6.1	11.0	0.0	38.4	1.8	0.6	3.0
	美女木地区(100)	17.0	15.0	45.0	13.0	8.0	0.0	37.0	1.0	3.0	1.0

図表 83 災害対策を実施している項目数と人数、平均値.

該当数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
人数	167	194	206	167	139	92	68	47	48	21
該当数	11	12	13	14	15	16	17	18	平均	
人数	16	6	6	1	2	0	1	0	4.1個	

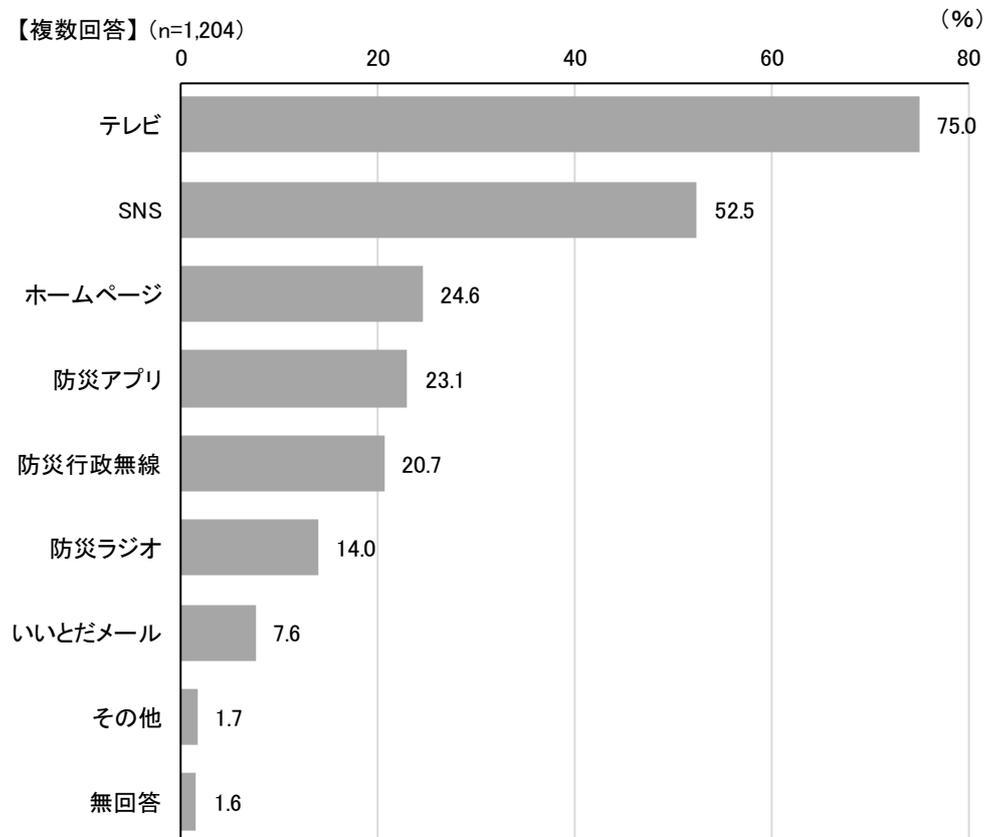
(6) 防災情報の収集

問 27 あなたは何を利用して防災情報（災害時を含む）を収集していますか。（する予定ですか。）あてはまるものをすべて選んでください。（〇はいくつでも）

【全体の回答傾向】

防災情報の収集は、「テレビ」が75.0%で最も高く、次いで「SNS」が52.5%、「ホームページ」が24.6%となっています。

図表 84 防災情報の収集（全体）



【属性別の回答傾向】

性別では、「ホームページ」や「防災アプリ」で男性の割合が女性より高くなっています。

年齢別では、50歳代以上で「テレビ」の割合が高まり、「SNS」は30歳代までが高くなっています。「防災アプリ」や「防災行政無線」「防災ラジオ」は40歳代くらいから高まり、70歳以上で「防災ラジオ」の割合が特に高くなっています。

居住地区別では笹目地区や美女木地区で「ホームページ」や「SNS」の割合がやや低く、美女木地区では「防災アプリ」や「防災行政無線」の割合も比較的低くなっています。

図表 85 防災情報の収集（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		テレビ	ホームページ	SNS	防災アプリ	防災行政無線	防災ラジオ	いとだメール	その他	無回答
	全体(1,204)	75.0	24.6	52.5	23.1	20.7	14.0	7.6	1.7	1.6
性別	男性(546)	74.4	30.4	53.3	26.9	20.7	14.1	5.9	2.4	0.9
	女性(646)	75.5	19.7	51.9	19.8	21.1	13.9	9.1	1.2	2.0
	その他(3)	100.0	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	18～19歳(13)	69.2	7.7	100.0	15.4	0.0	7.7	7.7	0.0	0.0
	20～29歳(115)	60.0	14.8	85.2	13.0	7.8	5.2	1.7	1.7	0.9
	30～39歳(170)	60.0	24.7	84.1	18.8	12.4	9.4	5.3	1.8	0.6
	40～49歳(218)	69.7	33.0	63.8	26.6	20.2	10.1	9.6	2.8	0.5
	50～59歳(259)	78.4	26.6	46.7	30.1	22.8	13.1	11.6	1.5	0.8
	60～69歳(172)	84.3	31.4	40.7	32.6	30.2	12.8	7.6	2.9	1.2
	70歳以上(227)	88.1	15.9	15.9	14.1	24.2	28.2	6.2	0.4	4.0
居住地区別	下戸田1地区(146)	80.1	24.0	52.1	19.9	25.3	13.0	8.2	0.7	1.4
	下戸田2地区(195)	77.4	29.2	50.3	22.1	20.0	12.3	5.6	2.6	2.1
	上戸田1地区(123)	71.5	26.8	63.4	22.0	21.1	13.0	5.7	1.6	0.8
	上戸田2地区(166)	77.1	27.1	54.8	23.5	25.3	16.9	7.2	1.2	0.6
	新曽地区(305)	69.8	24.6	55.7	25.2	17.7	13.4	9.8	2.0	2.0
	笹目地区(164)	78.7	18.9	43.9	29.3	20.1	15.2	5.5	1.2	1.8
	美女木地区(100)	74.0	19.0	44.0	14.0	15.0	12.0	9.0	3.0	2.0

8. 地域コミュニティについて

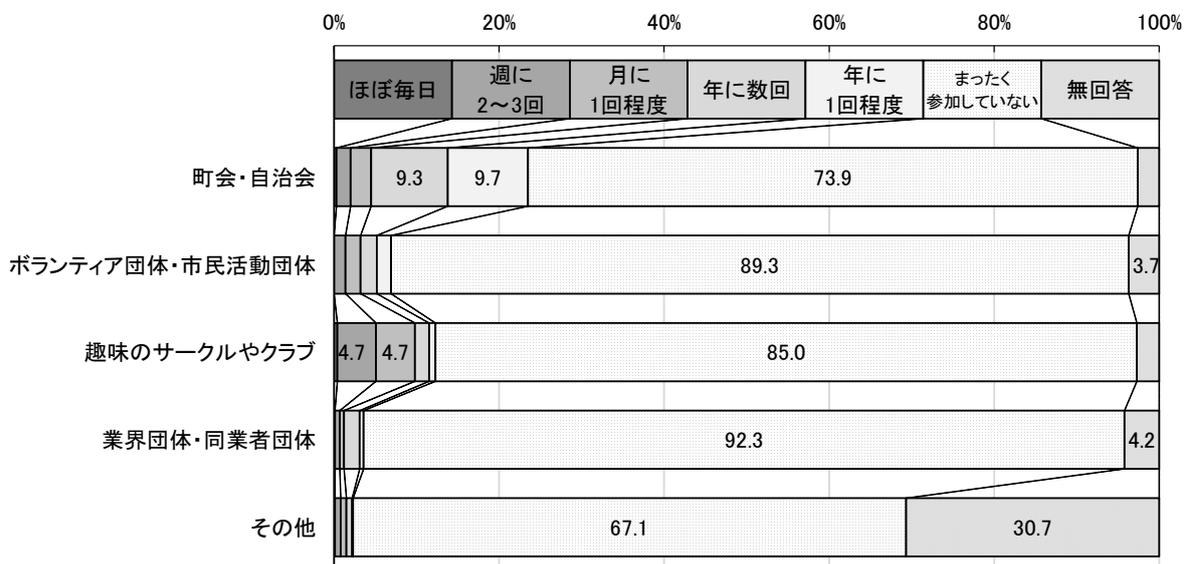
(1) 団体等の活動への参加

問 28 あなたは、以下の団体等の活動に、どの程度参加していますか。
(活動内容ごとに〇は1つ)

【全体の回答傾向】

地域の団体等の活動への参加は「町会・自治会」が23.5%と最も高く、次いで「趣味のサークルやクラブ」に参加している人が12.3%となっています。

図表 86 団体等の活動への参加（全体）



(注) 3%未満は非表示

【属性別の回答傾向】団体等の活動への参加：町会・自治会

性別では、「町会・自治会」への参加状況に大きな差は見られません。

年齢別では、「月に1回程度」や「年に1回程度」は、年齢が上がるにつれ高くなる傾向にあります。一方、「まったく参加していない」は、40代以下では年齢が下がるにつれ高くなる傾向にあります。

居住地区別では、笹目地区や美女木地区で参加割合がやや高くなっています。

図表 87 団体等の活動への参加 [町会・自治体] (全体・性別・年齢別・居住地区別)

		ほぼ毎日	週に2〜3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったく参加していない	無回答
全体(1,204)		0.3	1.7	2.5	9.3	9.7	73.9	2.6
性別	男性(546)	0.4	2.0	3.1	9.7	9.5	72.7	2.6
	女性(646)	0.3	1.4	2.0	9.1	9.9	74.6	2.6
	その他(3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
年齢別	18〜19歳(13)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	20〜29歳(115)	0.0	0.9	0.0	2.6	1.7	94.8	0.0
	30〜39歳(170)	0.0	0.0	1.2	7.6	3.5	87.6	0.0
	40〜49歳(218)	0.0	0.9	1.8	11.5	10.1	75.2	0.5
	50〜59歳(259)	1.2	0.8	2.3	7.7	10.4	76.8	0.8
	60〜69歳(172)	0.6	2.3	2.9	7.0	14.0	70.9	2.3
70歳以上(227)	0.0	4.8	5.7	16.3	14.5	48.9	9.7	
居住地区別	下戸田1地区(146)	0.0	0.0	2.1	10.3	13.0	70.5	4.1
	下戸田2地区(195)	0.5	2.1	2.1	9.2	11.8	73.3	1.0
	上戸田1地区(123)	0.0	0.8	2.4	0.8	11.4	83.7	0.8
	上戸田2地区(166)	0.0	3.0	1.2	5.4	6.0	80.7	3.6
	新曽地区(305)	0.3	0.7	2.6	8.5	9.2	76.1	2.6
	笹目地区(164)	0.6	1.8	2.4	14.6	11.0	65.9	3.7
	美女木地区(100)	1.0	5.0	5.0	18.0	5.0	64.0	2.0

【属性別の回答傾向】団体等の活動への参加：ボランティア団体・市民活動団体

性別では、「ボランティア団体・市民活動団体」への参加状況に、男女で大きな差は見られません。

年齢別では、70歳以上の人の参加割合がやや高くなっています。

居住地区別では、上戸田1地区や下戸田1地区、下戸田2地区で「週に2～3回」との回答割合がやや高くなっています。

図表 88 団体等の活動への参加 [ボランティア団体・市民活動団体]
(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		ほぼ毎日	週に2～3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったく参加していない	無回答
性別	全体(1,204)	0.0	1.4	1.8	2.0	1.7	89.3	3.7
	男性(546)	0.0	1.3	2.0	2.2	1.5	89.0	4.0
	女性(646)	0.0	1.5	1.7	1.9	1.9	89.5	3.6
	その他(3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
年齢別	18～19歳(13)	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	92.3	0.0
	20～29歳(115)	0.0	0.9	0.0	0.9	2.6	95.7	0.0
	30～39歳(170)	0.0	0.0	0.0	0.6	0.6	98.8	0.0
	40～49歳(218)	0.0	0.9	1.4	2.3	1.8	93.1	0.5
	50～59歳(259)	0.0	0.8	1.9	1.9	1.9	92.7	0.8
	60～69歳(172)	0.0	1.2	3.5	1.2	0.6	90.7	2.9
	70歳以上(227)	0.0	4.4	3.5	4.4	2.2	70.0	15.4
居住地区別	下戸田1地区(146)	0.0	2.1	1.4	1.4	0.7	89.7	4.8
	下戸田2地区(195)	0.0	2.1	1.0	2.1	1.0	90.8	3.1
	上戸田1地区(123)	0.0	2.4	1.6	0.8	2.4	91.1	1.6
	上戸田2地区(166)	0.0	1.8	2.4	2.4	0.6	88.6	4.2
	新曽地区(305)	0.0	1.0	2.6	1.3	2.6	89.2	3.3
	笹目地区(164)	0.0	0.6	1.8	2.4	3.0	85.4	6.7
	美女木地区(100)	0.0	0.0	1.0	5.0	1.0	91.0	2.0

【属性別の回答傾向】団体等の活動への参加：趣味のサークルやクラブ

性別では、「趣味のサークルやクラブ」への参加状況に、男女で大きな差は見られません。

年齢別では、年齢が高くなるほど参加割合が高くなる傾向にあります。

居住地区別では、上戸田1地区や上戸田2地区で「週に2～3回」との回答割合がやや高くなっています。

図表 89 団体等の活動への参加 [趣味のサークルやクラブ] (全体・性別・年齢別・居住地区別)

		ほぼ毎日	週に2～3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったく参加していない	無回答
	全体(1,204)	0.4	4.7	4.7	1.7	0.8	85.0	2.7
性別	男性(546)	0.4	3.5	4.6	2.6	1.5	84.8	2.7
	女性(646)	0.5	5.7	4.6	1.1	0.3	85.0	2.8
	その他(3)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
年齢別	18～19歳(13)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	20～29歳(115)	0.0	1.7	1.7	0.0	0.9	95.7	0.0
	30～39歳(170)	0.6	2.9	1.8	1.8	1.2	91.8	0.0
	40～49歳(218)	0.5	2.3	3.7	0.0	0.5	92.7	0.5
	50～59歳(259)	0.8	4.2	3.1	1.5	0.4	89.6	0.4
	60～69歳(172)	0.0	5.8	5.2	4.7	0.6	80.2	3.5
	70歳以上(227)	0.4	9.3	11.0	2.6	1.8	64.3	10.6
居住地区別	下戸田1地区(146)	0.7	3.4	5.5	2.1	1.4	82.2	4.8
	下戸田2地区(195)	1.0	3.1	6.2	3.1	1.0	83.6	2.1
	上戸田1地区(123)	0.8	7.3	0.8	1.6	0.0	87.8	1.6
	上戸田2地区(166)	0.0	7.2	8.4	1.8	0.0	80.7	1.8
	新曽地区(305)	0.3	5.2	4.3	1.0	0.3	86.2	2.6
	笹目地区(164)	0.0	3.7	2.4	0.6	2.4	86.6	4.3
	美女木地区(100)	0.0	2.0	4.0	3.0	1.0	88.0	2.0

【属性別の回答傾向】団体等の活動への参加：業界団体・同業者団体

性別では、「業界団体・同業者団体」への参加状況に、男女で大きな差は見られません。

年齢別では、70歳以上の人の参加割合がやや高くなっています。

居住地区別では、大きな差はなく「年に数回」との回答割合がやや高くなっています。

図表 90 団体等の活動への参加 [業界団体・同業者団体] (全体・性別・年齢別・居住地区別)

		ほぼ毎日	週に2〜3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったく参加していない	無回答
	全体(1,204)	0.1	0.6	0.5	1.9	0.5	92.3	4.2
性別	男性(546)	0.2	0.5	0.5	2.7	0.5	91.0	4.4
	女性(646)	0.0	0.6	0.5	1.2	0.5	93.2	4.0
	その他(3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
年齢別	18〜19歳(13)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	20〜29歳(115)	0.0	2.6	0.0	0.0	0.9	96.5	0.0
	30〜39歳(170)	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	98.8	0.0
	40〜49歳(218)	0.5	0.5	0.0	0.9	0.5	97.2	0.5
	50〜59歳(259)	0.0	0.0	0.8	1.2	0.0	96.9	1.2
	60〜69歳(172)	0.0	1.2	0.6	2.3	1.2	92.4	2.3
	70歳以上(227)	0.0	0.4	1.3	4.4	0.9	75.3	17.6
居住地区別	下戸田1地区(146)	0.0	1.4	0.7	2.1	0.0	91.1	4.8
	下戸田2地区(195)	0.0	0.0	0.0	3.6	0.5	92.8	3.1
	上戸田1地区(123)	0.0	0.0	0.8	1.6	0.0	95.9	1.6
	上戸田2地区(166)	0.0	0.6	1.2	3.0	0.0	88.6	6.6
	新曽地区(305)	0.3	0.3	0.3	1.0	1.0	93.8	3.3
	笹目地区(164)	0.0	1.8	0.6	1.8	0.6	88.4	6.7
	美女木地区(100)	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	96.0	3.0

【属性別の回答傾向】団体等の活動への参加：その他

性別では、「その他」への参加状況に大きな差は見られません。

年齢別では、10歳代で「週に2～3回」の割合が高くなっています。

居住地区別では、大きな差は見られません。

図表 91 団体等の活動への参加〔その他〕（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		ほぼ毎日	週に2～3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったく参加していない	無回答
性別	全体(1,204)	0.1	0.7	0.7	0.7	0.1	67.1	30.7
	男性(546)	0.2	0.7	0.7	0.7	0.2	73.4	24.0
	女性(646)	0.0	0.6	0.6	0.6	0.0	61.9	36.2
	その他(3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3
年齢別	18～19歳(13)	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	76.9	15.4
	20～29歳(115)	0.0	1.7	0.9	0.0	0.0	81.7	15.7
	30～39歳(170)	0.6	0.6	0.0	0.6	0.0	82.4	15.9
	40～49歳(218)	0.0	0.9	0.9	0.9	0.0	74.3	22.9
	50～59歳(259)	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	73.4	26.3
	60～69歳(172)	0.0	0.0	2.3	0.6	0.0	62.8	34.3
	70歳以上(227)	0.0	0.9	0.4	1.3	0.4	38.3	58.6
居住地区別	下戸田1地区(146)	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0	64.4	34.2
	下戸田2地区(195)	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0	65.6	32.3
	上戸田1地区(123)	0.0	0.0	0.8	2.4	0.0	74.8	22.0
	上戸田2地区(166)	0.6	1.2	0.0	0.6	0.6	67.5	29.5
	新曽地区(305)	0.0	0.3	2.0	0.0	0.0	68.5	29.2
	笹目地区(164)	0.0	1.2	0.6	0.0	0.0	62.8	35.4
	美女木地区(100)	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	67.0	32.0

(2) 近所付き合い

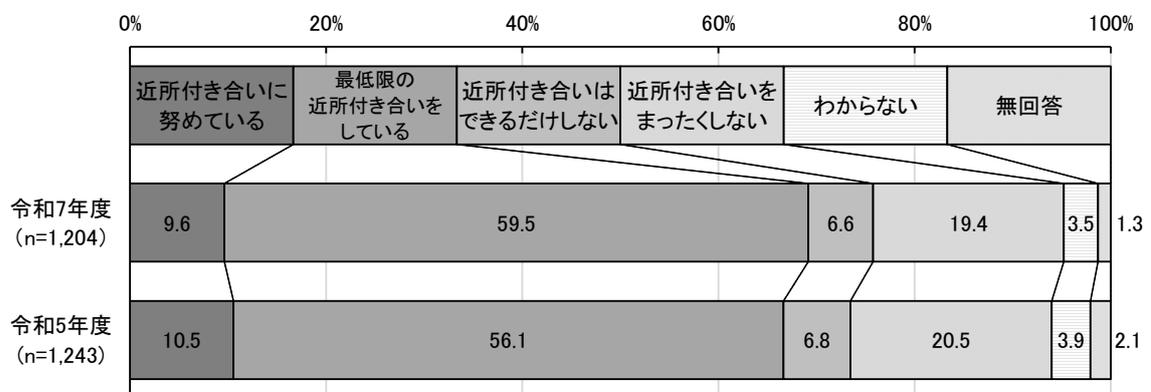
問 29 あなたは、どの程度近所付き合いをしていますか。(〇は1つ)

【全体の回答傾向】

どの程度近所付き合いをしているかについては、「近所付き合いに努めている」が 9.6%で、令和5年度調査よりやや低くなっています。一方で、「最低限の近所付き合いをしている」が 59.5%と、令和5年度調査より増加しています。

「近所付き合いはできるだけしない」と「近所付き合いを全くしない」を合わせると 26.0%で、令和5年度調査より 1.3 ポイント低下しています。

図表 92 近所付き合い（全体）



【属性別の回答傾向】

性別では、男女で大きな差は見られません。

年齢別では、10歳代と70歳以上で「近所付き合いに努めている」の割合が高くなっています。また、年齢が上がるにつれて、「最低限の近所付き合いをしている」の割合が高くなる傾向にあります。

一方「近所付き合いを全くしない」は20歳代がもっと高く、年齢が上がるにつれて低くなる傾向にあります。

居住地区別では、「近所付き合いに努めている」や「最低限の近所付き合いをしている」は下戸田1・2地区や笹目地区、美女木地区で高く、「近所付き合いを全くしない」は上戸田1・2地区や新曽地区で高くなっています。

図表 93 近所付き合い（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		近所付き合いに 努めている	最低限の近所付き合いを している	近所付き合いは できるだけしない	近所付き合いを まったくしない	わからない	無回答
全体(1,204)		9.6	59.5	6.6	19.4	3.5	1.3
性別	男性(546)	10.1	59.3	7.5	18.1	3.7	1.3
	女性(646)	9.3	60.1	5.9	20.1	3.3	1.4
	その他(3)	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0
年齢別	18～19歳(13)	15.4	38.5	0.0	30.8	15.4	0.0
	20～29歳(115)	5.2	40.9	7.8	36.5	9.6	0.0
	30～39歳(170)	4.7	59.4	5.3	27.1	3.5	0.0
	40～49歳(218)	7.8	59.2	7.8	22.0	2.8	0.5
	50～59歳(259)	6.6	65.3	8.1	17.0	2.7	0.4
	60～69歳(172)	9.3	66.3	7.0	14.0	2.3	1.2
	70歳以上(227)	20.7	58.1	4.0	9.7	2.2	5.3
居住地区別	下戸田1地区(146)	11.0	61.0	6.2	17.1	3.4	1.4
	下戸田2地区(195)	10.8	60.5	7.7	15.4	4.6	1.0
	上戸田1地区(123)	4.9	54.5	6.5	26.8	6.5	0.8
	上戸田2地区(166)	8.4	57.2	7.8	23.5	1.8	1.2
	新曽地区(305)	6.6	57.4	6.9	24.3	3.3	1.6
	笹目地区(164)	16.5	63.4	4.9	11.6	2.4	1.2
	美女木地区(100)	10.0	67.0	5.0	13.0	3.0	2.0

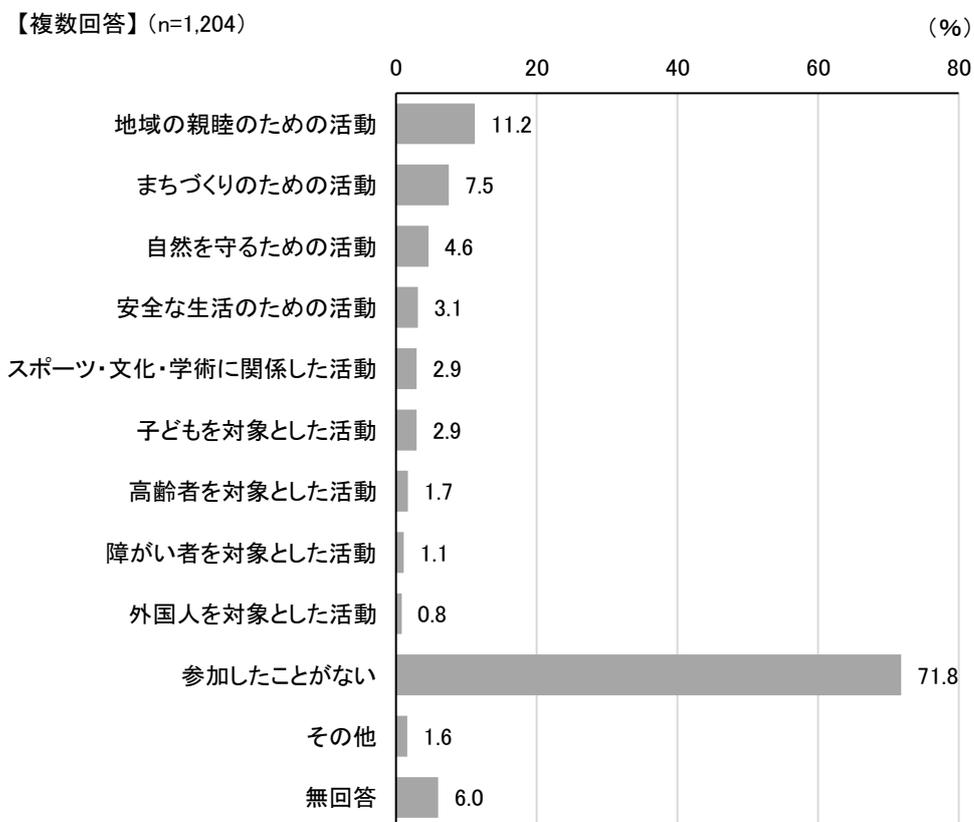
(3) 地域活動やボランティア活動への参加

問30 あなたは、ここ1年間で以下の地域活動やボランティア活動に参加しましたか。
参加したものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

【全体の回答傾向】

地域活動やボランティア活動への参加状況は、「参加したことがない」が71.8%と最も高くなっています。次いで、「地域の親睦のための活動」が11.2%、「まちづくりのための活動」が7.5%、「自然を守るための活動」が4.6%となっています。

図表 94 地域活動やボランティア活動への参加（全体）



【属性別の回答傾向】

性別では、男女ともに「参加したことがない」が70%以上となっています。活動に参加している人では、特に「スポーツ・文化・学術に関係した活動」や「自然を守るための活動」「安全な生活のための活動」などで、男性は女性に比べ高くなっています。

年齢別では、20歳代や30歳代で特に「参加したことがない」が高く、20歳代では91.3%となっています。

居住地区別では、上戸田2地区は「参加したことがない」が77.1%で最も高く、笹目地区が64.6%、美女木地区が66.0%と低くなっています。

また、「まちづくりのための活動」と「地域の親睦のための活動」では、笹目地区と美女木地区が高くなっています。

図表 95 地域活動やボランティア活動への参加（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		まちづくりのための活動	地域の親睦のための活動	自然を守るための活動	安全な生活のための活動	スポーツ・文化・学術に関係した活動	高齢者を対象とした活動	子どもを対象とした活動	障がい者を対象とした活動	外国人を対象とした活動	参加したことがない	その他	無回答
	全体(1,204)	7.5	11.2	4.6	3.1	2.9	1.7	2.9	1.1	0.8	71.8	1.6	6.0
性別	男性(546)	8.4	12.1	5.7	4.2	4.8	1.6	3.5	1.5	0.9	71.1	1.6	5.5
	女性(646)	6.8	10.5	3.7	2.2	1.4	1.7	2.5	0.8	0.8	72.8	1.5	5.9
	その他(3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
年齢別	18～19歳(13)	0.0	15.4	7.7	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0	7.7	76.9	0.0	0.0
	20～29歳(115)	0.9	1.7	1.7	0.9	0.9	0.9	0.0	1.7	1.7	91.3	0.0	1.7
	30～39歳(170)	1.8	5.9	0.6	1.8	2.9	0.0	4.1	1.8	0.6	81.8	1.2	2.9
	40～49歳(218)	8.7	13.8	5.0	1.4	2.8	0.0	6.4	0.5	0.0	76.6	0.0	2.3
	50～59歳(259)	6.2	8.9	5.8	2.3	3.5	1.5	3.5	0.8	0.8	74.1	1.2	5.0
	60～69歳(172)	9.3	12.2	1.7	4.7	2.9	1.2	0.0	0.0	1.2	69.2	3.5	5.8
	70歳以上(227)	14.5	19.4	9.3	7.0	4.0	5.3	1.8	2.2	0.9	50.7	3.1	14.1
居住地区別	下戸田1地区(146)	5.5	6.8	6.2	1.4	4.8	1.4	4.8	0.7	0.0	72.6	2.7	5.5
	下戸田2地区(195)	7.2	13.3	3.6	3.6	2.6	1.0	1.5	1.0	0.5	70.8	2.1	4.1
	上戸田1地区(123)	4.1	6.5	3.3	0.8	3.3	0.0	4.9	0.8	0.0	74.8	0.8	8.1
	上戸田2地区(166)	6.0	6.6	3.0	3.0	1.8	3.0	1.2	1.8	2.4	77.1	1.2	8.4
	新曽地区(305)	7.9	10.5	4.3	4.6	2.6	1.3	3.3	1.6	0.7	74.4	1.0	5.2
	笹目地区(164)	10.4	17.1	6.1	1.8	3.0	3.7	1.8	0.6	1.2	64.6	0.6	6.7
	美女木地区(100)	12.0	19.0	7.0	5.0	3.0	1.0	4.0	0.0	0.0	66.0	3.0	5.0

9. 生涯学習やスポーツについて

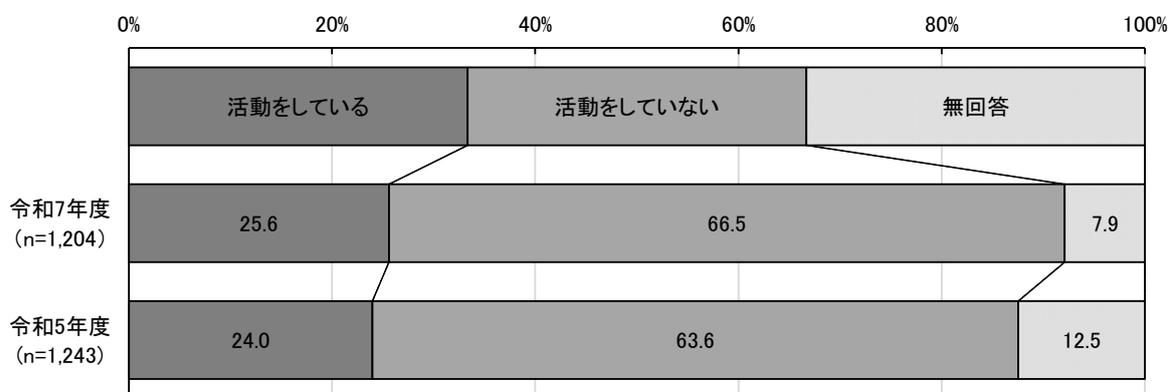
(1) 生涯学習の実施

問 31 あなたは現在（または過去1～2年の間に）、生涯学習活動（読書、趣味、スポーツ、文化・芸術活動、ボランティア活動、講座への参加など）をしていますか。（○は1つ）

【全体の回答傾向】

生涯学習の実施状況では、令和5年度調査と比較すると「活動をしている」が25.6%と1.6ポイント高く、「活動をしていない」は66.5%と、2.9ポイント高くなっています。

図表 96 生涯学習の実施（全体）



【属性別の回答傾向】

性別では、「活動をしている」との割合は男性が30.2%で、女性より8.2%高くなっています。

年齢別では、若い年齢ほど「活動をしている」割合が高い傾向にあります。

居住地区別では、「活動をしている」は上戸田1地区が33.3%で最も高く、笹目地区が20.1%で最も低くなっています。

図表 97 生涯学習の実施（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		活動をしている	活動をしていない	無回答
	全体(1,204)	25.6	66.5	7.9
性別	男性(546)	30.2	62.8	7.0
	女性(646)	22.0	69.7	8.4
	その他(3)	0.0	100.0	0.0
年齢別	18～19歳(13)	53.8	38.5	7.7
	20～29歳(115)	34.8	62.6	2.6
	30～39歳(170)	31.2	65.9	2.9
	40～49歳(218)	26.1	69.7	4.1
	50～59歳(259)	25.1	72.6	2.3
	60～69歳(172)	20.9	71.5	7.6
	70歳以上(227)	20.7	57.3	22.0
居住地区別	下戸田1地区(146)	23.3	67.8	8.9
	下戸田2地区(195)	27.7	60.0	12.3
	上戸田1地区(123)	33.3	62.6	4.1
	上戸田2地区(166)	28.3	66.3	5.4
	新曽地区(305)	23.6	71.5	4.9
	笹目地区(164)	20.1	70.7	9.1
	美女木地区(100)	25.0	63.0	12.0

(2) 生涯学習の拠点等

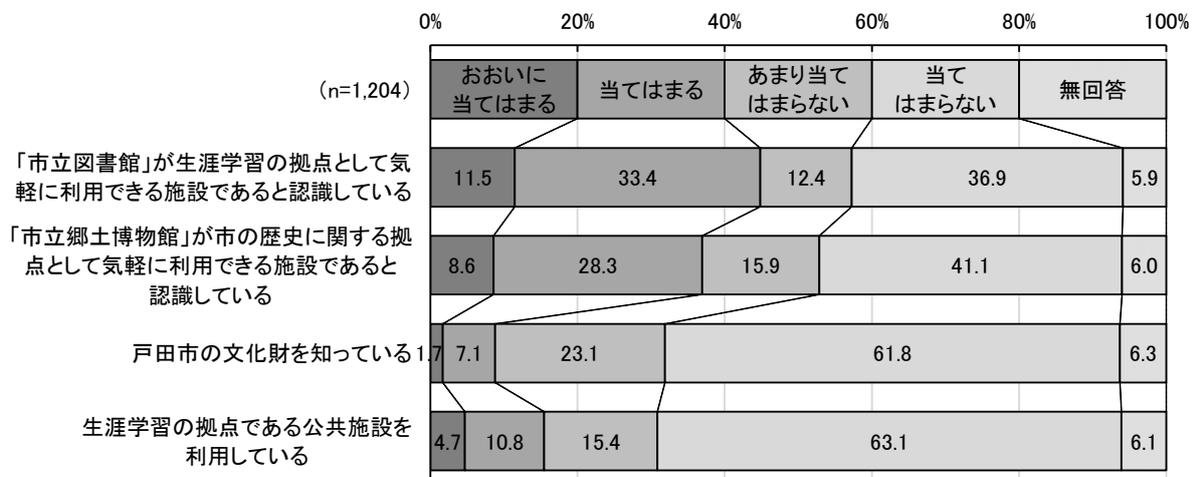
問 32 生涯学習の拠点等についておたずねします。(項目ごとに〇は1つ)

【全体の回答傾向】

生涯学習の拠点と認識している施設としては、「おおいに当てはまる」と「当てはまる」を合わせると、「市立図書館」が44.9%、「市立郷土博物館」が36.9%となっています。

戸田市の文化財を知っているかについては、「おおいに当てはまる」と「当てはまる」を合わせると8.8%、生涯学習の拠点である公共施設を利用しているかは15.5%となっています。

図表 98 生涯学習の拠点等（全体）



【属性別の回答傾向】

①生涯学習の拠点「市立図書館」について

性別では、女性は男性に比べて「おおいに当てはまる」と「当てはまる」を合わせた割合が高くなっています。

年齢別では、「おおいに当てはまる」と「当てはまる」を合わせると、最も高いのは50歳代で51.4%、次いで20歳代で46.1%、最も低いのは10歳代で38.5%となっています。

居住地区別では、「おおいに当てはまる」と「当てはまる」を合わせると、最も高いのは新曽地区で51.5%、最も低いのは上戸田2地区で36.1%となっています。

図表 99 生涯学習の拠点「市立図書館」について（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		当 て は ま る	お お い に 当 て は ま る	当 て は ま る	あ ま り 当 て は ま ら ない	当 て は ま ら ない	無 回 答
	全体(1,204)	11.5	33.4	12.4	36.9	5.9	
性別	男性(546)	9.0	32.2	11.9	41.2	5.7	
	女性(646)	13.5	34.4	12.5	33.4	6.2	
	その他(3)	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	
年齢別	18～19歳(13)	0.0	38.5	7.7	53.8	0.0	
	20～29歳(115)	17.4	28.7	8.7	45.2	0.0	
	30～39歳(170)	12.4	27.1	10.0	50.6	0.0	
	40～49歳(218)	14.2	30.3	11.0	42.7	1.8	
	50～59歳(259)	11.6	39.8	11.6	34.7	2.3	
	60～69歳(172)	5.2	39.0	18.6	32.0	5.2	
	70歳以上(227)	9.3	32.2	14.5	22.0	22.0	
居住地区別	下戸田1地区(146)	6.8	32.9	14.4	41.1	4.8	
	下戸田2地区(195)	11.8	33.3	10.8	38.5	5.6	
	上戸田1地区(123)	9.8	35.8	13.0	33.3	8.1	
	上戸田2地区(166)	10.8	25.3	16.9	41.6	5.4	
	新曽地区(305)	15.1	36.4	10.5	35.4	2.6	
	笹目地区(164)	10.4	38.4	11.6	28.7	11.0	
	美女木地区(100)	11.0	28.0	11.0	42.0	8.0	

【属性別の回答傾向】

②生涯学習の拠点「郷土博物館」について

性別では、女性は男性に比べて「おおいに当てはまる」と「当てはまる」を合わせた割合が高くなっています。

年齢別では、「おおいに当てはまる」と「当てはまる」を合わせると、最も高いのは50歳代で42.9%、最も低いのは10歳代で30.8%となっています。

居住地区別では、「おおいに当てはまる」と「当てはまる」を合わせると、最も高いのは新曽地区で43.6%、最も低いのは上戸田2地区で27.1%となっています。

図表 100 生涯学習の拠点「郷土博物館」について（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		当てはまる おおいに	当てはまる	あ ま り 当てはま ら な い	当てはま ら な い	無 回 答
	全体(1,204)	8.6	28.3	15.9	41.1	6.0
性別	男性(546)	7.0	27.3	15.0	44.5	6.2
	女性(646)	10.2	28.9	16.6	38.4	5.9
	その他(3)	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0
年齢別	18～19歳(13)	7.7	23.1	7.7	61.5	0.0
	20～29歳(115)	13.0	21.7	14.8	50.4	0.0
	30～39歳(170)	11.2	21.2	12.9	54.7	0.0
	40～49歳(218)	8.7	27.1	15.6	46.3	2.3
	50～59歳(259)	9.3	33.6	14.3	40.2	2.7
	60～69歳(172)	5.2	36.6	19.2	33.1	5.8
	70歳以上(227)	7.0	26.9	18.9	26.0	21.1
居住地区別	下戸田1地区(146)	4.8	26.0	21.2	44.5	3.4
	下戸田2地区(195)	8.2	29.7	12.8	44.1	5.1
	上戸田1地区(123)	7.3	28.5	16.3	39.8	8.1
	上戸田2地区(166)	4.8	22.3	19.3	47.6	6.0
	新曽地区(305)	14.1	29.5	14.1	39.3	3.0
	笹目地区(164)	10.4	32.3	15.9	29.3	12.2
	美女木地区(100)	3.0	29.0	14.0	46.0	8.0

【属性別の回答傾向】

③戸田市の文化財の認知度について

性別では、男性は女性に比べて「おおいに当てはまる」と「当てはまる」の割合が高くなっています。

年齢別では、「おおいに当てはまる」と「当てはまる」を合わせると、最も高いのは10歳代で23.1%、次いで70歳以上で14.1%、最も低いのは30歳代で4.7%となっています。

居住地区別では、「おおいに当てはまる」と「当てはまる」を合わせると、最も高いのは笹目地区で12.2%、最も低いのは上戸田1地区で7.3%となっています。

図表 101 戸田市の文化財の認知度について（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		おおいに 当てはまる	当てはまる	あまり 当てはまらない	当てはまらない	無回答
	全体(1,204)	1.7	7.1	23.1	61.8	6.3
性別	男性(546)	2.4	7.7	22.0	62.5	5.5
	女性(646)	1.1	6.8	23.5	61.5	7.1
	その他(3)	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0
年齢別	18～19歳(13)	0.0	23.1	15.4	61.5	0.0
	20～29歳(115)	2.6	4.3	20.0	73.0	0.0
	30～39歳(170)	0.6	4.1	14.1	81.2	0.0
	40～49歳(218)	0.0	5.5	23.9	68.3	2.3
	50～59歳(259)	1.9	7.3	23.2	65.3	2.3
	60～69歳(172)	1.7	9.3	30.2	53.5	5.2
	70歳以上(227)	3.5	10.6	24.2	38.3	23.3
居住地区別	下戸田1地区(146)	2.7	7.5	17.8	67.8	4.1
	下戸田2地区(195)	1.0	7.2	26.7	59.0	6.2
	上戸田1地区(123)	2.4	4.9	22.0	62.6	8.1
	上戸田2地区(166)	0.6	7.2	16.9	68.1	7.2
	新曽地区(305)	1.0	6.6	23.9	65.2	3.3
	笹目地区(164)	3.7	8.5	29.9	47.0	11.0
	美女木地区(100)	1.0	8.0	22.0	61.0	8.0

【属性別の回答傾向】

④生涯学習の拠点である公共施設について

性別では、女性は男性に比べて「おおいに当てはまる」と「当てはまる」の割合が高くなっています。

年齢別では、「おおいに当てはまる」と「当てはまる」を合わせると、最も高いのは20歳代で18.3%、最も低いのは30歳代で11.8%となっています。

居住地区別では、「おおいに当てはまる」と「当てはまる」を合わせると、最も高いのは新曽地区で19.1%、最も低いのは上戸田1地区で10.6%となっています。

図表 102 生涯学習の拠点である公共施設について（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		おおいに 当てはまる	当てはまる	あまり 当てはまらない	当てはまらない	無回答
	全体(1,204)	4.7	10.8	15.4	63.1	6.1
性別	男性(546)	4.0	9.3	16.3	64.8	5.5
	女性(646)	5.1	11.9	14.4	61.9	6.7
	その他(3)	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0
年齢別	18～19歳(13)	0.0	15.4	15.4	69.2	0.0
	20～29歳(115)	8.7	9.6	13.9	67.8	0.0
	30～39歳(170)	5.3	6.5	10.6	77.6	0.0
	40～49歳(218)	5.0	10.1	14.7	67.9	2.3
	50～59歳(259)	3.9	13.1	15.1	65.3	2.7
	60～69歳(172)	2.9	11.6	18.6	62.2	4.7
	70歳以上(227)	4.8	12.3	17.6	43.2	22.0
居住地区別	下戸田1地区(146)	3.4	10.3	10.3	71.2	4.8
	下戸田2地区(195)	3.6	13.8	15.4	61.5	5.6
	上戸田1地区(123)	4.9	5.7	15.4	65.0	8.9
	上戸田2地区(166)	3.6	12.0	13.9	65.1	5.4
	新曽地区(305)	6.6	12.5	16.7	61.3	3.0
	笹目地区(164)	6.1	8.5	18.3	56.1	11.0
	美女木地区(100)	2.0	9.0	15.0	66.0	8.0

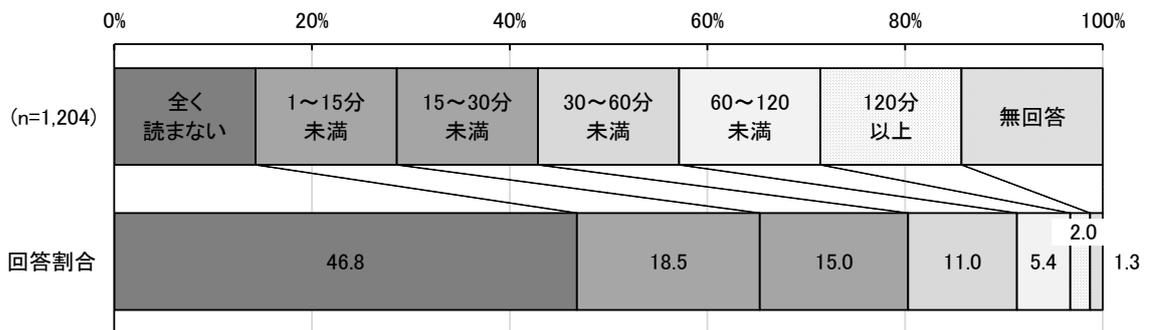
(3) 読書の時間

問 33 現在の1日当たりの読書時間は何分程度ですか。(平日・休日含む平均。電子書籍を含み、教科書・学習参考書・漫画・雑誌を除く。)(〇は1つ)

【全体の回答傾向】

読書の時間では、「全く読まない」が46.8%、読むと回答した人では「1～15分未満」が18.5%で最も高くなっています。

図表 103 読書の時間（全体）



【属性別の回答傾向】

性別では、男女で大きな差は見られません。

年齢別では、「全く読まない」は若い年齢ほど高い傾向が見られます。

読むと回答した人では、20歳代から50歳代までは「1～15分未満」が最も高く、60歳代以上では「15～30分未満」が最も高くなっています。

居住地区別では、読書時間30分未満の割合は、上戸田1地区が39.8%で最も高く、読書時間30分以上の割合は、上戸田2地区が21.7%で最も高くなっています。また、新曽地区と笹目地区では「全く読まない」が半数を超えています。

図表 104 読書の時間（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		全く読まない	1～15分未満	15～30分未満	30～60分未満	60～120分未満	120分以上	無回答
全体(1,204)		46.8	18.5	15.0	11.0	5.4	2.0	1.3
性別	男性(546)	44.5	17.8	17.6	11.7	5.7	1.8	0.9
	女性(646)	48.6	19.5	12.4	10.7	5.1	2.0	1.7
	その他(3)	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	18～19歳(13)	69.2	7.7	7.7	7.7	7.7	0.0	0.0
	20～29歳(115)	54.8	19.1	13.0	7.8	2.6	2.6	0.0
	30～39歳(170)	55.9	21.8	10.6	5.3	5.3	1.2	0.0
	40～49歳(218)	50.5	24.3	10.1	8.7	4.1	1.8	0.5
	50～59歳(259)	47.9	18.5	16.6	10.8	3.9	2.3	0.0
	60～69歳(172)	41.3	14.0	22.1	16.9	4.7	1.2	0.0
	70歳以上(227)	32.2	14.5	17.2	16.7	10.6	2.2	6.6
居住地区別	下戸田1地区(146)	47.3	15.8	17.1	11.0	6.2	1.4	1.4
	下戸田2地区(195)	39.0	22.6	16.4	13.3	6.2	2.1	0.5
	上戸田1地区(123)	47.2	19.5	20.3	5.7	5.7	0.8	0.8
	上戸田2地区(166)	42.8	21.7	12.7	15.1	4.2	2.4	1.2
	新曽地区(305)	50.8	18.7	12.8	8.2	6.9	2.0	0.7
	笹目地区(164)	51.8	14.0	14.6	11.0	3.7	1.8	3.0
	美女木地区(100)	48.0	16.0	12.0	14.0	3.0	4.0	3.0

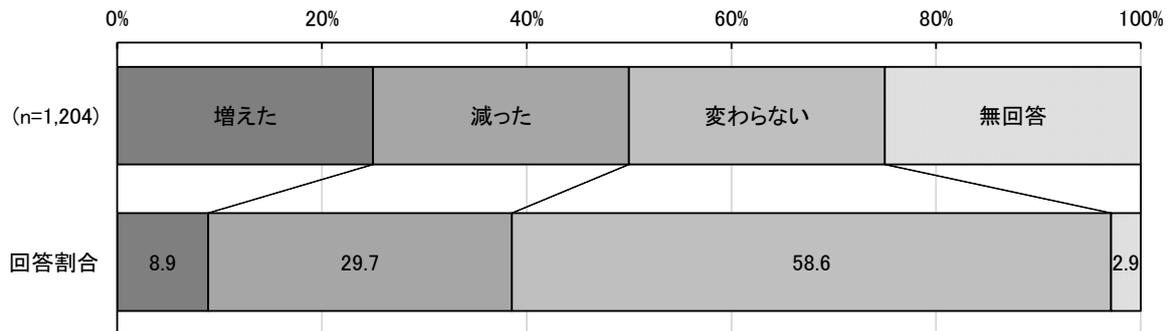
(4) 読書時間の変化

問 34 直近1年間での1日あたりの読書時間は変化しましたか。(読書は電子書籍を含み、教科書・学習参考書・漫画・雑誌を除く。)(○は1つ)

【全体の回答傾向】

直近1年間の読書時間の変化では、「増えた」が8.9%に対して、「減った」が29.7%となっています。また、「変わらない」が58.6%となっています。

図表 105 読書時間の変化(全体)



【属性別の回答傾向】

性別では、女性は「減った」が32.2%で、男性に比べて5.5ポイント上回っています。

年齢別では、「増えた」が10歳代と20歳代で高い一方で、50歳代で「減った」の割合が高くなっています。

居住地区別では、下戸田2地区や上戸田2地区で「増えた」の割合が高く、上戸田1地区や下戸田1地区で「減った」の割合が高くなっています。

図表 106 読書時間の変化（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		増えた	減った	変わらない	無回答
性別	全体(1,204)	8.9	29.7	58.6	2.9
	男性(546)	9.0	26.7	62.3	2.0
	女性(646)	8.8	32.2	55.4	3.6
	その他(3)	0.0	0.0	100.0	0.0
年齢別	18～19歳(13)	23.1	0.0	76.9	0.0
	20～29歳(115)	16.5	29.6	53.9	0.0
	30～39歳(170)	10.0	30.0	60.0	0.0
	40～49歳(218)	7.3	27.1	65.1	0.5
	50～59歳(259)	10.0	34.4	55.2	0.4
	60～69歳(172)	4.1	30.2	64.5	1.2
	70歳以上(227)	7.0	27.8	53.3	11.9
居住地区別	下戸田1地区(146)	8.9	35.6	52.7	2.7
	下戸田2地区(195)	12.3	27.7	58.5	1.5
	上戸田1地区(123)	5.7	37.4	52.0	4.9
	上戸田2地区(166)	11.4	30.7	56.6	1.2
	新曽地区(305)	8.2	23.9	66.2	1.6
	笹目地区(164)	6.7	32.3	54.3	6.7
	美女木地区(100)	6.0	27.0	63.0	4.0

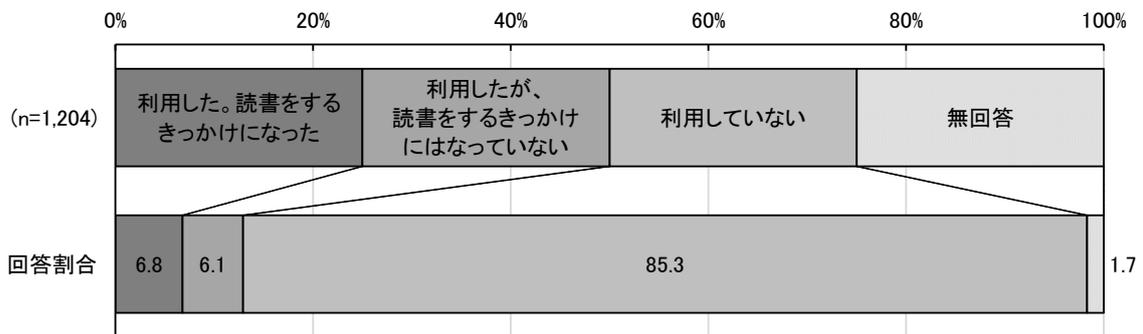
(5) 図書館サービスの利用状況および読書のきっかけ

問 35 直近1年で図書館が提供するサービス（イベントなどを含む）を利用しましたか。また、利用した場合は、それが読書（図書館以外を含む）をするきっかけになりましたか。
（〇は1つ）

【全体の回答傾向】

図書館を「利用していない」が85.3%と最も高く、次いで「利用した。読書をするきっかけになった」が6.8%となっています。

図表 107 図書館サービスの利用状況および読書のきっかけ（全体）



【属性別の回答傾向】

性別では、男女で大きな差は見られません。

年齢別では、「利用した。読書をするきっかけになった」が10歳代で15.4%と高く、30歳代で「利用したが、読書をするきっかけにはなっていない」が10.6%と高くなっています。

居住地区別では、上戸田2地区と新曽地区で「利用したが、読書をするきっかけにはなっていない」がやや高くなっています。

図表 108 図書館サービスの利用状況および読書のきっかけ（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		利用した。読書をする きっかけになった	利用したが、読書をする きっかけにはなっていない	利用していない	無回答
性別	全体(1,204)	6.8	6.1	85.3	1.7
	男性(546)	6.0	6.8	85.7	1.5
	女性(646)	7.6	5.7	84.7	2.0
	その他(3)	0.0	0.0	100.0	0.0
年齢別	18～19歳(13)	15.4	0.0	84.6	0.0
	20～29歳(115)	6.1	5.2	87.8	0.9
	30～39歳(170)	5.3	10.6	84.1	0.0
	40～49歳(218)	7.8	7.3	83.9	0.9
	50～59歳(259)	5.8	5.0	89.2	0.0
	60～69歳(172)	6.4	7.0	86.6	0.0
	70歳以上(227)	8.8	3.1	80.2	7.9
居住地区別	下戸田1地区(146)	6.2	4.8	87.7	1.4
	下戸田2地区(195)	7.2	5.6	86.2	1.0
	上戸田1地区(123)	6.5	6.5	83.7	3.3
	上戸田2地区(166)	6.6	10.2	81.3	1.8
	新曽地区(305)	8.5	8.2	82.3	1.0
	笹目地区(164)	4.9	1.8	90.2	3.0
	美女木地区(100)	6.0	2.0	90.0	2.0

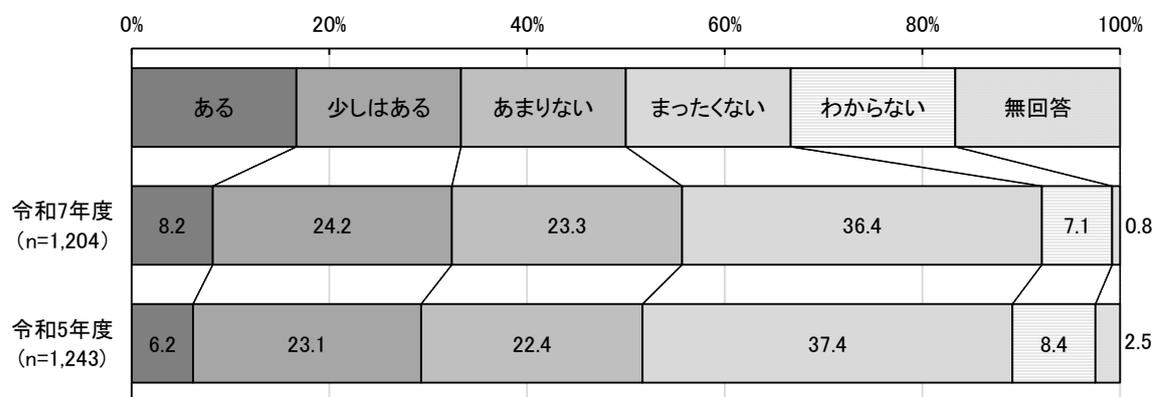
(6) ボート競技（ローイング）への興味・関心

問 36 「ボートのまち戸田」に関連しておたずねします。あなたは、「ボート競技（ローイング）」に興味や関心がありますか。（〇は1つ）

【全体の回答傾向】

ボート競技（ローイング）への興味・関心の状況は、「関心がある」が8.2%、「少しはある」が24.2%となっており、令和5年度調査から増えています。また、「まったくない」が36.4%と最も高くなっています。

図表 109 ボート競技（ローイング）への興味・関心（全体）



【属性別の回答傾向】

年齢別では、20歳代や30歳代、70歳以上で「ある」と「少しはある」を合わせた割合が比較的高く、一方、10歳代は「少しはある」が低く、「まったくない」と「わからない」がそれぞれ高くなっています。

居住地区別では、「ある」と「少しはある」を合わせた割合が高いのは、上戸田2地区で41.6%、次いで下戸田2地区が36.9%となっています。一方、下戸田1地区が24.6%で最も低くなっています。

図表 110 ポート競技（ローイング）への興味・関心（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		ある	少しはある	あまりない	まったくない	わからない	無回答
性別	全体(1,204)	8.2	24.2	23.3	36.4	7.1	0.8
	男性(546)	9.9	24.7	26.4	32.6	6.2	0.2
	女性(646)	7.0	23.8	21.1	39.0	7.7	1.4
	その他(3)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
年齢別	18～19歳(13)	7.7	7.7	23.1	30.8	30.8	0.0
	20～29歳(115)	8.7	26.1	17.4	42.6	4.3	0.9
	30～39歳(170)	7.6	28.8	22.4	35.9	5.3	0.0
	40～49歳(218)	7.8	22.9	22.9	35.3	10.6	0.5
	50～59歳(259)	8.1	22.0	22.0	39.8	8.1	0.0
	60～69歳(172)	7.6	23.3	30.2	34.3	4.7	0.0
	70歳以上(227)	9.7	24.7	25.1	31.7	5.7	3.1
居住地区別	下戸田1地区(146)	7.5	17.1	22.6	42.5	8.9	1.4
	下戸田2地区(195)	8.2	28.7	27.2	27.7	7.2	1.0
	上戸田1地区(123)	5.7	30.9	23.6	36.6	2.4	0.8
	上戸田2地区(166)	14.5	27.1	23.5	28.9	6.0	0.0
	新曽地区(305)	8.2	23.6	24.9	35.7	7.2	0.3
	笹目地区(164)	5.5	20.7	22.0	42.7	7.3	1.8
	美女木地区(100)	7.0	20.0	14.0	48.0	10.0	1.0

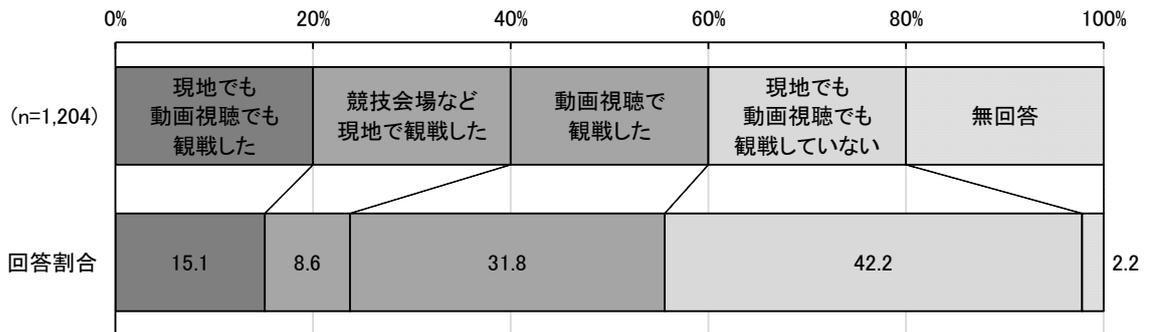
(7) スポーツ観戦

問 37 直近1年で現地観戦や動画視聴などでスポーツを観戦しましたか。(〇は1つ)

【全体の回答傾向】

スポーツの観戦状況では、「現地でも動画視聴でも観戦していない」が42.2%で最も高く、次いで「動画視聴した」が31.8%、「現地でも動画視聴でも観戦した」が15.1%となっています。

図表 111 スポーツ観戦（全体）



【属性別の回答傾向】

性別では、男性は「現地でも動画視聴でも観戦した」が、女性の約2倍となっています。

年齢別では、20歳代で「現地でも動画視聴でも観戦した」が27.8%と高く、10歳代では「競技会場など現地で観戦した」が23.1%と高くなっています。

居住地区別では、上戸田2地区で「現地でも動画視聴でも観戦した」が20.5%と高くなっています。

図表 112 スポーツ観戦（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		現地でも動画視聴でも観戦した	競技会場など現地で観戦した	動画視聴で観戦した	現地でも動画視聴でも観戦していない	無回答
全体(1,204)		15.1	8.6	31.8	42.2	2.2
性別	男性(546)	20.7	9.3	33.5	35.3	1.1
	女性(646)	10.7	8.2	30.8	47.1	3.3
	その他(3)	0.0	0.0	0.0	100	0.0
年齢別	18～19歳(13)	15.4	23.1	30.8	30.8	0.0
	20～29歳(115)	27.8	8.7	24.3	38.3	0.9
	30～39歳(170)	17.1	10.6	30.0	41.8	0.6
	40～49歳(218)	16.5	9.6	30.3	42.7	0.9
	50～59歳(259)	18.1	6.6	37.5	37.8	0.0
	60～69歳(172)	11.6	7.6	36.6	43.6	0.6
	70歳以上(227)	7.0	8.4	29.1	47.1	8.4
居住地区別	下戸田1地区(146)	12.3	6.2	30.8	48.6	2.1
	下戸田2地区(195)	15.9	10.8	29.2	42.6	1.5
	上戸田1地区(123)	9.8	11.4	35.0	42.3	1.6
	上戸田2地区(166)	20.5	12.0	35.5	31.9	0.0
	新曽地区(305)	17.0	9.2	30.5	42.0	1.3
	笹目地区(164)	11.0	3.0	32.9	47.0	6.1
	美女木地区(100)	15.0	7.0	32.0	42.0	4.0

10. 市政への参加について

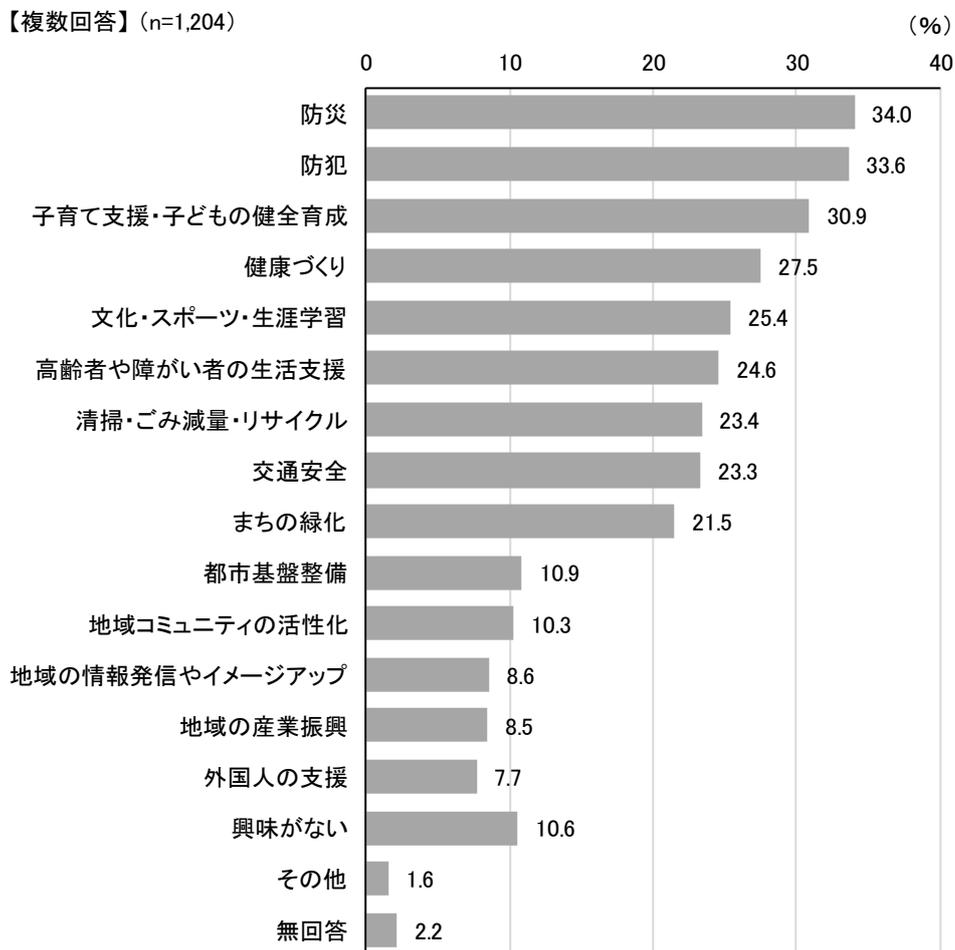
(1) 参加に興味がある市政の分野

問 38 以下の項目のうち、あなたが市政に参加するとしたら、どの分野に興味がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

【全体の回答傾向】

参加に興味がある市政の分野としては、「防災」が最も高く 34.0%、次いで「防犯」が 33.6%、「子育て支援・子どもの健全育成」が 30.9%となっています。

図表 113 参加に興味がある市政の分野（全体）



【属性別の回答傾向】

性別では、男性は「防災」が35.0%、次いで「防犯」が32.2%、「交通安全」が27.8%、一方、女性は「防犯」が34.4%、「子育て支援・子どもの健全育成」が34.1%、「防災」が33.0%となっています。

年齢別では、「防災」と「防犯」は10歳代を除き全般的に高く、「子育て支援・子どもの健全育成」は30歳代、20歳代、40歳代の順で高く、「高齢者や障がい者の生活支援」や「清掃・ごみ減量・リサイクル」「まちの緑化」などは40歳代以上で高くなっています。また、「健康づくり」は50歳代以上で高くなっています。

居住地区別では、下戸田2地区は「地域コミュニティの活性化」が比較的高く、下戸田1地区や上戸田1地区は「文化・スポーツ・生涯学習」が比較的高くなっています。

図表 114 興味がある市政の分野（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		子育て支援・子どもの健全育成	高齢者や障がい者の生活支援	外国人の支援	防災	防犯	交通安全	清掃・ごみ減量・リサイクル	まちの緑化	文化・スポーツ・生涯学習	地域の産業振興	都市基盤整備	地域の情報発信やイメージアップ	地域コミュニティの活性化	健康づくり	興味がない	その他	無回答
全体(1,204)		30.9	24.6	7.7	34.0	33.6	23.3	23.4	21.5	25.4	8.5	10.9	8.6	10.3	27.5	10.6	1.6	2.2
性別	男性(546)	27.7	21.4	8.1	35.0	32.2	27.8	22.2	21.1	26.7	10.6	14.8	8.2	11.0	24.0	11.0	1.6	1.8
	女性(646)	34.1	26.9	7.4	33.0	34.4	19.5	24.6	22.0	24.5	6.8	7.7	9.0	9.6	30.2	10.4	1.5	2.6
	その他(3)	33.3	33.3	0.0	100.0	100.0	66.7	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
年齢別	18～19歳(13)	23.1	7.7	7.7	0.0	7.7	7.7	7.7	15.4	38.5	7.7	0.0	7.7	15.4	15.4	15.4	0.0	0.0
	20～29歳(115)	49.6	11.3	12.2	25.2	34.8	23.5	17.4	16.5	22.6	9.6	13.0	9.6	4.3	22.6	11.3	0.9	0.0
	30～39歳(170)	61.2	10.6	3.5	39.4	37.1	27.6	16.5	13.5	28.2	9.4	11.2	9.4	7.6	15.3	12.9	1.8	0.0
	40～49歳(218)	42.2	20.2	10.1	30.3	33.0	24.3	24.3	21.6	29.8	10.6	11.9	6.9	10.1	20.6	12.4	1.4	1.8
	50～59歳(259)	22.4	30.9	8.5	35.1	33.2	17.0	25.1	23.6	25.9	10.8	10.8	10.4	11.2	31.3	10.4	2.3	0.8
	60～69歳(172)	16.3	29.7	8.7	40.7	33.1	24.4	23.8	25.0	26.2	7.6	14.0	7.6	12.2	32.6	11.6	2.3	0.6
	70歳以上(227)	11.0	35.7	5.3	34.4	33.9	27.8	30.0	24.7	20.3	4.4	7.0	8.4	12.3	37.0	6.2	0.9	7.9
居住地区別	下戸田1地区(146)	20.5	26.7	4.8	34.9	32.2	13.0	23.3	20.5	30.1	5.5	8.2	4.8	8.2	26.7	10.3	1.4	4.1
	下戸田2地区(195)	28.2	29.2	9.7	31.8	34.4	25.1	23.6	22.1	26.7	11.3	10.3	10.8	15.4	28.7	11.8	1.0	1.5
	上戸田1地区(123)	36.6	26.0	5.7	32.5	35.0	27.6	20.3	21.1	30.1	9.8	15.4	9.8	7.3	22.0	10.6	1.6	1.6
	上戸田2地区(166)	28.9	19.9	9.6	34.3	31.3	23.5	18.1	21.1	25.9	10.2	13.3	9.6	12.7	29.5	11.4	0.0	0.6
	新曽地区(305)	35.4	21.3	8.5	37.4	33.8	25.6	27.2	24.9	25.9	9.8	12.1	10.2	9.8	31.5	9.8	3.0	1.6
	笹目地区(164)	30.5	25.6	6.1	31.1	36.0	20.7	25.0	15.2	17.1	3.0	7.9	6.7	7.3	22.0	9.1	0.6	4.9
	美女木地区(100)	36.0	26.0	6.0	33.0	31.0	26.0	23.0	24.0	22.0	8.0	8.0	5.0	10.0	28.0	13.0	3.0	2.0

11. SDGs の取組について

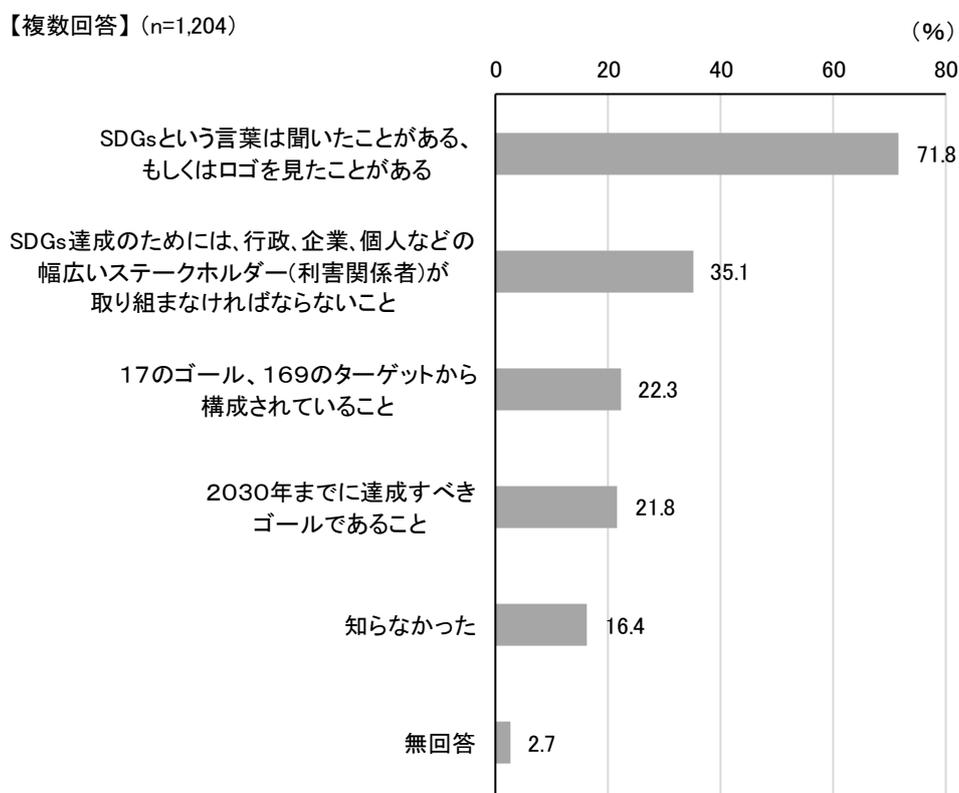
(1) SDGs の認知度

問 39 本市では SDGs の推進に取り組んでいます。SDGs について知っていることを教えてください。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

【全体の回答傾向】

SDGs の認知度としては、「SDGs という言葉は聞いたことがある、もしくはロゴを見たことがある」が 71.8%で最も高くなっています。一方、「知らなかった」は 16.4%となっています。

図表 115 SDGs の認知度 (全体)



【属性別の回答傾向】

性別では、「SDGsという言葉は聞いたことがある、もしくはロゴを見たことがある」以外の選択肢では、女性より男性の方が約8~11ポイント高くなっています。

年齢別では、「知らなかった」以外の選択肢で30歳代までの割合が比較的高くなっていますが、「SDGs達成のためには、行政、企業、個人などの幅広いステークホルダー(利害関係者)が取り組まなければならないこと」では、50歳代や60歳代も比較的高くなっています。

居住地区別では、笹目地区で「知らなかった」が26.8%と高くなっています。

図表 116 SDGsの認知度（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		SDGsという言葉は聞いたことがある、 もしくはロゴを見たことがある	17のゴール、169のターゲットから 構成されていること	2030年までに達成すべきゴールで あること	SDGs達成のためには、行政、企業、 個人などの幅広いステークホルダー (利害関係者)が取り組まなければ ならないこと	知らなかった	無回答
	全体(1,204)	71.8	22.3	21.8	35.1	16.4	2.7
性別	男性(546)	71.6	28.2	26.2	41.2	15.2	2.2
	女性(646)	72.3	17.2	18.3	30.2	17.0	2.9
	その他(3)	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0
年齢別	18~19歳(13)	84.6	46.2	53.8	38.5	0.0	0.0
	20~29歳(115)	80.9	37.4	37.4	41.7	9.6	0.0
	30~39歳(170)	82.9	28.8	29.4	40.0	7.6	0.0
	40~49歳(218)	74.3	21.6	19.3	32.1	13.8	1.4
	50~59歳(259)	76.4	21.6	20.8	41.3	10.0	0.8
	60~69歳(172)	77.3	23.3	20.9	39.5	15.1	0.6
	70歳以上(227)	49.3	8.8	11.0	21.6	37.0	10.1
居住地区別	下戸田1地区(146)	69.9	19.2	19.9	33.6	17.8	3.4
	下戸田2地区(195)	71.8	24.6	23.1	36.9	14.4	3.6
	上戸田1地区(123)	72.4	26.0	22.8	41.5	15.4	2.4
	上戸田2地区(166)	71.1	28.9	31.3	43.4	12.0	1.8
	新曽地区(305)	77.7	23.9	21.6	32.5	13.1	1.6
	笹目地区(164)	62.2	12.2	13.4	23.8	26.8	3.7
	美女木地区(100)	73.0	17.0	20.0	40.0	19.0	2.0

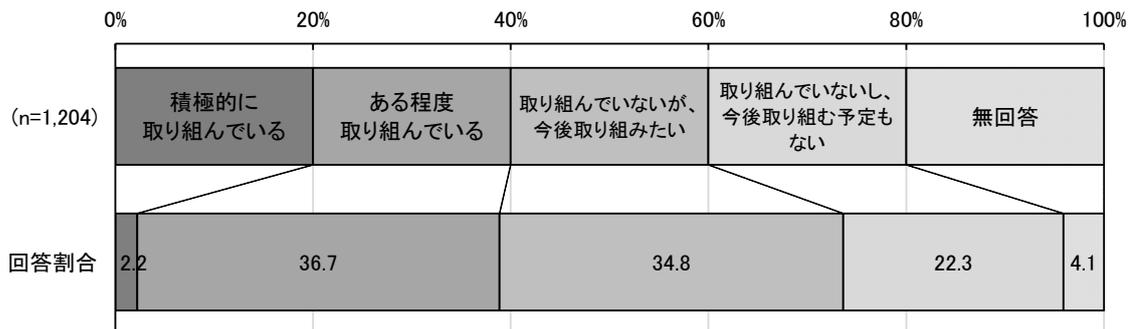
(2) SDGs への取組

問 40 あなたは、SDGs を意識して日常的に何らかの取組を行っていますか。(〇は1つ)

【全体の回答傾向】

SDGs への取組状況としては、「積極的に取り組んでいる」と「ある程度取り組んでいる」を合わせて38.9%と、3人に1人は取り組んでいます。「取り組んでいないが、今後取り組みたい」が34.8%、「取り組んでいないし、今後取り組む予定もない」が22.3%となっています。

図表 117 SDGs への取組 (全体)



【属性別の回答傾向】

性別では、「取り組んでいないが、今後取り組みたい」は男性より女性の方が高いのに対し、「取り組んでいないし、今後取り組む予定もない」は女性より男性の方が高くなっています。

年齢別では、50歳代と60歳代で「ある程度取り組んでいる」が比較的高く、20歳代や30歳代、70歳以上では「取り組んでいないし、今後取り組む予定もない」が高くなっています。

居住地区別では、笹目地区で「積極的に取り組んでいる」と「ある程度取り組んでいる」を合わせると30.4%と低くなっています。下戸田1地区や上戸田2地区で「取り組んでいないし、今後取り組む予定もない」が比較的高くなっています。

図表 118 SDGs への取組（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		積極的に取り組んでいる	ある程度取り組んでいる	取り組んでいないが、 今後取り組みたい	取り組んでいないし、 今後取り組む予定もない	無回答
	全体(1,204)	2.2	36.7	34.8	22.3	4.1
性別	男性(546)	2.9	36.8	31.0	26.2	3.1
	女性(646)	1.4	36.7	38.5	18.4	5.0
	その他(3)	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0
年齢別	18～19歳(13)	0.0	30.8	61.5	7.7	0.0
	20～29歳(115)	2.6	37.4	32.2	27.8	0.0
	30～39歳(170)	2.4	29.4	39.4	28.8	0.0
	40～49歳(218)	2.8	38.1	36.2	19.7	3.2
	50～59歳(259)	1.9	52.1	32.0	13.1	0.8
	60～69歳(172)	2.3	41.3	35.5	19.2	1.7
	70歳以上(227)	1.3	20.3	32.6	30.4	15.4
居住地区別	下戸田1地区(146)	2.1	40.4	24.7	27.4	5.5
	下戸田2地区(195)	1.0	40.5	34.9	19.0	4.6
	上戸田1地区(123)	1.6	37.4	32.5	24.4	4.1
	上戸田2地区(166)	1.2	38.6	29.5	27.1	3.6
	新曽地区(305)	3.0	34.4	41.0	19.3	2.3
	笹目地区(164)	3.0	27.4	39.0	23.2	7.3
	美女木地区(100)	2.0	44.0	35.0	17.0	2.0

12. 戸田市の取組について

(1) 戸田市の取組についての満足度

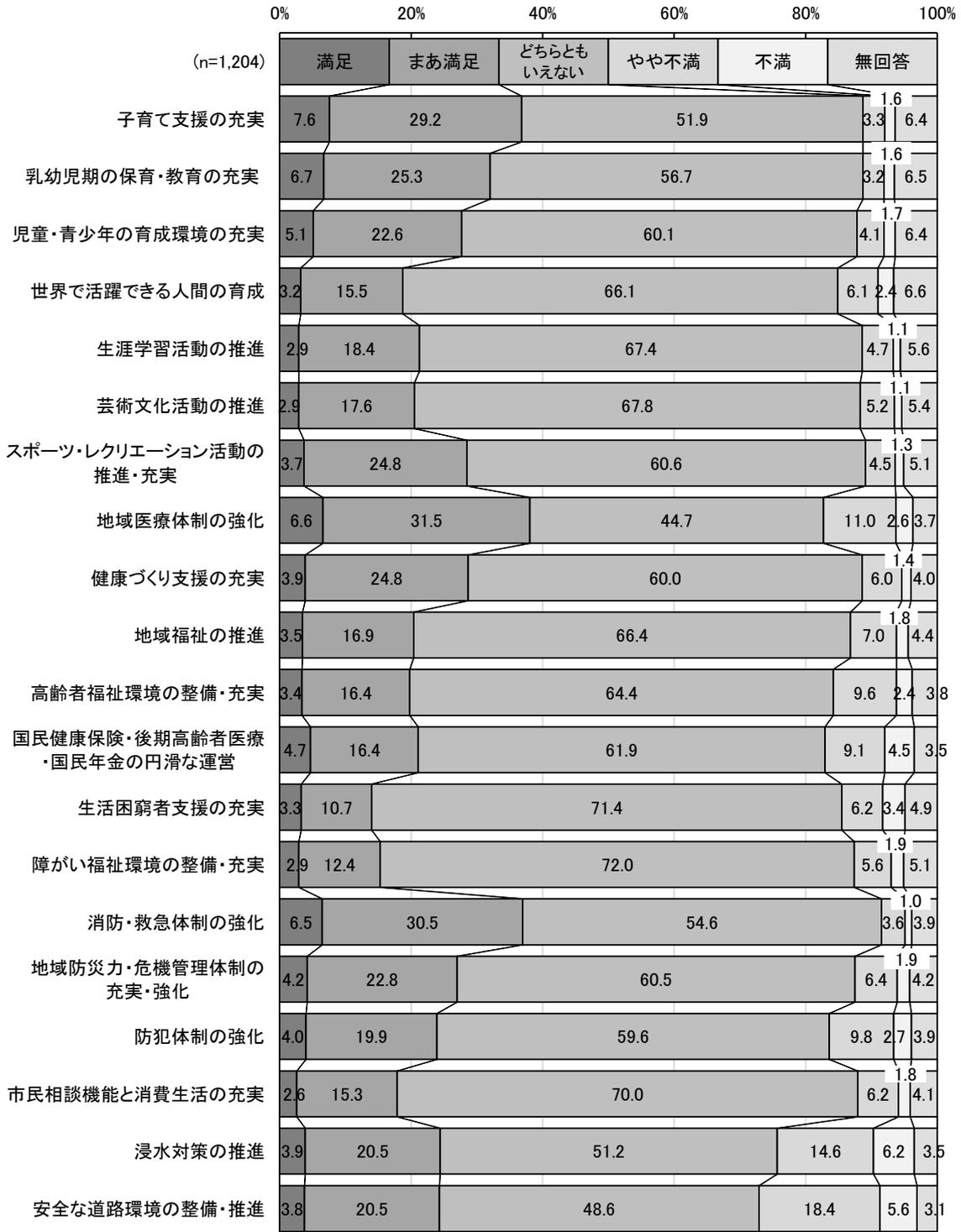
問 41 次を示す(1)～(32)の取組について、あなたは、どの程度満足していますか。 (項目ごとに○は1つ)
--

【全体の回答傾向】

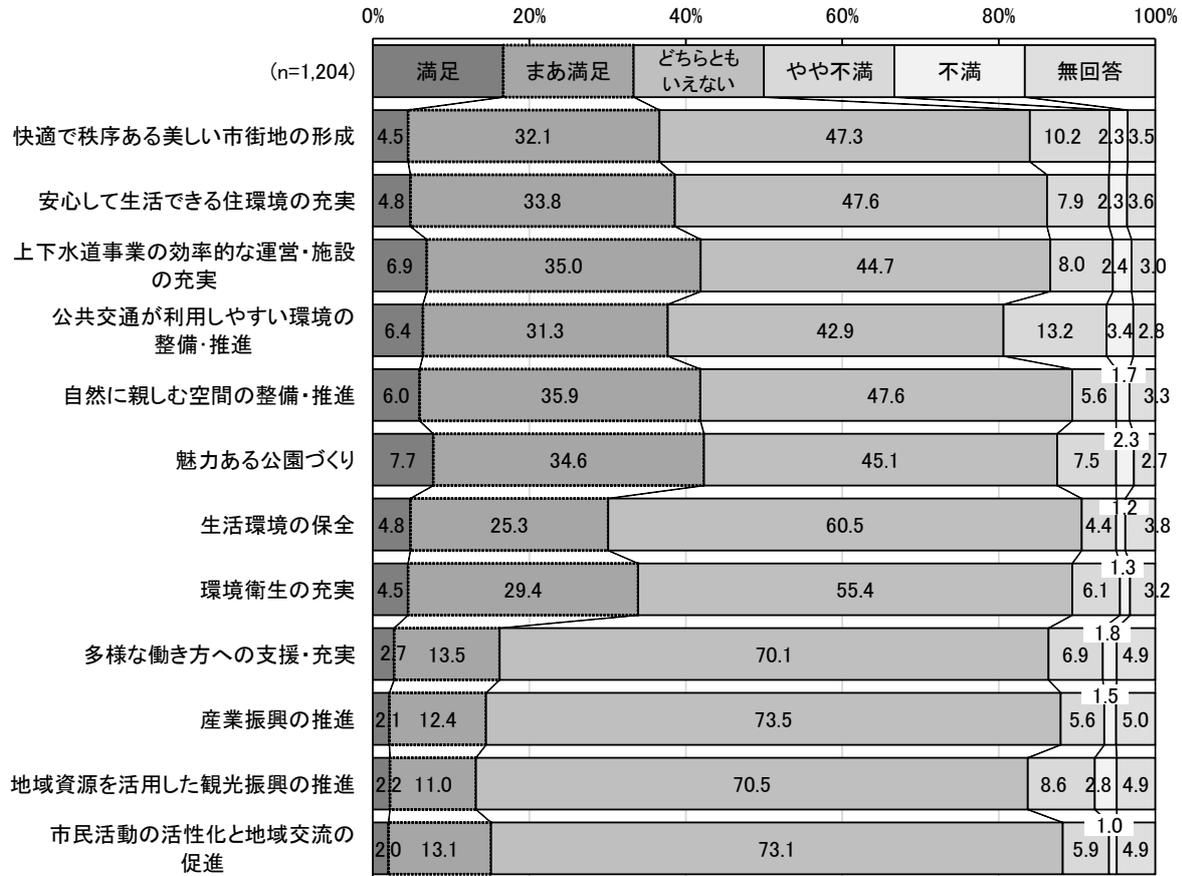
戸田市の取組に対する満足度では、「満足」と「まあ満足」を合わせた割合が最も高いのは、「魅力ある公園づくり」で42.3%、次いで「上下水道事業の効率的な運営・施設の充実」と「自然に親しむ空間の整備・推進」がともに41.9%、「安心して生活できる住環境の充実」が38.6%となっています。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が高いのは、「安全な道路環境の整備・推進」が24.0%、次いで「浸水対策の推進」が20.8%、「公共交通が利用しやすい環境の整備・推進」が16.6%となっています。

図表 119-1 戸田市の取組についての満足度（全体）



図表 119-2 戸田市の取組についての満足度（全体）つづき



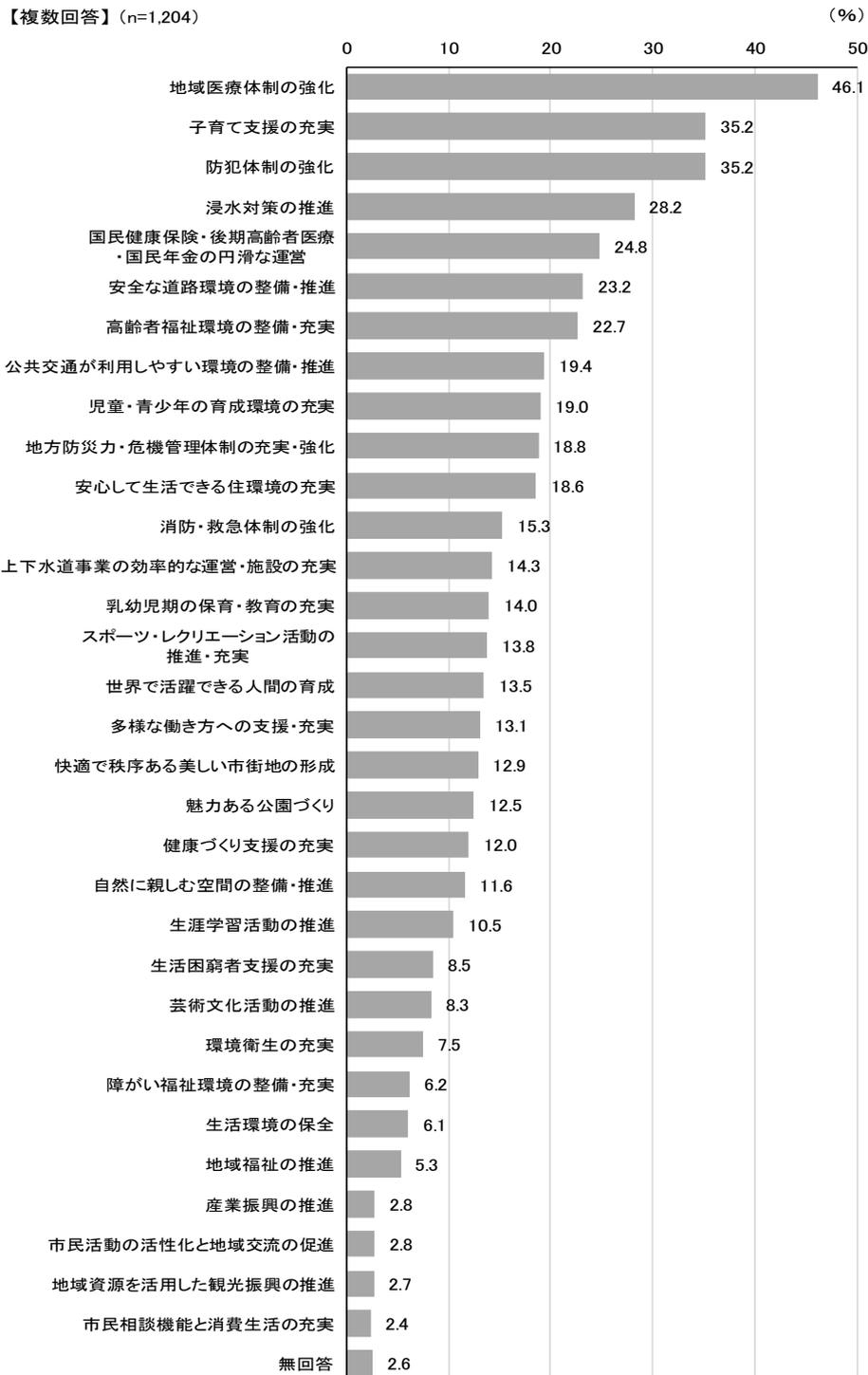
(2) 戸田市の取組についての重要度

問 42 前問と同じ(1)～(32)の取組のうち、あなたが今後力を入れて取り組んでほしいと思うものを5つ選んで番号を記入してください。

【全体の回答傾向】

戸田市の取組についての重要度では、「地域医療体制の強化」が最も高く46.1%、次いで「子育て支援の充実」と「防犯体制の強化」がともに35.2%、「浸水対策の推進」が28.2%となっています。

図表 120 戸田市の取組についての重要度（全体）



【重要度の高い上位 6 項目の取組（年齢別の回答）】

重要度の高い項目について年齢別の回答割合を見ると、「地域医療体制の強化」では 50 歳代で 53.3%、60 歳代で 52.3%と高くなっています。

「子育て支援の充実」では、30 歳代が 64.7%と最も高く、次いで 20 歳代が 50.4%となっています。

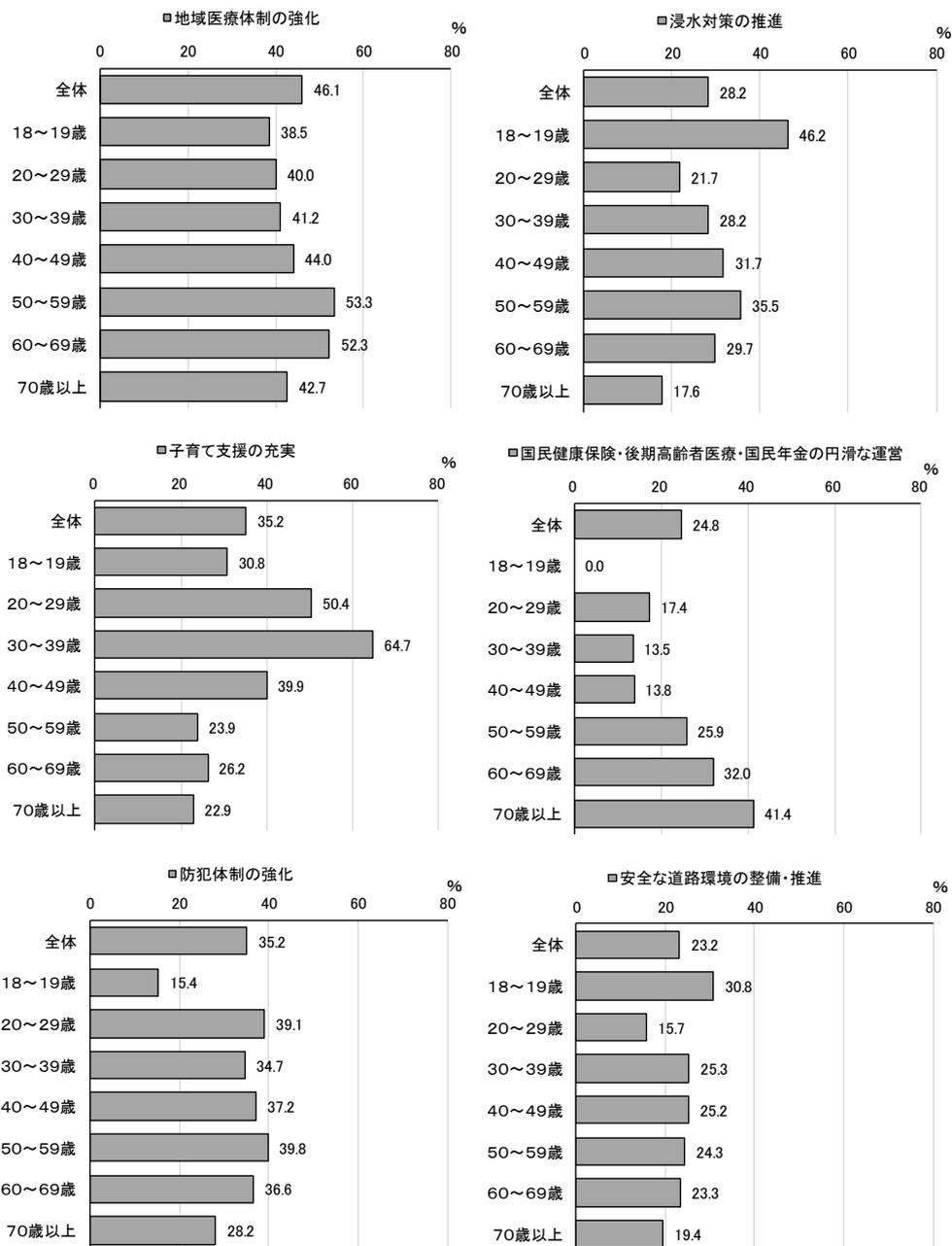
「防犯体制の強化」では、10 歳代と 70 歳以上が比較的低くなっています。

「浸水対策の推進」では、10 歳代が 46.2%と最も高く、また、20 歳代から 50 歳代まで年齢が上がるにつれて高くなっています。

「国民健康保険・後期高齢者医療・国民年金の円滑な運営」では、50 歳代以上で高くなっています。

「安全な道路環境の整備・推進」では、20 歳代は 15.7%と低く、30 歳代の 25.3%から年齢が上がるにつれて低くなっています。

図表 121 戸田市の取組についての重要度の高い上位 6 項目の取組（年齢別）



【属性別の回答傾向】

性別では、男性は女性と比べて「スポーツ・レクリエーション活動の推進・充実」で8.5ポイント、「子育て支援の充実」で7.4ポイント、「快適で秩序ある美しい市街地の形成」で5.3ポイント高くなっています。一方、女性は男性に比べて「公共交通が利用しやすい環境の整備・推進」で5.8ポイント、「児童・青少年の育成環境の充実」で5.1ポイント高くなっています。

年齢別では、10歳代で「スポーツ・レクリエーション活動の推進・充実」と「浸水対策の推進」がともに46.2%で最も高く、20歳代と30歳代では「子育て支援の充実」がそれぞれ50.4%、64.7%で最も高くなっています。また、40歳代以上では「地域医療体制の強化」がそれぞれの年齢で最も高くなっています。

居住地区別では、上戸田1地区は「防犯体制の強化」が39.8%で最も高く、他の地区では「地域医療体制の強化」が最も高くなっています。

【属性別の回答傾向】

図表 122-1 戸田市の取組についての重要度（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		子育て支援の充実	乳幼児期の保育・教育の充実	児童・青少年の育成環境の充実	世界で活躍できる人間の育成	生涯学習活動の推進	芸術文化活動の推進	スポーツ・レクリエーション活動の推進・充実	地域医療体制の強化	健康づくり支援の充実	地域福祉の推進	高齢者福祉環境の整備・充実	国民年金の円滑な運営	国民健康保険・後期高齢者医療・生活困窮者支援の充実	障がい福祉環境の整備・充実	消防・救急体制の強化	地方防災力・危機管理体制の充実・強化
	全体(1,204)	35.2	14.0	19.0	13.5	10.5	8.3	13.8	46.1	12.0	5.3	22.7	24.8	8.5	6.2	15.3	18.8
性別	男性(546)	39.4	15.8	16.3	16.1	10.8	8.6	18.3	43.6	11.5	4.0	20.0	25.3	7.5	5.5	15.6	17.8
	女性(646)	32.0	12.7	21.4	11.1	10.1	8.0	9.8	48.5	12.7	6.2	24.9	24.5	8.8	6.7	15.0	19.3
	その他(3)	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	66.7	0.0	33.3	66.7
年齢別	18～19歳(13)	30.8	0.0	23.1	38.5	15.4	15.4	46.2	38.5	30.8	7.7	7.7	0.0	7.7	7.7	7.7	7.7
	20～29歳(115)	50.4	23.5	16.5	14.8	12.2	7.8	18.3	40.0	13.0	3.5	7.0	17.4	9.6	3.5	16.5	18.3
	30～39歳(170)	64.7	35.3	31.8	19.4	8.8	7.1	11.2	41.2	11.2	2.4	4.7	13.5	7.1	2.4	12.9	20.6
	40～49歳(218)	39.9	10.1	28.0	23.4	9.2	8.3	18.3	44.0	14.7	4.1	13.3	13.8	6.0	5.0	14.7	13.3
	50～59歳(259)	23.9	7.3	10.8	7.7	8.5	10.0	13.9	53.3	10.8	6.6	28.2	25.9	8.1	10.0	17.0	20.1
	60～69歳(172)	26.2	10.5	11.0	9.3	13.4	8.1	11.0	52.3	12.2	6.4	34.3	32.0	8.7	6.4	17.4	25.6
	70歳以上(227)	22.9	8.8	17.2	8.4	11.5	7.5	8.8	42.7	10.6	6.6	37.9	41.4	11.0	5.7	14.5	17.6
居住地区別	下戸田1地区(146)	26.0	14.4	19.9	13.0	14.4	7.5	15.8	49.3	13.0	8.2	27.4	24.7	8.9	6.8	23.3	19.2
	下戸田2地区(195)	36.4	10.3	23.6	16.4	15.4	10.8	19.5	44.1	11.3	5.6	25.6	25.6	6.7	9.7	10.3	14.4
	上戸田1地区(123)	37.4	18.7	22.8	9.8	6.5	8.1	12.2	38.2	6.5	3.3	13.8	24.4	8.9	4.9	10.6	22.0
	上戸田2地区(166)	40.4	16.3	16.3	15.1	11.4	13.3	18.7	51.2	13.9	2.4	24.1	18.7	3.6	5.4	13.9	18.1
	新曽地区(305)	33.4	11.5	18.4	14.4	10.2	6.9	11.1	42.3	13.1	5.2	17.0	23.6	7.2	4.9	15.7	19.0
	笹目地区(164)	37.2	12.8	15.2	14.6	7.9	6.7	11.0	53.0	14.0	5.5	25.6	30.5	13.4	7.3	18.3	23.2
	美女木地区(100)	35.0	19.0	17.0	6.0	4.0	4.0	6.0	49.0	10.0	8.0	31.0	29.0	15.0	4.0	16.0	16.0

図表 122-2 戸田市の取組についての重要度（全体・性別・年齢別・居住地区別）つづき

		防犯体制の強化	市民相談機能と消費生活の充実	浸水対策の推進	安全な道路環境の整備・推進	形成	快適で秩序ある美しい市街地の	安心して生活できる住環境の充実	施設の充実	上下水道事業の効率的な運営・整備・推進	公共交通が利用しやすい環境の	自然に親しむ空間の整備・推進	魅力ある公園づくり	生活環境の保全	環境衛生の充実	多様な働き方への支援・充実	産業振興の推進	地域資源を活用した観光振興の	促進	市民活動の活性化と地域交流の
	全体(1,204)	35.2	2.4	28.2	23.2	12.9	18.6	14.3	19.4	11.6	12.5	6.1	7.5	13.1	2.8	2.7	2.8			
性別	男性(546)	36.3	2.6	27.1	23.1	15.8	17.6	15.8	16.3	11.9	13.7	6.2	6.2	12.6	4.2	2.4	2.7			
	女性(646)	34.1	2.2	29.1	23.1	10.5	19.2	13.2	22.1	11.5	11.5	5.9	8.5	13.5	1.7	2.9	2.9			
	その他(3)	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
年齢別	18～19歳(13)	15.4	0.0	46.2	30.8	0.0	0.0	0.0	15.4	23.1	23.1	0.0	15.4	15.4	7.7	15.4	7.7			
	20～29歳(115)	39.1	0.9	21.7	15.7	20.0	27.0	11.3	20.9	7.0	15.7	7.8	13.9	13.9	1.7	6.1	3.5			
	30～39歳(170)	34.7	2.4	28.2	25.3	10.0	20.0	10.6	18.8	8.8	20.6	3.5	2.4	11.8	5.3	2.4	0.0			
	40～49歳(218)	37.2	1.8	31.7	25.2	14.7	19.7	12.8	13.3	14.2	15.6	6.0	5.5	11.0	2.8	2.3	3.7			
	50～59歳(259)	39.8	1.5	35.5	24.3	16.6	17.4	18.5	20.8	11.2	7.7	6.9	8.9	15.8	2.7	1.2	1.9			
	60～69歳(172)	36.6	4.1	29.7	23.3	8.7	14.5	14.5	23.8	15.1	9.9	7.0	6.4	15.1	1.2	1.7	2.3			
	70歳以上(227)	28.2	4.0	17.6	19.4	10.6	15.9	16.3	19.8	10.6	7.5	6.2	8.4	11.0	2.2	2.6	4.8			
居住地区別	下戸田1地区(146)	35.6	1.4	15.8	20.5	12.3	17.8	16.4	22.6	10.3	6.2	8.2	6.2	11.6	0.7	1.4	4.8			
	下戸田2地区(195)	33.3	2.1	29.7	22.6	10.3	20.0	14.4	12.8	8.7	11.3	3.6	5.1	16.9	5.1	3.6	3.1			
	上戸田1地区(123)	39.8	3.3	33.3	24.4	16.3	17.1	20.3	15.4	13.8	12.2	6.5	7.3	12.2	3.3	0.0	0.8			
	上戸田2地区(166)	36.1	1.2	28.9	24.1	16.9	16.3	12.7	11.4	13.3	15.1	4.2	6.0	8.4	3.0	3.0	3.6			
	新曽地区(305)	37.4	1.6	30.8	25.6	13.1	20.0	14.8	19.0	13.8	16.4	7.5	9.5	16.4	3.0	3.6	2.3			
	笹目地区(164)	34.8	4.9	26.8	18.3	12.8	16.5	9.8	27.4	9.1	11.6	7.3	9.8	9.1	1.8	3.0	4.3			
	美女木地区(100)	26.0	4.0	29.0	26.0	7.0	23.0	12.0	32.0	12.0	11.0	4.0	7.0	14.0	1.0	2.0	0.0			

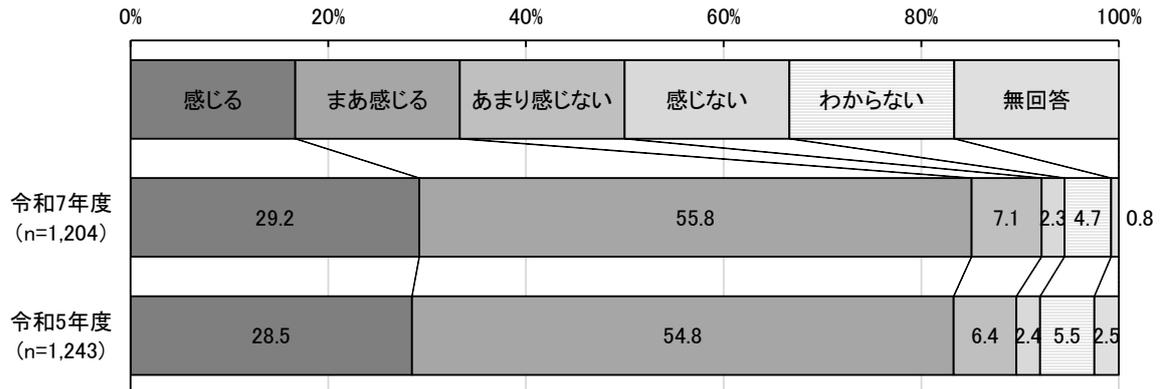
(3) 戸田市に住んで良かった（幸せ）と感じているか

問 43 あなたは、住んでいるのが戸田市で良かった（幸せ）と感じますか。（〇は1つ）

【全体の回答傾向】

戸田市に住んで良かった（幸せ）と感じているかについては、「感じる」と「まあ感じる」を合わせると85.0%となっており、令和5年度調査よりやや高くなっています。

図表 123 戸田市に住んで良かった（幸せ）と感じているか（全体）



【属性別の回答傾向】

性別では、男女で大きな差は見られません。

年齢別では、全ての年齢層で「感じる」と「まあ感じる」を合わせると80%以上となっており、10歳代が92.3%で最も高く、次いで30歳代が88.2%、最も低い70歳以上でも83.3%となっています。一方、「感じない」は20歳代から40歳代で他の年齢層よりもやや高く、「あまり感じない」は50歳代以上でやや高くなっています。

居住地区別では、「感じる」と「まあ感じる」を合わせた割合が最も高いのは下戸田2地区で88.7%、次いで上戸田2地区で88.5%、最も低い地区は美女木地区で80.0%となっています。

図表 124 戸田市に住んで良かった（幸せ）と感じているか
（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		感じる	まあ感じる	あまり感じない	感じない	わからない	無回答
性別	全体(1,204)	29.2	55.8	7.1	2.3	4.7	0.8
	男性(546)	28.8	56.2	7.5	2.9	4.2	0.4
	女性(646)	30.0	55.7	6.7	1.5	5.0	1.1
	その他(3)	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0
年齢別	18～19歳(13)	30.8	61.5	0.0	0.0	7.7	0.0
	20～29歳(115)	40.0	46.1	3.5	3.5	7.0	0.0
	30～39歳(170)	34.1	54.1	4.7	2.4	4.7	0.0
	40～49歳(218)	25.7	60.6	5.5	3.7	4.1	0.5
	50～59歳(259)	23.9	61.0	10.0	1.2	3.5	0.4
	60～69歳(172)	24.4	60.5	7.6	1.7	5.8	0.0
	70歳以上(227)	34.8	48.5	7.9	1.8	4.0	3.1
居住地区別	下戸田1地区(146)	27.4	53.4	9.6	1.4	6.2	2.1
	下戸田2地区(195)	33.8	54.9	6.2	2.6	2.6	0.0
	上戸田1地区(123)	29.3	56.1	3.3	3.3	7.3	0.8
	上戸田2地区(166)	31.3	57.2	7.2	2.4	1.2	0.6
	新曽地区(305)	28.2	57.7	6.9	1.0	5.6	0.7
	笹目地区(164)	28.7	53.7	8.5	3.7	4.3	1.2
	美女木地区(100)	23.0	57.0	8.0	4.0	8.0	0.0

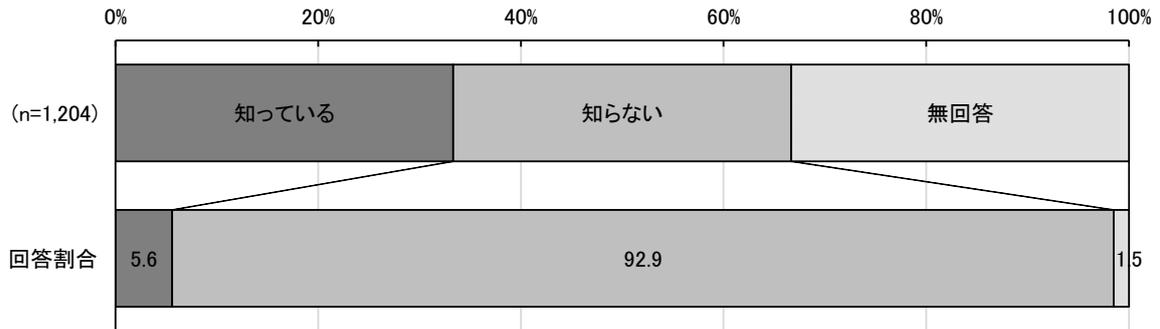
(4) 「戸田市「ありがとう」を伝え合おう条例」の認知度

問 44 「戸田市「ありがとう」を伝え合おう条例」を知っていますか。(〇は1つ)

【全体の回答傾向】

「戸田市「ありがとう」を伝え合おう条例」を「知っている」割合は5.6%となっています。

図表 125 戸田市「ありがとう」を伝え合おう条例の認知度（全体）



【属性別の回答傾向】

性別では、男性は女性に比べて「知っている」が高くなっています。

年齢別では、70歳以上で11.5%と「知っている」の割合が高くなっています。

居住地区別では、下戸田1地区や美女木地区で「知っている」の割合が低くなっています。

図表 126 戸田市「ありがとう」を伝え合おう条例の認知度（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		知っている	知らない	無回答
全体(1,204)		5.6	92.9	1.5
性別	男性(546)	7.0	92.1	0.9
	女性(646)	4.5	93.8	1.7
	その他(3)	0.0	100.0	0.0
年齢別	18～19歳(13)	0.0	100.0	0.0
	20～29歳(115)	4.3	95.7	0.0
	30～39歳(170)	3.5	96.5	0.0
	40～49歳(218)	4.1	95.4	0.5
	50～59歳(259)	5.8	93.8	0.4
	60～69歳(172)	3.5	96.5	0.0
	70歳以上(227)	11.5	82.8	5.7
居住地区別	下戸田1地区(146)	2.1	95.2	2.7
	下戸田2地区(195)	7.7	90.8	1.5
	上戸田1地区(123)	7.3	91.9	0.8
	上戸田2地区(166)	6.6	92.2	1.2
	新曽地区(305)	5.2	94.1	0.7
	笹目地区(164)	5.5	92.7	1.8
	美女木地区(100)	3.0	95.0	2.0

(5) 「ありがとう」を伝えることができるか

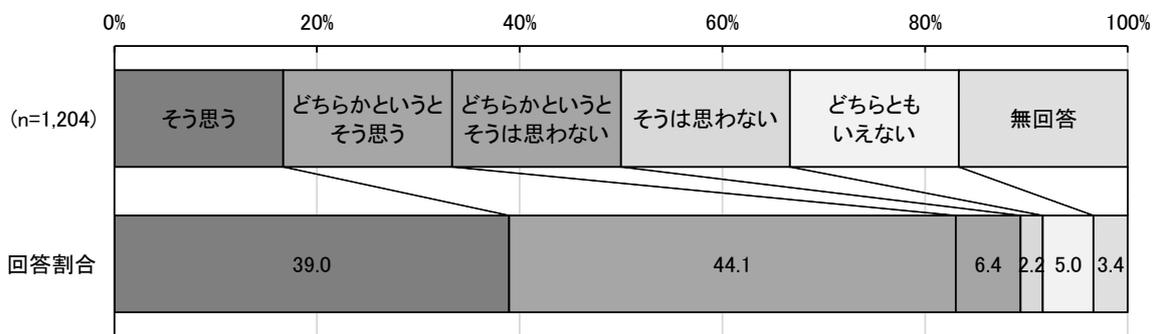
問 45 感謝の気持ちの伝え方に関する意識についてお聞きします。
日頃から、周りの人に「ありがとう」と伝えることができますか。(〇は1つ)

【全体の回答傾向】

「ありがとう」を伝えることができるかは、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせると 83.1%となっています。

「どちらかというと思わない」と「そうは思わない」を合わせると 8.6%となっています。

図表 127 「ありがとう」を伝えることができるか (全体)



【属性別の回答傾向】

性別では、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせると、男性が80.6%、女性が85.6%と女性が高くなっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせると、10歳代が92.4%と最も高く、次いで20歳代で89.5%、70歳以上は77.6%と最も低くなっています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせると、下戸田2地区が87.2%と最も高く、次いで上戸田2地区で86.2%、美女木地区は77.0%と最も低くなっています。

図表 128 「ありがとう」を伝えることができているか（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		そう思う	どちらかというと思う	どちらかというとは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	無回答
全体(1,204)		39.0	44.1	6.4	2.2	5.0	3.4
性別	男性(546)	33.5	47.1	7.3	2.9	6.8	2.4
	女性(646)	43.8	41.8	5.6	1.4	3.4	4.0
	その他(3)	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3
年齢別	18～19歳(13)	46.2	46.2	0.0	0.0	7.7	0.0
	20～29歳(115)	50.4	39.1	5.2	2.6	2.6	0.0
	30～39歳(170)	32.4	50.0	9.4	2.9	4.1	1.2
	40～49歳(218)	32.1	49.1	7.8	5.5	4.6	0.9
	50～59歳(259)	40.2	45.6	5.4	0.8	6.2	1.9
	60～69歳(172)	32.6	51.2	6.4	1.7	4.1	4.1
70歳以上(227)	48.5	29.1	5.7	0.4	6.2	10.1	
居住地区別	下戸田1地区(146)	34.2	45.2	8.2	4.8	3.4	4.1
	下戸田2地区(195)	39.5	47.7	6.7	0.5	2.6	3.1
	上戸田1地区(123)	37.4	45.5	8.9	1.6	4.9	1.6
	上戸田2地区(166)	46.4	39.8	5.4	1.2	5.4	1.8
	新曽地区(305)	36.4	47.9	5.2	3.6	4.9	2.0
	笹目地区(164)	40.2	40.2	7.3	0.6	6.7	4.9
	美女木地区(100)	40.0	37.0	4.0	2.0	8.0	9.0

(6) 「ありがとう」を伝えることができていない理由

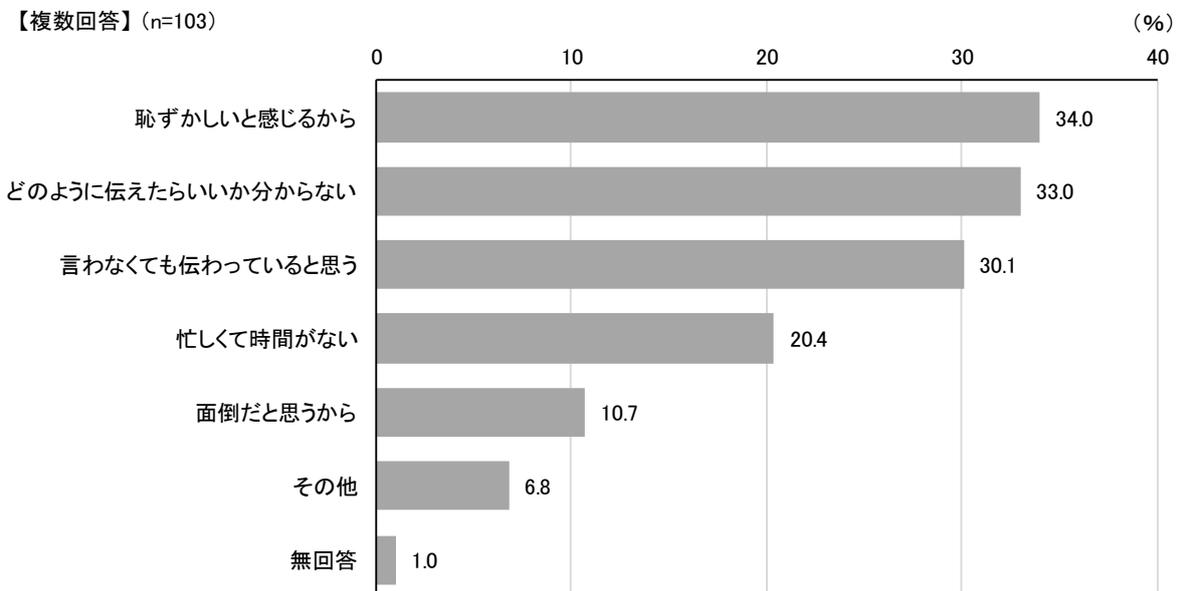
問 46 「3. どちらかというそうは思わない」「4. そうは思わない」と思う理由を教えてください。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

※問 45 で「3. どちらかというそうは思わない」または「4. そうは思わない」を選択した方のみ

【全体の回答傾向】

「ありがとう」を伝えることができていない理由としては、「恥ずかしいと感じるから」が 34.0%で最も高く、次いで「どのように伝えたらいいかわからない」が 33.0%、「言わなくても伝わっていると思う」が 30.1%となっています。

図表 129 「ありがとう」を伝えることができていない理由（全体）



【属性別の回答傾向】

性別では、「言わなくても伝わっていると思う」が女性に比べて男性は 15.3 ポイント高く、一方、「恥ずかしいと感じる」は女性が 25.7 ポイント高くなっています。

年齢別では、「言わなくても伝わっていると思う」や「どのように伝えたらいいかわからない」が 40 歳代以上で高く、20 歳代と 30 歳代では「忙しくて時間がない」、30 歳代から 60 歳代では「恥ずかしいと感じるから」が比較的高くなっています。

居住地区別では、下戸田 2 地区では「言わなくても伝わっていると思う」が 50.0% で最も高く、上戸田 1 地区や笹目地区、美女木地区では「どのように伝えたらいいかわからない」が高く、上戸田 2 地区では「恥ずかしいと感じるから」が 63.6% と最も高くなっています。

図表 130 「ありがとう」を伝えることができていない理由（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		忙しくて時間がない	恥ずかしいと感じるから	言わなくても伝わっていると思う	面倒だと思うから	どのように伝えたらいいかわからない	その他	無回答
全体 (103)		20.4	34.0	30.1	10.7	33.0	6.8	1.0
性別	男性(56)	17.9	23.2	37.5	14.3	33.9	7.1	0.0
	女性(45)	22.2	48.9	22.2	4.4	33.3	6.7	2.2
	その他(1)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	18～19歳(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳(9)	33.3	22.2	11.1	11.1	22.2	22.2	0.0
	30～39歳(21)	33.3	42.9	4.8	14.3	19.0	0.0	0.0
	40～49歳(29)	24.1	34.5	31.0	10.3	34.5	17.2	0.0
	50～59歳(16)	18.8	37.5	43.8	6.3	31.3	0.0	0.0
	60～69歳(14)	7.1	42.9	35.7	14.3	35.7	0.0	7.1
	70歳以上(14)	0.0	14.3	57.1	7.1	57.1	0.0	0.0
居住地区別	下戸田1地区(19)	21.1	26.3	21.1	21.1	21.1	10.5	0.0
	下戸田2地区(14)	14.3	35.7	50.0	0.0	21.4	7.1	7.1
	上戸田1地区(13)	30.8	46.2	23.1	0.0	61.5	0.0	0.0
	上戸田2地区(11)	9.1	63.6	36.4	18.2	18.2	0.0	0.0
	新曽地区(27)	18.5	25.9	22.2	11.1	25.9	14.8	0.0
	笹目地区(13)	23.1	30.8	38.5	7.7	53.8	0.0	0.0
	美女木地区(6)	33.3	16.7	33.3	16.7	50.0	0.0	0.0

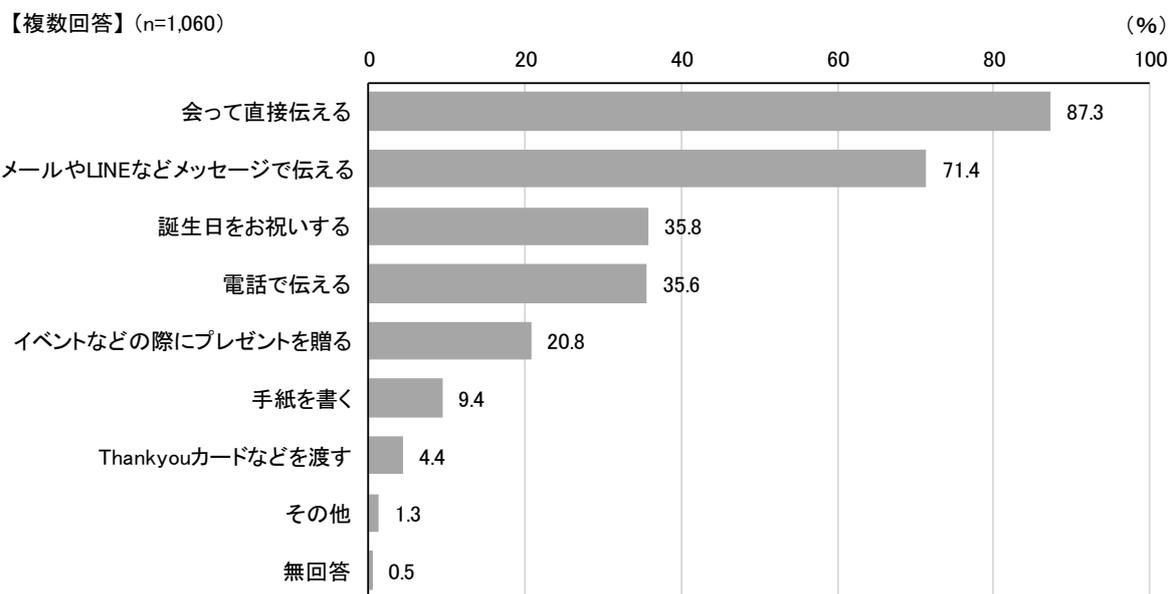
(7) 感謝の気持ちの伝え方

問 47 感謝の気持ちをどのように伝えていますか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

【全体の回答傾向】

感謝の気持ちの伝え方としては、「会って直接伝える」が87.3%で最も高く、次いで「メールやLINEなどメッセージで伝える」が71.4%、「誕生日をお祝いする」が35.8%、「電話で伝える」が35.6%となっています。

図表 131 感謝の気持ちの伝え方（全体）



【属性別の回答傾向】

性別では、女性は男性に比べて、「メールやLINEなどメッセージで伝える」は11.3ポイント、「誕生日をお祝いする」は15.3ポイント高くなっています。

年齢別では、70歳以上が「会って直接伝える」や「メールやLINEなどメッセージで伝える」、「誕生日をお祝いする」、「イベントなどの際にプレゼントを贈る」など、他の年齢層より低いものが多く、「電話で伝える」と「手紙を書く」が高くなっています。10歳代と20歳代は「誕生日をお祝いする」も高くなっています。

居住地区別では、全ての地区で「会って直接伝える」が最も高く80%以上となっており、下戸田2地区は91.4%となっています。次いで全ての地区で「メールやLINEなどメッセージで伝える」が高く、上戸田2地区が77.6%となっています。

図表 132 感謝の気持ちの伝え方（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		会って直接伝える	電話で伝える	メールやLINEなどメッセージで伝える	手紙を書く	Thankyouカードなどを渡す	誕生日をお祝いする	イベントなどの際にプレゼントを贈る	その他	無回答
全体(1,060)		87.3	35.6	71.4	9.4	4.4	35.8	20.8	1.3	0.5
性別	男性(477)	86.6	33.5	65.4	5.2	2.1	27.7	13.0	1.0	0.8
	女性(575)	88.0	37.6	76.7	13.0	6.4	43.0	27.5	1.4	0.2
	その他(1)	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
年齢別	18～19歳(13)	92.3	30.8	69.2	23.1	7.7	69.2	23.1	0.0	0.0
	20～29歳(106)	91.5	28.3	77.4	7.5	5.7	49.1	29.2	0.0	0.0
	30～39歳(147)	95.9	27.9	74.1	7.5	5.4	39.5	23.8	0.7	0.0
	40～49歳(187)	87.2	26.2	77.5	8.0	5.9	38.5	28.3	0.5	0.0
	50～59歳(238)	89.9	35.3	77.3	9.7	2.9	36.1	23.1	0.8	0.8
	60～69歳(151)	81.5	33.8	74.8	6.0	2.6	29.1	15.9	3.3	0.0
	70歳以上(190)	78.4	56.3	51.6	14.2	4.2	26.8	8.9	2.1	1.6
居住地区別	下戸田1地区(121)	84.3	38.0	74.4	12.4	5.8	32.2	23.1	0.8	0.0
	下戸田2地区(175)	91.4	33.1	69.7	9.1	5.7	37.7	18.3	1.1	0.0
	上戸田1地区(108)	84.3	28.7	69.4	12.0	3.7	36.1	18.5	0.9	1.9
	上戸田2地区(152)	88.8	36.8	77.6	7.2	4.6	32.9	24.3	2.0	0.0
	新曽地区(272)	88.6	34.9	76.5	10.3	4.4	42.3	22.1	0.4	0.4
	笹目地区(143)	82.5	41.3	59.4	5.6	3.5	31.5	15.4	2.8	0.7
	美女木地区(85)	88.2	34.1	65.9	8.2	2.4	28.2	24.7	2.4	1.2

Ⅲ. 自由意見

今回の市民意識調査ではたくさんのご意見が寄せられました。

※特定の個人や法人を誹謗中傷するような記述は省略をしています。

また、特定の個人や法人が識別できる記述については、一部省略「・・・」表記しています。

1. 子育て支援・児童・青少年育成・学校教育		
女性	20 歳代	カフェが少ないので増やしてほしい。子育て支援を充実させてほしい。
男性	20 歳代	これから戸田で子育てしたいと思っているので子育て支援をお願いしたいです。
男性	20 歳代	戸田公園駅北側の高架下道路でフェンスを増設いただきありがとうございます。危なかったのが良かったです。出産・育児により一層注力いただけますと幸いです。よろしくお願いいたします。
女性	30 歳代	不妊治療についてももう少し助成金を充実させてほしい。
女性	30 歳代	保育料を安くする、無償化するなどして頂けると助かります。
女性	30 歳代	保育料を0才から無償化にしていただけると嬉しい。小さい子向けの公園に小・中学生が集団で集まり、遊んでいる。高学年の子供の過ごし方、居場所がないのかなと思い、いつも見ている。
女性	30 歳代	産後ケアを受けられる場所がもっと増えると良いと思います。こどもの国で行っている子育てイベントに興味があるのですが、人気で予約をとるのが難しいです。開催日数をもっと増やせば、予約も取りやすくなると思います。
女性	30 歳代	とにかく子供にすごくお金がかかっています。給食費は第3子から無償などありがたいのですが、教材費や修学旅行などなど、すごくお金が必要になってきます。他の市ではこれらが無償な地域もあるそうです。もう少し戸田市に頑張ってもらいたいです。
女性	30 歳代	戸田駅周辺で子育てサークルを定期開催してくれる場がほしいです。こどもの国、プリムローズ共に遠くて行きにくい。福岡市の「おむつ定期便」を参考にして同じような制度があると嬉しいです。病院での乳幼児の身長体重測定を無料にしてほしい(気軽に計測する場が少ないため)(特に0歳児期)
女性	30 歳代	明石市のような子育て支援があると嬉しいです。また、東京都のような私立無償化などがあれば子育てに不安がありません。
女性	30 歳代	子供たちの笑顔を守る町であり続けていただきたいです。公立の学童の給食の提供をお願いします。
女性	30 歳代	昔に比べると住みやすい町になってきていると感じます。戸田で育ち戸田市内の職場で働く事で貢献したいと思いますが、保育士不足が懸念されています。保護者の育児休暇が充実し、1歳児からの入園者が増えてどの園も0歳児の入園人数が少なく定員割れをしているのが現状。0歳児と同じように1歳児の単価を上げていただきたい。子どもは減っている傾向だが、女性が活躍していく世の中で、保育園は必要となんとも言い難い矛盾が生じてしまうのはなぜか。保育士を確保していくためにはもう少し改善や取り組みが必要なのでは？市役所と保育園が密に連携ができていないか？となるとそうでもないと感じている。人によって対応が違う。

女性	30 歳代	保育料無償化してほしい。
女性	30 歳代	他の市区町村に比べれば、戸田市は動きが早い方かなと思うことがあるので、日々の運営等してくださっている方々には感謝をしています。戸田市は埼玉県の中でも、一番住民の平均年齢が低いため、これからもっとより良いまちになると信じています。最近、子育てしている親子が行方不明になり、戸田駅で発見されて、子どもが亡くなった事件がありました。 (以前にも戸田駅で親子が電車に飛び込む事故がありました) そういう悲しい事件がなくなるように、子育て時の孤独感がなくなるようなものがあると嬉しいです。今も、出産後の保健師さん訪問や講座や集まりなどを開催していただけていますが、なかなか自分から申し込んだりできなかったり、人と会いたくないと思ったりすることもあるので、追い詰められている人には中々効果は発揮できていないと思います。具体的にこうしたらよいなどの案はでてこないですが、悲しい事件や事故は全国で減ってほしいですが、戸田市では起こらないようになるといいなと思います。
女性	30 歳代	市役所の皆さんいつもありがとうございます。現在子供が 1 人います。予算面等中々難しいことは承知しておりますが、東京都のように保育料の第一子からの保育料無償化をいただくと大変ありがたいです。
女性	30 歳代	戸田市はとてもいい街だと思います。子育てもしやすく地域のご年配の方達も優しく子供達を安心して育てることができています。感謝です。以前、市営住宅の空きがなくあっても 1DK でかなり古いと言われ諦めました。現在シングルで子供 3 人で賃貸 85,000 円に住んでいますが、家賃補助を少しでもしていただくと嬉しいなと思っています。離婚を機に引っ越してきた為学区外への引っ越しは今のところ考えていません。物価も上がり大変な時代になったなと感じています。
女性	30 歳代	良い町になってほしいと思っているが、今回のこの調査で「普通」と答えているものが多く、良くも悪くもない、という感覚だった。ただ、知らないことが多いのでライフステージが変わることでわかるものもあるのかもしれない。飲食店がもう少しあるといいなと感じる。またこれだけ保育園の充実がある分、その子たちが小学校に上がった時の学童の充実をお願いしたい。小学校の修繕はすごくありがたい。
男性	30 歳代	子育て世代に選ばれ、こどもが多くて活気のあるまちづくりをしてほしいです。
男性	30 歳代	子育て政策にはぜひ力を入れていただきたいと思います。
男性	30 歳代	子育て支援の拡充をいただくと嬉しいです。働く子育て世代のために、ベビーシッターや病児保育の補助があるととてもありがたいです。遊具のある公園が少ないなあと感じます。
男性	30 歳代	より子供を増やしていきたいと思える街にして欲しい。2024 年 11 月に子供が生まれました。その際に検診費用の手出しが毎回 5 千円、後期になると 8 千円程かかっていました。出産には一時金では足りず、18 万円程の手出しがありました。その後もオムツなどの消耗品でもかなり費用がかかっています。もっと費用的な面での支援があると、子供を増やしたいと思えます。またクルド人対策も是非力を入れて欲しいです。全ては未来の子供たちのためです。

女性	40 歳代	すぐ隣、東京都では018サポート(子育て支援)、保育料、給食費が無償化されています。財源が違うのは分かりますが、戸田市でも実施して頂けると、子供もう1人と考えやすくなると思います。子育て世代として助けてもらえるとうれしいです。
女性	40 歳代	他の自治体も中学校の制服無償化というニュースを聞き、是非戸田市も子育て世帯を救うべく、そうしていただきたい。
女性	40 歳代	子どもの国をよく利用します。外のベンチが少ないので、増やしてほしいです。
男性	40 歳代	東京都水準の経済的な子育て支援。保育園の第一子からの無料化など。
男性	40 歳代	今まで通り高齢者対策よりも子育て支援を充実させて欲しい。
男性	40 歳代	いつも市民に寄り添っていただきありがとうございます。田舎を離れて孤独でいる親は多いと思います。これからも経済的にも治安的にも親が安心することで、幸せな子育てができる環境づくりをお願いいたします。
女性	50 歳代	子育て支援は乳幼児期だけではなく、児童・青少年時期の方への支援も充実させてほしい。街灯が少なく暗い場所があるので、防犯面へも力を入れてほしいです。安全な街に住み続けたいと考えているからです。
女性	50 歳代	戸田市には大変満足しています。努力して下さっている皆様、ありがとうございます。子育て支援に力を入れてほしいです。困窮家庭などに手厚い支援をお願いします。障害者福祉もよろしくをお願いします。(私が精神障害者なので)みんな仲良く明るく健康に安全にのびやかに生きていけたら良いと思います。思春期の子のメンタルケアなどにも力を注いでほしいです。
男性	50 歳代	子供会は必要でしょうか。親は共働き、子供は塾に習い事で皆さんとても忙しいです。小学校に入学しても子供会には入会しません。親は子供会のお手伝いをする時間なんてないし、子供も必要ないからです。町会から夏祭りとかちびっこプールはどうしてもやってほしいとお願いされるので、子供はとくに小学校を卒業してるけど、保護者は子供会のお手伝いを続けてる状態です。近所の公園で開催される町会の夏祭りは、出店ばかりで子供が楽しめるゲームが無いから行ってもつまらないと聞きます。ちびっこプールは、午後2時間の開園の為に朝から入水して準備しても、平日だったり危険な暑さで誰も来ないことも多々あります。そんなプール当番をしてくれる保護者はなかなかいません。子供会の本来の目的の確認と現状調査、そして改善を望みます。毎年行われるかるた大会はとても盛り上がります。子供会に入会していなくても、町会ごとで市のイベントに参加するとか、夏祭りの企画から当日の演出までを団体に委託できるように助成金の配当を変えたりとか、今までとは違う活動方法を考えたほうが良いと思います。せっかく子供がたくさんいる街なので、子供会に縛られず今の時代に合った活動ができたらいいなと思います。
女性	20 歳代	子供達が安心して生活できる環境(防犯や交通安全)や介護をしている方のメンタルヘルスケアや金銭的援助を充実させていただければと思います。ヤングケアラーがいる場合には、支える環境を整えてあげてください。

女性	30 歳代	公園は多いが、小学生たちの危険な遊び方に戸惑うことが多い。高架下のスペースを有効活用して子供やペットが遊べるスペースになったら嬉しい。プリムローズやこどもの国も乱暴な遊びをする子が多く職員の方も注意する姿を見ないのであまり利用しなくなった。非常にいい施設なので残念。図書館をよく利用しているので無料の託児サービスがあるのが非常に助かっている。モーヴィから駐車場が遠すぎるのでモーヴィ利用者用の駐車場や道があると嬉しい。
—	20 歳代	戸田市内で、教育機関を大学まで完結でき、欲を言えば、保証人なしでも受け取れる奨学金を設けてほしい、または戸田市立の学校は無償化してほしい。また、もっと気軽に飲食しやすい、長居しやすい自由な自習スペースがもっと欲しい。
女性	30 歳代	小・中・高生へのサポートを手厚くしてほしい。(学校用 PC をみんなが快適に使えるように・・・など)
男性	30 歳代	少子高齢化が進む中、どう子供を多くするかがどの自治体でも課題かと思います。戸田市は小学教諭の負担軽減の為、スポーツ活動の外部委託をしていると最近聞きました。すごくいい取り組みだと思いました。即効性はなくとも、子供の能力向上や転入率、戸田市内での出生率向上に繋がると思いました。個人的には戸田公園にスポーツジムを増やして欲しいです。健康でいたいですが、「・・・・」が高い為。
女性	40 歳代	タブレットで問題を解くことは、子供達の学習に良いとは思えません。問題文を読む時に目が滑ってよく読めません。大事なところに線を引いたり、印をつけることもできません。筆算の計算をタブレットで行っている子供は、全然ちゃんと解けていませんでした。タブレットは指導側の効率化を重視しただけであって、「学習」に対してはかなり不適切だと思います。教育先進国の北欧ではすでにタブレット学習を縮小しています。戸田市も見直してほしいです。
男性	40 歳代	学校教育の質の低下は大きな課題。シルバー人材や非常勤職員で対応できるはず。集団登校は、子ども家庭の負担が大きい。東京でやっていないことは止めるべき。学校の職員も大変かもしれないが、子供が一番だと思う。住民の質が悪すぎる。モラルがない。犬のフンを放置する人が多い。こんな街は日本中探しても戸田だけでしょう。河合議員がトップ当選したのは、戸田市の現状を問題視している人が多いからです。
女性	50 歳代	デジタル化が戸田市は進んでいるが、一方で漢字が書けない、字が汚い子が多いと聞く。漢検など「書く」も両立が必要と感じる。また、勉強も大事だが、運動会や集団で行う行事が簡略化され、戸田市から出て高校に行くと、コミュニケーション不足で学校に行けなくなっている子が多くなっている。そこをこれからの課題と感じる。
男性	50 歳代	小学校での多言語の学習環境を、早急に整備して欲しい。子の通う小学校でも、外国籍の児童が学校内でコミュニケーションを取れず、問題を起こしているようだ。昨年度子にヒアリングしていたが、学校側の対応が取れているとは言えないようだ。今後も外国籍の子は増えると思われるし、未来のことを考えるなら先進的な教育よりも、子供一人一人に根ざした教育を目指して欲しい。

女性	70 歳以上	私は 77 才です。良い時代でした。(右上がりの時代で)これからの人を見ると、いろいろと大変だと思うので、若い人を優先してほしい。小学校中学校学童など、15 才までの教育に力を注いでほしい。(トイレなど)
----	--------	--

2. 生涯学習、芸術・文化、スポーツ・レクリエーション

女性	50 歳代	図書館をよく利用しています。読みたい本をリクエスト出来るのでとてもありがたいです。ただ、戸田市は貯蔵本が少ないのか他市から取り寄せることが多いと感じ、手元に来るまで時間がかかる。
女性	70 歳以上	市の講座、催し物をする場所が家の近くにないから参加出来ない。
女性	10 歳代	美術文化活動の推進において、地域中高生などとコラボなどしていただけるとありがたい。全体的に高校生、大学生などの「学生」に対する支援が弱いように感じる。
女性	20 歳代	戸田市民ミュージカルを復活させてほしい。戸田のイメージを知人に聞いた際に、ミュージカルの話題があがるが多かった。・防犯対策は厳重に行ってほしい。(前に被害者になってしまったので)夜道はもう少し明るいと嬉しいです。いつも戸田市のことを考えて下さり、ありがとうございます。
男性	20 歳代	戸田市内に映画館が一つもないのは如何なものか。都内に近いのだから映像作品のロケ地の招致など、文化振興に積極的に取り組むべきだ。
男性	60 歳代	市民ミュージカルをやめたりして特徴を無くしている
女性	50 歳代	戸田市文化会館にもっと大物アーティストを呼んでほしい。自転車レーンを充実してほしい。広めに作ってほしい。映画館を作ってほしい。特養老人ホームを充実させてほしい。沢山あると良いな。不用品のリサイクルをもっと拡大してやってほしい。
女性	70 歳以上	戸田公園駅には「ボートのまち戸田」らしさがまったく感じられない。

3. 医療、健康づくり、地域における支え合い

女性	20 歳代	戸田市内の医療機関での医療費を戸田市民は年齢関係なく全員無料にしてほしい。戸田市民全員に現金 10 万円を支給してほしい。(1 人あたり)→収入が少なく、生活が苦しいため。戸田市内で使えるクーポンが欲しい(スーパーなどで使えるもの)→3 万円分くらいほしい。
女性	30 歳代	小児科の数が市内ではらつきがあるように感じます。笹目や早瀬に住んでる人も通いやすい場所に小児科ができると助かります。
女性	40 歳代	夜間でも子どもが受診できる救急病院がもっとあったら便利だと思います。
男性	40 歳代	北戸田に病院や産婦人科ない。外国人問題を真面目に考えてほしい。

女性	70 歳以上	救急車を呼んだら「空き室がない」と何件もの病院に断られ、市外の病院に行く事になりました。最低限の医療の確保をお願いしたいです。トコバスは医者や買い物に行くのに欠かせません。ライフラインと思っています。市民医療センターとトコバスは、ぜひ継続でお願いしたいです。特別養護老人ホームが「100人待ち」と言われ、必要な状態であっても入れません。また、立地が市の東側に偏っている様に感じます。未来を見据え、西側にもあった方がいいと思います。
男性	70 歳以上	戸田公園駅周辺が、開発が計画的になされていない。民間の病院だけが目立つ。公の病院をつくるべき。市民医療センターを市立病院にするべきだった。市役所と並べて民間の病院を公の病院扱いするのは異常です。
女性	不明	子育て支援も良いですが、「……」が大きいのに受け入れが……安心できませんよね。川沿いの土嚢を置いても意味無と思います。ぜひ考えて下さい。安心できる病院が一番です。
男性	70 歳以上	①近所を散歩しているのですが、道路脇にできるだけベンチを設置してほしい。(80才男性)休憩のため。②戸田スポーツセンター 健康のため利用しています。(夫婦で)25m プールを泳ぎたいのですが、深いため怖いのです。(浅いプールもあるのですが、距離が短いので)今高齢者でも元気です。よろしくお願い致します。
女性	60 歳代	安心安全な戸田市を目指し、福祉の十分な充実を精進していく事をお願い致します。

4. 高齢者福祉、社会保障、障がい者（児）福祉		
女性	20 歳代	祖母と暮らしているのですが、困った時に市役所で相談すると丁寧に対応してくれたり、戸田市で使える商品券など高齢者に優しい町だなと思います。病院や市役所に行くときはバスを利用しているので、金額を安くしたり、回数を増やす、バス停にベンチを置く等していただくと助かります。
女性	40 歳代	笹目地区にはスーパーが少なく、バイパスより先の笹目地区、高齢者は歩いて買い物する場所がないです。車も無く、バスも不便です。生活格差を感じる時があります。自分が年を取ったら、戸田市内の便の良い所かな？とも思いますが、生活費が高くなると思うと、もう少し田舎暮らしが現実的なのかと思います。高齢者も住みやすい戸田市を望みます。
女性	50 歳代	住みやすく良いまちだと感じています。いつもありがとうございます。高齢者がより住みやすいまちになっていくと嬉しいです。
女性	50 歳代	☆高齢化社会なので、今後独居の方、子供なしの夫婦(特に生活保護を受けていない、年金生活の方)にも目を向けて、苦しい生活にならないように対策を検討して欲しい。☆地震対策、災害対策にももっと力を入れて欲しい。☆緑の多いきれいな街づくりを頑張ってもらいたい。
女性	50 歳代	子育て支援より高齢者の福祉に力を入れてほしい。

女性	50 歳代	イオンが出来て今は車を運転でき、行く事ができますが、住んでいる所から歩き、自転車で行ける近所のスーパーがありません。バイパス近郊はドラッグストア、コンビニがありますが、年老いてからは買い物に不安があります。今は週1回生協も利用しています。笹目、美女木地区にスーパーは必要だと思います。
女性	50 歳代	いつも私達市民の為にありがとうございます。今後、高齢となり、終活について考える時期に来ております。1人となった場合に備え、そのような相談機会の場所を設けて頂けたらと思います。どうぞ今後共よろしくお願い申し上げます。
男性	50 歳代	高齢者が住みやすいまち。埼京線沿いの横断歩道や信号機設置。ホームドア設置。認知症の病院設置
男性	50 歳代	貧困児童や孤独高齢者の支援のさらなる対策充実。
女性	60 歳代	子育て支援も大切だが、高齢の方が増えることにも対応したまちづくり、活動をお願いしたいです。
女性	60 歳代	戸田は子育て世代が多く住んでいて、子育てしやすいやさしい街だと思います。どんどん高齢社会になり、介護施設をもっと増やして頂きたいと思います。4年前100人待ちと危機、母を妹の住む岩槻へ転居させました(岩槻のホームに入っています)。自分も60を過ぎ、将来の住む住居に不安があります。(現在賃貸のため)住む場所がなければ引っ越さなければなりません。高齢者も安心して住み続けられる戸田市になって頂けるようお願い致します。
女性	60 歳代	要支援・要介護がなくても、ちょっと利用出来るサービスがあると良い。介護サービス・施設は動けるうちから利用する意識を高める。「高齢者」というハードルが高い為、自ら行かないので、説得が大変。高齢者の遊べる場所、愛知県の「たんぽぽ」の様な所があると、(特に男性)行きやすいのでは？
男性	60 歳代	笹目5丁目には食品スーパーが全くなく、買物がものすごく不便で、高齢者が非常に困っている。
女性	70 歳以上	戸田市は住みやすい街だと思います。子育てNo.1になっていますが、高齢者住み心地No.1にもしてもらいたい。よろしくお願い致します。
女性	70 歳以上	パソコンやスマホについていけない高齢者はどうしたらいいでしょう……。これから先、不安です。
女性	70 歳以上	補聴器が高いと伺っておりますので、補助があると大変有り難いですね。高齢になりますと、ちょっとした事(高い所)とかが無理になりますので、頼む所(便利屋)があるといいです。(有料でも)
女性	70 歳以上	高齢で障害者の私は戸田市に住んでいて良かったと感謝しています。病院通いの為にタクシー券を利用しておりますが、ワンメーターが500円なので、自己負担が多くなってしまいました。受診する回数が多いので、1回に2枚も使えないので！！呼び出し料が400円かかるので、1回の負担が1000円前後で往復約2000円かかります。トコバスはステップが高く利用出来ません。もう少し自己負担が少なくなれば助かります。

男性	70歳以上	国民健康保険に今年3月より加入しています。保険料の支払いについてですが、年金生活者にとっては高額となります。もう少し高齢者に対して配慮していただけると大変助かりますし、ありがたく思います。
男性	70歳以上	政府広報サイトによると、MCIを含めると3人に1人が認知症と推計されています。認知症になっても住みやすい町づくりを取り組んで頂きとうございます。
男性	20歳代	知的障害がある子どもの代筆を致しました。本人と話をしながら回答しましたが、どうしても「わからない」「どっちでも」の答えばかりになりました。障害者が生活しやすいまちになって欲しいと親子共々思っております。
女性	40歳代	障害者の施設が少ない。狭い。職員が理解をしないで強制したり、施設から追い出したりする。責め立てる。理解者が足らな過ぎて、皆ガマンしています。私も丸坊主にして、ふ〜んと言われました!!反省を示したのに、その程度なのです!!
男性	40歳代	今、小中学生でも手話に興味を持っている子供が多く、聴覚障害のある方々とのコミュニケーションの手段として習得する支援があると良いと思う。手話講座は高校生以上というものが多く、興味があっても小中学生が学ぶ場が無いと感じます。
女性	50歳代	障がいのある方たちが生活・就労を安心してできる街にして欲しいです。支援事業を行う会社等が戸田市で活動しやすいよう、連携を取って頂きたいです。他市に比べて事業者が少ない。
女性	50歳代	少子化対策ばかりに行く風潮がありますが、障害福祉に関する状況はとても分かりづらく複雑で時間がかかり解決に至らない事が多々あります。役所の窓口に向いても事務的機械的な対応が多く気力を削がれがちです。子供だけではなく、高齢者やハンディキャップのある方にも手厚く優しい戸田市になって頂ける様、切に願います。

5. 消防・救急、防災、防犯、市民相談・消費生活、河川・水路、道路

女性	10歳代	まず、浸水対策を強化してほしいです。大雨で駅周辺が水浸しになり、半地下の駐車場が貯水池のようになってしまうため。次に、現金給付(子育て支援・生活支援などの)を見直して頂きたいです。自分の収入に見合った生活をすれば良いと思います。税金で支援すると、受給者がもらって当たり前と誤認し、「これだと少ない」と不平不満を言うようになり、甘やかすことになってしまいます。受給者の人生のためにもやめるべきです。
----	------	--

男性	30 歳代	菅原市長はじめ市議会議員の皆様や市役所の皆さまが戸田市民のために頑張っているのが実感できています。今後、震災や豪雨などで万が一荒川が氾濫した際に市民をどう守るか、市役所はじめ市の行政機関が災害時にしっかりと機能できるかという災害対策が市政において重要になってくると感じます(ハザードマップで荒川が氾濫したら戸田から逃げろになっていませんか？浦和あたりまで避難するのは現実的ではないです。ある程度の人数が避難できる高台を造るなどの工夫も必要だと思います)防犯に関しても最近パトカーなどをみてしっかりとパトロールをやってくださっている感じなのは伝わってきていますが、外国人犯罪への対応や戸田橋花火の際に交通マナーを守らない方やゴミを不法投棄する方々に注意指導し市民を守る取り組みも重要だと感じます。
男性	30 歳代	とにかく時代が時代。国も県も情けないくらい。各市が、各々で自治を強めなくてはいけないと思う。特にここ数年で流入してきている外国人に対しては厳しくすべき。隣の市に外国人の私の母が住んでいるが、35年間ちゃんと税金を収めているしルールに従っている。そういった人のみを受け入れるべき。あとは水害。歴史的に見ても水害は必ず付きまとう場所。過去に戸田に住んでいた時台風によるポートコースの氾濫により車二台廃車になってしまった。あとは還付金等なにかあればうれしい。
男性	30 歳代	戸田公園駅周辺が大雨が降ると道路が水没する。
女性	40 歳代	とても良い町ですが、水害が心配です。そして、ゴミ箱が遠くて大変です。カラスと野良猫が気になります。夜間にやっている病院を増やしてほしい。もっともっと住みやすい街になる事を願っています。
女性	40 歳代	駅前などの浸水対策を急いでやってほしい。家や車に被害が及ぶので大変困る。
女性	40 歳代	大雨の時に家や車が浸水しないか心配。ベビーカーや自転車移動が多いが、歩道が凹みなどでガタガタしている箇所や狭い箇所が多く走行しづらい。新曽南3丁目からだと中学校が遠すぎる。
男性	40 歳代	荒川が氾濫しないように対策してほしい。ボートレース用の駐車場が多すぎる、あまり使わない駐車場の土地を有効活用してほしい。
男性	40 歳代	浸水対策を引き続きお願いします。毎年子供のお迎えで危険を感じています。また、コンビニではなく飲食店なども増えると嬉しいです。北戸田駅前の発展も期待しています。
女性	50 歳代	治水事業、北戸田駅や戸田駅のホームドア設置、休日医療の充実(市内に立派な中央病院があるのに、休日に怪我をしたり病気になると大概都内の病院に連れていかれるのはなぜですか?)とにかくこの3つは早急に進めていただきたい。
女性	50 歳代	戸田市は浸水など水害を受けることもあり、今後の気候の温暖化の影響を受けることが多大と思われます。上下水道の整備や被害を最小限に抑えるような方法を考えて頂けたらと思います。
女性	50 歳代	大雨のたびに道路が冠水するのは早く解決してほしい。外国人が多すぎる。怖い。

女性	50 歳代	気象状況の変化に伴う、豪雨による道路の冠水がたびたび起こるので、排水の整備にもっと取り組んで、安心して生活できる環境を整えてもらいたいです。
女性	50 歳代	戸田駅周辺が豪雨時に水没しないように対策をお願いします。
女性	50 歳代	私の住んでいる地域は道路の浸水が多く、昨今の豪雨や台風が近づくとたびに不安になります。近隣の菖蒲川と住居や道路との高低差があまりなく、すぐに川が溢れてしまう状況です。少し行くと荒川の土手も近いので、万が一川が氾濫した場合を考えるととても不安になります。早急にこちらの改善をお願いしたいです。
女性	50 歳代	浸水する箇所を無くして欲しい。
女性	50 歳代	最近、道路の冠水に対する対策がとても進んでいて安心して住める街づくりが進んでいるなどと思います。消防職員の特殊勤務手当が周辺の市町村に比べて安いと思っていたので、今回改正されたことで職員のモチベーションアップや優秀な人材の確保など良い方向に繋がれば市民が安心して生活できると思います。
男性	50 歳代	洪水対策、図書館、戸田の図書館はアクセスも本の数も少ない為、浮間や北区、川口のを利用している。深夜のサイレン（消防署、病院）がうるさい。住宅地周辺ではもう少し音を下げたい。また、優秀な公立高校を設立して、文化的指数の高い市を目指して欲しい。
男性	50 歳代	浸水対策が進まず、不便な思いをしている。
男性	50 歳代	浸水被害は大小なく、浸水する場所に住む住民は、大きな問題(心配)である。浸水場所を把握して、対策をしてほしい。ゲリラ豪雨が心配！！
男性	50 歳代	浸水対策はかなり進めていただいておりますが、完全に安心できるところまでお願いします。道路整備（拡張や歩道整備）の進みが遅いように感じます（戸田駅周辺の計画）。
男性	60 歳代	風水害、特に大雨の対策が進んでいない。去年災害があったが、それを活用して対策を講じている実感がない。どんどん戸田から転出の思いが増している。
男性	60 歳代	治水(洪水)に対しては良くなってはいるが、災害に対して避難場所が確保できていない。学校などがその時に利用できるか事前に知らせてほしい。防犯や交通の便を良くしてほしい。
女性	70 歳以上	今後大きな水害が予測され荒川～戸田橋が壊れた時(水の液状化で)、場所は雑誌を見ていないが昨年夫が水害の情報は特にいろいろと知りたいと思う。2025 年 7 月大きな災害水害、2011 年やいろいろ石川県など液状化でビルが壊れ、たくさんの影響が有る事に少しずつ買物(店が開いていない時、食品、トイレに困る)心がけは絶対必要。危機管理は私達は甘い。健康体操、栄養管理指導は大切です。
女性	70 歳以上	防災とだ放送について大変聞き取りにくい。二重に聞こえる。(防災、行方不明者)なのか瞬時にわかりにくい。改善案 1.放送間隔をもっと開けてほしい。2.内容(防災、行方不明者、他等)毎にメロディーを変えてほしい。

女性	20 歳代	夜、暗い道が多いので、電灯を増やしてほしい。不審者が多すぎる。戸田駅の駐輪場が危ない。戸田駅の周りにおしゃれなカフェがほしい。駅の中にお店(カフェ、雑貨屋さん、お惣菜)がほしい。T-FRONTに渡るのが面倒くさい。渡りづらい。「・・・・」全然いいお店がなくて残念。お酒のお店ばかり！武蔵浦和駅みたいな便利な駅になってほしい。子どもの頃は公園にプールがあったり、子ども会でカレーを食べたり楽しかったです。プリムも雨でも遊べて良かったです。
女性	20 歳代	姉家族が住んでいることもあり、約 1 年前に引っ越してきました。しかし少し前ですが、マンション駐輪場から自転車を盗まれました。その翌日、住人でない外国人の方が夜に数名で駐輪場に入っていくところを見ました。犯人である断定はできませんが、近隣の市でも問題となっている移民対策はぜひ強化していただきたいです。姉も子供達も戸田市での暮らしに満足しており、私もそうです。これからも安全に生活できることを期待しております。
女性	20 歳代	外国人の犯罪増加が怖いです。これからも安全な場所であってほしいので、早めの対策をしていただきたいです。
男性	20 歳代	子どもも多く住まれていると思うので防犯面の強化をいっそうお願いします。駅近くは街灯が多いのですが、駅から離れると暗い場所が多く感じますので、対応していただきたいです。
男性	20 歳代	私は「安全」ということを重点的に見ましたが、近年は外国人移民問題が深刻になっています。特に近辺の川口市ではその問題が大きく現れており、この戸田市でもその移民問題による治安の悪化が懸念されていると思います。なので、外国人による治安の悪化の防止に努めて下さい。
男性	20 歳代	外国人による治安悪化をどうにかして欲しいです。
女性	30 歳代	近年、近隣地域（川口市蕨市）は移住外国人のトラブルで住みやすさやイメージが急激に悪化している。他地域から見れば戸田も既にそんな「外国人トラブルがヤバい地域」に含まれている。そのことを自覚して、大きな問題が起こる前に、国籍問わず法律や秩序を守らない者に厳正な対処をするよう、徹底してほしい。
女性	30 歳代	外国人が増えているのが気になります。駅前の飲食店の前で集団で地べたに座ってお酒を飲んでいる姿を何度か見ました。大変怖いです。対策をお願いしたいです。
男性	30 歳代	芦原小学校周辺の街灯を増やしていただきたい。下水の臭気が漂う場所の改善。北戸田駅周辺の商業施設の発展。
女性	40 歳代	道路の街灯を増やして欲しいです。
女性	40 歳代	悪い人ばかりではないと思いますが、蕨、川口での外国人犯罪が増えているので、子供の為にも戸田はそうならないで欲しいと強く願います。
男性	40 歳代	市全体の防犯意識が高まるような働きかけを期待したいです。街の安全性を高めることは今後の市政にとって重要なポイントではないでしょうか。

男性	40 歳代	最近、不道德な外国人コミュニティが増えています。治安の観点からも、戸田市の今後の評判を考慮すると、外国人に対して何らかの対策を講じるべきだと思います。他の自治体よりも多少の強権的な手段を採用しても、外国人のいない治安の良い地域は非常に魅力的であり、アピールポイントにもなると考えています。
女性	50 歳代	犯罪抑制のためにも防犯カメラの設置数を増やしてほしい。タバコのポイ捨てが多すぎる。喫煙所以外での喫煙の取締強化をお願いいたします。
女性	50 歳代	2024 年 6 月 待遇に不満、市職員が大量退職 22 年度 35 人 5 年で 100 人超 給与、県内市町村平均下回る 埼玉・戸田 のニュースを見て驚きました。改善できていますか？ 9 月のニュースは 年間 50 万円以上増える 市議の報酬引き上げへ 埼玉・戸田市 30 年据え置き「実質的な賃下げ」審議会妥当の判断、議員定数削減検討も指摘 議員報酬だけ上げるのではなく 議員削減に取り組んでほしいです。戸田市のイメージが「.....」、渋谷母娘殺傷事件、中学校教員切りつけ事件、「.....」ニュース、戸田中央総合病院発砲事件、戸田市議会議員公職選挙法違反で逮捕、「.....」が戸田市出身だと公言しても TV での内容は戸田中時代のイジメ 川口、蕨に近くクルド人等外国人による治安の悪化も心配されています。埼玉県警察犯罪情報では女子学生や子供への不審者情報やミニバン、SUV,普通貨物自動車、軽貨物自動車までもが頻繁に盗まれていて驚きます。安全で健康で子供も大人も笑顔な街になるように願っています。要望としては、蕨のスポーツセンターは「.....」があるので戸田市も導入してほしいです。財政力指数ランキング埼玉県 1 位なのに 市職員の待遇が悪いのは恥ずかしいです。改善してください。いいとだメール便利ですが防災行政無線の迷い人は、防災無線の放送がなくても見つかった時は見つかりましたメールが欲しいです。子供だと特に心配してしまいます。戸田市の見守り防犯カメラも増やして、不審者や車の窃盗犯等が戸田市は行かない方が良くと思えるくらいにしてほしいです。
女性	50 歳代	戸田市に住んで、まず感じたことは街灯が少なく夜道が暗すぎることです。県内でも治安の悪い地域と言われている一因なのでは。道路の凹凸が酷く、普段自転車で移動しているが、ケーキを買っても崩れずに運べない程です。車椅子やシルバーカーを利用している人には危険だと思います。子育て関連に力を入れるのもいいですが、防犯や道路整備、高齢者福祉にももう少し目を向けてほしいと思います。

女性	50 歳代	北戸田駅周辺に、お店を増やしてほしい。パン屋、雑貨屋等。駅が寂しすぎます。街灯が暗すぎます。すれ違う時に顔が見えません。防犯対策にもなると思うので、もっと明るくすべきだと思います。駐車場や、工事現場、空き地が多いので、女性が連れ込まれたら最後。取り返しのつかない事になります。子を持つ親なら、理解できる事だと思います。性犯罪者も分かりやすく住所を公開すべき。外国人に対して待遇をよくする前に、戸田市に住んでいる学生に対して支援強化をして欲しい。戸田市に税金を払っている人に住みやすい納得のいく行政であって欲しい。
男性	50 歳代	街路灯や防犯カメラなどを増やし、犯罪を抑制してほしい。公園はゴミがなく、樹木も管理され、ここで小さなイベントを開催してはどうか。高齢者と子育て世代が集い、互いに情報交換ができ、助け合う町を目指してほしい。
男性	50 歳代	外国人によるマナー違反、犯罪、治安悪化が心配です。市として毅然とした対応をお願いします。
男性	50 歳代	とにかく外国人が増えているので、治安の悪化、犯罪の増加が心配です。防犯体制の強化はもちろん、外国人居住者に対する教育、指導が重要だと思います。
—	60 歳代	犯罪被害に遭っていて助けがほしい。
女性	60 歳代	①夜間の街路灯が暗いので、もう少し明るくして欲しい。もしくはスーパー防犯灯の設置。自転車の不良走行が多いので不安なため。②可燃ゴミの収集時間が曜日に来る時間が違うため、同じ時間に来て欲しい。特に水曜日は 11 時近くなるので、なかなか会社へ出社できないで困っています。
女性	60 歳代	中国人、異国人が多くなった。治安に不安を感じる様になった。戸建住宅に中国人名が増えてきている。
女性	70 歳以上	夜の公園が暗く、不審な人がいて物騒です。また、暗いためか非常に不衛生です。遠方でもライトで明るい公園を使用しております。ライトの設置のご検討をお願いいたします。最近飛行機の音がうるさく、雷のようです。心臓に悪いので、対策をご検討願います。
女性	70 歳以上	不良外国人が増えると不安で困る。
男性	70 歳以上	現在、学童下校時見守りを週 1 日で行っています。近年児童(学童)の登下校時の交通災害、不審者(声掛け)傷害事件が多発しています。少子高齢化が進む中、防災・防犯については、地域(学校含む)全体で体制を強化していくべきだと思います。今後(巡回、立哨等)地域ボランティア人員の強化、防災・防犯力の強化を願います。行政として地域への呼びかけ、募集等の検討はいかがでしょうか。
男性	70 歳以上	街灯の点灯状況をしっかり調査して欲しい。切れたままの街灯が目立つ。

男性	70歳以上	隣接する川口市が急増する外国人(中国人・クルド人)による治安・風紀・社会保障等で非常事態を迎えている中で、西川口駅周辺も特定国(中国)の住人で占拠され、更には当戸田市の喜沢地区においても同じ現象が進行しています。過般の戸田市議会議員選においても、上記問題を掲げる候補者がダントツでトップ当選を果たすなど、当市の将来を案ずる市民の専らの関心事は、市として当問題に対して「どのように考え」「具体的にどのように対応しているか」であるが、ネット等をつぶさに見るに、市長(全くダメ!!)も大半の市職員も信じられぬような、ノーテンキな、問題意識も緊張感もない対応をしている。(1~2の市会議員は問題意識を持っているようだ)。市民の安全・治安を守るのが行政(市長、市議会議員、市職員)の第一の仕事であるべきなのに、全くお寒い限りである。よって、今からでも遅くないので、行政と心ある市民とで当問題に対応する会議体を大至急立上げ、具体的な対応策を講ずる必要がある!!!
女性	不明	利用する駅まで徒歩8~10分、聞こえてくるのは中国語、韓国語、その他すれ違う人は日本人以外ばかり。ご近所の方も“子どもが「怖い」と言って転居して戸田に来たが、ここも同じになった。“治安が悪い、学校の評判が悪い(公立教員の中)鉄道の利便性の良さだけの市。漸く脱出できます。住所を恥ずかしくて言えない戸田市さようなら。
女性	20歳代	今の緑川はヘドロやゴミが捨てられていて、臭いがあるので綺麗にして欲しいです。
男性	30歳代	せっかく荒川沿いの町であるので、自然は大切に守ってほしい。川をきれいに、ゴミの無い町が良い。また、子育ては比較的良い町であるため、継続していくことが、町の活性化につながると思う。
女性	40歳代	笹目川沿いの柵が木とロープのところ危なすぎる。川も綺麗でないのだから、気軽に人が川に近づけるような階段も作る必要があったのだろうか?子どもや若い子がおふざけで遊んで、事故に繋がらないようにと、いつもヒヤヒヤ見えています。何かをする時、多くの時間とお金がかかっているのだから、よく考えてから行ってほしい!!
女性	60歳代	子育て支援が強く高齢者支援が弱いと思います。環境でいえば公園だけでなく、川にも力を入れて欲しい。川は魚や水鳥のすみかです。川にたばこを投げ入れるの禁止にして欲しい。
女性	20歳代	歩行者用の信号がない所があるので、つけて欲しい。
女性	20歳代	戸田公園駅前の道路が歩行者には歩きづらいです。信号の切り替わりが遅い場所があります。川口市からクルド人が流入しないようお願いします。
男性	20歳代	谷口公園付近の丁字路にカーブミラーの設置をお願い致します。若干見通しが悪くて危険です。
男性	20歳代	交通インフラ(歩行者信号)がより整備されれば安心して交差点を渡るのにと日々感じております。

男性	20 歳代	中町公園付近の道路に信号機を2～3台ほどつけてほしい。→そのあたりの道路は歩行者と車や自転車事故がいつ起きても不思議ではないし、私が小学生のころに小学生の代表からも意見があったのに否決されているのがずっと気になっている。道幅の関係もあるのは重々承知ではあるが、まだ起きてないにしても、いつでも事故が起きてても不思議ではないから。そういう道幅が狭いのに通行量が多いところには少しでも整備をしてほしい。
男性	20 歳代	戸田市役所全体の能力の底上げ。市役所周りだけ整備され、それ以外は不整備。道路が狭い。狭いのに一方通行が少ない。横断歩道が少ない。物価高なので、全世帯に給付金支給。住民税が高い。
女性	30 歳代	①ベビーカーで道を歩く時に車の通りが多くて歩道が狭くて歩きにくいです。②戸田駅近くに「・・・・」ができたが、全体的に入りにくい、照明が暗くて防犯的に危ない、飲み屋ではなくファーストフード店など親しみやすいお店がほしかった。③一時保育をもっと楽にしやすくしてほしい。足の指の骨折で「・・・・保育園」にお願いしようとしたら、食品のアレルギーチェックを全て項目を埋めないとダメです」と断られてしまいました。半日でも数時間でも利用できないのはありえないと思います。対策や改善をお願いいたします。
女性	30 歳代	交通量の多い道路で歩道のない所がまだあるので、整備してほしい。子育てにやさしい街づくりを目指すなら、0歳児クラスから保育料を無償化してほしい。それくらいしないと若い世代は増えない。
女性	30 歳代	昨年の今頃戸田に引越してきました。新曽周辺は空き地が多く、虫等に夏は悩まされます。道も並行でない道が多いので、整備されると良いなと思います。基本的に静かな街で住みやすいと感じております。今回アンケートの内容を見て知った取り組みも多いため、今後は積極的に地域の施設を利用していけたら良いなと思いました。良い機会を与えて下さってありがとうございました。
女性	30 歳代	五差路(上戸田)の交通ルールが全く守られていない。歩行者信号が青なのに、一つ前の信号で止まらずに走ってくる自動車が毎日いる。事故がいつ起きてもおかしくないし、もっと取締まりを強化してほしい。一人で信号を待つ子供がひかれたらどうしようといつもヒヤヒヤして見守っている。お願いします。
女性	30 歳代	戸田駅周辺の大きな交差点など歩車分離にしたほうが良いのでは?と思う。歩行者(高齢の人、子連れの人など)が急いで渡るのを毎日見かける。住みやすい街だとは思いますが、少し歩行者に優しくない環境だなと感じることが多いです。
女性	30 歳代	歩道の整備をしてほしいです。

男性	30 歳代	子育てのしやすい町は良い事です。しかし、電動ママチャリが交通ルールを全く守らず、歩道も走る、逆走もする。この間は戸田公園駅前の横断歩道でぶつかって、そのまま逃げられたりもありました。朝と夕方の時間を監視するなど、歩行者がもっと安心して歩ける様にしてほしい。戸田公園の改札を入ってから、朝のピークの時間だと、改札の外に出る人の流れが入り乱れすぎて、ホームに上がることができません。矢印だけでなく、青や赤などの色で歩くルートが分かるようにして欲しいです。戸田市に住んでから2年が経ちました。多くの施設があることを知りました。もっと今住んでいる町のことを調べていこうと思いました。ありがとうございました。
男性	30 歳代	自転車走行ルールについてもっと厳しくして欲しいところがあります。逆走や自転車走行帯があるにも関わらず歩道を走る人など結構危険な場面が散見されます。
女性	40 歳代	戸田市は交通の便がよく（高速入口がある）、都心に比べのんびりしており住みやすいと思います。小中学の教育や支援等にも力を入れてると思います。今後、今以上に高齢者が増えてくると思うので、高齢者の医療や交通の便の確保、子供と高齢者の安全確保のためにも道路の整備（歩道、自転車専用レーンの確保等）を行ってほしいです。
女性	40 歳代	雨の日に車が水たまりの水を飛び散らせないように、道路の陥没を無くしたり注意喚起などをしてほしい。
男性	40 歳代	駅前の横断歩道は信号をつけたほうが渋滞が増えない。
男性	40 歳代	駅周辺で自転車運転が多いため、一定のエリアは運転不可（押して歩く）などの対策をしてお年寄り、お子様などの安全を確保できると良いと思いました。
男性	40 歳代	歩行者と自転車、自動車が安全に通行できる道路整備。歩道拡張し、歩行者と自転車通行区分の設置。車道との隔離。魅力ある施設の誘致。ファミリー層を取り込める商業施設や個人商店が出店できる施設の設置。工業エリアの集積化。
男性	40 歳代	私は茨城県出身、妻は関西出身で、戸田市に住む前は戸田市に縁もゆかりもありませんでした。ひょんな事から戸田市に住む事になり3年経ちますが、住環境の良さ、公共施設の充実にとっても驚いており、住んで良かったと素直に思います。派手さはありませんが、堅実な戸田市がとても気に入っております。欲を言えば、道路状況がやや悪く、自転車に乗っている時、少しヒヤッとする事がありました。道路状況の改善を考慮に入れて頂いたら幸甚です。
男性	40 歳代	蕨で育ち、戸田に編入しました。20年経ちます。住みやすいですし、不満に思うことはありません。戸一小的の近くの交差点がずーっと嫌いな道路です。どーにかまっすぐできないでしょうか。具体的提案で申し訳ないですがただの嫌なところというところとあそこがどうしても浮かびます。

男性	40 歳代	最近は戸田駅前の道路も整備されていき、車も歩行者も段々と利用しやすくなってきていますが、中央通り等では車道と歩道の間に縁石がなく、車が歩道に停車しているのを見かけます。歩道に車が止まっていると歩行者は道路に避けて歩く必要があるため危険だと思います。歩道が広いことは良いことですが、市役所の前の通りみたいに縁石を設置して欲しいです。
男性	40 歳代	①道路整備を早期取り組みをお願いします。歩道が途中でとても狭くなり、戸田市立図書館裏にある業務用スーパー辺りの道を自転車で走行するのがとても怖い。北戸田駅からイオン方面に向かう、工場あたりの道も途中ですごく狭くなる。交通量も多いので、早急に整備していただきたいです。②駅前の公園が長時間自転車が放置されたままなところが目立ちます。近くのビルに習い事に行ったり、駅で短時間の用事を済ましたりする人たちが、悪びれる様子もなく停めています。北戸田駅前の駐輪スペースの確保もお願いしたいです。放置自転車が危なくて、子供だけで公園で遊ばせられないです。よろしくお願い致します。
女性	50 歳代	国道等の車の往来が激しい道路に自転車の完全な分離をして欲しい。近い将来、高齢者が増加していくであろう戸田市の健やかな暮らしになる為のサポート、施設の充実を期待しています。
女性	50 歳代	笹目北町にはトラックの違法駐車が多くとても危険です。蕨警察に取り締まりをお願いしましたが、放置されていて大変不満です。子供たちが事故にあってからでは遅いので、改善して欲しいです。
女性	50 歳代	通学路の整備。事故を起こさせない取組。トコバスのルートを増やして欲しい。手押し式信号はボタンを推してすぐ信号が青に変わる場所の見直し（なかなか青にならないと赤で渡ってしまう人がいる）
女性	50 歳代	歩道に自転車が侵入してくるのが常態で困っています。「自転車専用レーン」と「歩行者レーン」との分離を徹底させてほしい。
女性	50 歳代	倉庫が多く、トラックの交通量も多いので、道路を広く、歩道・自転車の区別をし、それぞれ広くして欲しいです。
女性	50 歳代	菖蒲川にかかる狭い橋を広げて欲しい。特に戸田公園につながる橋が利用者が多いのにもかかわらず狭すぎる。絶対に広げて欲しい。自転車と、歩行者がすれ違うのがやっとの広さのため危ない。
女性	50 歳代	歩行者用、自転車用、車用の道路整備が遅れていると感じます。ベビーカーや車椅子でも安心して移動出来る街並みが今後必要だと思います。

女性	60 歳代	①戸田本町 2 丁目の交差点を早急にご対応下さい。この交差点は 1 線行き止まりで、実質丁字路です。現在歩行者分離になっていますが、信号に表示がなく、間違い発車の車がとても多い。また、乱暴な自転車も多く見られます。大きな信号/分離の表示か、右左折表示にしてください。とても危ないです。②駅前(戸田公園)が水浸しになるのをどうかしてほしい。戸田市の図書館はとても良いです。よく利用しています。とだバスもよく利用しています。市役所の駅前分室(戸田公園)もとても助かる。(以前パスポート申請は大変でした)銀行が少ない?のか、戸田公園の ATM が混んでいてとても大変。市役所で「マーケット」をやっているのに参加しました。こうした機会が増えると、市内で顔見知りが増えて良いと思う。戸田公園駅前の交番の人数を増やしてほしいです。
女性	60 歳代	自転車の交通ルールの周知。小さな橋では自転車を押して渡るように表示してあるが、それをすると後ろから追突されちり、舌打ちをされたりする。バッテリー付き自転車の爆走にも危険を感じる。
男性	60 歳代	道路、交差点等で特に自転車の走行に合った道路整備が遅れていると感じる。戸田公園駅前からオリンピック道路に出る交差点の信号や市役所裏の文化センター裏の信号等、他と違うことの周知が全く来ていない。統一すべき。
男性	60 歳代	歩行者用の歩道がバリケードでいつまでも塞がれている。登校する子供達が安全に通学できるようにしてほしい。横断歩道や止まれの道路表示が見えないほど消えており、車を運転する人が止まってくれなく、危険な思いを何度もした。戸田市は子供が多いので、早急にパトロールを強化して改善してほしい。
男性	60 歳代	自転車の交通量が多いが、マナーの悪さが目立つ。来年 4 月からの青切符制度導入へ向けて、取り締まりの徹底と自転車を利用しやすい環境整備が必要。
男性	60 歳代	夏場になるとアスファルト自体が高温になり、50℃~70℃に達します。わだち掘れが起きて路面が変形します。駅周辺の道路は夏になると歩くだけで大変です。高齢者はネッククーラーや冷却ベストを装着して暑さを乗り切りたいと思います。また、冷却グッズは熱中症の予防にもなるので、戸田市として推奨販売していただきたいと思います。
男性	60 歳代	戸田市全体に言えることだが、道路状況が悪く、非常に危険な状態である。特に笹目・美女木地区には多くの工場や倉庫が立地しており、大型トラックなどの通行が頻繁である。しかし、道路が狭く、歩道や自転車専用レーンが整備されていないため、歩行者や自転車利用者にとっては非常に危険であり、私自身も買い物に出かける際に不安を感じる事が多い。とりわけ、私がよく利用する北大通りからイオンに至る道路は、典型的な危険地帯である。よって、大型車両の通行制限や、歩道および自転車専用レーンの整備を早急に進めていただくことを強く望む。
女性	70 歳以上	自転車で車道を走るのがとても怖い場所が多々あります。

女性	70 歳以上	戸田公園駅東口前の道路(駅からマツキヨまで)歩道が狭く、縁石や電柱が歩行の邪魔になっている。すれ違えないので、皆車道を歩いている。いっそ縁石を外してほしい。
女性	不明	公園の周りの道路は大型車進入禁止にしてほしい！
女性	不明	足を悪くして以来、特に戸田の歩道の歩きにくさが身に堪える。排水の為や家から道路へ出る為に歩道が斜めになっていてすごく歩きづらく、足に痛みも覚える。

6. 市街地整備・景観、住宅、上下水道、公共交通		
女性	10 歳代	街灯を増やして欲しい。道を綺麗にして欲しい。駅周辺などに気軽に立ち寄れる公園や休憩スペースを増やして欲しい。
女性	20 歳代	戸田市に住み始めてまだ3カ月しか経っていないのですが、町も整備されていて治安も良く、とても住みよい街だと感じています。
女性	20 歳代	北戸田駅周辺の再開発を強く希望します。戸田駅や戸田公園駅の駅周辺は充実している反面、北戸田駅は居酒屋多く立ち並んでいる印象です。北戸田駅も幅広い世代の方々が満足できるような施設や店舗を設置してもらいたいと強く望んでいます。
女性	20 歳代	デザイン性の高い建築物や、例えば何かのストリートがオリンピック通りなどテーマを持ち戸田にしかない雰囲気や機能があれば素敵だと思います。
女性	30 歳代	戸田公園駅周辺をもっと開発、発展させてしてほしい。特に駅周辺にファミリーレストランを誘致してほしいです。大きめの遊具がある公園も作ってほしい。中町2丁目在住ですが、徒歩圏内の小児科(クリニック)が閉院してから、まったく新しい病院ができないので困っています。発熱の度にバスで蕨市まで通っている状況です。土日診てくれる小児科を誘致してほしいです。
女性	30 歳代	埼京線沿いにある空き地の公園化を是非進めていただきたいです。子供の遊び場や高齢者を含む地域の住民の憩いの場になるだけでなく、市全体の魅力を上げて、市外からの移住者の増加に繋がると思います。
男性	30 歳代	駅前に大型商業施設がほしい。駅前に広場必要ですか？
男性	30 歳代	安全で自然豊かで子育てはしやすいと思いますが、子供を持つ迄は帰って寝るだけの何も無い街だと思ってました。駅前の開発が進み、商業施設や飲食店などが充実すればより住みやすくなると思います。また巡回バスですが、逆回りの路線があればと感じる事があります。最寄りのバス停から駅まで大回りする為、通勤では使えないと感じます。
男性	30 歳代	もっと商業施設を増やしてほしいです。また、お祭り等のイベントももっと予算を使って盛り上げてほしいです。
男性	30 歳代	高架下や、川沿い、駅に向かう遊歩道など魅力的な空間が多いが、鉄筋で封鎖されていたりスペースがうまく使えていない。もっと魅力的な人が集まるような使い方を考えてください。

女性	40 歳代	笹目 1 丁目の私有地の方の木が伸びすぎていて視界が悪く、子供達(未成年 18~19 才)でも、防犯にも良くないと思います。害虫の問題もあるのです。
女性	40 歳代	東京にも近く、せっかく立地にも恵まれているのに、いまいち垢抜けないのは、駅前にパチンコ屋があるからです。映画館等、もっと地域のみんなが楽しめる安全な施設を作れば、全然違うと思うのです。が……。あと、駅から少し離れると、街灯が一気に減るので怖いのです。最近外国人が増えて、素行の悪い外国人に実際からまれたこともあり、非常に恐怖を感じているので、戸田に外国人を入れない、街灯を増やす等、整備をお願いします。
女性	40 歳代	新曽第二土地区画整理事業に大きな期待をしております、特に 4 号公園ができるのを楽しみにしておりますが、4 号公園予定地の脇の道路(新曽 686-10 付近)が駅が近く、歩行者や自転車の通行が多いにもかかわらず、現状では夜間に街灯の谷?なのか、真っ暗で危険です。ラブホテル、空き家、空き地が至近にあり、風紀的にも治安的にも不安を感じます。4 号公園が出来あがり、道が通ると改善されるかもしれませんが、事業施行期間が長く改善まで時間を要するのではないかと心配しております。街灯を増やすなどの迅速な対応を希望します。
女性	40 歳代	線路沿いや駅前に大きめの土地が空いていますが、将来的にショッピングモールなどを誘致いただけると助かります。
男性	40 歳代	昔の家が建て壊されたかと思うとその土地に詰め込められるだけ詰め込み細かく区切られた新築建売が建つ昨今。3 階建てで階段も急な家に老後も幸せに住めるのかな?と心配になります。隣接する元から住んでいた人にとってもギリギリまで迫って建てられた家に住む人に良い気はしないと思いますし、正直気分は良くないです。そんな都市計画で良いのでしょうか?18 坪未満に土地を区切って建てるのを禁止するとか、ここに幸せに長く住めるような都市計画をよろしくお願い致します。
男性	40 歳代	北戸田を早く字じゃない住所を付番してください。北戸田 1 丁目とか。
女性	50 歳代	家やアパート、マンションを建てすぎです。我が家は全方向に家が建ち、陽が差しにくく、家の中が暗く、せっかくいい天気でも暖かさが感じにくいです。また、犬を飼っているので、家の近くや戸田市内にドッグランやドッグカフェ(駐車場完備←できれば歩いて行ける範囲ならなくてもいいけど)を作してほしい。コミュニケーションの場にもなる。
男性	50 歳代	駅周辺の整備や区画整理等により、より良い住環境を整えていって欲しい。
男性	50 歳代	戸田公園駅の整備を継続して進めていってほしいです。駅は玄関口なので、より良いまちづくりにつながるのではないかと思います。(駅と駅周辺)
男性	50 歳代	駅周辺環境の改善(パチンコ店、あり得ない)。子供に寄り添った公園作り(高齢者にではなく)。市議会議員の削減(半分で良い)。

女性	60 歳代	北戸田駅前整備を計画的に美観に進めてほしい。(市役所周辺や戸田駅は優先され、整備されている) 笹目川沿いの歩道も散歩コースに良いが、ベンチの上ぐらいには日除けが付けられないものか? 簡単な運動器具が備えられていれば、もっと利用できそう。駅前に花壇などで花や緑の豊富な健康でやさしい町づくりを期待します。
男性	60 歳代	戸田駅周辺と戸田公園駅周辺の区画整理事業の進捗が大変遅く心配しています。もっとスピードアップして、区画整理事業を推進し、街づくりを進めて欲しいです。
男性	60 歳代	一) 駅周辺並びに主要幹線道路周辺の電線の地中化。(鳥類の糞公害の抑止になり、景観と併せて綺麗な街づくりに貢献する) 二) 数十年後に来るであろう自動運転車輛促進のための道路整備。(将来的に拡充が期待されている t o c o バスの運転者確保となる。)
男性	60 歳代	戸田蕨衛生センター近辺に住んでいますが、住環境的にイメージが良くありません。もっと周辺を整備していただきたいです。
女性	70 歳以上	我マンション隣に大きな空き地が出来ましたが、今後はどの様に使われていくのかが分からない。草が生えるのみ。高齢化の今、もっと自由に例えば草取りしたり、空き地を有効に使ったり出来たらいいと思う。すべて市に管理されていると思うと、全く触れない! 老人たちが体を動かしたり、あちこちに腰掛でもあれば座ったりと、心が休まる感じが無い。自主性が生かされていない世の中だと思う。せめて、あちこちに自然に座れる、腰掛を多くしてほしい。
女性	70 歳以上	喫煙場所にベンチは必要無い。必要なのはバス停。健康な人だけが利用するとは限らない。
男性	70 歳以上	雨天・天候不順の時の散歩コースの施設がほしい。
男性	70 歳以上	駅周辺の環境整備を望む。北戸田駅西口の整備は 12 年以上経過でも進んでいない。あまりにも遅い! 戸田駅・戸田公園駅の東口も広場を設け樹木を植えての整備を進め落ち着いた環境にして欲しい。将来の為に。
—	不明	電柱・電線が気になる。(見慣れてしまっている) 外国のきれいな街には電柱・線がない。貧しい国は電線が目立つ。
男性	20 歳代	水道料金の値上げをやめてほしい。都内でやっている取組を戸田市でもやったら、もっと住みやすい街になる(23 区の子育て出産支援)。戸田公園駅の喫煙所を廃止してほしい。もしくはユニットハウスのようなものにして匂いが漏れないようにしてほしい。歩きたばこが多すぎる(戸田公園周辺)。対策してほしい。
男性	20 歳代	市全体の下水道管の状況のお知らせを掲示してくれたことについて感謝しています。先日の八潮市の事故があったことで、日本国内で下水道管の老朽化が進んでいることを知り、少しばかりですが不安を覚えていたため、早急な対応をして頂いたことで安心しました。
女性	40 歳代	戸田公園に比べ、戸田は汚いように思える。店も少ない。駅もいつまでもパツとしない。とりあえず、下水の整備をしてほしい。
女性	40 歳代	下水道整備を早く進めてほしい。雨が降った時など、においがひどい。

男性	60 歳代	各地で水道事業を外国の会社に売り渡しているが、日本の大事なインフラは外国に売り渡さないようにして下さい。水は人間にとって必要です！！フッ素など添加しないように！！行政は高い知識を持ち、市民を救ってほしい。ワクチン被害を知っていますか？戸田市が市民を大事にする行政であることを願います。
男性	20 歳代	埼京線のホームドアの設置を行い人身事故の減少。埼京線の混雑緩和に向けた増便や号車数の増加。終電の時間の延長や赤羽駅から戸田への深夜バスの復活。大雨を降ったあとの浸水対策(戸田駅周辺など)。自転車専用の道の整備。外国人への歩行や交通ルールの普及(イヤホンをつけて自転車を漕ぐ方が多いため)。チェーン店ではなく個人経営の飲食店(チェーン店であればわざわざ戸田で食べるメリットがないため)。「・・・・」の歩道にはみ出すほどの列の整備指導(*歩道が埋まり車道を歩かざる得ない時があるため)。子供が公園で気兼ねなく遊べる環境の整備。子供が公園から道路に飛び出てこないような対策。
男性	20 歳代	一点だけ意見があります。毎朝の埼京線が全く機能しておりません。毎日遅延していて通勤がとても憂鬱です。(上下線とも)乗車率も200%ほど！？ホームにもものが落ちたりや救護活動で非常停止ボタンが押されて電車が止まりうんざりです。毎日救護活動があると同じ人なのか？？戸田市に家を建てたいと考えているが、埼京線がこのような状況ですと別の市または県に移住も考えております。埼京線をなんとかしてください。救ってやってください。
女性	30 歳代	駅にホームドアが早くつくといいなと思います。
男性	30 歳代	埼京線の混雑については解決を目指してほしい。本数の増加、配列路線の誘致など、難しいかもしれないが解決策を模索してほしい。
男性	30 歳代	クルド人や外国人のマナーが悪いので、改善して下さい。特にクルドカーと言われる車が走っており、その横を小学生が通学しているところを見ると、もう少し戸田の市長さんには頑張ってもらいたいと思う！！本当に頑張ってください。
女性	40 歳代	笹目7丁目に居住していますが、都内まで通勤している夫が戸田駅までバスの本数が減少し、困っています。主人はまだ現役世代なので、この先廃線にならないか心配しています。今後、廃線になる事のないように、出来ればもう少し本数を増やして頂けるとありがたいと思っています。
女性	40 歳代	埼京線の女性専用車両を増やして欲しいです。平日の男女比は、どのくらいなのでしょう？もう1両増えれば、通勤を快適に過ごせると思います。何か対策があれば、よろしくお願いします。
女性	40 歳代	埼京線遅延が多く不便。埼京線の飛び降りが多すぎる為、北戸田、戸田、戸田公園駅に二十扉を付けてください。JR 所有の土地をしっかりと整備して欲しいです。
女性	40 歳代	埼京線のホームドア設置を、戸田市がお金を出してでも、早く進めるように働きかけてほしい。

男性	40 歳代	コミュニティバスは毛細血管のように張り巡らされていて非常に便利なインフラだと思います。欲を言えば遅い時間でのインフラ（例えば終電が遅い京浜東北線との連携）が充実すると「なお良し」と考えます。また（住宅街なので仕方ない面もありますが）夜になると街全体が暗いので明るいと安心して夜道も歩けるかと思います。埼玉県（特に戸田市）は若い人口が多いので、もう少し多彩な活動（例えばスポーツイベント、国際交流イベント、出会いイベント）を増やすと若者の交流が活発化し将来的な街の発展につながるかもしれません。また文化会館や公民館みたいなところでのボランティア活動（例えば無料英会話や無料ペン習字教室）などもいいかもしれません。*私が見ただけで既にあるのでしたらごめんなさい。（広報誌をそこまで詳細には拝見していないので）いずれにしろ住みやすく衰退しない街づくりを目指してください。
男性	40 歳代	北戸田駅の利用者ですが美女木方面へのバスの本数が少なすぎ、終バスが早すぎて田舎並みです。せっかく戸田車庫があるのだから市が掛け合って、美女木方面のみの往復便を増やすとかして欲しいです。現在はその時はわざわざ武蔵浦和駅からバスに乗ります。道満グリーンパークも武蔵浦和からしかバスがありません。美女木や笹目側の魅力が減少してると思います。
女性	50 歳代	埼京線の本数を増やしてほしい。終電をもっと遅くしてほしい。JRに要望してほしい。
女性	60 歳代	埼京線の混雑緩和を解消するよう本数を増やす等の働きかけをお願いしたいです。電車の乗り降り時人も多く、ホームも危険に思います。また、元気な高齢者を目指す、あるいは維持のため、働く高齢者も増えていますので、平日夜や週末の健康づくりなどのイベントもニーズが増えているのではと思われます。
女性	60 歳代	車の運転ができず、戸田市公共施設を利用するのが難しい。遠い。バスもない。（こちらから）地域交流ができない。（場所がわからず）さいたま市（武蔵浦和が近いため）図書館も武蔵浦和駅を利用。不便ですね・・・。バス停がない。タクシーが来ない。
男性	60 歳代	西川口方面のバスが少ないので不便になった。ルート変更も最悪。
女性	70 歳以上	夫が車を手放してから、どこに行くのも大変。バスの本数をもう少し増やしてほしい。
女性	70 歳以上	バス、トコの路線を考えて頂きたい(美女木方面)。バス路線ではない所に走っていないので、これから免許返納した時に気が重いです(返納が決心できない)。
女性	70 歳以上	本町通りの西川口行きのバスがなくなり、大変困っています。タクシーの予約は早朝しかダメらしく、仕方ないので片道1時間かけて通院しているのですが、何とかならないのでしょうか。市のバスもちょうどいいのがなく、今のところ方法がありません・・・。もう1点は、このアンケートをきっかけに図書室に行ってみたくなりました。防災グッズも再チェックしたいと思います。ありがとうございました。
女性	70 歳以上	免許返納した場合の交通費の補助を毎年して頂きたいです。

男性	70 歳以上	小学生の下校時、見守りをしているが、こちらがお帰り等声かけをしても返事の無い生徒が多い。toco バスの運行ルートの再検討を願います。
男性	70 歳以上	トコバスを利用しています。同じ方向から逆回りも検討してほしいです。
男性	70 歳以上	トコバスの逆回りを検討願います。

7. 緑地・緑化・水辺、公園、地球環境保全、廃棄物・リサイクル		
女性	40 歳代	①緑を多くしてほしい。②道路の広さ、歩道、自転車道を増やしてほしい。車道が少なく、2 車線であってほしい。車道の幅も安全のため、より幅広くしてほしい。
男性	10 歳代	公園はあるものの、ボールを使って遊べるところが減ってきていて、今の子どもたちは球技を使って遊んでいるイメージがなく、そのため、スポーツでの支援にも影響してくると思うから、もっとボールを使って遊べる施設を増やした方がいいと思う。
男性	10 歳代	大きな公園を作ってください。
女性	30 歳代	たくさんある公園の中で、プールが付いている所があるかと思います。このご時世、なかなかもう使用されないのかなと見ています。少し寂しさもありますが、撤去してスペースの有効活用がされれば、より良い公園、より良い街になっていけるかなと思っています。
女性	30 歳代	高齢者や福祉、障がい者に関する項目は当事者ではないため、あまり答えられませんでした。公園について、たくさん設置されていますが、遊具等が古く、砂場もあまり衛生的でないように感じるため、きれいにして頂くともっと利用の機会が増えると思います。
女性	40 歳代	ボールが使える公園を増やしてほしい。ストーマ造設患者への助成金の増額をお願いしたい。
女性	40 歳代	戸田に住み始めて 2 年経ちましたが、ゆったりした住みやすい街で好きです！余っている土地(?)などに、もう少し公園などがあっても良いかなと思います。あと、時期によるのかもわかりませんが、粗大ゴミの予約で 10 日後しか取れない状態でした。もう少し枠が増えると助かります。
女性	40 歳代	子供達が体を使って、のびのびと遊べる公園が少なすぎます。(小中学生くらい)ボール遊び(サッカー、野球、ドッチボール等)出来る広場を作ってほしいです。
女性	40 歳代	公園の隣の住民がいちいち監視していて、公園へ行きたいとも思えない。無駄な公園。
男性	40 歳代	中央図書館の近くに住んでいますが、近くに子供を遊ばせる公園がなくこまります。一時保育を利用しながらパートをしている場合の金銭的な補助があったらいいと思います。
男性	40 歳代	子ども達が遊び公園を充実させてほしい。

男性	60 歳代	最近、近くの公園が禁煙になり、大変喜んでいますが、禁煙のお知らせの表示が「A4」くらいの大きさを周知されにくいと感じています。予算の問題もあると思いますが、蕨の公園のような看板設置(添付写真)を希望します。私は、毎朝、公園を散歩し吸い殻、ごみを拾っていますが、全く吸い殻は減りません。何卒、よろしくご検討をお願いします。
女性	70 歳以上	戸田市各所に緑豊かな公園(市民が散歩したり集い合え、カフェや軽食が楽しめる)が欲しい。市民が不用品(状態の良い品)を交換できる場所があると良い(リサイクルショップ)。町会の今後の在り方を考えて欲しい。必要性(時代遅れを感じる)があるのか？
男性	20 歳代	騒音、交通違反を繰り返す数台のバイク集団をどうにかして下さい。
男性	30 歳代	工場の排気ガスを減らす取り組みをしてほしい。街灯が少ないため夜道が危ない。
男性	40 歳代	北戸田駅前西口に設置されていた喫煙所が笹目川付近(街中)に移転されて、大変迷惑です。市役所の緑環境課にも問い合わせ、設置理由を確認しましたが、喫煙者がタバコを吸う所が無いので設置した、との事です。受動喫煙防止条例がこれだけ世の中で進んでいるにも関わらず、なぜ、街中に喫煙所を設置する必要があるのか、理解出来ない。喫煙者は自宅でタバコを吸えばそれで良いのです。わざわざ街中に喫煙所を設けて、付近を通行すること市民に副流煙による健康被害が発生してる事を、戸田市は理解してますか？僕は迷惑してるので、すぐにでも撤去してほしいです。
男性	40 歳代	私は電気自動車を所有しているが、市役所含め市内公共施設に急速充電機がないことが不満です。環境を考える、考えている市であることを示す意味でも、充電機の設置をお願いしたい。購入時の補助金はとても良い制度で利用しましたが、購入後のサポート、購入の更なるサポートとして検討下さい。
女性	50 歳代	戸田市はむく鳥対策に対して積極的に動いて頂けないのが残念です。本当に困っていて辛いです。むく鳥が多く集まってくる土地があり、むく鳥以外にも異臭や不衛生な環境地であるため、何度か市の 2F 環境課へ相談しに行ったのですが、何も改善されず残念に思っています。
女性	50 歳代	可哀想な野良猫が、近所に沢山います。排除ではなく、地域猫活動の強化を願います。避妊去勢手術、TNR。動物との共存。優しい街になってもらいたい。そういう事には、協力したいです。
男性	50 歳代	ポスト投函のチラシ、広告は不法投棄にあたらぬのですか？無駄にばらまいてるのでは？ポストはゴミ箱ではありません、取り締まりできませんか？迷惑です。
男性	50 歳代	綺麗で住み心地が良い街になってほしい。
女性	60 歳代	本町スカイコーポ入口あたりが・・・・の喫煙所になっており、大変迷惑を被っている。

女性	70 歳以上	民家の塀まで伸びた木、花が交通の妨げで、視界、歩行を困難にしている。ホワイトラインを通過できず、車道を利用せざるを得ず危険。落葉等散乱し、障害者、高齢者等の通行の妨げになっている。責任を持ち対処すべきでは。犬の糞、尿の始末(ペットショップ及び引き取り人)の徹底した指導(動物愛護の観点からも)放尿の継続により、既に電信柱、橋の欄干等が朽ち、税金の投入がなされているのでは。猫について、野良猫の餌やり、避妊等への税の投入？戸田市内において、十分な食生活が困難な子女が教育を受けられず(外国人を含め)、非行等最悪な環境から守る事への税投入が優先課題と確信致します。議員の売名行為ともとられかねないボランティア活動。議員はそれ程暇なのですか。それ程ボランティアを希望されるのでしたら、いっそ議員を退き、ボランティアに徹してはと、私も同感です。議員の職務に真剣に徹して欲しい。学ばなくてはならない事も山程あるはずです。市長をしっかり支え。そもそも定数も多いのでは・・・。管轄を唱えるのではなく可能な限りすべてを把握すべく切磋琢磨を望みます。埼玉は世界の三偉人が構築した事を誇りとし。
男性	70 歳以上	住環境が一番大切だと思う。そのためにルール作りが非常に重要だと感じます。
男性	10 歳代	ゴミを道路に出すのは烏などがたかって不衛生である。
女性	20 歳代	ごみ置き場にネットで被せるものではなく、“ゴミ収集庫”の設置を検討していただきたい。きれいな公園、花があり、子どもと遊ぶ際はとても充実している。ありがとうございます。
女性	20 歳代	戸田市に住み始めて間もないですが、暮らしやすいと感じております。費用面や人手不足面を考えずに意見させていただくのですが、ゴミ出し日(回収日)を増やしてほしいこと、歩道の整備をしてほしいこと、です。戸田市をより良くすべく、日々働いて下さる職員の皆様、本当にありがとうございます。調査票での回答となり申し訳ございません。よろしくお願いいたします。
女性	30 歳代	駅周辺のゴミのポイ捨てがとても気になります。改善していただきたいです。
女性	50 歳代	外国人の増加により、ゴミの出し方や周囲への配慮等が損なわれてきていると感じる。居住する外国人への説明や教育が必要なのかもしれない。
男性	50 歳代	戸田市役所の人、いつもありがとう！家の前の草も多分戸田市で定期的に刈ってくれているからゴミも捨てられないし、変な人もいないし助かっています。戸田市今まで住んできた土地の中でもかなり快適です。
男性	50 歳代	外国人にゴミ出しルールを理解してもらおう教育活動が必要と思います。
女性	不明	家庭ごみの回収に関わる仕事をして下さっている方々には本当にお世話になっております。感謝申し上げます。我が家の回収場所は昔ながらの戸建の方が多い班ですので、何とか市の意向に沿う出し方ができている様に思いますが、「現場の声」を反映させるべく(会報等のコーナーにて)企画はいかがでしょうか。出す側の気づきにもなるかもしれません。

8. 起業・就労支援、産業振興、観光振興、協働・交流		
男性	20 歳代	地元商店街の支援、新しいスタートアップ支援、観光資源の活用による地域経済の活性化も必要です。戸田が好きです。
男性	20 歳代	Dukungan terhadap pekerja warga negara asing lebih diperhatikan lagi (インドネシア語) (翻訳) 外国人労働者への支援がさらに重視される
男性	30 歳代	良い街だなと思います。もう少し起業支援とかがあって街全体を盛り上げていけるような感じだと嬉しいです。
男性	50 歳代	シルバー人材の活用を積極的に行って、まちづくりに貢献できる環境を構築して欲しい。
女性	20 歳代	商業施設を充実させてほしい。(ショッピングモールが少ない)
女性	20 歳代	北戸田駅周辺は居酒屋が多く、子供と気軽に行ける飲食店がない。
女性	30 歳代	1.大企業を誘致してもらって地域を盛り上げる。2.子育てに特化した政策を作る(0才~19才)。3.道路の整地(子ども達が通学する道が危険すぎる!)。4.バス(戸田~赤羽まで又は三田線沿いまで)新路線。5.共働き世帯における早朝~帰宅時の時間問題。6.電車関係(ホームドア設置、快速の停車)
男性	30 歳代	北戸田駅の駅前、人が集まって賑わうような施設を増やしてほしい。
男性	50 歳代	北戸田駅近くの川を韓国の川のように観光スポットにしてほしい。
女性	70 歳以上	戸田市が多面に渡って評価され、埼玉県 No.1 になりますようお願いしております。戸田橋花火大会について・・・現在、指定席券がない者は、川岸土手の上に入る事ができません。以前は、指定席券がなくとも自由に土手の上まで行って、美しい花火を見る事ができました。今年の花火大会から以前のやり方に戻して頂きたく、お願い申し上げます。ご検討下さい。戸田市民のため。
女性	20 歳代	私は現在上戸田に住んでいますが、静かで住みやすい町だと感じています。将来的には、もっと外国人にやさしい案内表示や、多言語対応のサービスが増えると嬉しいです。緑が多くてリラックスできる場所がもっと増えるのも希望しています。戸田市に住んでいてよかった。
女性	40 歳代	外国人の方と価値観を共有し、互いの文化に理解不を深め安心して暮らせる戸田市であってほしいです。(新曽南地区内にあるモスク周辺のゴミ、路上駐車が気になっています。)
男性	40 歳代	外国人居住者との共存。自転車が安心して走れる道路の整備。ゲリラ豪雨の雨水対策。夜間でも安心して歩ける照明の整備。
男性	40 歳代	日本語での意思疎通のできる外国籍の人を市で採用し(人づてに信頼できる人材を紹介してもらう)、地域で孤立しがちな外国籍の人達をフォローする仕組みを作ってみては?子供会もよいが地域内で外国籍の人がどれくらいの規模で生活していて、生活環境で手助けし共存していく手段を、将来のために。治安維持のために。

女性	50 歳代	気軽に相談出来るところがほしい。自然と友達が出来ると、心と健康が保てるような気がします。サークル、ボランティア、きっと機会があれば参加したい人は沢山いると思います。地域のつながりが防犯にもなり、お年寄りの見守り、子育て中ママの支えにもなると思います。
男性	50 歳代	最近、戸田市の LINE に登録した事で、これまで知らなかった市の活動情報が届き色々な取り組みを知るきっかけになった。20 年以上住んでいるが実は知らない事の方が多い。まだまだ知らないだけかもしれませんが、参加型のコミュニティの場がもっと増えると良いかと思えます。
女性	60 歳代	◎町会の運営に関して 一部の人が牛耳っていて、行事等に参加しにくい。町会上の収支ももっと明確に提示するべき。◎市民大学講座 戸田の歴史を知るカリキュラムを増やして欲しい。
女性	60 歳代	ある程度のスペースを保って生活できると良い。生まれも戸田市ですので、挨拶が出来る近所つきあいは大切と思います。朝の子供の登校の声、窓から見える緑、自然を残しながらまちづくりをお願いいたします。
女性	60 歳代	戸田市は活動的な市長のもと、いろんなことが良くなってきて、住みやすい町(街)だと感じています。子どもの人口も多いと思うので、若者と高齢者が交流できる町会の活動に尽力いただき、子どもを育てるのに、高齢者が暮らすのに、働き盛りの層の人たちがここに住もうと思える戸田市をこれからもつくっていただきたいと思います。
男性	60 歳代	①公民館(あいパル等も含む)の空き部屋の有効活用。当日空いている時は、半額位で貸し出していただけると使いやすいです。②公民館等、建て替えが検討されているようですが、最近では空間をより広く見ばえ良い建物になっていますが、市民が使いやすい部屋数を重視して考えていただきたい。(東部公民館の部屋の配置はとても使いやすい)
男性	60 歳代	町会が自治会に関するサポートの充実をお願いします。
男性	60 歳代	地域の安全と環境維持等で必要な町会意識が、戸建と集合住宅とのつながりが無く、今後の課題だと思います。
男性	70 歳以上	本当に困っている方のためボランティア活動しやすくなると思います。
男性	70 歳以上	時代が時代故、小さい子供に声をかけにくく淋しい想いをしている今日この頃。海外の子供たちはお国柄が割とフレンドリーである。首都圏に近い地域故、知らない人には近寄らないことの指導なのか、戸田市民は皆お友達の街づくりを推進していただければ幸いです。

9. その他		
女性	20 歳代	もっと助成金の種類を増加してほしい。(お金で観葉植物とかいらない。
女性	20 歳代	将来、戸田市に住むかどうかわかりませんので、何とも言えません。
女性	20 歳代	通行の妨げになっているため、朝の通勤時間に駅への通りの道のと真ん中に立たないでほしいです。
女性	20 歳代	日本人が気持ちよく住める市であって欲しいです。

女性	20 歳代	役所自体が何を目標としてやっていこうと考えているのか、このアンケートをどのように活かしていこうとしているのかが見えない。現状の戸田市の課題とかも最後に提示してもらえるとより自分ごとで考えられるかと感じた。
女性	20 歳代	公園の前の道路に歩道がないことが多く、飛び出しが怖い。何かあったときに駆け込めるような施設がない場所が多い。子供の 110 番の家があるといいなと思う。スポーツセンターを利用したいが、バスが少ない。駅までのバスも夜中までであると助かる。スポーツセンターを利用したいが、個人利用できる範囲が多いと助かる。交番はあるが、警察の見回りをあまり見たことがない。顔を見たことがある方が話しかけたり頼りやすい。いつも緑豊かな交通改善の街づくりを、ありがとうございます。別の地域から東京近辺に引っ越しましたが、戸田市に住み続けたいと思っています。これからも防犯や子育てのしやすい街づくりをよろしくお願いいたします。
女性	20 歳代	外国人 クルド人トルコ人の言動に悩まされることが多いです。川口や蕨から流れてきていて怖いです。対策をお願いしたいです。
男性	20 歳代	20 代の若者支援をもっとやってほしい。税金が高すぎてやりたいこともやらないので 20 代に寄り添った政策を国ではなく市から発信して欲しい。
男性	20 歳代	日々安全に楽しく暮らせております。これからもお世話になると思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。
男性	20 歳代	It good to live here at Toda city. I enjoying to communicate to other people, thank you for providing Japanese school for Foreigners . Hopefully I can work many years here. (翻訳) 戸田市で暮らすのは素晴らしいことです。他の人々と交流するのを楽しみながら、外国人向けの日本語学校を提供していただき感謝しています。これからも長くここで働けることを願っています。
女性	30 歳代	高齢者や子供に対する支援ばかりでなく、独身者に向けたメリットもわかりやすく示して欲しい。
女性	30 歳代	自分は独身者だが、高齢者や子育て世代には色々とサポートがありますが、単身者は特に何か恩恵を受けてる実感がなく戸田に住んでいたり納税をしてる意味を感じれません。
女性	30 歳代	外国人住民の増加に伴い、価値観などの違いからこの先いろいろなトラブルや不安を感じる場面が増えてくるのではと思います。日本人は我慢して譲ることが多いため、声を上げにくい風土があると思いますが、今後も安心して暮らせる地域を維持するためには市として秩序維持の仕組みを強化する必要があると考えています。多文化共存は重要ですが、同時に日本のルールや秩序を守る姿勢を市として明確にし、「共に暮らすには守るべきものがある」ことを伝え、従わない人には注意や是正指導を行い、それでも改善が見られない場合は国との連携をとっていく・・・というような、市として毅然とした対応ができるようにしてほしいです。

女性	30 歳代	戸田市は大変住みやすく、街づくりの旗振りをしてくださる皆さんには大変感謝しております。様々な世代がいますが、壁を造らず、よりよき街になるために譲れないところ譲れるところ、丁寧に折り合って多くの人が満足度高く暮らせるように私も協力していきたいと思います。
女性	30 歳代	「.....」の存在が恥ずかしいです。
男性	30 歳代	税金を減らして手取りを増やしてください。
男性	30 歳代	調査物は協力しますが、何か特典があれば、更に良いと思います。
男性	30 歳代	子供や高齢者ばかりにスポットが当たっていて、比較的に多めに納税している DINKS 世帯は何も恩恵を受けることもなく不満に思います。そういった納税者がいて守られていること、たまにはギフトカードや税金の軽減などがあっても良いと思います。戸田市うんぬんよりも、日本政府が変わらない限り、子供を授かることはありえません。人生に余裕がないのに、子供なんて無理です。外国人への支援に反対です。第2の川口や蕨にしないで下さい。
男性	30 歳代	先日行われた市議会議員選挙の結果を民意として尊重して頂くことを切に願います。
男性	30 歳代	板橋区との連携強化（花火大会の規模縮小で隔年おきに板橋→戸田→板橋...と実施する。戸田⇄板橋の巡回バス等により、戸田の子育て層が板橋へ、高島平や赤塚の高齢者が戸田へ容易に行き来出来るように。など）
男性	30 歳代	安定した市政運営ありがとうございます。過度な外国人優遇はご遠慮いただき、公平に暮らせる社会を目指していただきたいです。
男性	30 歳代	同性婚が出来ると QOL が上がります。あまり多くは望みません。
男性	30 歳代	クルド人問題に真剣に取り組まないと戸田の未来はない。
女性	40 歳代	今後、少子高齢化がますます進んでいくと思いますが、子育て支援や高齢者に対する政策ばかりを手厚くするのではなく、税収を支える現役世代が恩恵を受けられるようになることを願います。また隣の川口市、蕨市では外国人が増え、治安の悪化や文化の違いによる軋轢が生じているので、戸田市はそうならないよう対策を講じて欲しいです。折角住みやすく良い街なので、変に多様性を掲げることなく、長年居住している市民がこの先も住み続けたいと思えるようなまちづくりをお願いいたします。以前住んでいた所では、転出者(老人ホーム、死去など)や町内会未加入外国人の世帯、高齢世帯ばかりで、当番で回ってくる町会の係や、ゴミ集積所の清掃当番などが残った 2、3 世帯で担当しているような状況でした。(高齢者世帯にはかなりの負担) 将来的にその様な状況も珍しくなくなるかと思しますので、今のうちに方策を考えた方がよい気がしました。(有料でも業者やシルバー人材センターの活用等) ボランティアだけでは成り立たない世の中になってきていると感じました。(※色々書いてしまいましたが、戸田市のことは気に入っています。)
女性	40 歳代	引っ越してきてまだ 3 ヶ月くらいですので、よくわからない制度はまだありますので、よろしく願い致します。

女性	40 歳代	外国人が増え、時折町を歩くのが怖いと感じることがあります。外国人を受け入れる上限数を決めてほしい。戸田市が外国人の多い町にならないようにしてほしい。将来がとても不安です。防犯面も含めて。花火大会の有料席が多く、敷地の殆どを占めています。昔のように気軽に見に行かれるようにしてほしい。昔に戻してほしい！東西両端は無料席に。有料席は土手斜面だけに戻してほしいです。花火大会は皆が平等に楽しめる市民の行事です。お金を取ってまでもして継続できないのならば、花火大会自体開催しなくても良いと考えます。今の運営はとても不便で平等性を感じません。物価も上がっているので、気軽に行かれない花火大会になってしまい、毎年とても残念な思いをしています。盛り上がっている人達は一部だと思います。殆どが無料席だった昔の花火大会に戻してほしい。ご検討よろしくお願い致します。あと、マンションばかり建っていますが、自然を壊さないでほしいです。毎年楽しみに見ていたお花や植物が突然根こそぎなくなってしまうのは悲しいです。(花泥棒も毎シーズンいます)。新曽さくら川、緑川、魚達の棲みやすいキレイな川にしてほしいです。
女性	40 歳代	マンションが多いせいか、住環境を整えることも必要と感じます。マンションの壁に音が反響するのか、横の道を歩く人々の会話が自宅マンションの5 階までハッキリ聞こえてきたり、車の騒音が深夜もうるさく聞こえる。(ちなみにコロナ禍は静かだった)マンション壁が白く光るため、カメムシがよくベランダに来る。テントウムシが西側窓のレールにビッシリ集まるなど。市内のマンション大規模修繕などで、音の反響を抑える加工や虫を寄せ付けにくい塗装(色や成分)、熱を蓄えにくい加工(温暖化対策)に助成を出すなどできないでしょうか。いつか子供たちが巣立ってしまうと、マンションは静かな鉄の箱になる。生活の邪魔とならない存在であってほしい。
女性	40 歳代	色々がんばってくださっていることになかなか気づかなくて申し訳ないですが、そのおかげで特に不満もなく暮らしています。
女性	40 歳代	白田の湯が無くなったのが残念。
男性	40 歳代	川口や蕨のように、世間からクルド人の街として認識されると戸田市の価値が一気に下がるので十二分に対策をして欲しい。荒川とは反対側のレガッタ競技場の沿いの道路の車道外側線が消えている部分やかなり薄い部分があり、昼間でも歩いていると危険を感じるので線を引きなおして欲しい。また、この道は夜になるとスピード違反のかなり危険な運転をする人がいて危険なので、何かしらの対策をして欲しい。駅前の喫煙所を移動させるか、煙が外に出ないようにして欲しい。公園の器具海外の公園のように、懸垂などができるようなカリステニクス設備が欲しい。今の公園は大人にとっては一切の利用価値がないと思われる。
男性	40 歳代	住民税を安くして欲しい。行政サービスを下げても手取りを増やすことをして欲しい。
男性	40 歳代	戸田 RAY のようなものにお金を使うなら、税金下げてほしい。子育て支援もさいたま市のように中学生までで良いと思う。高齢者には 2 割負担を！

男性	40 歳代	物価高が続いていることもあり、ゆとりを持って生活するためにも水道料金などの公共料金を下げただけだと助かります。あとは以前もあった地域振興券のようなものがあると普段は行ってないようなお食事処に行こうと思えるので地域活性にも繋がると思います。ご検討をお願いします。
男性	40 歳代	市の財政に多少の余裕があるうちに将来に向けた整備を進めてほしい。
男性	40 歳代	税金の使い道が見える化し、国民のために正しく使って下さい。人々は苦しんでいます。救いを求めています。そして私達は、河合ゆうすけさんを応援しています。
男性	40 歳代	外国人を増やしたり、外人に土地を売ったり、税金を日本人のみに適正に使ってほしい。(外国人の不正受給などを一切なくしてほしい)外国人賛成とかはしない、させない。戸田市収納推進課の担当の対応悪すぎ。おかげで生活余計にカツカツになった。怒りしか沸かない。
男性	40 歳代	戸田市は、大分遅れている。笹目小学校側は生活に不便。お店が無い。スケートパークを作ってほしい。道満グリーンパークは、戸田市民は無料にしてほしい。
男性	40 歳代	戸田市のイメージが良くありません。2021 年、中央病院大規模クラスター、神泉駅女子中学生無差別殺傷、「・・・・」、中央病院銃撃からの蕨郵便局立てこもり、喜沢中国人問題、ここ 5 年内でショッキングな事が多すぎるのは良いと思いません。イメージアップを願います。
男性	40 歳代	今まで十数箇所に住みましたが、とても良い市町村だと思います。道満 GP の利用者のモラルの無さにはがっかりします。
男性	40 歳代	「戸田市『ありがとう』を伝え合おう条例」には今でも違和感を覚える。感謝の気持ちを伝えることに異論はない。ただ、それは内心にかかわること。わざわざ条例に盛り込む必要性を感じられず、押し付けがましい。市民の意識向上とは言え、そこまで市が介入するのはいかがなものか。
男性	40 歳代	日本人が、安心して生活していける環境を作って欲しい。
男性	40 歳代	住みやすいと感じているので、概ね満足しています。早朝から駅で市議会議員候補者などがアピールで立っているのが嫌いなので、別の方法でアピールの場を設けていただき、禁止して欲しいです。
男性	40 歳代	戸田市に住んでよかったと思っていますが、「ありがとう」の条例は不要だと思います。もっと意味のあることに力を注いでもらいたいです。

男性	40 歳代	<p>1. 子育て中の家庭にとって、安心して外食を楽しめる環境は非常に重要です。戸田市には、小さなお子さんを連れて行きやすい飲食店がもっと増えてほしいと強く願います。特に、お座敷席や小上がり席がある店舗は、ハイハイをする乳幼児やじっと座っているのが難しい小さなお子さんを連れた家族にとって、非常にありがたい存在です。ベビーカーを置くスペースの確保や、子供用の椅子の充実、おむつ交換台のあるトイレなども、飲食店選びの大きなポイントとなります。これらの設備が整うことで、子育て世代の外出のハードルが下がり、戸田市全体の活性化にも繋がるはずです。飲食店への補助金や情報提供、子育て支援団体との連携などを通じて、市が積極的にこうした取り組みを後押しすることを期待します。2. 戸田市が未来へ向けて持続的に発展していくためには、現在の日本が抱える課題、特に既得権益による停滞、事なかれ主義による意思決定の遅れ、そして非効率な予算執行といった構造的な問題から脱却することが不可欠だと考えます。これらの問題は、往々にして新しい挑戦や革新的なアイデアの芽を摘み、結果として社会全体の活力を削ぐ要因となります。戸田市においては、こうした負の連鎖を断ち切り、市民一人ひとりがその潜在能力を最大限に発揮できるような、「しがらみ」にとらわれない柔軟で果敢な街づくりを強く望みます。</p>
—	50 歳代	<p>レイシストは絶対に許してはならない。それは議員だろうと。いや議員だからこそレイシストの言動は絶対に許されない。SDGs 云々を人に聞く前に、自分のやるべきことをやれ。</p>
女性	50 歳代	<p>平日、通勤・通学で日中市内にいない市民にもっとやさしい街になってください！！駐輪場、料金が高いし(外部委託して値上がる?) 駅が遠くても料金が同じだったら、近い方が人気あるのあたり前。暗いから2重ロックにしようとしてもダイヤルが見えない。埼京線も夕方16時台から通勤快速が始まると、保育園のお迎えとかで時間に追われているのに本数が少なくて困る。Toda Payとか商品券も、日中市内にいる人は使う機会があるかもしれない。利用者限定ほいのを税金を使われた気がして平等性に欠ける。中学校での進路指導が全然なっていないくて、結局塾頼りになっている。もっと学校で学べる体制と将来を考える場や指導をしてほしい。また、市内には高校が少ない。地理上、荒川を渡った方が便利なのに、就学支援制度などでお金の壁を作っている。もっと選択枠を広げられるよう、県外の私立高校にも通いやすい(選択しやすい)制度を作してほしい。日本国籍を持っていない住民の規制を強化して、防犯につなげて欲しい。“ニホンゴワカリマセン”ですませてはいけない！！日本で生活するなら、日本のルール・文化で住んでもらいたい。</p>
女性	50 歳代	<p>最近、外国人が増え、大きな声を出したり、びっくりすることがある。日本のルールを(基本的)覚えてほしい。ゴミはゴミ箱へ。駅から台湾の商店街のようなアーケードがあったら良い。屋根付きの。</p>
女性	50 歳代	<p>戸田ペイは凄く有難いと思っておりますが戸田市で働いてる人も応募できるというのがどうかと思います。戸田市に住んでる人が優先的に当たり当たるのであれば応募した分を(3口なら3口)当ててほしいです。</p>

女性	50 歳代	戸田市に限らないと思うが、子育て支援や高齢者支援は大々的に看板を掲げているが、独り暮らしの独身女性への支援というものは聞いたことがない。就職とそれに伴う給与面だけとっても男性よりどうしても低くなりがちであり、それなのに税金は地域の子育てや家族とは関係がない地域高齢者の為に使われる。自らも高齢者になれば高齢者支援の一環に加われるがそれまでは支援もないのに搾り取られるだけで辛い。率先して行政が目を向けてほしいブラックホールであると思う。
女性	50 歳代	行政の支援もさることながら、1人1人の心がけがかぎを握っていると思っています。このアンケートを通じ、自分と利害を異にする人がいることに改めて気づかされました。他者へのまなざしを少しだけやさしくするとともに、自身が果たせる役割を考え続けます。
女性	50 歳代	ふるさとまつりがショボくなり残念。川は汚い。道はもう少し歩道を考えてほしい。子育てに向かない。ベビーカーを押せない所が多い。子供が思いっきり遊ぶ所が少ない。公園があっても、ボールダメ！が多いので、遊べない。
女性	50 歳代	子供も高齢者も身近におらず、また自身も健康であるため、市の福祉を利用したり情報を仕入れたりなどの機会がないのが現状です。でも近所を散歩されているご高齢者の方や自治体のスポーツ(?)帰りのおばあちゃま達を見かける度に、皆さんお元気で、戸田市は住みやすい町なのだなあと感じています。都心からも近く、近隣は静かなので、私自身も過ごしやすさを感じています。
女性	50 歳代	戸田市のためにいつもありがとうございます。戸田市に引っ越してきてから20年を超えました。子どもたちも安心して育てることができ、たくさんの方に感謝です。これからも戸田市にお世話になろうと思います。宜しくお願い致します！！
女性	50 歳代	戸田市に住んでから財産を失うことが多く、数億円とられていて困っています。NYでは、年収100億円以上が普通と言われて学校でも差があり、外国に逃げた方が良いと言われていています。一般の人が住む所でないと思うのですが、情報が開示されていない気がします。BKの支店、商店街などがあると良いです。
女性	50 歳代	デジタル社会から取り残された人にも参加しやすい行政を展開して欲しい。
女性	50 歳代	市民ファーストで、安全で優しい街づくりをしてほしいです。子供達のためにも、川口市のような不法移民問題で治安が悪くなる街にして欲しくないです。この問題はこれからの戸田市のために重要な課題だと思っています。どうか、市長にはこの問題にしっかりと取り組んでいただきたいです。
男性	50 歳代	川口市から流入してくる外国人に対し、差別ではなく納税、ゴミ問題のこと、日本を大切に思い、戸田市に対し愛情をもって頂ければ有難いです。国と県と近隣市と共に日本を住みやすい安全な街となるよう行政運営をしていただきたいです。50年後を考えて人とお金と街を守って下さい。

男性	50 歳代	種々の手続きや業務の集約・電子化を進めて、サービスを受ける側も提供する側も負担の少ない効率的な行政を更に進めていただきますようお願いします。
男性	50 歳代	市民医療センターは入院患者や患者家族の事を全く気にかけず、センターの都合ばかり主張する。無駄な施設に税金を使って欲しく無い。
男性	50 歳代	弱者を支援する政策は賛成ですが、なんでもかんでも「タダ」にするような自立の妨げとなり、モラルハザードを産むような政策はするべきではないと思っています。
男性	50 歳代	引越してから 1 年ですので、戸田市の事があまりよくわかりません。在住 5 年以上の方にこのアンケートをお願いした方がよいのではと思いました。
男性	50 歳代	戸田市にはクルド人を入れないでほしい。川口の様になってしまっては住みにくくなる。
男性	50 歳代	経済的に苦しい生活を助けてくれるような施策や補助に取り組んでもらいたいです。
男性	50 歳代	京浜東北線沿いのような外国人を増やさないでほしい。
男性	50 歳代	若い世代が住み続けられるような環境
男性	50 歳代	子供達が幸せだと感じる街になってもらいたい。
男性	50 歳代	アンケートの質問が多過ぎる。また、高齢者医療など直接関係がないものは回答しにくいので、回答を省略できるようにした方が良い。
男性	50 歳代	頑張っている人を応援する街にしてほしい
男性	50 歳代	な？消費税廃止でしょ！
男性	50 歳代	これからも住みやすく安心出来る街づくりをしていただきたい。
男性	50 歳代	現教育長になってから良くなった点も多々あるが、子どもたちの読解力と創造力が目に見えて衰えた。いい加減、若い人に席を譲って新しい風を吹き込むべきだ。
女性	60 歳代	当調査には関係ありませんが、「広報 Toda」について、全所帯配布システムを以前の町内会単位配布に戻しませんか。理由：2025 年 5 月号・6 月号投函されておりません。全世帯配布スタート時にも同様のことがあり、戸田市役所市長公室にクレームを入れました。委託事業者の怠慢です。このシステムに対して再考を求めます。
女性	60 歳代	めんどろだ！！もうやめて！！
女性	60 歳代	母子・父子家庭、生活困窮者への経済支援の必要性。子供食堂の開設希望。
女性	60 歳代	戸田公園の出張所によく行くのですが、フロアが暑いです。特に夏は暑すぎます。なので、もう少し涼しくして頂ければと思います。ぜひ検討して下さい。
女性	60 歳代	提案ではありませんが、今回のアンケートの回答にあたって、年齢的に子育ての問題や高齢者の問題についてはよくわからず、「普通」という回答が多くなってしまいました。参考にならず、申し訳なく思います。

女性	60 歳代	67 才の私への質問には少し変かなと思います。下の子が 1 才、上の娘が小 2 で戸田へ。保育所へ保育料は 5 万 5000 円でした。子供 2 人は結婚はしていませんが、独立していますが、家賃はキツイし上の娘は 45 才戸田市のアパートで一人暮らし、給料も上がらず今会社もヤバイし。(戸田で出会いの場を・・・)。子供が小中学校の時は、スポーツセンターも図書館も行ったが、今は上野の美術館や動物園、あとは娘の犬を連れて道満へ月 5 回は散歩に。子供、子供と支援が多すぎるのでは？80 才代のバカ親が 50 歳代の子供(バカ)→今の 20~30 才の親に国はやりすぎている。良い車・良い自転車に乗っているのも、子ども手当があるのか、子育てしている自分が偉いと思うのか？※江藤大臣のような 2 世・3 世の市議は辞めてくれ。公務員の子供は甘い汁を貰うが我慢せろ！練馬区光ヶ丘の公園は人にも犬にも素晴らしい公園！ 蔵の中央公園もよく年寄りが木陰を歩いていて、良い！さいたま市桜区のゴミ処理場の風呂はサイコー！
女性	60 歳代	現在の世界情勢から未来を見据えた時、一番心配な事は食料自給率であると思っています。戸田市は農業に適した土壌でありましたが、今では田畑が居住地になってしまいました。未来に一番必要なのは、人口を支える水と食料である事も、戸田市のまちづくりに加えていただける日が来ることを願っております。
女性	60 歳代	戸田公園駅の元住宅展示場の跡地にパン専門のコミュニティーハウスの 3 階建てが建つと良いと自分で考えていました。戸田市経営で、1 階が各国のパンを販売して、色々な国のパンを知ってもらい、売れ残ったパンは支援で施設にあげたり、支援している人にあげたりして、廃棄物も無く、2 階はレストラン・カフェで川を見ながら食事が出来、下のパンも持ち込み自由で、飲み物だけでも OK。3 階はコミュニティーで、老人や子供たちが色々な事をして遊べる。といっても、イスと大きなテーブルや 1 人で読書の出来る窓側の席とか、皆がそこで居場所が見つかる様な場所。昔の遊び道場などである。別棟にピザ専門店、子供たちが作って、具材を選べ、食べれる所もあり、ワンコインの小ささで、自分のピザを食べられる。大人がかまどで焼いてくれる。楽しいコミュニティーがあったら、戸田も活気が出ると思います。若い人材はお店をつくる前にここで修行する。
女性	60 歳代	荒川の自然と交通アクセスの良さを生かした活気あるまちづくり。そして高齢者の方々が気軽に集まって過ごせるような居場所づくり等々、今後も引き続き、魅力あるまちづくりに期待しています。
女性	60 歳代	安心して暮らせる、安全で魅力あるまちを目指したい。
男性	60 歳代	広報に対する取り組み強化。
男性	60 歳代	市民税、個人負担をへらす。法人税、ボートレースの税をアップ。その税収を元に、魅力的な街づくり独自の政策を行って欲しい。課題は多いと思うが、都会へのアクセスも良いし、より多くの方が、すみたいと思う政策を行ってほしいかな。
男性	60 歳代	若々しい菅原市長の下、市民のための街づくりを引き続き期待しています。AI 活用など新しい試みをどんどんやっていって下さい。

男性	60 歳代	戸田市議員について心配です。誰でも当選する町が戸田市、市民も議員もレベルが低い人達と言われるのが悔しいです。どうお考えですか？
男性	60 歳代	東京都と同様な支援制度が出来る戸田市を目指してほしい。
男性	60 歳代	SDGs についてすべて正しいとの前提で問いを作成しているが、そうとばかりは思えない。前進するときでも時に立ち止まって考えることが必要と思います。
男性	60 歳代	子育てや生活苦などで金銭的に苦しい人へのサポート。
女性	70 歳以上	全国どこへ行っても、[戸田]と言うと[ボート]としか返ってこない。9割以上の方が[戸田]は何県のどこにあるかを答えられない。沢山の公園があり、池袋・新宿・渋谷にも近く、子供達にもやさしい市であり、財政豊かな市でお母さんにやさしい市を全国へ PR すべきです。
女性	70 歳以上	このようなアンケートは年齢とか考えて送って下さい！本人は要介護 4 でアンケートの意味もわかりません。ランダムに選んでるのでしょうが、少しは考えて下さい。
女性	70 歳以上	お仕事お疲れ様です。
女性	70 歳以上	子育てが終わってから引越してきたので、協力できなくてすみません。
女性	70 歳以上	ありがとうございました。バアさんのため、少し難しかったです。戸田市大好きです。
女性	70 歳以上	今まで近所のことにしかそれ程注意を払ってこなかったもので、問 41 については 3 という答えが多くなりました。私は今まで身のことにしか注意を払う余裕がなく、地域活動も殆どしていません。私のように気持ちがあっても活動できない人たちの力を汲み上げるようにしてくれたら良いと思います。
女性	70 歳以上	2~3 年前にも回答したような気がします。集計結果も知りたいですね。コロナ以後、全体に変化を感じますが、この調査用紙は以前と同様の様に感じます。コロナ以後、人との交流の場や挨拶ひとつにしても変化が有って当たり前でしょうね。自分的には後期高齢者になり、行動範囲も狭まりましたが、自分なりに出来る範囲で行動しています。
女性	70 歳以上	考えた事もない設問があったりして、答に迷いながら、また自分の心とは違う回答もったりして、なかなか難しい質問もあり、苦勞致しました。良い町になる様、皆様の努力を期待しております。
女性	70 歳以上	私個人については記入出来ませんでした。周りを見て聞いて記入致しました。ありがとうございました。自分に関係ない記事が多くありました。
女性	70 歳以上	年齢によって考え方が違うので、なんとも言えないが、未来が明るく、楽しいものであって欲しいと思っています。それについては今が大事、ですが、高齢なので人や家族に迷惑をかけないように、自身の健康に気をつけます。
女性	70 歳以上	5 年前に東京から移住致しました。ちょうどコロナ禍の最悪な時期で、土地勘もなく、なかなか周りを認識する余裕もなく、今に至っております。年齢のせいもあるかと思いますが、今回のアンケートはとても難しいものでした。
女性	70 歳以上	若い頃には色々参加して参りましたが、高齢になり、色々な事に参加出来なくなって参りました。答えも積極的でなくすみません。戸田市に住んで良かったと思っている 1 市民でございます。

女性	70歳以上	日頃、笑って生活が出来るような町作りをしていってほしいです。
女性	70歳以上	戸田市に引っ越して25年になりますが、駅近なので、どこに出かけるにも交通の便が良く、満足しています。また、駅にスーパーもあるので、年をとっても買い物等に不便を感じないのも気に入っています。
女性	70歳以上	いつもお世話になっております。
女性	70歳以上	住みやすい街だと思います。
女性	70歳以上	戸田市は川口市のようにならないようにしていただきたい。外国人の数が地域内で多数となった場合、これまでの暮らしができなくなることを懸念している（戸田市が戸田市ではなくなってしまう）。また、外国人への生活保護支給を他の市町村より先陣きって中止していただきたい（日本初になっていただきたい）。最高裁判決にもあるとおり、外国人に支給する法的根拠はなので毅然とした対応をしていただきたい（旧厚生省通達に従う必要性はない）。その分、本来の戸田市民のために活用していただくことを切に願っております。
女性	70歳以上	SDGsを進めるに当たって、市民が使用できる電気自動車の充電設備を作ってほしい。外国人が増えているが、川口市のようなもめ事がないようにしてほしい。
男性	70歳以上	市報は前の様にした方が良い。新しい流入市民が増えているので！！又、個別に入れる場合、経費がかかるのでは。ボランティアではないと思うので。
男性	70歳以上	安全安心で、公平で、バランスのとれた街づくりをお願いします。
男性	70歳以上	何事も、100年先を見越して進めてほしい。
男性	70歳以上	全市民が納得する施策は大変かと思いますが、リーダーシップを発揮し、今後も頑張ってください。
男性	70歳以上	伊豆の保養所を利用させていただきました。大人も子供も楽しめる保養所があれば良いと思いますが！
男性	70歳以上	12.戸田市の取組(15.16ページ)の現行の内容と参加要領等を市民として知りたい。
男性	70歳以上	回答項目が多すぎて答える気がしない！今後この種のアンケートは項目を絞って実施してほしい。
女性	不明	私80才。今置かれている立場が違う項目では、答えが難しい。年齢に合った質問であれば、答えやすいと思う。
女性	不明	答えられなくて申し訳ありません。
女性	不明	市民皆にとって、住みやすさはもちろん、未来に実りのある、魅力のある、自然のある(駅名にも見合うような公園や緑あふれる)SDGsを達成できるまちづくりを願います。現状まだまだだと感じています……。アンケート機会をいただきありがとうございました。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

参考資料（調査票）

令和7年度戸田市市民意識調査 ご協力のお願い

日ごろから市政へのご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。さて、戸田市では、市民の皆様のご意見やご要望をお伺いし、一層充実した市政とするために、定期的に市民意識調査を実施しています。

今回の調査は令和7年4月1日現在において、戸田市の住民基本台帳に登録されている18歳以上の市民の皆様の中から、3,000人を無作為に選んでお願いしています。ご多忙のところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、アンケートにご協力くださいますようお願いいたします。

なお、このアンケートに関して個人の意見が公表されることは一切ありませんので、ぜひ率直なご意見を賜りますよう、重ねてお願いいたします。

令和7年5月

戸田市長 菅原 文仁

◆ご記入の前に◆

- ・ 回答方法は①、②のどちらか一方で回答をお願いします（重複回答は不可）。
- ・ 回答期限：**令和7年5月30日（金）まで**
- ・ 封筒宛名の本人がご回答ください。
- ・ 質問は全部で47問です。回答時間の目安は（2.5分）程度です。

① この調査票に直接記入して回答する

- ・ 各質問の説明に従って、回答欄に記入してください。筆記用具の種類は問いません。
- ・ 回答後、同封の返信用封筒に入れて投函してください（切手不要）。
- ・ 返信用封筒や調査票に住所・氏名を記入する必要はありません。

② Webから回答する

- (1) URLまたはQRコードから、アンケート開始画面にお進みください。
URL : <https://hst.netr.jp/toda2025/>

- (2) 「市民意識調査へのご協力のお願い」画面の入力欄にインターネット回答用ID番号（6桁の英数字）を半角入力してください。
インターネット回答用ID番号

お問い合わせ

戸田市役所 共創企画課 行政改革・計画推進担当
電話：048-424-9552（直通） / FAX：048-432-8521
E-mail : kikaku@city.toda.saitama.jp

※この調査結果は戸田市ホームページ等で概要を公表する予定です。

1. ご自身の状況についておたずねします

質問 1 あなた自身の状況について教えてください。（○はそれぞれ1つだけ）

質問	選択肢
(1) 性別 ※記入は任意 ※自認している性別を選択	1. 男性 2. 女性 3. ()
(2) 年齢 ※満年齢を記入	() 歳
(3) 現在お住いの地区	1. 喜沢1・2丁目、中町1丁目、下戸田1・2丁目 2. 喜沢南1・2丁目、中町2丁目、下前1・2丁目、川岸1・2丁目 3. 上戸田1~5丁目、大字上戸田 4. 川岸3丁目、本町1~5丁目、南町、戸田公園 5. 大字新曹、新曹南1~4丁目、氷川町1~3丁目、大字下笹目 6. 笹目南町、笹目北町、早瀬1・2丁目、笹目1~8丁目 7. 美女木1~8丁目、美女木東1・2丁目、美女木北1~3丁目
(4) 戸田市の居住年数	1. 1年未満 2. 1~3年未満 3. 3~5年未満 4. 5~10年未満 5. 10~20年未満 6. 20年以上
(5) 住宅の種類	1. 持ち家（戸建て） 2. 持ち家（マンションなど） 3. 借家（戸建て） 4. 借家（アパート・マンション） 5. 社宅・寮 6. UR・県営・市営住宅 7. その他 ()
(6) 同居家族の人数 ※あなたを含む	1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人 6. 6人以上
(7) 同居している家族構成	1. 一人暮らし 2. 配偶者と同居 3. 配偶者・子どもと同居 4. 子どもと同居 5. 親と同居 6. 親・配偶者と同居 7. 親・配偶者・子どもと同居 8. 親・子どもと同居 9. その他 ()
(8) 同居する子の人数と年齢	() 人 一番上の子の年齢 () 歳 ※同居する子がない場合は0を記入、次の(9)住居の状況に記入してください。 一番下の子の年齢 () 歳
(9) 住居の状況	1. フルタイム（常勤）の正社員 2. 派遣・契約・嘱託社員 員被雇用者 3. パートまたはアルバイト 4. 自営業主・個人事業主 5. 家族従業者 6. 会社経営・役員 7. 家事従事者 8. 学生 9. 年金生活 10. 無就業 11. その他 ()
(10) 通勤地・通学地	1. 戸田市内 2. 川口市 3. さいたま市 4. 蕨市 5. 県内の他市町村 6. 東京都 7. 県外（東京都を除く） 8. 通勤・通学していない

(11) 主な交通手段 ※通勤・通学時	1. 徒歩のみ 4. バス 7. 通勤・通学していない	2. 電車 5. 自転車 8. その他 ()	3. 自家用車 6. オートバイ
(12) 全般的に今の生活に満足していますか	1. 満足 2. まあ満足 3. やや不満 4. 不満 5. わからない		

2. 定住意向についておたずねします

問2 あなたが直前に住んでいた市区町村から移転したきっかけは何ですか。

あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

1. 生まれてからずっと戸田市	2. 進学
3. 就職・転勤	4. 結婚
5. 出産	6. 子どもの独立
7. 退職・廃業	8. 親や子と同居・近隣に住むため
9. 住宅の購入	10. 特になし
11. その他 ()	

問3 あなたが戸田市に住んでいる理由を教えてください。(〇は1つ)

1. ここで育ったから	2. 比較的安価な住宅があったから
3. 親戚や友人がいたから	4. 住みやすそうだったから(通勤通学含む)
5. たまたま住宅が見つかったから	6. 特になし
7. その他 ()	

問4 あなたが住まいや住まい選びで重要としてしていることを教えてください。

(〇は3つまで)

1. 立地(公共交通や生活の利便性)	2. 十分な間取りや広さがある住居
3. 戸建て住宅	4. マンション
5. 駐車場付き、又は近くに駐車場がある	6. 住宅にかかる諸経費(購入費、維持費、家賃等)が低コスト
7. 家の近くに子どもの預け先(保育園や親族など)がある	8. 太陽光発電や耐熱性能など環境に配慮された住宅
9. 家の近くの治安や防犯体制	10. その他 ()

問5 あなたは、戸田市にこれからも住み続けますか。(〇は1つ)

1. 住み続ける	2. たぶん住み続ける
3. たぶん移転する	4. 移転する
5. わからない	

3. 結婚・出産についておたずねします

問6 あなたは、現在、結婚していますか。(〇は1つ)

1. 既婚(事実婚を含む)	2. 独身(未婚)	3. 独身(離婚・死別など)
---------------	-----------	----------------

↓ 問9へお進みください。

「独身」と回答した方は問7へお進みください。

問7 今後の結婚に関する希望を教えてください。(〇は1つ)

※問6で「2. 独身(未婚)」「3. 独身(離婚・死別など)」と回答した方のみ

1. できるだけ早く結婚したい(するつもり)	2. 2~3年以内に結婚したい(するつもり)
3. いずれは結婚したい(するつもり)	4. 結婚するつもりはない
5. 今はどちらともいえない	

問8 結婚していない理由を教えてください。(〇は1つ)

※問6で「2. 独身(未婚)」「3. 独身(離婚・死別など)」と回答した方のみ

1. 結婚にはまだ早い	2. 出会う機会、きっかけがない
3. 仕事や趣味、学業など、自分のやりたいことに打ち込みたい	4. 結婚後の生活に経済的な不安がある
5. 結婚する意味を見出せない	6. 親や周囲の同意を得られない
7. 特に理由はない	8. その他 ()

問9~問11については、問1(2)年齢で「18歳~49歳」と回答された方にお聞きします。

それ以外の年齢の方は、4ページ「4. 子育てについて」へお進みください。

問9 あなたは子どもが欲しいと考えていますか。また、欲しいと考えていましたか。

(〇は1つ)

1. 子どもが欲しい、欲しかった【問10へ】	2. 子どもは欲しくない【問11へ】
3. 答えたくない(わからないも含む)【問12へ】	

問10 あなたにとって、理想的な子どもの人数を教えてください。(現在いる子どもの人数を含む)(〇は1つ)

※問9で「1. 子どもが欲しい、欲しかった」と回答した方のみ

1. 1人	2. 2人	3. 3人	4. 4人	5. 5人以上
-------	-------	-------	-------	---------

問11 子どもが欲しくない理由を教えてください。(〇は3つまで)

※問9で「2. 子どもは欲しくない」と回答した方のみ

1. 経済的な負担が大きい	2. 子どもが苦手
3. パートナーとの2人の時間を大切にしたい	4. 体力的・精神的に子育てをする自信がない
5. 親になる自信がない	6. 子ども中心の生活が想像できない
7. 一人の時間がほしい	8. 仕事に専念したい
9. 子どもの将来が不安	10. その他 ()

4. 子育てについておたずねします

問12 あなたは、戸田市は子育てしやすいかと思えますか。(○は1つ)

1. そう思う	2. どちらかというと思う
3. どちらかというとは思わない	4. そうは思わない
5. わからない	

問13 あなたは、戸田市に住んでいて、子育てに関する以下のことに、どの程度満足していますか。(項目ごとに○は1つ)

※お父さんがいらっしゃる方は、問14へお進みください。

項目	評価			どちらともいえない	やや不満	不満
	満足	まあ満足	どちらともいえない			
(1) 保育園や幼稚園、学童など通常の預け先	1	2	3	4	5	
(2) 一時保育や病児保育など臨時的な預け先	1	2	3	4	5	
(3) 子育て講演会や家庭教育学級などの学びの機会	1	2	3	4	5	
(4) 24時間診療など、いつでも受診できる医療体制	1	2	3	4	5	
(5) 児童手当や子ども医療費助成など金銭的支援	1	2	3	4	5	
(6) 不安や悩みを聞いてもらえる相談の場	1	2	3	4	5	
(7) サークルや子ども会など地域交流の機会	1	2	3	4	5	
(8) 地域の人の声掛けや協力	1	2	3	4	5	
(9) 道路の段差や駅のエレベーターなどのバリアフリー	1	2	3	4	5	
(10) 家事や育児の負担を軽減するための人的支援	1	2	3	4	5	
(11) 就学後の教育環境や学びの場	1	2	3	4	5	
(12) 様々な体験(自然体験、文化体験、社会体験)ができる場	1	2	3	4	5	
(13) 気軽に立ち寄れること場の居場所	1	2	3	4	5	

問14 設問13の項目で、あなたが重要だと考える項目を順位付けしてください。

※項目(1)~(13)の番号を記入してください。

1位	2位	3位
----	----	----

5. 健康づくりについておたずねします

問15 あなたは、健康のために、留意していることはありますか。あてはまるものすべてを選んでください。(○はいくつでも)

1. 定期的な健康診断やがん検診の受診	2. 定期的な歯科健診の受診
3. バランスの良い食事	4. 朝食を抜かない
5. 定期的な運動やスポーツ(ウォーキングを含む)	6. 体重や体脂肪などの把握
7. 睡眠による十分な休養	8. 自分に合ったストレッチ解消
9. 規則正しい生活	10. 適量飲酒や、休肝日を設ける
11. たばこは吸わない、またはやめた	12. 健康に関する知識の習得(市民大学や公民館講座等の受講)
13. 特に何もしていない	14. その他()

問16 あなたは、健康のために、今後取り組みたいと思っていることはありますか。あてはまるものすべてを選んでください。(○はいくつでも)

1. 定期的な健康診断やがん検診の受診	2. 定期的な歯科健診の受診
3. バランスの良い食事	4. 朝食を抜かない
5. 定期的な運動やスポーツ(ウォーキングを含む)	6. 体重や体脂肪などの把握
7. 睡眠による十分な休養	8. 自分に合ったストレッチ解消
9. 規則正しい生活	10. 適量飲酒や、休肝日を設ける
11. 禁煙	12. 健康に関する知識の習得(市民大学や公民館講座等の受講)
13. 特に何も思わない	14. その他()

問17 あなたは、過去1年間にスポーツ・レクリエーション活動(学校の授業や職業として行ったものを除く)をする機会がどのくらいありましたか。(散歩やウォーキング、軽い体操、子供との体をを使った遊び、通勤や家事などの日常生活の中で意識的に体を動かすことなども含みます。)(○は1つ)

1. ほぼ毎日	2. 週に3日以上
3. 週に1~2日	4. 月に1~3日
5. 年に4~11日	6. 年に1~3日
7. していない	

6. 高齢化等の福祉についておたずねします

問 18 あなたは、市内に住んでいる高齢者または高齢者のいる世帯にとって、戸田
市は過ごしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

1. そう思う	2. どちらかというそう思う
3. どちらかというそうは思わない	4. そうは思わない
5. わからない	

問 19 あなたは、戸田市が認知症の正しい知識や理解の促進に取り組んでいるま
ちだと思いますか。(〇は1つ)

1. そう思う	2. どちらかというそう思う
3. どちらかというそうは思わない	4. そうは思わない
5. わからない	

問 20 福祉の困りごとを抱える市民が支援へとながり、地域で安心して暮らして
いける社会(地域福祉)の推進のためには、どの取り組みが大切だと思います
か。(〇は2つまで)

1. 市や関係機関が連携して対応する相談 体制の充実	2. 地域における助け合いの仕組みや つながりづくり
3. ボランティア等、地域活動への支援	4. 地域で孤立し、助けが必要な人への 支援
5. 同じ悩みを持つ人が気軽に集まれる 場所づくり	

問 21 あなたは、戸田市に住んでいて、高齢者に関する以下のことに、どの程度満足
していますか。(項目ごとに〇は1つ)

※あなたが高齢者でない場合は、身近な方をイメージしてお答えください。

項目	評価	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満
(1) 困りごとや悩みごとなど相談の場		1	2	3	4	5
(2) 健康や体力維持のための場		1	2	3	4	5
(3) サークルなどの友人や仲間との交流の場		1	2	3	4	5
(4) 地域の人の声掛けや協力		1	2	3	4	5
(5) 趣味や生涯学習の場		1	2	3	4	5
(6) ボランティアや町会活動などの社会活動 の場		1	2	3	4	5
(7) 安心できるかかりつけ医や病院の存在		1	2	3	4	5
(8) 在宅介護の支援		1	2	3	4	5
(9) 介護施設の充実		1	2	3	4	5
(10) お金や必要なものなどの支援・補助		1	2	3	4	5
(11) 働く機会		1	2	3	4	5
(12) 住居に対する支援		1	2	3	4	5

7. 生活環境等についておたずねします

問 22 あなたは、住んでいる地域の生活環境等について、どのように感じていますか。
(項目ごとに〇は1つ)

区分	項目	非常に良い	やや良い	普通	やや悪い	非常に悪い	わからない
保 健 ・ 衛 生 ・ 福 祉	(1) ごみの回収	1	2	3	4	5	6
	(2) 雨水など水のはげぐあい	1	2	3	4	5	6
	(3) ハチ、蚊等の害虫対策	1	2	3	4	5	6
	(4) 医療機関への通院のしやすさ	1	2	3	4	5	6
	(5) 地域福祉の支援(地域における支え合い)	1	2	3	4	5	6
	(6) 休日や夜間の急病のときの安心さ	1	2	3	4	5	6
	(7) ばい煙・排気ガス	1	2	3	4	5	6
	(8) 騒音・振動(工場・車等)	1	2	3	4	5	6

問23 あなたは、以下の施設を利用していますか。利用していません場合は、理由を教えてください。(施設ごとに○は1つ)

理由	利用している						利用していない					
	利用している	利用したいが近くにない	利用したい時に開いてない	予約かとりず利用できない	どこにあるか知らない	利用方法がわからない	かたしてに本拠がある	利用している	他の類似した民間施設を利用している	他自治体の公共施設を利用している	利用する機会、必要がない	
(1) 文化会館	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(2) スポーツセンター	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(3) 郷土博物館(文化財鑑賞含む)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(4) 図書館(分館・分室・配本所含む)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(5) 戸田公園駅前行政センター	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(6) 美笹支所	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(7) 東部連絡所	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(8) 上戸田地域交流センター(あいパル)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(9) 新曽福祉センター(新曽公民館)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(10) 東部福祉センター(下戸田公民館)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(11) 西部福祉センター(美笹公民館)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(12) 笹目コミュニティセンター(コンパル)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(13) 新曽南多世代交流館(さくらパル)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(14) ボランティア・市民活動支援センター(TOMATO)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(15) 心身障害者福祉センター	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(16) 市民医療センター	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(17) 福祉保健センター	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(18) 児童センター プリムローズ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(19) 児童センター こどもの国	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
(20) 教育センター	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		

区分	項目	評価	非常に良い	やや良い	普通	やや悪い	非常に悪い	わからない
安全	(9) 子どもが外で遊ぶときや通学時の安全性		1	2	3	4	5	6
	(10) 豊かな心を育む青少年の育成		1	2	3	4	5	6
	(11) 高齢者の外出や散歩の安全性		1	2	3	4	5	6
	(12) 個人生活の秘密が守られること		1	2	3	4	5	6
	(13) 災害(火災・地震・台風等)からの安全性		1	2	3	4	5	6
	(14) 環境汚染からの安全性		1	2	3	4	5	6
	(15) 夜道の明るさ		1	2	3	4	5	6
	(16) 道路の安全性		1	2	3	4	5	6
	(17) 安全な自転車走行空間の確保		1	2	3	4	5	6
	(18) 防犯対策の充実		1	2	3	4	5	6
	(19) 防犯情報の受取やすさ		1	2	3	4	5	6
	(20) 日用品・食料品等の買い物の便利さ		1	2	3	4	5	6
	(21) 通勤・通学の便利さ		1	2	3	4	5	6
	(22) 公共交通の利便性の向上		1	2	3	4	5	6
	(23) 公園・広場等の利用のしやすさ		1	2	3	4	5	6
	(24) 公民館・集会所等の利用のしやすさ		1	2	3	4	5	6
	(25) 郵便局・金融機関の便利さ		1	2	3	4	5	6
	(26) 周囲に悪臭がないこと		1	2	3	4	5	6
	(27) 計画的なまちの整備		1	2	3	4	5	6
(28) 日当たりや風通しの良さ		1	2	3	4	5	6	
(29) 良好な景観が保たれること		1	2	3	4	5	6	
(30) 快適な歩行空間の確保		1	2	3	4	5	6	
(31) 道路や駅、公共施設のバリアフリー		1	2	3	4	5	6	
(32) 公園の整備・緑化の推進		1	2	3	4	5	6	
(33) 緑などの自然環境		1	2	3	4	5	6	
(34) 川のきれいさ		1	2	3	4	5	6	
(35) 上記を総合して、どの程度満足していますか		1	2	3	4	5	6	

理由 施設名	利用していない						利用している			
	利用したいが近くにない	利用したい時に開いてない	予約がとれず利用できない	どこにあるか知らない	利用方法がわからない	サトーエに不満がある				
(21) 芦原小学校生涯学習施設	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(22) 学校施設の開放(運動場)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(23) サッカー場	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(24) テニスコート	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(25) 野球場(ソフトボール場含む)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(26) 県営戸田公園・戸田ポートコース	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(27) 荒川水循環センター上野公園	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(28) 彩湖・道満グリーンパーク(スポーツ施設を除く)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(29) 彩湖自然学習センター	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(30) 地域の児童公園	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問24 あなたは、市内の駅周辺について、にぎわいや魅力があると思いますか。

(〇は1つ)

1. そう思う	2. どちらかというと思う
3. どちらかというとは思わない	4. そうは思わない
5. わからない	

問25 あなたは、公園内での喫煙についてどう思いますか。

(〇は1つ)

1. 公園内は、全面禁煙にした方がよい	2. 規模の大きい公園内だけ喫煙場所を設け分煙化し、その他の公園内は、全面禁煙にした方がよい
3. 公園のどの場所であっても、受動喫煙に配慮された喫煙であればよい	4. その他()

問26 あなたは、家庭でどのような災害対策をとっていますか。あてはまるものすべてを選んでください。(〇はいくつでも)

1. 食料や水の確保	2. 非常持ち出しセットの準備
3. 家具・家電の転倒防止	4. 家族との連絡手段の確認
5. 地震(水害含む)保険への加入	6. 防災訓練への参加
7. 地域のひととの連携(話し合いなど)	8. 自家用車等の燃料確保
9. 地震ブレーカーの設置	10. 火災警報器の点検(住宅用火災警報器含む)
11. 地域の災害時危険場所の把握	12. 住まいの耐震化
13. 市内の避難場所・避難先の確認	14. 市外の避難場所・避難先の確認
15. 情報収集手段の確認	16. マイ・タイムラインの作成
17. 携帯用充電器の確保	18. 対策は不要
19. その他()	

問27 あなたは何を利用して防災情報(災害時を含む)を収集していますか。(する予定ですか。)あてはまるものすべてを選んでください。(〇はいくつでも)

1. テレビ	2. ホームページ
3. SNS	4. 防災アプリ
5. 防災行政無線	6. 防災ラジオ
7. いいとだメール	8. その他()

8. 地域コミュニティについておたずねします

問 28 あなたは、以下の団体等の活動に、どの程度参加していますか。

(活動内容ごとに○は1つ)

活動内容	参加頻度					まったく参加しない
	ほぼ毎日	週に2〜3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	
(1) 町会・自治会	1	2	3	4	5	6
(2) ボランティア団体・市民活動団体	1	2	3	4	5	6
(3) 趣味のサークルやクラブ	1	2	3	4	5	6
(4) 業界団体・同業者団体	1	2	3	4	5	6
(5) その他 ()	1	2	3	4	5	6

問 29 あなたは、どの程度近所付き合いをしていますか。(○は1つ)

1. 近所付き合いに努めている	2. 最低限の近所付き合いをしている
3. 近所付き合いはできるだけしない	4. 近所付き合いをまったくしない
5. わからない	

問 30 あなたは、ここ1年間で以下の地域活動やボランティア活動に参加しましたか。

参加したものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

1. まちづくりのための活動 (道路や公園等の清掃、まちに花を植える活動など)
2. 地域の親睦のための活動 (地域住民による祭りや運動会など)
3. 自然を守るための活動 (緑を守る活動、リサイクル活動、ごみを減らす活動など)
4. 安全な生活のための活動 (防犯パトロール、防災活動、交通安全活動など)
5. スポーツ・文化・学術に関係した活動 (スポーツの指導、伝統文化の普及活動、知識や技術の提供など)
6. 高齢者を対象とした活動 (日常生活の手助け、高齢者とのレクリエーションなど)
7. 子どもを対象とした活動 (子ども会の世話、子育て支援、いじめ電話相談など)
8. 障がい者を対象とした活動 (日常生活の手助け、就労支援など)
9. 外国人を対象とした活動 (通訳・翻訳、日本語教室、困りごと相談など)
10. 参加したことがない
11. その他 ()

9. 生涯学習やスポーツについておたずねします

問 31 あなたは現在 (または過去1〜2年の間に)、生涯学習活動 (読書、趣味、スポーツ、文化・芸術活動、ボランティア活動、講座への参加など) をしていますか。(○は1つ)

1. 活動をしている	2. 活動をしていない
------------	-------------

問 32 生涯学習の拠点等についておたずねします。(項目ごとに○は1つ)

項目	おおいに当てはまる	当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない
(1) 「市立図書館」が生涯学習の拠点として気軽に利用できる施設であると認識している	1	2	3	4
(2) 「市立郷土博物館」が市の歴史に関する拠点として気軽に利用できる施設であると認識している	1	2	3	4
(3) 戸田市の文化財を知っている	1	2	3	4
(4) 生涯学習の拠点である公共施設を利用している	1	2	3	4

問 33 現在の1日当たりの読書時間は何分程度ですか。(平日・休日含む平均。電子書籍を含み、教科書・学習参考書・漫画・雑誌を除く。)(○は1つ)

1. 全く読まない	2. 1〜15分未満
3. 15〜30分未満	4. 30〜60分未満
5. 60〜120分未満	6. 120分以上

問 34 直近1年間の1日あたりの読書時間は変化しましたか。(読書は電子書籍を含み、教科書・学習参考書・漫画・雑誌を除く。)(○は1つ)

1. 増えた	2. 減った
3. 変わらない	

問 35 直近1年で図書館が提供するサービス (イベントなどを含む) を利用しましたか。また、利用した場合は、それが読書 (図書館以外を含む) をするきっかけになりましたか。(○は1つ)

1. 利用した。読書をするきっかけになった
2. 利用したが、読書をするきっかけにはなっていない
3. 利用していない

問 36 「ポートのまち戸田」に関連しておたずねします。あなたは、「ポート競技（ロイニング）」に興味や関心がありますか。(○は1つ)

1. ある
2. 少しはある
3. あまりない
4. まったくない
5. わからない

問 37 直近1年で現地観戦や動画視聴などでスポーツを観戦しましたか。(○は1つ)

1. 現地でも動画視聴でも観戦した
2. 競技会場など現地で観戦した
3. 動画視聴で観戦した
4. 現地でも動画視聴でも観戦していない

10. 市政への参加についておたずねします

問 38 以下の項目のうち、あなたが市政に参加するとしたら、どの分野に興味がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

1. 子育て支援・子どもの健全育成
2. 高齢者や障がい者の生活支援
3. 外国人の支援
4. 防災
5. 防犯
6. 交通安全
7. 清掃・ごみ減量・リサイクル
8. まちの緑化
9. 文化・スポーツ・生涯学習
10. 地域の産業振興
11. 都市基盤整備
12. 地域の情報発信やイメージアップ
13. 地域コミュニティの活性化
14. 健康づくり
15. 興味がない
16. その他 ()

11. SDGsの取組についておたずねします

問 39 本市ではSDGsの推進に取り組んでいます。SDGsについて知っていることを教えてください。あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

1. SDGsという言葉は聞いたことがある、もしくはロゴを見たことがある
2. 17のゴール、169のターゲットから構成されていること
3. 2030年までに達成すべきゴールであること
4. SDGs達成のためには、行政、企業、個人などの幅広いステークホルダー（利害関係者）が取り組まなければならないこと
5. 知らなかった

問 40 あなたは、SDGsを意識して日常的に何らかの取組を行っていますか。(○は1つ)

1. 積極的に取り組んでいる
2. ある程度取り組んでいる
3. 取り組んでいないが、今後取り組みたい
4. 取り組んでいないし、今後取り組み予定もない

12. 戸田市の取組についておたずねします

問 41 次に示す(1)～(32)の取組について、あなたは、どの程度満足していますか。(項目ごとに○は1つ)

基本目標	分野	評価取組 (施策名称)	満足	まあ満足	いえない	どちらでもない	やや不満	不満
子どもが健康やかに育ち、いきいきと輝けるまち	子育て支援	(1) 子育て支援の充実	1	2	3	4	5	
		(2) 乳幼児期の保育・教育の充実	1	2	3	4	5	
	児童・青少年育成	(3) 児童・青少年の育成環境の充実	1	2	3	4	5	
		(4) 世界で活躍できる人間の育成	1	2	3	4	5	
創造性や豊かな心を育むまち	生涯学習	(5) 生涯学習活動の推進	1	2	3	4	5	
		(6) 芸術文化活動の推進	1	2	3	4	5	
	スポーツ・レクリエーション	(7) スポーツ・レクリエーション活動の推進・充実	1	2	3	4	5	
		(8) 地域医療体制の強化	1	2	3	4	5	
共に生き、支え合い、安心して暮らせるまち	医療	(9) 健康づくり支援の充実	1	2	3	4	5	
		(10) 地域福祉の推進	1	2	3	4	5	
	地域における支え合い	(11) 高齢者福祉環境の整備・充実	1	2	3	4	5	
		(12) 国民健康保険・後期高齢者医療・国民年金の円滑な運営	1	2	3	4	5	
社会保障	障がい者(児)福祉	(13) 生活困窮者支援の充実	1	2	3	4	5	
		(14) 障がい福祉環境の整備・充実	1	2	3	4	5	
	消防・救急	(15) 消防・救急体制の強化	1	2	3	4	5	
		(16) 地域防災力・危機管理体制の充実・強化	1	2	3	4	5	
防犯	防犯	(17) 防犯体制の強化	1	2	3	4	5	
		(18) 市民相談機能と消費生活	1	2	3	4	5	
	河川・水路	(19) 浸水対策の推進	1	2	3	4	5	
		(20) 安全な道路環境の整備・推進	1	2	3	4	5	

基本目標	分野	評価取組 (施策名称)	満足	まあ 満足	どちら もない もの	やや 不満	不満
快適に過ごせる生活基盤が整備されたまち	市街地整備・景観	(21) 快適で秩序ある美しい市街地の形成	1	2	3	4	5
	住宅	(22) 安心して生活できる住環境の充実	1	2	3	4	5
	上下水道	(23) 上下水道事業の効率的な運営・施設の充実	1	2	3	4	5
都市環境と自然環境が調和したまち	公共交通	(24) 公共交通が利用しやすい環境の整備・推進	1	2	3	4	5
	緑地・緑化・水辺	(25) 自然に親しむ空間の整備・推進	1	2	3	4	5
	公園	(26) 魅力ある公園づくり	1	2	3	4	5
活力にあふれ人が集いられるまち	地球環境保全	(27) 生活環境の保全	1	2	3	4	5
	廃棄物・リサイクル	(28) 環境衛生の充実	1	2	3	4	5
	起業・就労支援	(29) 多様な働き方への支援・充実	1	2	3	4	5
創造性や豊かな心を育むまち	産業振興	(30) 産業振興の推進	1	2	3	4	5
	観光振興	(31) 地域資源を活用した観光振興の推進	1	2	3	4	5
	協働・交流	(32) 市民活動の活性化と地域交流の促進	1	2	3	4	5

問 42 前問と同じ(1)～(32)の取組のうち、あなたが今後力を入れて取り組んでほしいと思うものを5つ選んで番号を記入してください。

基本目標	分野	今後取り組んでほしい取組 (施策名称)
子どもが健やかに育ち、いきいきと輝けるまち	子育て支援	(1) 子育て支援の充実 (2) 乳幼児期の保育・教育の充実
	児童・青少年育成	(3) 児童・青少年の育成環境の充実
	学校教育	(4) 世界で活躍できる人間の育成
創造性や豊かな心を育むまち	生涯学習	(5) 生涯学習活動の推進
	芸術・文化	(6) 芸術文化活動の推進
	スポーツ・レクリエーション	(7) スポーツ・レクリエーション活動の推進・充実

基本目標	分野	今後取り組んでほしい取組 (施策名称)
共に生き、支え合い、安心して暮らせるまち	医療	(8) 地域医療体制の強化
	健康づくり	(9) 健康づくり支援の充実
	地域における支え合い	(10) 地域福祉の推進
安全な暮らしを守るまち	高齢者福祉	(11) 高齢者福祉環境の整備・充実
	社会保障	(12) 国民健康保険・後期高齢者医療・国民年金の円滑な運営 (13) 生活困窮者支援の充実
	障がい者(児)福祉	(14) 障がい福祉環境の整備・充実
都市環境と自然環境が調和したまち	消防・救急	(15) 消防・救急体制の強化
	防災	(16) 地域防災力・危機管理体制の充実・強化
	防犯	(17) 防犯体制の強化
活力にあふれ人が集いられるまち	市民相談・消費生活	(18) 市民相談機能と消費生活の充実
	河川・水路	(19) 浸水対策の推進
	道路	(20) 安全な道路環境の整備・推進
都市環境と自然環境が調和したまち	市街地整備・景観	(21) 快適で秩序ある美しい市街地の形成
	住宅	(22) 安心して生活できる住環境の充実
	上下水道	(23) 上下水道事業の効率的な運営・施設の充実
都市環境と自然環境が調和したまち	公共交通	(24) 公共交通が利用しやすい環境の整備・推進
	緑地・緑化・水辺	(25) 自然に親しむ空間の整備・推進
	公園	(26) 魅力ある公園づくり
活力にあふれ人が集いられるまち	地球環境保全	(27) 生活環境の保全
	廃棄物・リサイクル	(28) 環境衛生の充実
	起業・就労支援	(29) 多様な働き方への支援・充実
創造性や豊かな心を育むまち	産業振興	(30) 産業振興の推進
	観光振興	(31) 地域資源を活用した観光振興の推進
	協働・交流	(32) 市民活動の活性化と地域交流の促進

力を入れて取り組んでほしいもの
(番号を5つ回答)

--	--	--	--	--

問 43 あなたは、住んでいるのが戸田市でよかった（幸せ）と感じますか。
 (○は1つ)

- | | |
|------------|----------|
| 1. 感じる | 2. まあ感じる |
| 3. あまり感じない | 4. 感じない |
| 5. わからない | |

「戸田市「ありがとう」を伝え合おう条例」が制定され、1年が経過したことから、以下の質問についてお聞かせします。

問 44 「戸田市「ありがとう」を伝え合おう条例」を知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問 45 感謝の気持ちの伝え方に関する意識についてお聞かせします。
 日頃から、周りの人に「ありがとう」と伝えることができますが、

(○は1つ)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかというそう思う |
| 3. どちらかというそうは思わない | 4. そうは思わない |
| 5. どちらともいえない | |

※問 45 で 1, 2, 5 を選択された方は問 47 へお進みください。

問 46 「3. どちらかというそうは思わない」「4. そうは思わない」と思う理由を教えてください。あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

※問 45 で「3または4」を選択した方のみ

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1. 忙しくて時間がない | 2. 恥ずかしいと感じるから |
| 3. 言わなくても伝わっていると思う | 4. 面倒だと思うから |
| 5. どのように伝えたらいいかわからない | 6. その他 () |

問 47 感謝の気持ちをどのように伝えていきますか。あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 1. 会って直接伝える | 2. 電話で伝える |
| 3. メールやLINE などメッセージで伝える | 4. 手紙を書く |
| 5. Thankyou カードなどを渡す | 6. 誕生日をお祝いする |
| 7. イベントなどの際にプレゼントを贈る | 8. その他 () |

最後に、未来を見据えた戸田市のまちづくりについてご意見・ご提案がありましたらご自由にお書きください。



戸田市キャラクタートコちゃん